令和8年度第1回東松山市社会教育委員会議臨時会

次　第

令和8年9月29日（火）　午後2時～
総合会館3階303会議室

1 開　　会

2 挨　　拶

3 議　　題
（1）第3次東松山市社会教育推進計画について

（2）比企地区連合社会教育委員研究集会について

4 その他

5 閉　　会

1. スケジュール

第3次東松山市社会教育推進計画　策定スケジュール概要

年	月	生涯学習課	社会教育委員会議	市民アンケート パブリックコメント
R 8	2月	計画骨子案検討	第2回定例会 ●計画概要説明	
	3月			アンケート 実施業者選定 契約事務
	4月	計画骨子案作成･送付 →		4/22　契約締結 地域計画株式会社
	5月		5.12　第1回定例会 ●骨子案審議	市民アンケート内容 調整
	6月			市民アンケート実施 (6/15～30)
	7月	計画素案検討		市民アンケート 結果分析
	8月			8.25 業務完了
	9月	計画素案作成･送付 →	9.29 第1回臨時会 ●計画素案審議	
	10月	計画案整理		
	11月	計画案作成･送付 →	第2回臨時会 ●計画案確定	
	12 月	計画最終確認		パブリックコメント 実施
R 9	1月	計画最終案作成･送付 →		
	2月		第2回定例会 ●最終案確定	
	3月	計画策定		

Ver.20260915

第３次東松山市
社会教育推進計画

Third Higashimatsuyama City Social Education Promotion Plan



令和９年度～令和１３年度
【2027 年度～2031 年度】
東松山市教育委員会

[FY2027-FY2031]　Higashimatsuyama City Board of Education

「第３次東松山市社会教育推進計画」策定にあたって

「人生１００年時代」と言われる昨今、誰もがより多様で心豊かな生き方・暮らし方を実現し、健康でいきいきと暮らしていくために、生涯にわたる学びを通じて、生活の質を維持・向上させることが求められています。一方で、深刻化する社会的な孤立やＩＣＴ機器を利用できる人と利用できない人の間に生じる格差（デジタルデバイド）など、様々な問題が顕在化しています。こうした課題を乗り越え、誰一人として取り残されることなく、生きがいを感じることのできる地域社会を実現するために、「学び」の重要性は、一層高まっています。

本市は、まちづくりの最上位計画である「第六次東松山市総合計画（前期：令和８年度～１２年度）」において、まちづくりの柱に「市民活躍」を掲げるとともに、本市が目指すべき教育の指針として「人と地域がつながり 豊かな心で希望をはぐくむ”学びのまち”東松山」を基本理念とする「第３期東松山市教育大綱（令和８年度～１２年度）」を定めています。

この度、その基本理念のもと、「東松山市教育振興基本計画（令和８年度～１２年度）」の内容を踏まえながら、本市社会教育委員を中心に検討を重ね、社会教育の取組の指針となる「第３次東松山市社会教育推進計画」（令和９年度～１３年度）を策定いたしました。

本計画は、「学びを通じた人づくり・つながりづくり」「心と体を豊かにする活動の推進」「地域固有の文化資源の活用」の３つを基本目標として、その実現に向けた施策を推進します。学ぶことで生きがいや心の豊かさを感じる市民が増え、学びをきっかけとして人と人、そして人と地域がつながり、「地域力」が向上するという考えのもと、多様な取組を展開してまいります。

また、本計画は、社会教育を実践している各団体、関係機関、全ての市民の皆様と行政が一体となって推進することを基本としています。社会教育が活性化し、その学びが循環することにより、市民の充実した暮らしにつながり、さらにそれがこのまちの活気につながることを目指し、教育委員会としても、その実現に向けて取り組んでまいります。

結びに、本計画策定にあたり貴重なご意見やご提言をいただきました社会教育委員の皆様をはじめ、各種調査やパブリックコメント等にご協力いただいた社会教育関係の皆様、市民の皆様に、心より感謝申し上げます。

令和９年３月
東松山市教育委員会

目　　次

第１章　計画の基本的考え方 1
１　はじめに 1
（１）社会教育の役割 1
（２）策定の趣旨 3
（３）計画の性格 4
（４）計画期間 4
２　東松山市の目指す教育の姿 7
（１）基本理念 7
（２）基本方針 7
（３）基本目標 7
３　東松山市の社会教育の現状と課題 8
（１）社会教育に関わる地域特性 8
（２）社会教育分野における市民意識調査の結果 9
（３）第２次計画の検証 21
（４）課　題 27

第２章　計画の展開　-基本目標の計画の展開- 30
基本目標１：学びを通じた人づくり・つながりづくり 30
（１）学校・家庭・地域が一体となった教育の推進 30
（２）家庭教育支援体制の充実 32
（３）社会教育の充実と自主的な学習の推進 36
（４）図書館の充実 39
基本目標２：心と体を豊かにする活動の推進 42
（１）文化・芸術活動の促進 42
（２）ウォーキングの推進と日本スリーデーマーチの充実 43
（３）スポーツを楽しむ環境づくりの推進 46

基本目標３：地域固有の文化資源の活用 49
（１）文化・芸術団体との協働と活動支援 49
（２）文化財の保存と継承 51
（３）文化財の啓発と活用 52

第３章　計画の策定体制 54
１　社会教育委員や関係組織及び関係団体 54
（１）社会教育委員の役割 54
（２）社会教育に関わる東松山市組織及び関係団体 554
（３）策定経過 566
（４）推進と評価体制（PDCA） 577
（５）社会教育委員名簿（令和８年５月委嘱） 588
（６）東松山市教育委員会 588
（７）東松山市教育委員会事務局 599
２　パブリックコメントの実施 599
３　資　　料 60
団体　調査結果 60

第１章　計画の基本的考え方

１　はじめに

（１）社会教育の役割

社会教育は、学びを通じて個人の成長を促すとともに、他者との協働的な活動を通じて、人と人との「つながり」や社会との「かかわり」を形成していくことに、その本質的な特徴があります。

今日、先行きの見通しが難しい不確実な時代（VUCA：Volatility・Uncertainty・Complexity・Ambiguity の頭文字）を迎え、また人生１００年時代の到来やデジタル技術による社会変革（DX：デジタルトランスフォーメーション）の急速な進展により、人々が生涯にわたって学び続けることの重要性はかつてなく高まっています。国の第４期教育振興基本計画においても示されているように、社会教育は学校教育と並んで「持続可能な社会の創り手」を育む営みであり、持続可能な社会の実現を目指す教育の理念である ESD（持続可能な開発のための教育）とも深く重なるものです。社会教育における学びを通じて人々が協力し合える関係づくりの基盤を形成することで、地域コミュニティの持続的な発展を支えることが、今まさに求められています。

こうした社会教育の役割は、「人づくり・つながりづくり・地域づくり」という３つの要素が相互に作用し合う好循環として整理することができます。そして、この好循環こそが、防災・まちづくり・福祉・環境など多様な分野の取組においても広く生かされる土台となるものです。

さらに、社会教育が果たすべき役割は単なる学習機会の提供にとどまりません。住民自治を醸成し、これを支えるための社会的基盤として機能するとともに、地域住民一人ひとりの身体的・精神的・社会的な豊かさ（ウェルビーイング：Well-Being）の実現にも資するものです。すなわち社会教育は、地域社会の持続可能性を支える、重要な基盤としての役割を担うものといえます。

（参考）教育基本法

第３条　国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

第１２条　個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育は、国及び地方公共団体によって奨励されなければならない。

２　国及び地方公共団体は、図書館、博物館、公民館その他の社会教育施設の設置、学校の施設の利用、学習の機会及び情報の提供その他の適当な方法によって社会教育の振興に努めなければならない。

第１３条　学校、家庭及び地域住民その他の関係者は、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚するとともに、相互の連携及び協力に努めるものとする。

（参考）社会教育法

第２条　この法律において「社会教育」とは、学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）又は就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律（平成十八年法律第七十七号）に基づき、学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動（体育及びレクリエーションの活動を含む。）をいう。

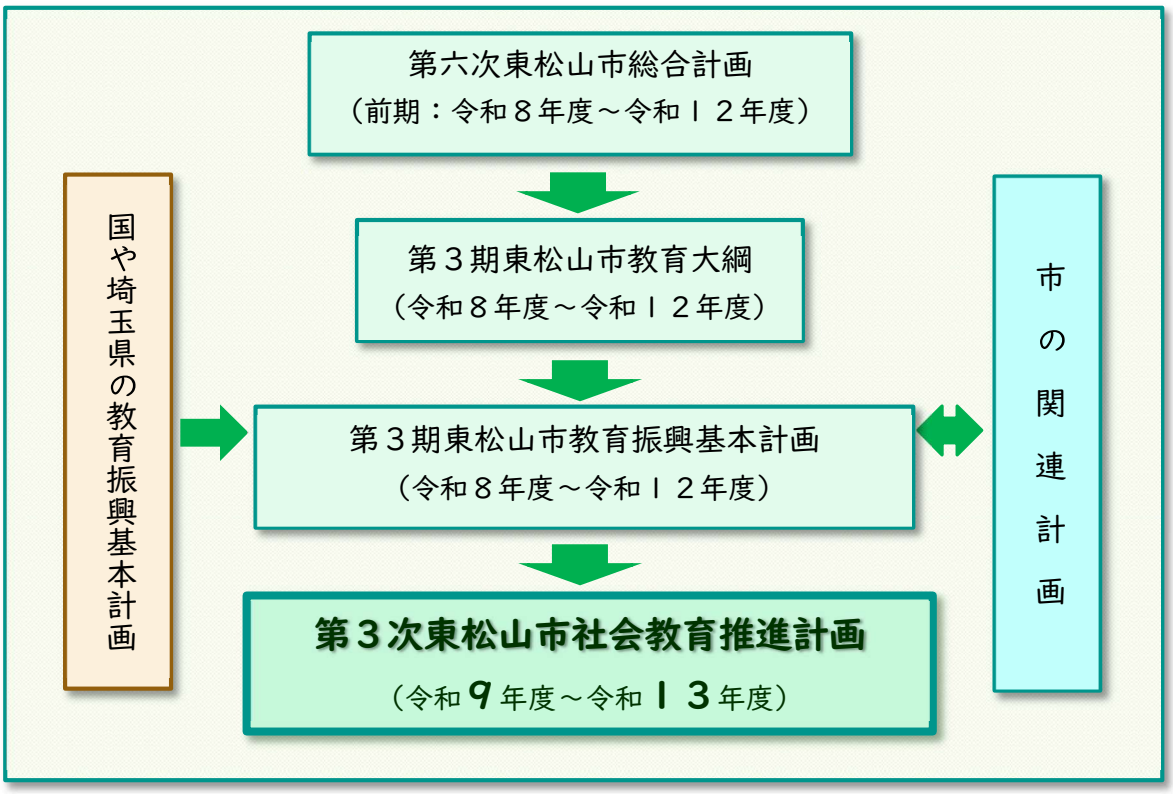
第３条　国及び地方公共団体は、この法律及び他の法令の定めるところにより、社会教育の奨励に必要な施設の設置及び運営、集会の開催、資料の作製、頒布その他の方法により、すべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら実際生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成するように努めなければならない。

２　国及び地方公共団体は、前項の任務を行うに当たつては、国民の学習に対する多様な需要を踏まえ、これに適切に対応するために必要な学習の機会の提供及びその奨励を行うことにより、生涯学習の振興に寄与することとなるよう努めるものとする。

３　国及び地方公共団体は、第一項の任務を行うに当たつては、社会教育が学校教育及び家庭教育との密接な関連性を有することにかんがみ、学校教育との連携の確保に努め、及び家庭教育の向上に資することとなるよう必要な配慮をするとともに、学校、家庭及び地域住民その他の関係者相互間の連携及び協力の促進に資することとなるよう努めるものとする。

（２）策定の趣旨

計画の位置づけ



東松山市では、令和８年度から令和１７年度までの１０年間を対象期間とする第六次東松山市総合計画を市の最上位計画として策定し、新たなまちづくりを展開しています。

また、令和８年度から令和１２年度までの５年間を対象期間とした第３期東松山市教育大綱を市の教育分野におけるグランドデザインとして教育行政をスタートしました。同年度には、この教育大綱に掲げた基本理念、基本方針を実現するための具体的な実施計画として第３期東松山市教育振興基本計画を策定し、**「人と地域がつながり　豊かな心で希望をはぐくむ“学びのまち”東松山」**を実現するための事業が進められています。

東松山市教育委員会では、第六次東松山市総合計画、第３期東松山市教育大綱、第３期東松山市教育振興基本計画に掲げられた基本理念・基本方針・基本目標を実現するため、文化・芸術を含めた社会教育分野の個別の行政計画として、「第３次東松山市社会教育推進計画」を策定することといたしました。

社会教育という全ての年齢層を対象とした教育を充実させ、全ての市民の学習意欲を充足させ、教養を高めることにつなげていきます。

（３）計画の性格

東松山市では、市の将来像を実現するための行政計画として基本構想及び基本計画を策定し、これをあわせた「第六次東松山市総合計画」をまちづくりの最上位計画に位置付けました。「第３次東松山市社会教育推進計画」は、この総合計画に示された本市の将来像、「元気と希望と歩むまち 住みよさ やさしさ 東松山」の実現のために、個別の行政計画の一つとして社会教育推進の方向性を示すものです。

◆第六次東松山市総合計画を踏まえた社会教育分野の計画

東松山市の最上位計画である「第六次東松山市総合計画」（令和８年度～令和 17 年度）を踏まえた、社会教育分野における計画です。

◆第３期東松山市教育大綱における社会教育分野を実践するための計画

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１条の３により定められた、東松山市教育のグランドデザインである「第３期東松山市教育大綱」（令和８年度～令和 12 年度）に示された基本理念・基本方針を踏まえ、社会教育分野の目標を達成するための計画です。

◆第３期東松山市教育振興基本計画における社会教育分野の計画

教育基本法第 17 条第２項に基づく教育振興基本計画として策定された「第３期東松山市教育振興基本計画」（令和８年度～令和 12 年度）に掲げる基本目標のうち、「家庭・地域の教育力の向上」、「生涯学習の推進」、「生涯スポーツの推進」、「文化・芸術の振興」、「文化財保護」といった社会教育に関する分野の基本目標に向けた事業を推進するために定める計画です。

（４）計画期間

計画の対象期間は、令和９年度から令和１３年度までの５年間とします。

◆ＳＤＧＳ（持続可能な開発目標）との関係

ＳＤＧｓとは「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」の略称で、２０１５年９月の国連サミットで採択された２０３０年までの達成を目指す、国際社会の共通目標で、「１７の目標」と「１６９のターゲット（具体目標）」で構成されています。

本市では、市の最上位計画である「第六次東松山市総合計画」において、SDGs の理念を取り込みながら市政運営に取り組むこととしています。このことを踏まえ、「第３次東松山市社会教育推進計画」では、１７の目標のうち特に関連性の強い、目標４「質の高い教育をみんなに」の達成に向けた取組を展開します。目標４は「すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」ことを掲げており、本計画が推進する社会教育の取組と方向性を同じくするものです。



また、取組にあたっては、目標４のターゲットの一つにも位置付けられ、かつ１７すべての目標の実現の鍵を握るとも言われている ESD（持続可能な開発のための教育）の理念を本計画の基盤として位置づけ、各施策を推進します。

加えて、本計画の計画期間中に SDGs の掲げる２０３０年の目標年次を迎えることから、それまでの成果を確実なものとし、さらにその先の未来を見据えた持続可能な社会の創り手を育む視点を、本計画の推進において不可欠なものと位置づけます。

◆ライフステージに応じた教育の必要性

令和８年４月１日現在の東松山市は、高齢者人口（６５歳以上）が 30.4%と、超高齢社会を迎えています。こうした社会に各世代が対応していくためにはライフステージに応じた教育環境が必要であり、持続性のある環境整備に取り組んでいかなければなりません。

① 幼年期【０～就学前）】

児童福祉法「乳児・幼児」

この時期は、生理機能や運動機能が確立していくとともに、生活習慣の基礎づくりが行われる時期です。この時期に身につけた生活習慣が将来の健康や人格形成に大きな影響を与えることから、家庭教育とともに保護者の適切な判断で社会教育を活用することが大切です。

② 学童期・思春期【小学校就学 ～１７歳】

学校教育法上の児童・生徒（小・中・高校生）・少年法・児童福祉法

学びを始めたばかりの子どもたちの教育活動に占める割合は、義務教育を核とする学校教育が圧倒的に大きいです。系統的・意図的である学校教育は、各家庭独自の家庭教育と手を取り合いながら、子どもたちの健やかな成長を補完し合います。この時期には、社会教育を通して、生涯にわたって学び続ける資質を養い、社会とのつながりの大切さを学ぶことができます。

③ 青年期（１８～２５歳）

厚労省「健康日本 21」・民法

成人を迎え、これからの社会を支えていく若い世代の人たちには、知識や技術等を掘り下げ、より専門性や趣味性が高いものが求められます。また、積極的な地域事業への参加により、社会の一員としての自覚を高め、住民同士が関わり合いながら地域で子どもや高齢者などを見守ることの必要性を認識します。

④ 壮年期・中年期（２５歳～６４歳）

厚労省「健康日本 21」

精神的・社会的に最も自立しているこの時期には、充実した生活を送るという意味でも趣味や生きがいをもつことが大切になります。同時に、健康や体力に不安を感じ始める時期でもあります。豊かで安らぎや味わいのある人生につなげていくために、継続して地域とのつながりを保つことが大切になります。

⑤ 高齢期（６５歳～）

厚労省「健康日本 21」・老人福祉法・介護保険法

高齢者人口が増加したことに伴い、より一層元気に、様々な場面で活躍できる方の増加が見込まれます。高齢期を迎えた市民が健康で生きがいのある、充実した人生を送ることができるよう、社会教育に参加し、社会とのつながりをもち続けることが大切になります。

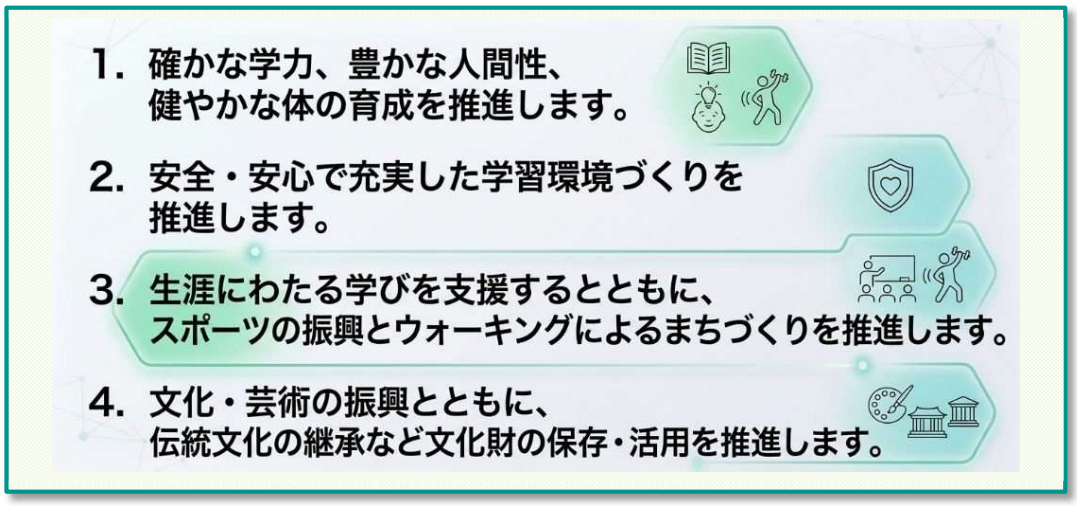
２　東松山市の目指す教育の姿

東松山市の目指す教育は、第３期東松山市教育大綱・第３期東松山市教育振興基本計画（令和８年度～令和１２年度）で示した基本理念・基本方針・基本目標に則して実践されるものです。

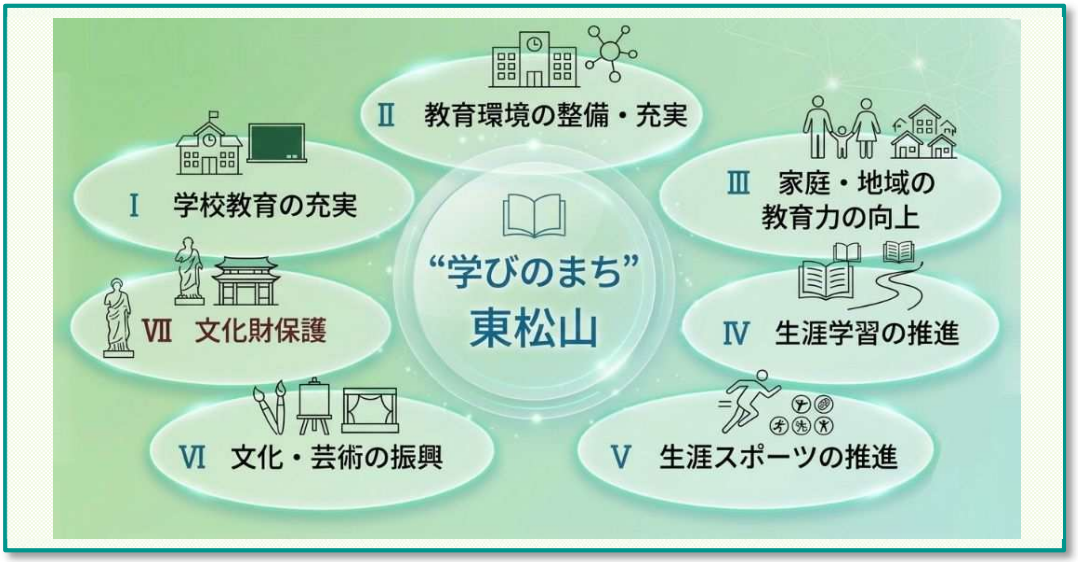
（１）基本理念

人と地域がつながり　豊かな心で希望をはぐくむ“学びのまち”東松山

（２）基本方針



（３）基本目標



＊市の目指す教育の姿であり、「Ⅰ　学校教育の充実」及び「Ⅱ　教育環境の整備・充実」は社会教育に含まれません。

３　東松山市の社会教育の現状と課題

東松山市は、比企丘陵の豊かな自然に恵まれながらも都心へのアクセス性に優れ、関越自動車道東松山インターチェンジや東武東上線などの交通インフラにも恵まれています。また、深い歴史に育まれた文化財や観光資源、さらには充実した高等教育機関などの教育資源を有しています。

（１）社会教育に関わる地域特性

① 人口動態と少子高齢化の進展

本市では、自然減が続く一方、転入超過による社会増がこれを一定程度補っており、総人口は緩やかな減少あるいは横ばいで推移しています。年齢構成においては、年少人口の低下と高齢者人口の上昇が続いており、高齢化率は 30%を超え、生産年齢人口の減少とともに少子高齢化が一段と加速している状況です。

こうした人口構成の変化は、地域コミュニティの活力低下や担い手不足といった課題を生み出していますが、その一方で、社会教育の分野においては、新たな役割と需要が生じています。具体的には、「人生 100 年時代」を見据えた高齢者の学習需要の喚起や生きがいづくり、そして次世代を担う子どもたちの健やかな育成環境の確保など、地域社会の基盤を支えるための重要な取り組みが、これまで以上に求められています。

② 豊かな歴史・文化・スポーツ資源の継承と発展

本市には、地域の特性を生かした豊かな歴史・文化資源が各地に息づいています。松山地区の箭弓稲荷神社や夏まつり、大岡地区の伝承を巡る史跡、唐子地区に残る文学『天の園』の原風景や「化石と自然の体験館」、野本地区にある北武蔵最大級の前方後円墳「将軍塚古墳」など、魅力的な地域資源が豊富です。

社会教育や生涯学習の面では、県内初となる「三角縁神獣鏡」の発見や、本市出身の梶田隆章博士のノーベル物理学賞受賞といった偉業が市民の誇りとして根付いています。また、高坂彫刻プロムナード彫刻群の作者である彫刻家高田博厚の顕彰など、郷土の文化を未来へつなぐ取組が継続されてきました。

また、スポーツ・交流資源としては、約半世紀の歴史を誇る日本最大・世界第 2 位規模のウォーキングイベント「日本スリーデーマーチ」が定着しています。国内外の参加者と市民が交流するこの大会は、世代や性別を超えた社会教育の場にもなっています。

③ 社会教育・生涯学習施設の活用

本市では社会教育・生涯学習に関する多様な施設が整備・活用されています。社会教育施設である「きらめき市民大学」をはじめ、２つの図書館、市民文化センター、埋蔵文化財センター、地域の核となる７か所の市民活動センターを有しています。これらは市民の多様なニーズに応える幅広い分野の講座を提供するだけでなく、自主的な市民活動の拠点としても機能しています。

また、陸上競技場や体育館といったスポーツ施設も豊富です。スポーツ協会などの加盟団体や市民サークル、ボランティアの活動の場として活用されており、市民の健康増進やコミュニティの醸成に大きく寄与しています。

④ 大学・企業・地域との多様な連携（産学官民連携）

本市の高坂地区は大学や商業施設が集積し、若者や子育て世帯が多い反面、若者の転出入が激しい特徴があります。産業面では唐子地区などの工業団地が生産・物流の拠点となり、平野地区では住民主体の「花・歩・梨プロジェクト」など特色ある地域づくりが進んでいます。

また、大東文化大学をはじめとする近隣の教育機関と連携し、教育やまちづくり等で多角的な取組を実施しています。さらに、市内の企業や商店、そして市民団体もその専門性を生かし、学習機会の提供や地域活動に参画しています。こうした「産学官民」のネットワークは、地域課題を解決する「地域力」を高め、持続可能なまちづくりの基盤となっています。

（２）社会教育分野における市民意識調査の結果

① アンケート調査の概要

令和８年６月に、本市の社会教育分野に関する現状を把握するためにアンケート調査を実施しました。

東松山市生涯学習及び文化芸術に関するアンケート調査

市民 アンケート	対象	２，０００名（無作為抽出）
	期間	令和８年６月１５日（月） ～ 令和８年６月３０日（火）
	有効回収率	５１．０％（有効回収数　１０１９件）
団体 アンケート	対象	５０団体（社会教育関係団体）
	期間	令和８年６月１５日（月） ～ 令和８年６月３０日（火）
	有効回収率	８４．０％（有効回収数　４２件）

② アンケートの主な結果

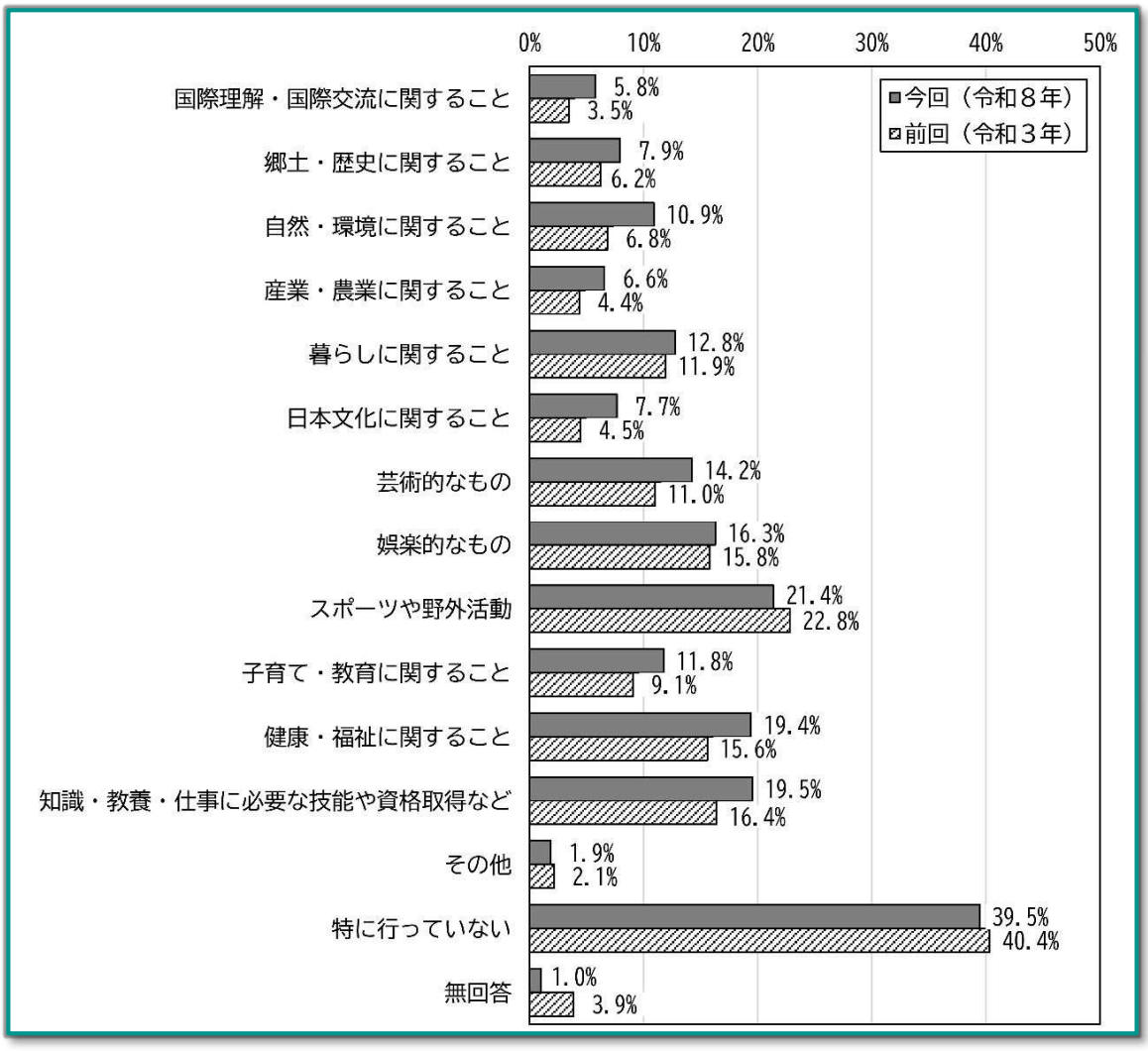
問１　あなたは、この約１年間に、どのようなことについて生涯学習活動を行いましたか。（あてはまる番号すべてに○）

結果

この約１年間に、どのようなことについて生涯学習活動を行ったかについては、「特に行っていない」が 39.5%と最も多く、次いで、「スポーツや野外活動」が 21.4%、「知識・教養・仕事に必要な技能や資格取得など」が 19.5%となっています。

クロス集計分析

年代別に見ると、10～30 代の若年層・働き盛りでは「知識・教養・資格取得」への参加が突出していますが、60 代以上のシニア層になるにつれて「健康・福祉」への参加割合が顕著に増加する年代間の明確な違いがみられます。



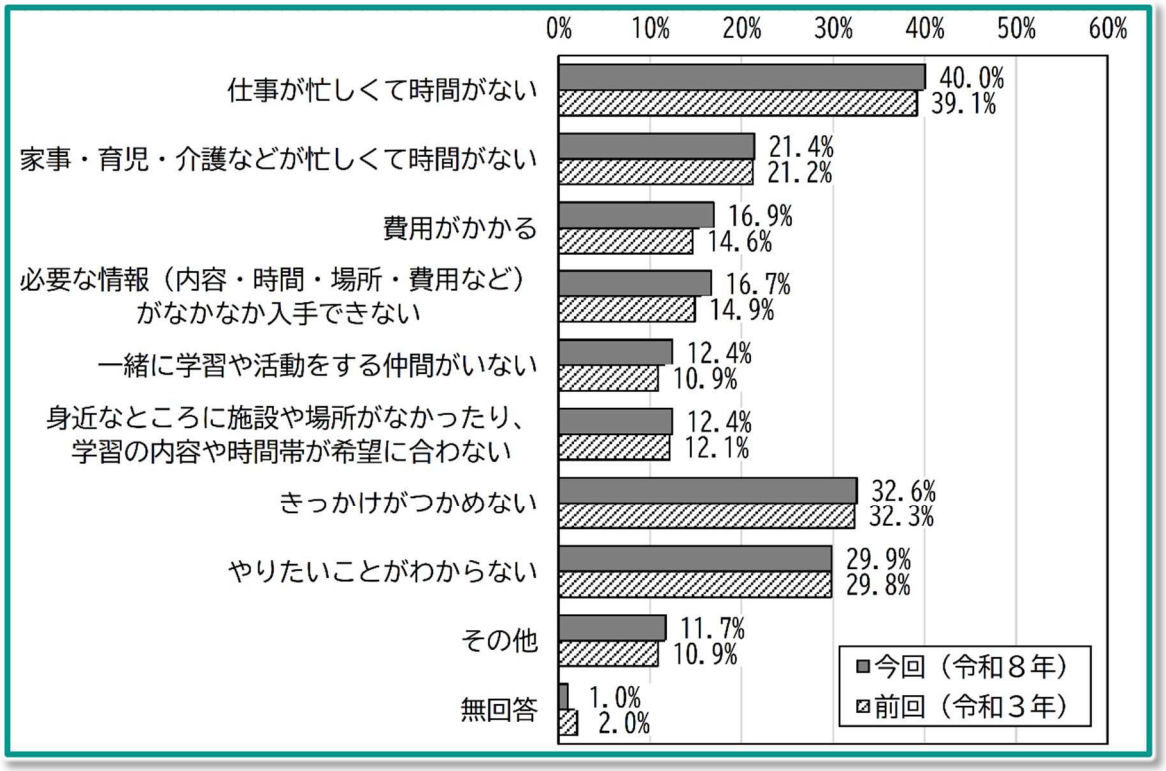
問２　あなたが生涯学習活動を行っていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）【問１で「特に行っていない」を選択した方の回答】

結果

生涯学習活動を行っていない理由については、「仕事が忙しくて時間がない」が40.0%と最も多く、次いで、「きっかけがつかめない」が32.6%、「やりたいことがわからない」が29.9%となっています。

クロス集計分析

活動未実施の理由は全体で「仕事が忙しい」が最多ですが、属性で明確な差があります。20～50代、会社員では「仕事が忙しい」が50～60%台と非常に高い割合を占めます。加えて、30代では「家事・育児・介護が忙しい」が高くなっています。さらに60代以上の高齢層では「きっかけがつかめない」「やりたいことがわからない」という理由が多くなっています。



問３　あなたは、何を目的に生涯学習活動を行いましたか。（あてはまるものすべてに○）【問１で「国際理解・国際交流に関すること」～「その他」を選択した方の回答】

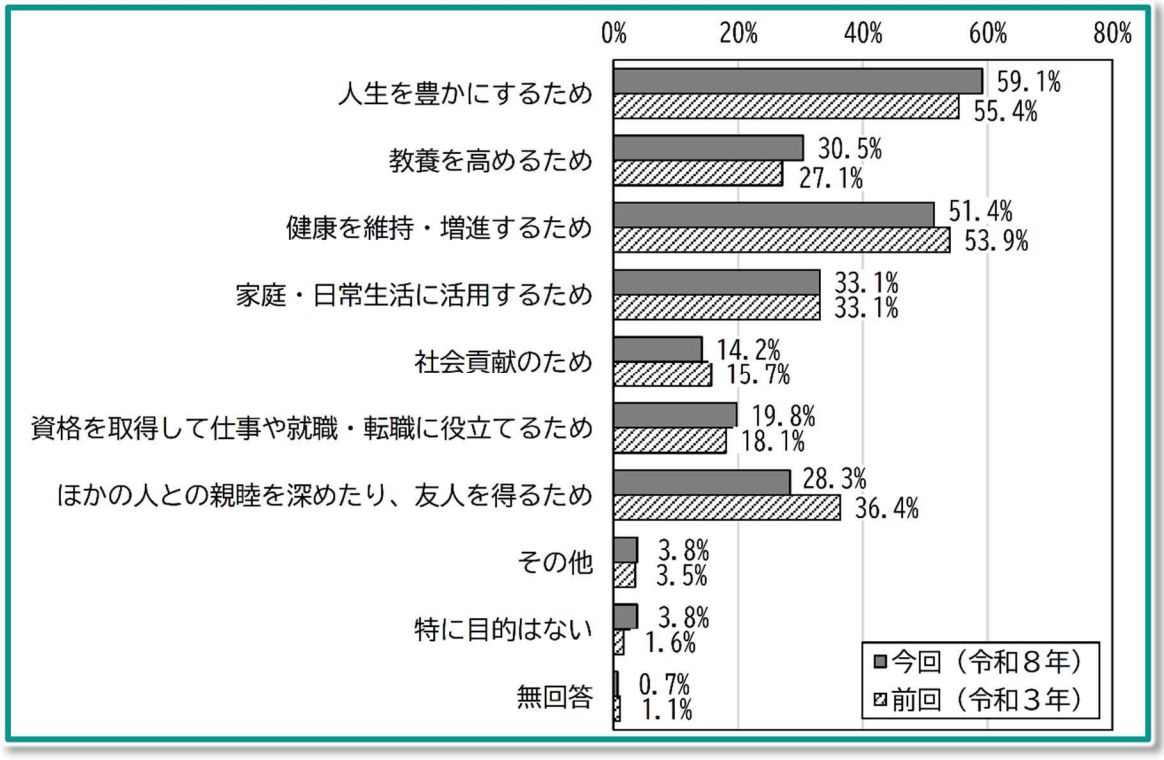
結果

生涯学習活動の目的については、「人生を豊かにするため」が59.1%と最も多く、次いで、「健康を維持・増進するため」が51.4%、「家庭・日常生活に活用するため」が33.1%となっています。

前回と比較すると、「ほかの人との親睦を深めたり、友人を得るため」が8.1 ポイント減少となっています。

クロス集計分析

全体的に「人生を豊かにするため」「健康維持・増進」が高いですが、年代による違いが明白です。10～40代の若年・中年層では「資格を取得して仕事や就職に役立てるため」が他の年代より高くキャリア志向が伺えます。一方、60代以上では年齢が上がるにつれて「健康を維持・増進するため」の割合が急増し、70代以上で最も高い主目的となっているのが特徴です。



問４　あなたは、どのような方法で生涯学習活動を行いましたか。
（あてはまるものすべてに○）
【問１で「国際理解・国際交流に関すること」～「その他」を選択した方の回答】

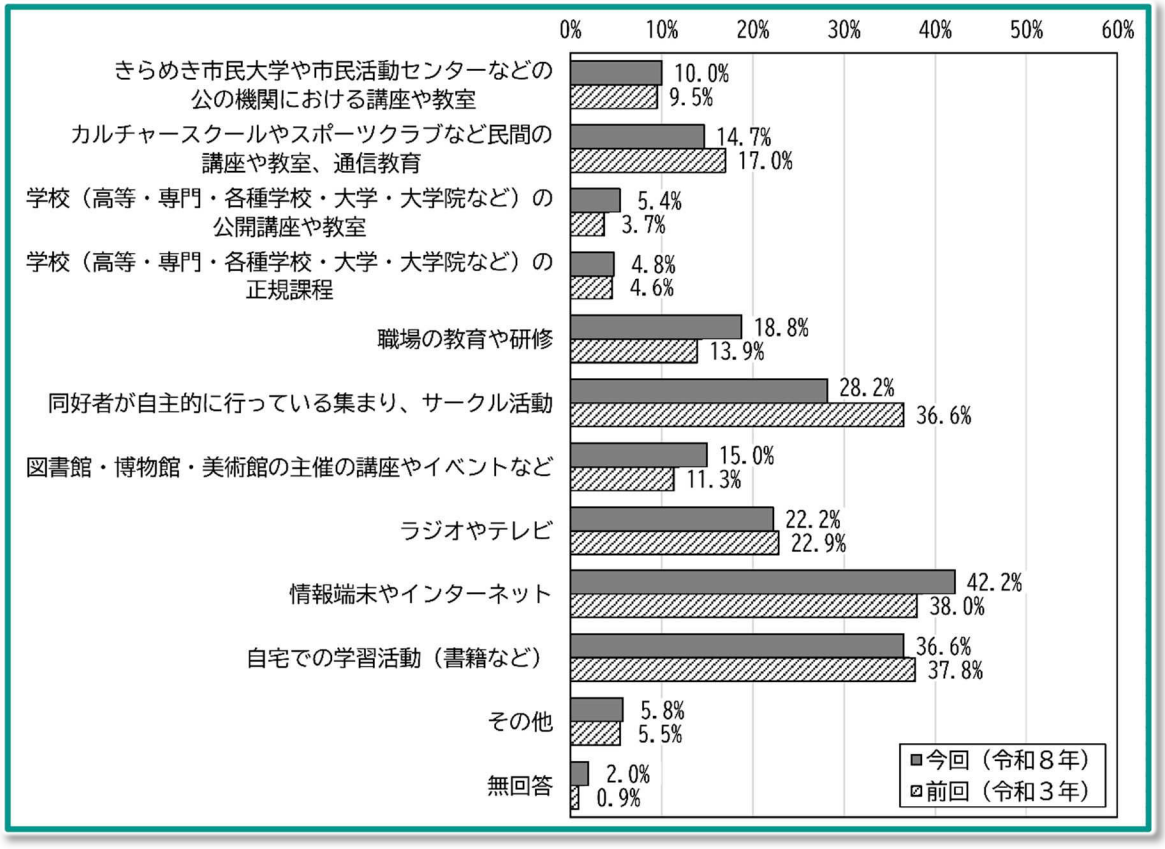
結果

生涯学習活動を行った方法については、「情報端末やインターネット」が 42.2%と最も多く、次いで、「自宅での学習活動（書籍など）」が 36.6%、「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」が 28.2%となっています。

前回と比較すると、「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」が 8.4 ポイント減少となっています。

クロス集計分析

学習方法には年代別で顕著なデジタルデバイドが存在します。全体では「情報端末やインターネット」が最多であり、20～50 代では半数超が利用していますが、70 代以上ではその割合が急減し、「サークル活動」や「ラジオやテレビ」への依存度が高まります。また、学生はネット利用率が高く、学校の公開講座を積極的に活用している点も特徴的です。



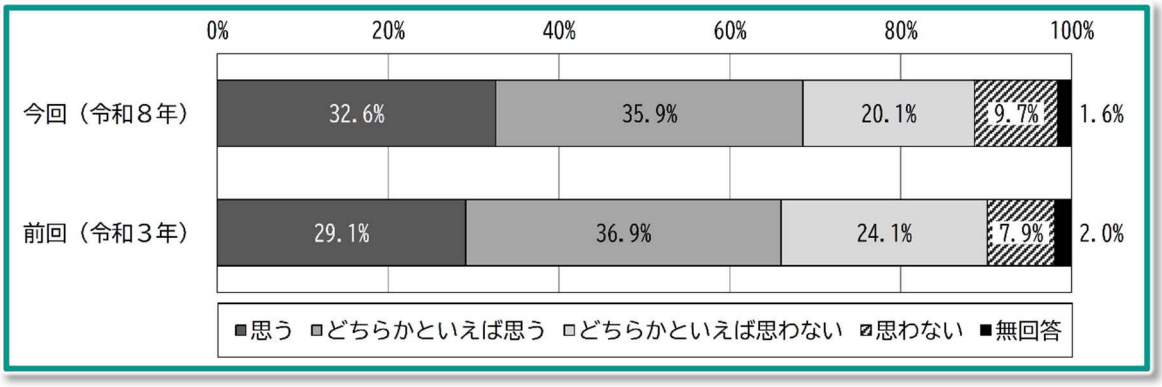
問５　あなたは、生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能、経験を仕事や地域活動に活かしたいと思いますか。（あてはまるもの１つに○）

結果

生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能、経験を仕事や地域活動に活かしたいと思うかについては、「思う(32.6%)」、「どちらかといえば思う(35.9%)」を合わせた『思う（計）』が68.5%に対し、「どちらかといえば思わない(20.1%)」、「思わない(9.7%)」を合わせた『思わない（計）』が29.8%となっています。

クロス集計分析

学習成果を「活かしたい(計)」とする割合は全体で約７割です。年代別では10代・20代、また職業別では学生(約78%)や自営業者で活かしたい意欲が特に高く、自己成長やキャリア形成への強い関心が伺えます。対照的に、家事に専業する層や無職の層では、相対的に知識活用への意欲が低い傾向にあります。



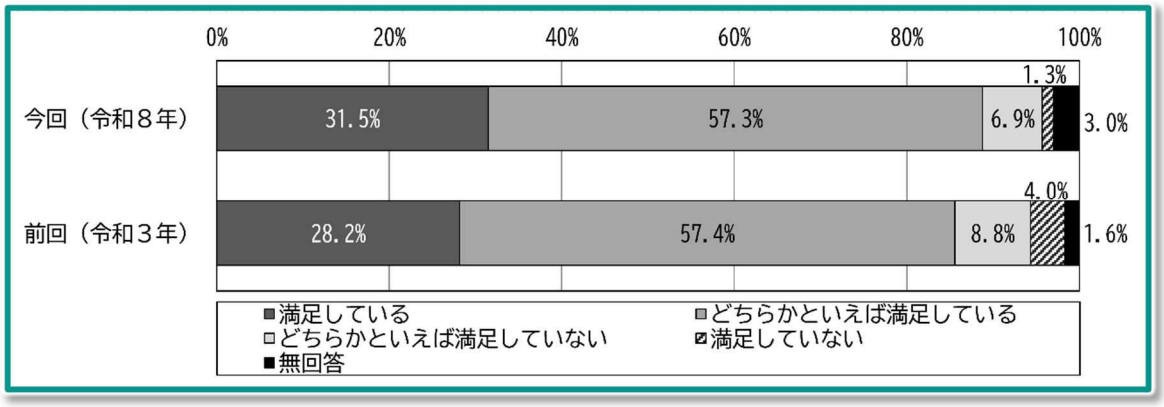
問６　あなたは、ご自身が行った生涯学習活動について満足していますか。
（あてはまるもの１つに○）

結果

自身が行った生涯学習活動の満足度については、「満足している(31.5%)」、「どちらかといえば満足している(57.3%)」を合わせた『満足している（計）』が88.8%に対し、「どちらかといえば満足していない(6.9%)」、「満足していない(1.3%)」を合わせた『満足していない（計）』が8.2%となっています。

クロス集計分析

学習活動に対する満足度は全体で約９割(88.8%)と極めて高い水準にあります。世代を問わず総じて満足度は高いものの、30代など一部の中間層で「どちらかといえば満足していない」が１割程度存在し、今後の細やかなフォローが望まれます。



問７　あなたが満足しなかった理由は何ですか。（あてはまるもの１つに○）

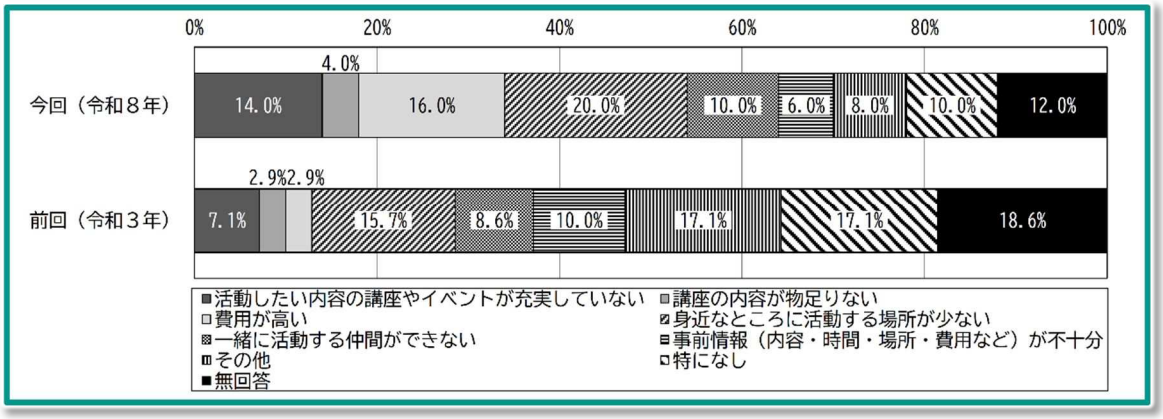
結果

自身が行った生涯学習に満足しなかった理由については、「身近なところに活動する場所が少ない」が 20.0%と最も多く、次いで、「費用が高い」が 16.0%、「活動したい内容の講座やイベントが充実していない」が 14.0%となっています。

前回と比較すると、「活動したい内容の講座やイベントが充実していない」が 6.9 ポイント、「費用が高い」が 13.1 ポイント増加し、「その他」が 9.1 ポイント、「特になし」が 7.1 ポイント減少となっています。

クロス集計分析

不満を感じた理由は対象者が少ないものの傾向がみられます。30 代では「身近なところに活動する場所が少ない」を挙げる割合が高く、地域の学習環境やアクセス面での課題が浮き彫りになっています。一方、40 代・50 代の働き盛り層では「費用が高い」というコスト面の不満が比較的多く、60 代以上では講座内容の充実に課題を感じる声も散見されます。



問８　東松山市に限らず生涯学習に関する情報をどんなところから得ていますか。（あてはまるものすべてに○）

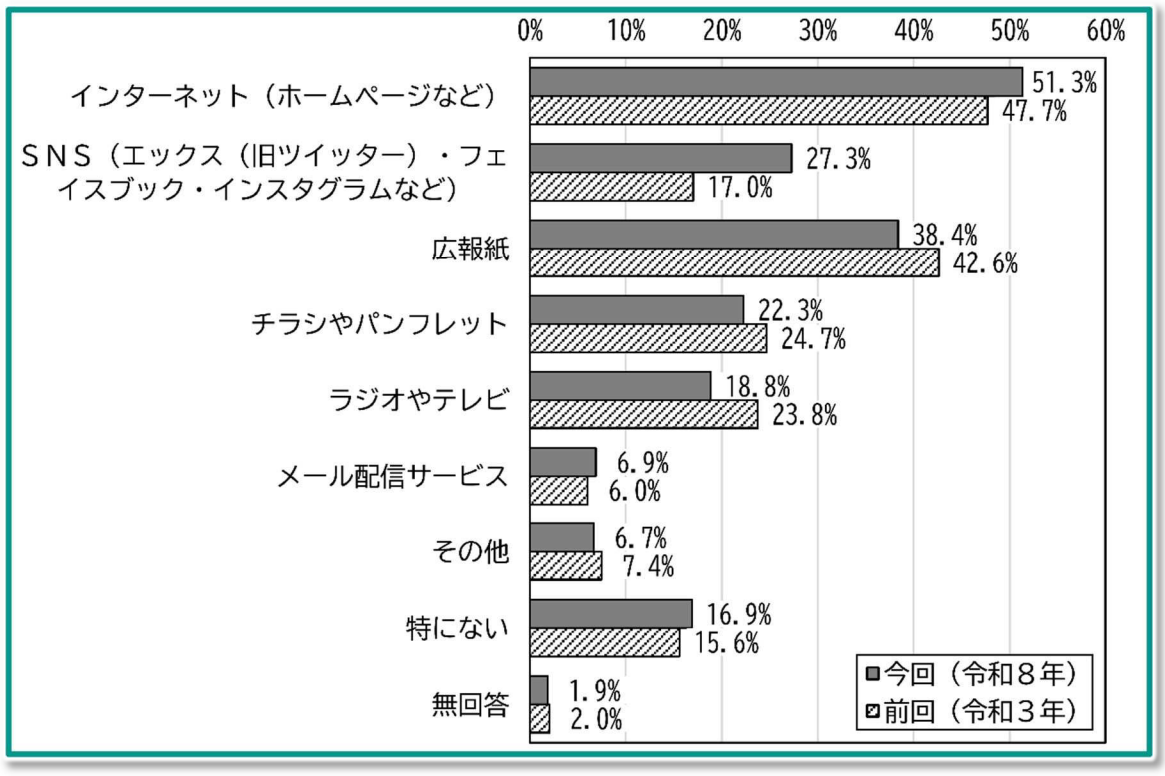
結果

東松山市に限らず生涯学習に関する情報をどんなところから得ているかについては、「インターネット（ホームページなど）」が 51.3%と最も多く、次いで、「広報紙」が 38.4%、「ＳＮＳ（エックス（旧ツイッター）・フェイスブック・インスタグラムなど）」が 27.3%となっています。

前回と比較すると、「ＳＮＳ（エックス（旧ツイッター）・フェイスブック・インスタグラムなど）」が 10.3 ポイント増加し、「ラジオやテレビ」が 5.0 ポイント減少となっています。

クロス集計分析

情報収集元はデジタル化が進んでいますが世代間格差が極めて明確です。20～30 代は「SNS」の利用率が約 6 割と高く、「ネット」と共に主要な情報源です。しかし、60 代以上ではデジタル媒体の利用率が急降下し、「広報紙」への依存度が急増(70 代で 55%超)します。また、一部の人は広報紙やチラシも併用し幅広く情報を集める傾向があります。



問９　東松山市の生涯学習に関してどのような情報が必要だと思いますか。
（あてはまるものすべてに○）

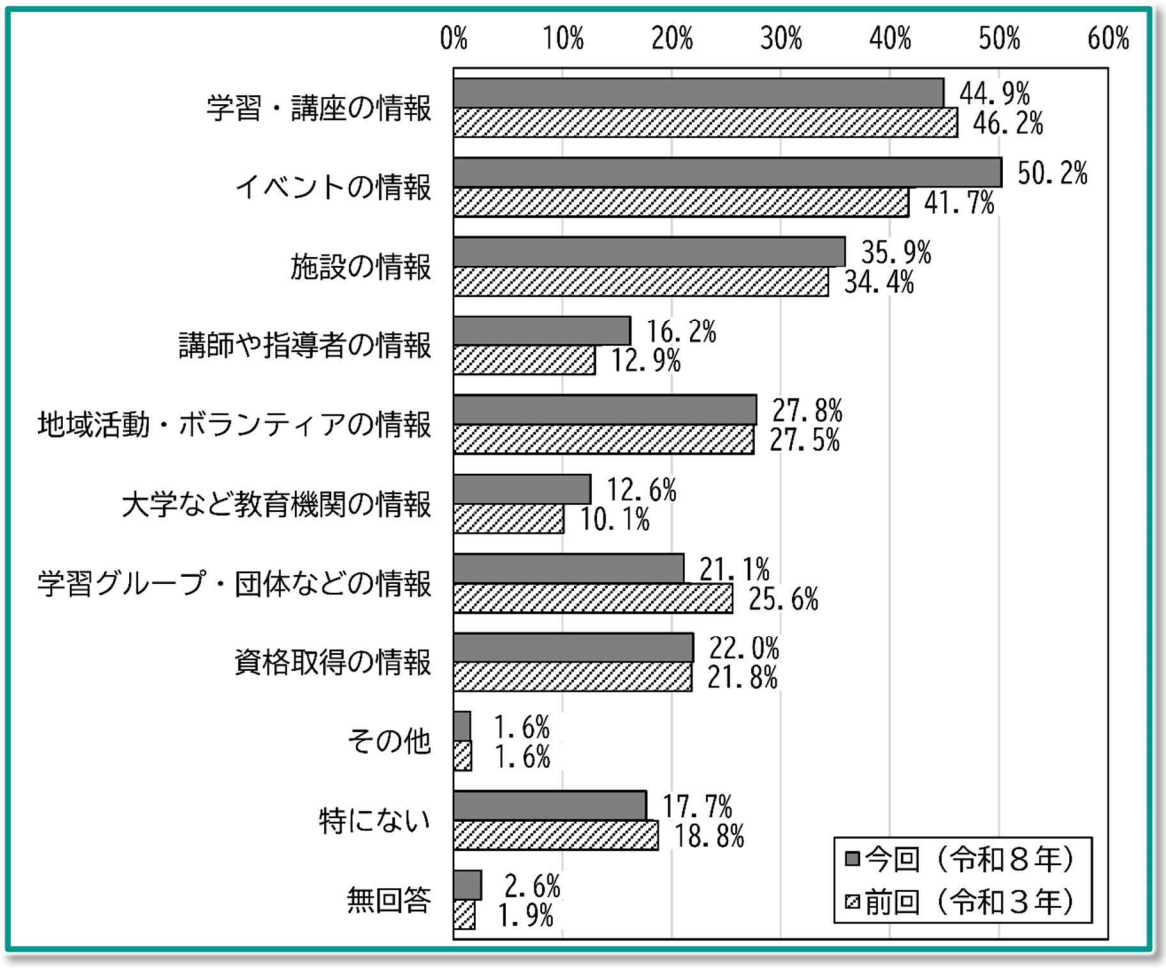
結果

東松山市の生涯学習に関して必要な情報については、「イベントの情報」が 50.2%と最も多く、次いで、「学習・講座の情報」が 44.9%、「施設の情報」が 35.9%となっています。

前回と比較すると、「イベントの情報」が 8.5 ポイント増加となっています。

クロス集計分析

求める情報は「イベント」「学習・講座」が全体的に高いですが、属性ごとに需要が異なります。特に 30～40 代の女性を中心に「イベントの情報」を求める声が約 6 割と高く、子育て世代のニーズが反映されています。一方、20～40 代の現役世代では「資格取得の情報」への需要も高く、年代やライフステージによって行政に求める生涯学習情報が多様化していることがわかります。



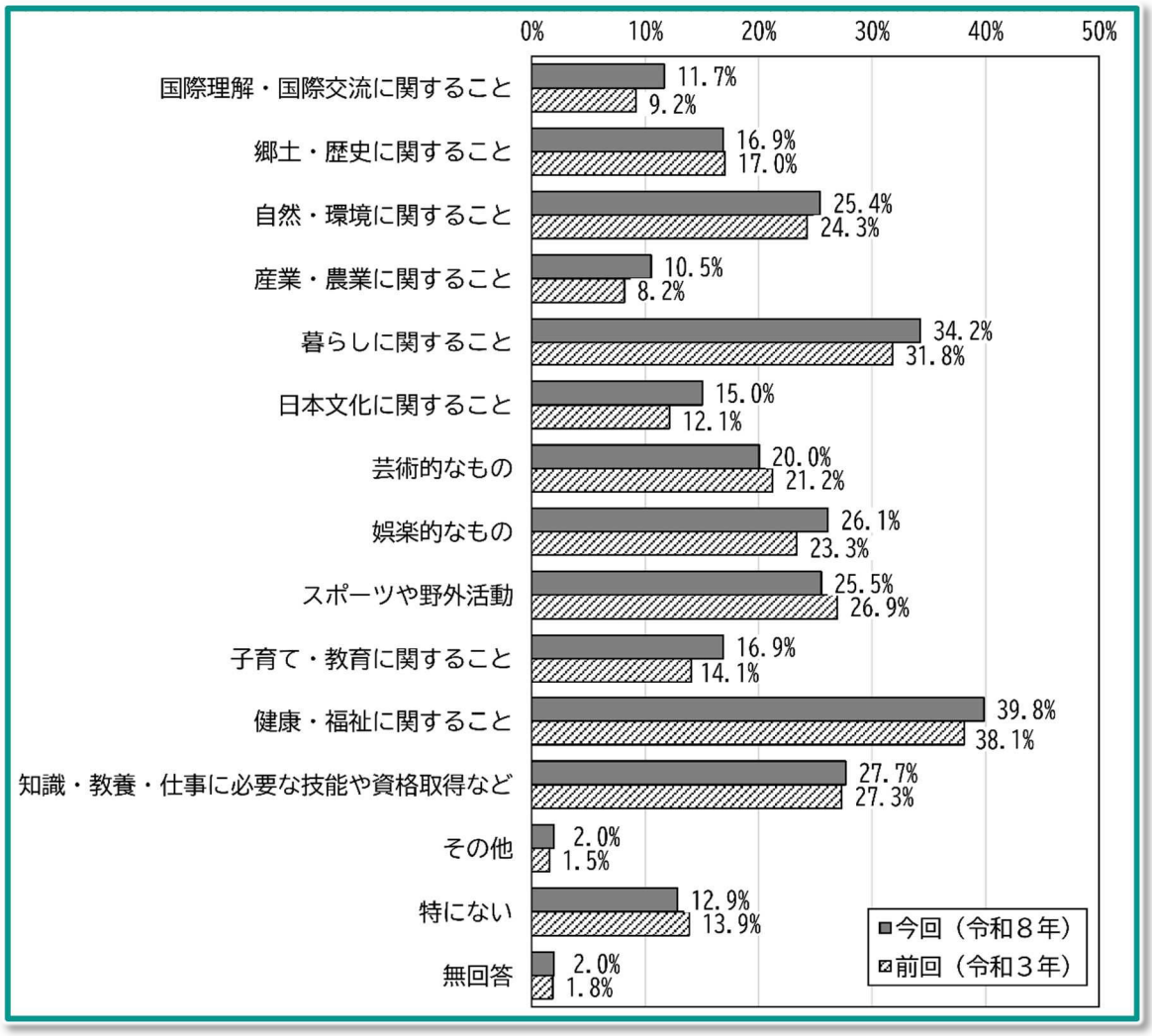
問 10　あなたは、今後どのようなことについて、生涯学習活動を行いたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

結果

今後行いたい生涯学習活動については、「健康・福祉に関すること」が 39.8%と最も多く、次いで、「暮らしに関すること」が 34.2%、「知識・教養・仕事に必要な技能や資格取得など」が 27.7%となっています。

クロス集計分析

今後行いたい活動はライフステージの課題を色濃く反映しています。60 代以上のシニア層は「健康・福祉に関すること」への意欲が圧倒的に高く、健康寿命延伸への関心の高さが明白です。対照的に 20～40 代は「知識・教養・資格取得」が高く、30～40 代では「子育て・教育」への関心も顕著です。



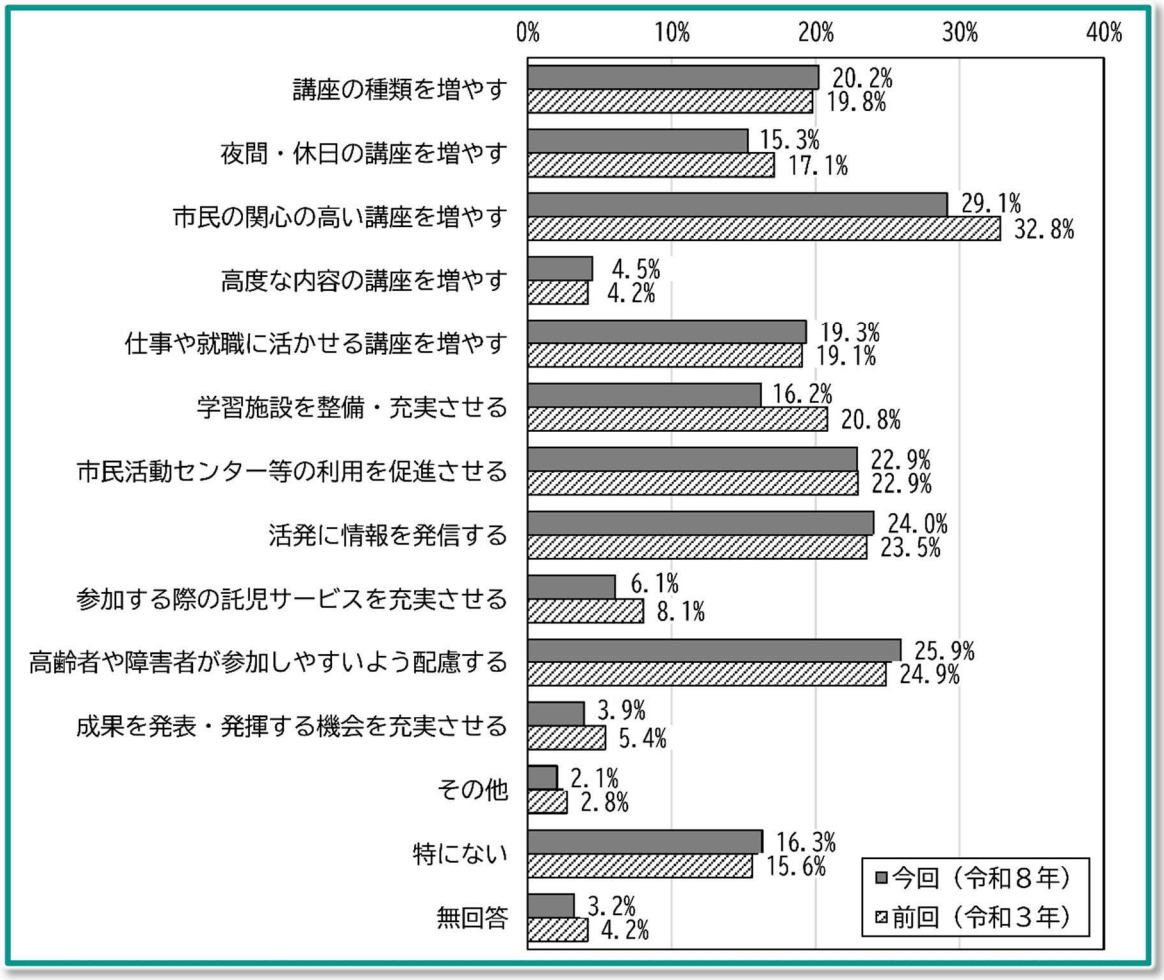
問１１　あなたは生涯学習活動の機会を充実させるために、東松山市に特に力を入れてほしいことは何ですか。（あてはまる番号に３つまで○）

結果

生涯学習活動の機会を充実させるために、東松山市に特に力を入れてほしいことについては、「市民の関心の高い講座を増やす」が 29.1%と最も多く、次いで、「高齢者や障害者が参加しやすいよう配慮する」が 25.9%、「活発に情報を発信する」が 24.0%となっています。

クロス集計分析

回答者の属性により要望の傾向が明確に異なります。若年層（10・20 代）や学生は「仕事や就職に活かせる講座」の割合が突出して高く、会社員では「夜間・休日の講座を増やす」を求める声が目立ちます。一方、60 代以上は年齢が上がるにつれて「高齢者や障害者が参加しやすいよう配慮する」が高まり、80 代以上では半数を超えます。



（３）第２次計画の検証

① 第２次東松山市社会教育推進計画の展開（概要）【黄色枠=指標値あり】

1　家庭・地域の教育力の向上

（1）学校・家庭・地域が一体となった教育の推進	①ＰＴＡ活動の活性化の推進	②放課後子ども教室事業の推進	③家庭・地域・関係機関との連携	④日本三大児童文学「天の園」活動の拡充
	⑤子供の健全育成団体への支援	⑥梶田隆章先生関連事業の継続	⑦土曜日寺子屋の充実	
（2）家庭教育支援体制の充実	①地域子育て支援拠点の活用促進	②「親の学習」の推進	③ふれあいハイキングの充実	④子育て支援団体への支援の充実

2　生涯学習の推進

（1）社会教育の充実と自主的な学習の推進	①生涯学習推進のための整備・充実	②生涯学習機会充実のための小・中学校の施設等の有効活用	③生涯学習のためのきらめき出前講座の充実	④きらめき市民大学の充実
	⑤人権教育の推進	⑥市民活動センターとの連携		
（2）図書館の充実	①図書館機能の充実	②資料や講座等の充実	③子供の読書活動や調べ学習支援の拡充	④子育て世代支援事業の推進

3　生涯スポーツの推進

（1）ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	①スポーツ教室やスポーツ講演会の開催	②スポーツ少年団の活動支援	③地域スポーツイベントの開催支援	④健康体操の普及支援
（2）ウォーキングの推進と日本スリーデーマーチの充実	①ウォーキングセンターの機能強化	②ウォーキングリーダーの養成と活用	③地域や学校、企業、団体との協力によるウォーキングのまちづくりの推進	④国内最大の国際ウォーキング大会「日本スリーデーマーチ」の充実
（3）スポーツを楽しむ環境づくりの推進	①スポーツ指導者の育成と活用	②スポーツ団体の活動支援	③スポーツ情報の発信強化	

4　文化・芸術の振興

（1）文化・芸術活動の促進	①「ひがしまつやま芸術祭」の拡充	②「小・中学校芸術鑑賞事業」の推進	③「東松山市文化祭」への支援	④市民文化センター事業の充実
	⑤高坂彫刻プロムナードの整備			
（2）文化・芸術団体との協働と活動支援	①文化団体協議会との協働	②サークル活動への支援	③国際交流協会との連携	

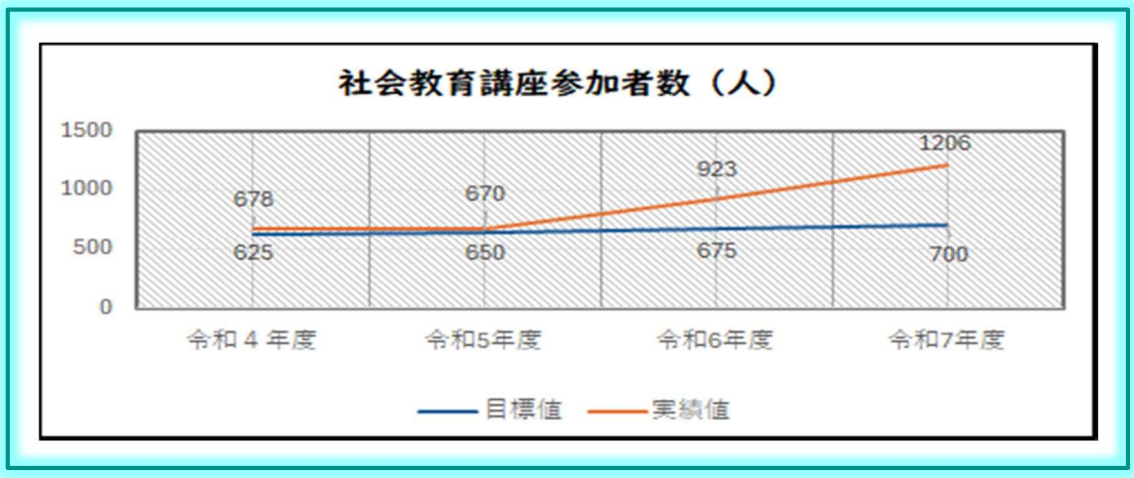
5　歴史文化の保存・活用

（1）文化財の保全と活用	①指定文化財の保護・保存に対する支援体制の充実	②文化財の公開による親しむ機会の拡充
（2）地域の歴史や文化の啓発	①伝統文化継承の支援	②体験教室や特別展示会等の開催による啓発機会の創出

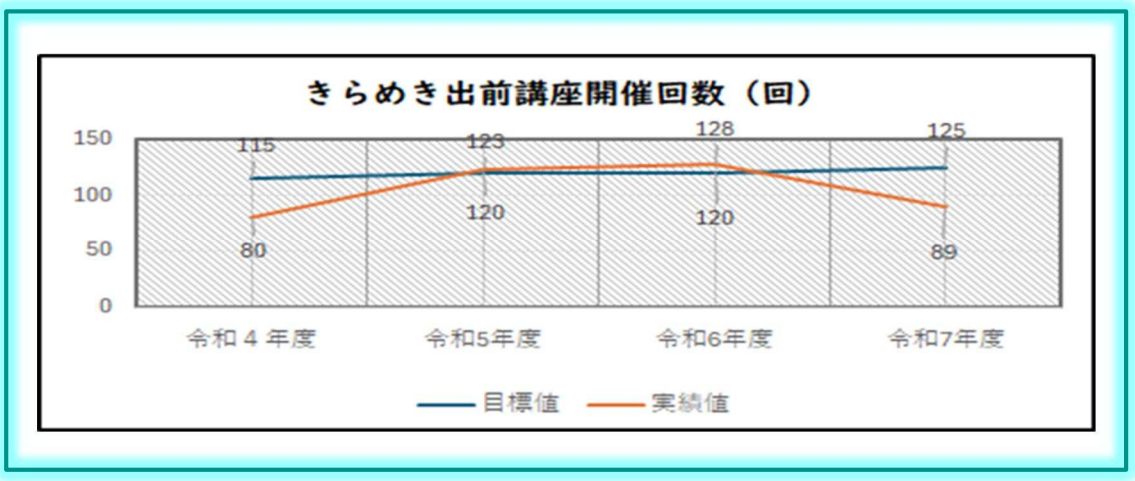
② 指標値の検証　（次頁以降の表参照）

第２次東松山市社会教育推進計画において設定した各指標について、令和４年度から令和７年度までの目標値と実績値を比較し、各年度の達成状況を検証しました。

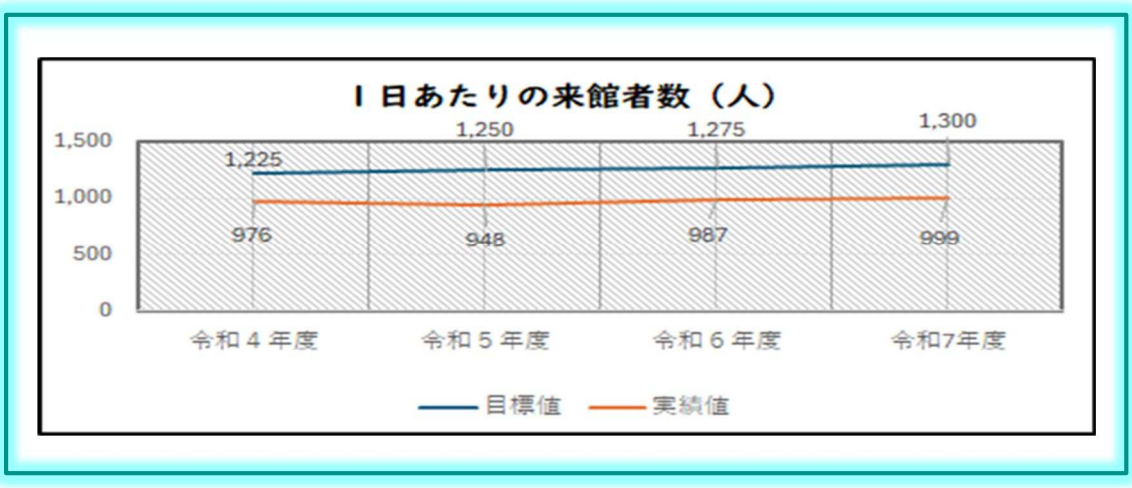
「社会教育講座参加者数」は、令和４年度 678 人（達成率 108.5%）、令和５年度 670 人（103.1%）、令和６年度 923 人（136.7%）、令和７年度 1,206 人（172.3%）となり、全ての年度で目標値を上回りました。特に令和６年度以降、大きく実績が伸びており、市民の学習ニーズに応じた講座の提供が一定の成果につながったと考えられます。



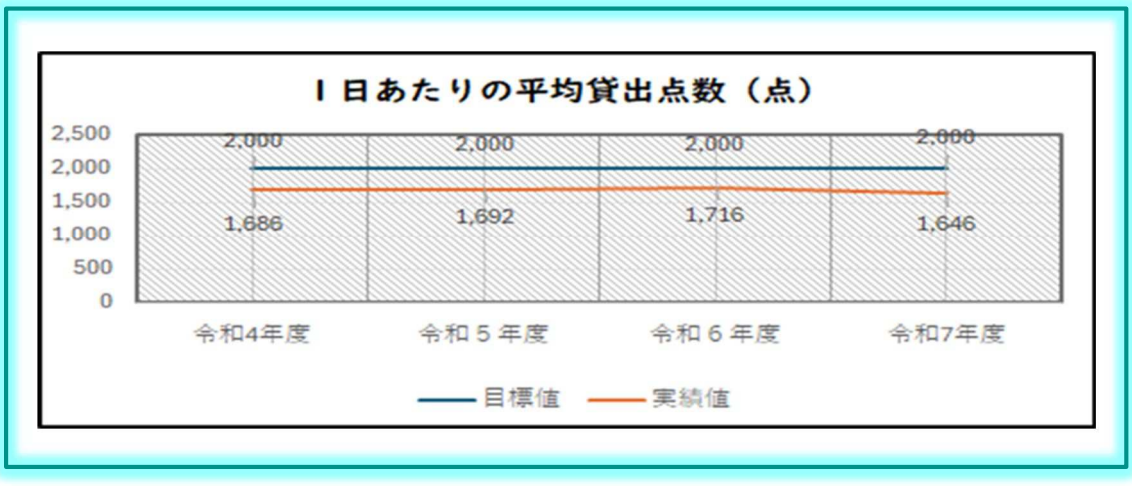
一方、「きらめき出前講座開催回数」は、令和４年度 80 回（69.6%）、令和５年度 120 回（97.6%）、令和６年度 120 回（93.8%）、令和７年度 89 回（71.2%）であり、目標値を下回る年度が多く、安定した開催に向けた取組が必要と考えます。



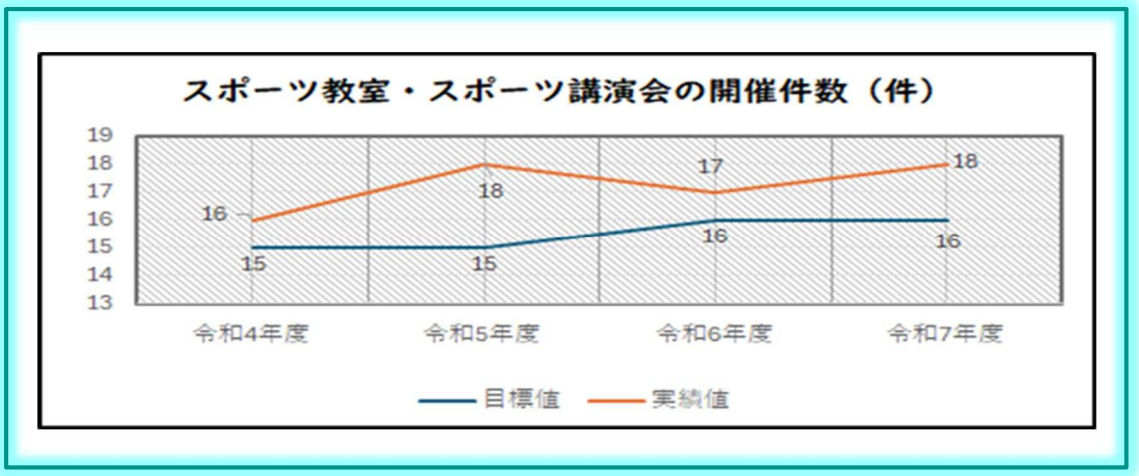
図書館における「1日あたりの来館者数」は、令和4年度976人（79.7%）、令和5年度948人（75.8%）、令和6年度987人（77.4%）、令和7年度999人（76.8%）と、各年度とも80%前後で推移しています。



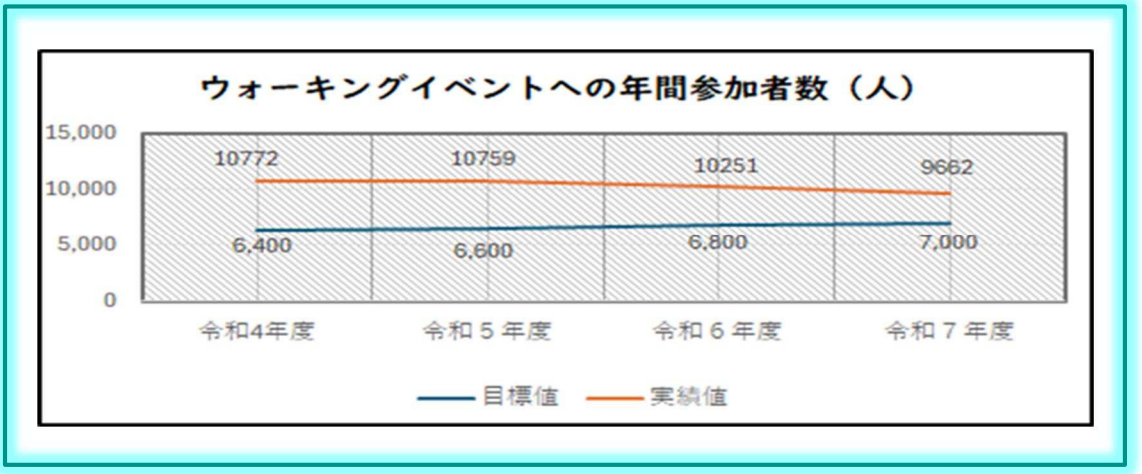
「1日あたりの平均貸出点数」も84.3%、84.6%、85.8%、82.3%と推移しており、図書館利用については一定の利用実績を確保しているものの、目標達成には至りませんでした。



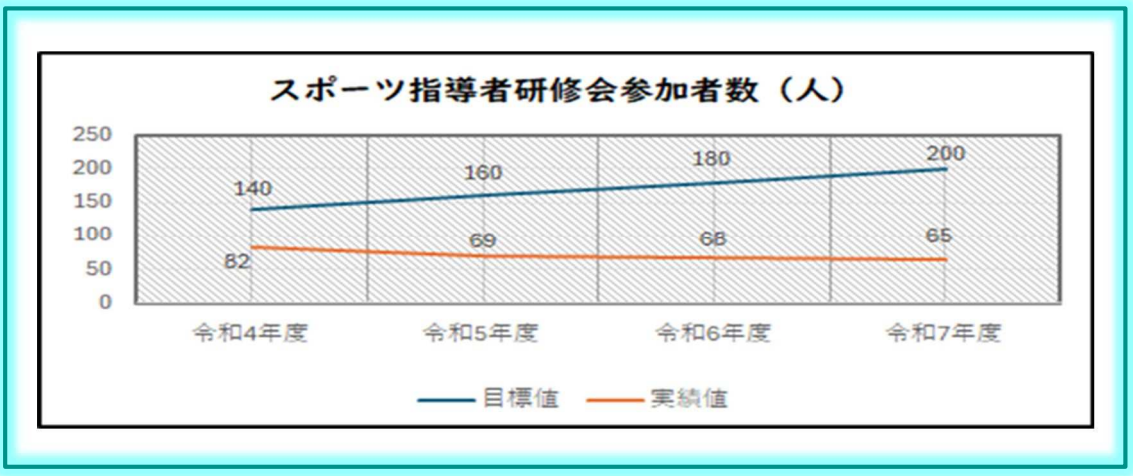
生涯スポーツでは、「スポーツ教室・スポーツ講演会開催件数」が106.7%、120.0%、106.2%、112.5%と全年度で目標を上回りました。



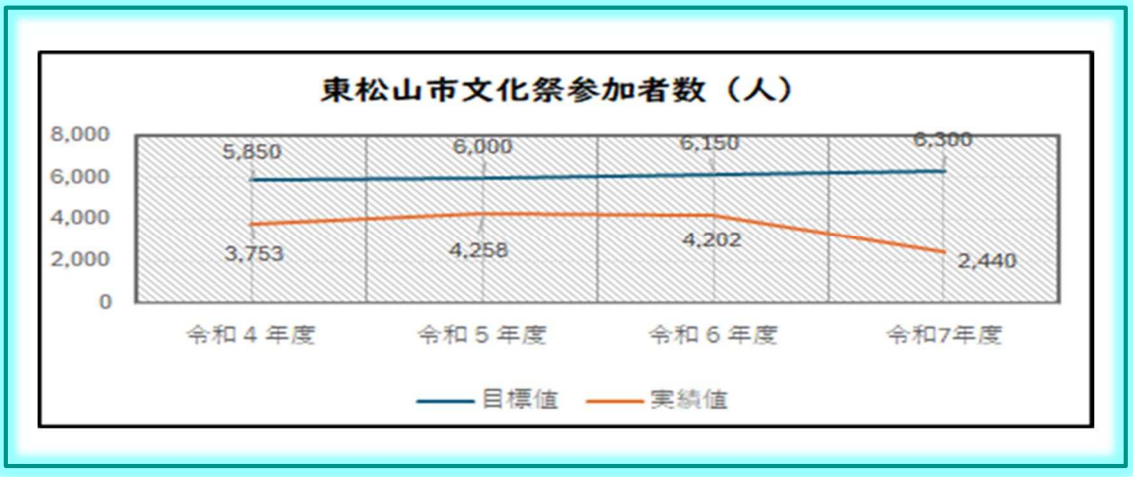
また、「ウォーキングイベント年間参加者数」は168.3%、163.0%、150.8%、138.0%と、全ての年度で目標値を大きく上回っており、健康づくりや運動への市民の関心の高さがうかがえます。



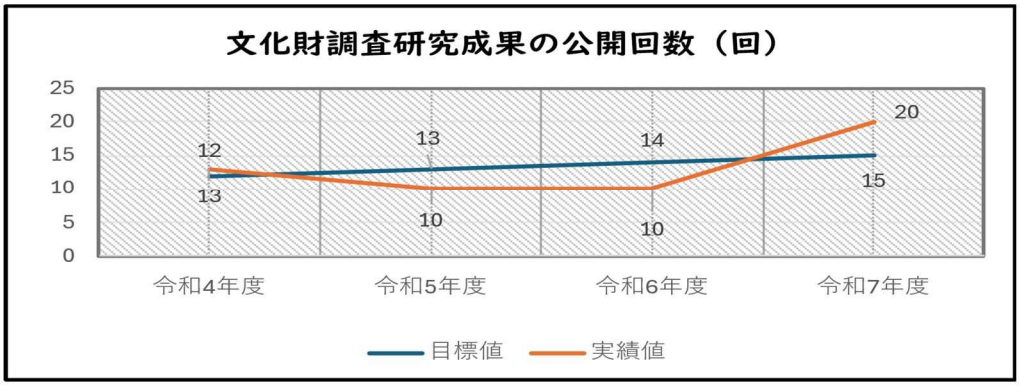
一方、「スポーツ指導者研修会参加者数」は 58.6%、43.1%、37.8%、32.5%と年々達成率が低下しており、指導者の育成・確保が課題となっています。



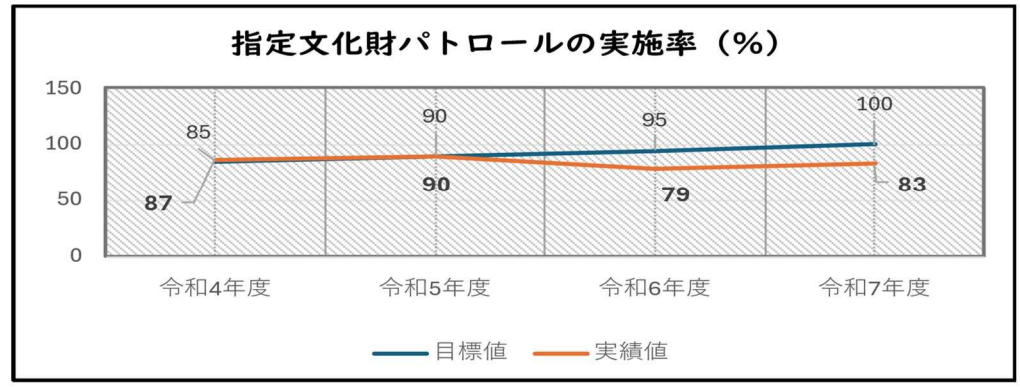
文化・歴史分野では、「東松山市文化祭参加者数」が 64.2%、71.0%、68.3%、38.7%と目標を下回り、特に令和７年度に大きく減少しました。



「文化財調査研究成果の公開回数」は 108.3%、76.9%、71.4%、133.3%と、令和 4、7 年度には目標を達成しました。



「指定文化財パトロール実施率」は 97.7%、100.0%、120.3%、120.5%とおおむね目標を達成しました。「教育委員会による後援事業の件数」は 98.6%、74.3%、81.7%、68.8%と、目標未達の状況が続いています。



以上の結果から、11 指標のうち、全年度で目標を上回った指標が２項目ある一方、年度による変動が大きい指標や、達成率が低下傾向にある指標も見られました。今後は、達成率だけでなく、その背景にある市民ニーズや社会状況、事業の実施方法等を分析し、成果の高かった取組を他の事業にも生かすとともに、目標未達の指標については、より実効性の高い事業改善につなげていく必要があると考えます。

（４）課　題

指標値の検証から、社会教育講座やスポーツ教室、ウォーキングイベントなど、市民の参加が成果として表れている取組がある一方、図書館利用、スポーツ指導者研修、文化祭、文化財保護、後援事業など、目標値との乖離が見られる取組も明らかとなりました。特に、同一指標であっても年度によって達成率に大きな差が生じているものがあり、単年度の実績だけではなく、計画期間を通した推移を捉え、成果や課題の要因を分析することが重要です。

また、社会教育を取り巻く環境は、少子高齢化、人口構造の変化、働き方やライフスタイルの多様化、デジタル化の進展などにより大きく変化しています。従来型の「事業を実施して参加者を募る」という取組だけでは、特に働く世代や子育て世代などの参加につながりにくいことが考えられます。そのため、開催時間や場所、オンラインの活用など、参加者の生活実態に合わせた柔軟な学習機会の提供が求められます。

さらに、目標値を達成した事業については、参加者数を増加させた要因や効果的な周知方法を検証し、他の事業にも応用する必要があります。一方、達成率が低い事業については、目標値そのものの妥当性を検証するとともに、事業内容、対象者、周知方法、参加方法等を見直し、市民にとって「参加したい」「学びたい」と思える事業への転換を図ることが重要です。

今後は、各分野が個別に事業を実施するだけでなく、家庭、地域、学校、関係団体、行政等が連携し、学びを地域活動や人づくりにつなげる視点を一層重視する必要があります。指標についても、単なる事業量の評価にとどまらず、市民の学習行動や地域活動への参加、学習成果の活用など、社会教育の成果をより適切に捉えられる指標の設定について検討していく必要があります。

なお、今後の課題として以下のような内容が見いだされました。

１　家庭・地域の教育力の向上の課題

（１）　家庭や地域を取り巻く環境が変化する中、子育て世代や働く世代が地域活動や学習活動に参加しやすい環境づくりが求められます。

（２）　家庭教育に関する学習機会の充実とともに、学校、地域、関係団体等が連携し、地域全体で子どもの成長を支える取組を進める必要があります。

（３）　ICT を活用した情報発信や相談機会の充実も重要です。

２　生涯学習の推進の課題

（１）社会教育講座参加者数は目標値を上回る一方、きらめき出前講座や図書館利用については、目標達成に向けた取組む必要があります。

（２）今後は、市民の多様な学習ニーズを的確に把握し、開催時間や場所、オンライン等の参加方法を工夫するとともに、年代やライフステージに応じた情報発信を進め、より多くの市民が学習活動に参加できる環境を整える必要があります。

３　生涯スポーツの推進の課題

（１）　スポーツ教室・講演会及びウォーキングイベントは高い達成率を示しており、これまでの取組みを継続・発展させる必要があります。

（２）　スポーツ指導者研修会参加者数は達成率が年々低下していることから、指導者の確保・育成が課題。研修内容や開催方法を見直し、参加しやすい環境を整えるとともに、地域スポーツを支える人材の裾野を広げる必要があります。

４　文化・芸術の振興の課題

（１）　文化祭参加者数は目標値を大きく下回り、特に令和７年度は達成率が 38.7%まで低下しています。文化芸術活動への市民参加を促進するため、従来の参加者層に加え、若い世代や子育て世代など新たな層を取り込む工夫が必要となります。

（２）　SNS 等を活用した情報発信や参加しやすい企画の充実、文化団体等との連携強化を進める必要があります。

５　歴史文化の保存・活用の課題

（１）　文化財調査研究成果の公開回数は令和７年度に目標を達成した一方、指定文化財パトロール実施率は 71.0%にとどまっています。今後は、文化財を適切に保存するための継続的な管理体制を確保するとともに、調査・研究の成果を市民に分かりやすく発信し、地域の歴史や文化を身近に感じられる機会を増やすことが重要となります。

（２）　保存と活用を一体的に進め、次世代への継承につなげる必要があります。

なお、前述の令和８年７月に、本市の社会教育分野に関する現状を把握するための市民意識調査（アンケート調査：無作為２，０００名抽出）の結果から、以下のような課題の傾向が見受けられました。

１　生涯学習分野の現状について

直近１年間の生涯学習活動は「特に行っていない」が約４割を占めています。行わない理由は、10～50 代では仕事や家事・育児による時間不足が主であり、60 代以上ではきっかけ不足ややりたいことがわからない点があげられています。学習方法は 20～60 代で「情報端末やネット」が主流ですが、70 代以上ではサークル活動等の集まりが多くなっています。今後は、時間や場所を選ばず学べるオンライン環境の整備に加え、各年代や職種のニーズに合わせた適切な情報提供と、多様な生涯学習活動への支援が求められています。

２　生涯学習分野の満足度について

生涯学習活動の満足度については、88.8%の人が「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答しており、自身が行った生涯学習活動の満足度が高いことが考えられます。一方、満足度が低い人の理由では、「身近なところに活動する場所が少ない」が 20.0%と最も多く、次いで「費用が高い」が 16.0%となっています。

３　生涯学習分野に関する情報発信について

生涯学習の情報収集先は「インターネット」が 51.3%と最多ですが、収集媒体は年代別に異なっています。60 代以下はインターネット（40 代以下は SNS）、50～60 代は広報紙も上位に入り、70 代以上では「広報紙」が最も活用されています。東松山市で求められる情報は「イベント情報（50.2%）」や「学習・講座の情報」が中心です。年代や職種によって求める内容や収集手段が異なるため、情報内容や発信方法を適切に検討し、多くの市民が確実に情報を受け取り活用できる環境を整える必要があります。

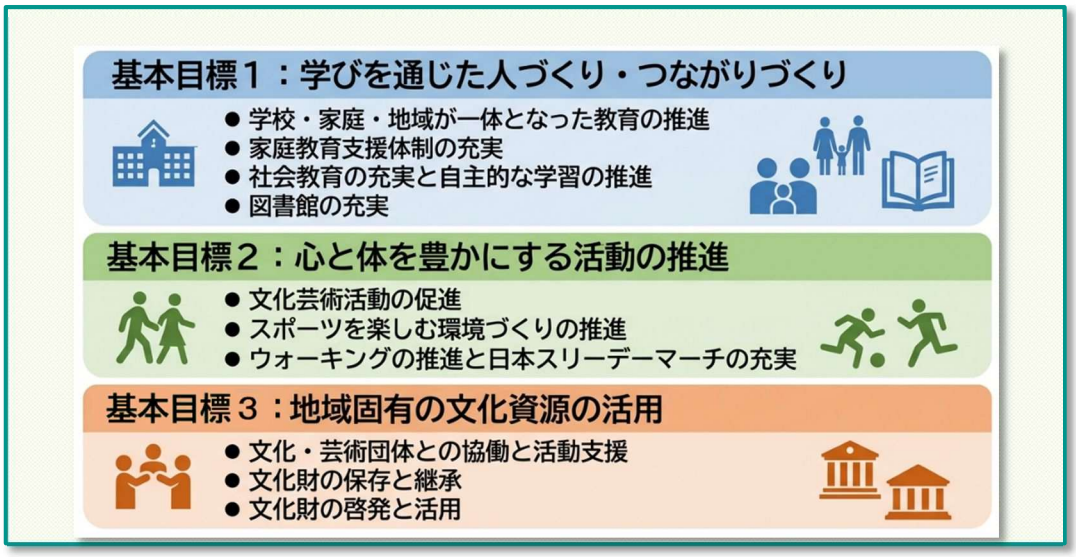
４　今後の生涯学習分野について

生涯学習活動で得た知識や技能を仕事や地域活動に活かしたい人は 68.5%に上り、高い活用意向が見られます。今後行いたい活動は全体で「健康・福祉（39.8%）」や「暮らし（34.2%）」が上位ですが、年代ごとに求める内容は異なっています。20 代以下は「資格取得や技能」、30 代は「子育て・教育」、60 代以上は「健康・福祉」が最多となり、40 代・50 代は個々のライフステージにより関心が分かれています。

市に特に力を入れてほしい点では「関心の高い講座の増加（29.1%）」や「高齢者・障害者への配慮（25.9%）」が多く挙げられています。一方で、40 代以下では「仕事や就職に活かせる講座」、会社員・公務員では「夜間・休日講座の充実（28.1%）」を求める声が目立っています。高い学習意欲に応えるため、世代や職業等のニーズに合わせた幅広い学習内容の整備と、誰もが参加しやすい環境づくりが求められています。

第２章　計画の展開　-基本目標の計画の展開-

第２次計画の検証及びアンケート調査結果の分析を踏まえ、以下の通り３つの基本目標を設定し、その下に各施策を位置づけました。第３次計画ではこれを基に計画を展開していきます。



基本目標１：学びを通じた人づくり・つながりづくり

（１）学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

学齢期における子どもの健やかな成長には、学校教育に加え、家庭や地域社会が教育の場として十分な機能を発揮することが不可欠です。学校・家庭・地域が連携し、社会教育を充実させることで、子どもの学びや生きる力を育むとともに、教育格差の解消や学習意欲の増進、見守り体制の強化、子育て支援など、幅広い教育機能の活性化が図られています。

本市では、大学や地域団体と連携した多様な学習・育成支援を展開しています。平成 26 年には大東文化大学の協力を得て「子ども大学ひがしまつやま」を開校し、高度で専門的な学びの機会を提供するとともに、地域で子どもを育てる仕組みづくりを推進しています。同大学からは小・中学校やスポーツ少年団、関係施設へ教職員や学生が派遣されるなど、積極的な地域連携事業が展開されており、教育委員会においても同事業を支援しています。あわせて、東松山市子ども会育成者連絡協議会では、育成者を対象とした研修会を実施し、時代や社会的背景、受講者のニーズに応じた学びの充実を図っています。これらの取組を通じて、学校・家庭・地域が一体となった教育環境の整備を進めています。

① 地域の教育力の活用

地域の自治会やボランティア団体等による登下校時の安全指導・見守り活動への支援を継続し、地域住民と学校の連携強化を進めます。

また、大東文化大学や企業、各種団体等の関係機関と連携して「子ども大学ひがしまつやま」を開催します。大学の講堂や企業等の施設を活用し、学校教育では学べない専門的な学習や実践的な体験活動を取り入れた講座を実施することで、子どもたちの知的好奇心を刺激し、主体的に学ぶ力や生きる力の向上を図ります。



子ども大学ひがしまつやま

さらに、本市の旧唐子村（現・唐子地区）を舞台とし、豊かな自然や伝統文化を今に伝える名作児童文学「天の園」（打木村治著）の研究・普及に取り組む市民団体と連携します。地域の教育的価値が高いこの作品の学びを通して、子どもたちの郷土への誇りと愛着を育み、健やかな育成へとつなげていきます。



天の園石碑

② 青少年健全育成事業の推進

地域の次代を担う青少年の健全育成を図るため、学校や家庭では得がたい多様な体験活動や交流の機会を提供します。具体的な取組として、思考力や礼儀作法を育む「子ども将棋大会」を開催するほか、自然体験やエコロジー活動を通し、自ら考え行動できる豊かな人間性と精神的な強さを育みます。さらに、東松山市子ども会育成者連絡協議会をはじめ、健全育成に取り組む団体など、子どもの健全育成を目的に活動する団体に対する支援を行うとともに、連携を進め、地域活動を牽引するリーダーの育成に努めます。集団行動の中で忍耐力や協調性を養うとともに、地域全体で青少年の健やかな成長を温かく見守る環境づくりを推進します。



子ども会育成者連絡協議会「埼玉県郷土かるた大会」



子ども将棋大会

③　梶田隆章博士関連事業の継続

平成２７年にノーベル物理学賞を受賞された、東松山市出身の梶田隆章先生の功績をまとめた「ノーベル物理学賞受賞 梶田隆章博士コーナー」は、梶田先生にかかわる展示物や小・中学校理科分野における優秀な研究作品等を定期的に更新して、リニューアルし、市民に親しみのある会場を提供しています。

また、市が創設した「ノーベル物理学賞受賞梶田隆章基金」事業の一環として、図書館やきらめき市民大学、各市民活動センターとの連携による梶田先生の研究に関連した内容の事業や講座等を開催し、子どもたち・市民の学習意欲の向上を図ります。



東松山市役所総合会館内
「ノーベル物理学賞受賞 梶田隆章博士コーナー



漫画でわかる
梶田隆章先生とニュートリノ

（２）家庭教育支援体制の充実

少子高齢化や家族構成の多様化により、子供たちを取り巻く環境や生活様式などが大きく変化している中で、家庭では、子育てについての情報の不足を感じたり、悩みや不安を抱えたりする状況が見られます。

家庭には、子供たちの基本的な生活習慣や倫理観などをしっかりと培う役割が求められており、家庭の教育力の向上が課題となっています。

このため、これから親になる世代や子育て中の親に対して、親としての力を高めるための、家庭教育に関する啓発活動を行っていく必要があります。

① 地域子育て支援拠点の活用促進

子育て支援センター「ソーレ」「マーレ」を中心とした市内５か所の地域子育て支援拠点において、親子の居場所確保や子育ての支援を行うため、交

流の場の提供、子育てに関する相談や援助、情報提供、講習などに取り組みます。

子育てに悩む保護者の不安等を緩和するため、家庭との取組事例や子育てを楽しむための工夫等を紹介する機会の充実に取り組みます。



子育て支援センター　ソーレ



子育て支援センター　マーレ



０歳児集まれ

② 子育てコンシェルジュによる切れ目のない支援の推進

妊娠・出産・保育・教育・子育て支援サービスの相談に広く対応する「子育てコンシェルジュ」を配置し、窓口や電話相談に加え、オンライン相談等を実施し、切れ目のないきめ細やかな支援を行います。



子育てコンシェルジュによる相談支援

指 標 名	子育てコンシェルジュによる相談件数				
説 明	妊娠･出産･保育など子育てに関する相談を受け対応した件数				
現況値	目標までの道標				目標値
令和 6 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
345 件	355 件	365 件	375 件	385 件	395 件

③ 要保護児童対策の充実

「こども家庭センター」を中心に、母子保健と児童福祉の連携強化を図り、切れ目のない相談や支援を行う総合相談窓口としての役割を果たします。また、児童虐待の恐れがあると通告を受けてから４８時間以内に職員が目視による児童の安全確保を行います。

東松山市要保護児童対策地域協議会において、関係機関との情報共有を図り、児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応に取り組みます。

④ 虐待予防事業の推進

子育てに悩む保護者などを対象に、体験型の「すくすく子育て練習講座」などを実施し、育児の負担軽減や児童虐待の予防に取り組みます。

家庭児童相談室を充実させ、子育てに対して不安をもつ親が、子供の発育や育児の悩み等を相談しやすい環境を整備します。

⑤ 子育ての目安「３つのめばえ」の活用促進

小学校入学までにこどもに身に付けてほしいことを、「生活」「他者との関係」「興味・関心」の３つの視点から整理した子育ての目安「３つのめばえ」について、その活用方法を幼児教育振興懇談会で検討し、子育て支援や幼児教育に関わる各事業に反映していきます。



子育ての目安「３つのめばえ」 埼玉県リーフレット

（３）社会教育の充実と自主的な学習の推進

多くの市民は、自己の個性や能力を伸ばし充実した人生を送るため、多様な学習の機会を求めています。

幅広い世代を対象にした社会教育講座や教室を開催していますが、現役世代の参加者が少ない現状があります。興味や関心の高い内容をもとにした講座等の開設により、市民の学習意欲に応じた学びの環境を整える必要があります。

① 生涯学習推進のための整備・充実

市の社会教育の方向性を明確化するために「第３次社会教育推進計画」を策定し、質の高い学習機会を提供します。

市民の多様なニーズに対応できる体制を整備し、ライフステージに応じた学習活動の充実に取り組みます。

② 社会教育講座の充実

参加者アンケートを踏まえ、各世代のライフステージに応じた講座の内容や時間など、参加しやすい講座を開催します。



実技の例「発声教室」



座学の例「自然観察の楽しみ方」

社 会 教 育 講 座 の 様 子

指 標 名	社会教育講座参加者数				
説 明	社会教育施設を利用した社会教育講座参加者数の合計				
現況値	目標までの道標				目標値
令和６年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
672人	775人	850人	900人	950人	1,000人

③ 生涯学習のための「きらめき出前講座」の充実

市民が、いつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、きらめき出前講座の内容の充実に取り組みます。

きらめき市民大学で学んだ学生を講師とした講座を数多く開催することにより、きらめき市民大学での学習成果を市民に還元し、出前講座と市民大学双方の事業効果を高めます。



きらめき出前講座一覧パンフレット

指標名	きらめき出前講座開催回数				
内　容	きらめき出前講座の開催回数の合計				
現況値	目標までの道標				目標値
令和７年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
122 回	137 回	139 回	141 回	143 回	145 回

④ きらめき市民大学の充実



きらめき市民大学は、義務教育を修了した様々な世代の市民の方を対象にした、3 学部 2 学年制の独立した施設を持つ市民大学です。講義は、大学教授や各分野の専門家を講師として招き、多彩で魅力あるカリキュラムを展開しています。そのほか、講義以外の時間には学生が主体となり、クラブ活動や学園祭、スポーツ大会などの活動を積極的に展開しており、卒業生の活発なクラブ活動も展開されています。

また、卒業の際には、学生が研究した内容を発表し合うとともに、卒業後には研究成果を生かし、学ぶ側から指導する側に立場を変えることで、学びの循環やボランティア活動を継続できるよう支援していきます。入学をきっかけに様々な社会活動への参加促進が可能になります。2 年間の学生生活を通して、心身の健康増進と地域の仲間づくり、生きがいづくりを支援するために、社会変化に対応したカリキュラムと学校運営を行います。



きらめき市民大学





大学の講義

⑤ 人権教育の推進

市民生活における人権上の課題は、同和問題、女性、こども、高齢者、障害のある人、外国人等、多岐にわたります。また、インターネットによる人権侵害、感染症、性的少数者（LGBTQ 等）、犯罪被害者やその家族、災害時における人権等、今日的な人権課題も生じています。

これらの課題を解決するためには、学校、家庭、地域の相互連携を一層深め、多様性を尊重しながら、お互いに支え合うことのできる環境の充実が必要です。

東松山市人権施策の基本理念である「すべての市民がお互いの人権を尊重しながら共に生きる社会を実現する」を踏まえ、多様化・複雑化する人権課題に対応するため、市民一人一人が人権問題への正しい理解を深め、人権を尊重する意識と行動につながる人権教育を推進します。

専門家や学校、地域住民等との連携を図るとともに、集会所事業など、幅広い生涯学習の機会を通じて、人権について学び、考えることのできる教育を推進します。



新舞踊教室



集会所事業 成人教室

生花教室

（４）図書館の充実

市立図書館及び高坂図書館では、図書・雑誌、視聴覚資料など、年間延約５０万点の貸出しを行っています。地域の情報拠点として、これまで培ってきた実績を生かし、責任ある資料収集や提供を継続しながら、レファレンス（資料探しの手伝い）や講座などの充実に取り組み、本の魅力や読書の必要性を伝えるのみならず、広く市民の学びの場となる事業を展開します。



東松山市立図書館



図書館見学



高村光太郎コーナー



高坂図書館

① 図書館機能の整備

生涯にわたる学習の場、図書館の役割を踏まえ、市民のニーズに的確に応え、多くの市民が来館しやすい魅力ある事業を展開します。

窓口等に専門性を備えた司書を配置し、読書案内やレファレンスサービスに対応した図書館利用者における学びの意欲促進を図ります。また、データベースサービスなどインターネットによる情報環境を整備し、市民が必要な情報を効率的に活用できるよう支援します。



たなばた飾りの会

② 資料や講座等の充実

幅広い市民のニーズを捉えた資料を収集するとともに、生活の中の身近な課題解決につながる資料や東松山市の行政資料・地域資料についても積極的に収集します。

また、図書館資料を軸とした市民の自主的な学習を行う場として、講座や講演会等を実施し、充実した取組をします。

さらに、利用者へのサービスの充実とさらなる読書推進を図るため、非来館型の電子図書館サービスの利用を促進します



歴史教室

指 標 名	図書館主催行事への参加者数				
説 明	図書館主催により開催されたおはなし会や各種講座等へ参加した延べ人数				
現況値	目標までの道標				目標値
令和 6 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度
3,191 人	3,200 人	3,240 人	3,280 人	3,320 人	3,360 人

③ レファレンスサービスの充実

データベースの利用等、機能性に富んだツールを活用し、レファレンスサービスの充実に取り組みます。

インターネット等による情報環境を継続して整備し、市民が必要な情報を効率的に活用できるよう支援します。

④ 子供の読書活動や調べ学習支援の拡充

家庭・地域・学校が一体となり、地域の実情を踏まえた「第２次東松山市子ども読書活動推進計画」に基づき、子供たちの読書活動が一層活発になるよう取り組みます。

図書館を使いながら情報を活用する力を身に付けられるよう、調べ学習の支援をします。

読書離れが進みがちな中・高校生向けの図書の選定・収集を行い、ティーンズコーナーの充実に取り組むとともに、中高生向けのイベントを開催していきます。



ビブリオバトル（書評合戦）

⑤ 子育て世代支援事業の充実

子育て中でも気兼ねなく、快適に図書館を利用できるよう、乳幼児向け絵本や育児に関する図書や雑誌を集めた「子育て支援コーナー」の充実に取り組みます。

子育て中の保護者の図書館利用の促進を図るため、図書館利用者向けの託児サービスを継続します。



図書館利用者向けの託児サービス

基本目標２：心と体を豊かにする活動の推進

（１）文化・芸術活動の促進

文化や芸術は、人々に安らぎや生きる喜びをもたらし、人生を豊かなものにします。また、文化芸術活動の普及は、社会全体を活性化させ、魅力ある社会を作り上げる力にもなります。多様化する社会問題の中にあって、心の豊かさを求めて文化・芸術活動への参加に関心を示す傾向が強くなっています。

令和３年３月には東松山市文化芸術推進条例を制定し、文化芸術施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和４年３月には文化芸術推進基本計画（第１次）を策定しました。令和９年３月には第１次計画の基本理念を引き継ぎつつ、文化芸術が市民の皆様にとってより身近なものとなるよう、第２次文化芸術推進基本計画を策定しました。

市では第２次計画に基づき、市内で文化芸術活動をする市民団体や事業者との連携を深め、市民の自主性や創造性を尊重し、文化・芸術活動に関する情報発信と発表機会の提供を行います。

① 鑑賞及び活動機会の充実

すべての市民が身近な場所で日常的に文化芸術に触れることができれば、本市の文化芸術の裾野が広がります。年齢、性別、障害の有無、経済的な状況等にかかわらず、誰もが気軽に文化芸術を鑑賞し、また自身の活動に繋げるためのきっかけとすることができる機会を提供します。

② 文化芸術情報の収集と提供

文化施設等における公演・展示会・講座等のイベント情報、市内で活動する文化芸術団体や文化芸術に関する支援の情報などは、市民が文化芸術活動を行ううえで重要です。様々な伝達手段が発達し、インターネット、特にＳＮＳを活用した情報収集が多くなっていますが、広報紙のような媒体も重要な手段として活用されています。情報の入手方法は人により様々であることから、多様な伝達手段を活用し、効果的に情報を届けます。

指標名	市が実施する文化芸術事業への参加者数				
内　容	生涯学習課が企画開催する文化芸術事業への参加者数				
現況値 令和７年度	目標までの道標				目標値 令和 13 年度
	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	
1，508人	1，700人	1，800人	1，900人	2，000人	2，000人

（２）ウォーキングの推進と日本スリーデーマーチの充実

市民一人一人が健康で心豊かに暮らすことができる「健康長寿のまち」を目指し、市民スポーツとしてウォーキングを推進します。

ウォーキングのまち東松山を象徴する「日本スリーデーマーチ」は、世界各国から参加者が集う国際ウォーキング大会で、参加者がそれぞれの体力にあわせて距離やコースを選択できることから、子どもからお年寄りまで無理なく参加できるイベントとして定着しています。今後も日本スリーデーマーチが毎年参加したくなる大会であり続けるために、関係団体や協力機関、ボランティアとして参加している方々と連携し、大会の充実を図ります。

① ウォーキングセンターの機能強化

毎月行っているウォーキングセンターの各種ウォーキングイベントの情報を市のホームページや広報紙で積極的なＰＲ活動をし、ウォーキングの魅力を伝えます。月例市民ウォーキングを実施している各市民活動センターと連携し、それぞれの事業参加者の増加に取り組むとともに、若い世代や親子での参加を促します。



ウォーキングセンター

指　標　名	ウォーキング事業への年間参加者数				
説　明	ウォーキングセンター主催のウォーキング事業や、市内７か所の市民活動センターが実施する月例市民ウォーキング等への参加者の延べ人数				
現況値 令和６年度	目標までの道標				目標値 令和 12 年度
	令和８年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度	
10,251 人	10,300 人	10,350 人	10,400 人	10,450 人	10,500 人

③ 歩いて育む「歩育」の推進

「歩く」ことは人間の基本動作であり、幼児期にこそしっかり身に付けることが必要で、運動能力や社会性の獲得によい影響を及ぼし、健全な心身を育むための有効な手段と言われています。保育部門との連携により「歩育」事業を推進します。



歩いて育む「歩育」

④ ウォーキングコースの整備・充実

ウォーキングコース「ふるさと自然のみち」に設置された道標等の点検を行い、ウォーキングが楽しめる環境を整えます。

また、関係機関と連携し、コースマップの充実に取り組みます。

⑤　国内最大の国際ウォーキング大会「日本スリーデーマーチ」の充実



「ふるさと自然のみち」コース略図

日本スリーデーマーチは参加者やボランティアの高齢化、運営経費の増加に対応しながら、「市民が主体となるイベント」をコンセプトに掲げ、より地域に密着した魅力的な大会運営を推進します。



日本スリーデーマーチ中央会場　出発の様子



中学生ボランティアによるお出迎え



鞍掛橋を渡るウォーカーたち





ウォーカーとの
出会いとふれあい
「日本スリーデーマーチ」





（３）スポーツを楽しむ環境づくりの推進

市民が生涯にわたりスポーツを楽しむためには、市民がスポーツ活動を主体的に行える環境づくりが重要です。

スポーツの持つ役割はライフステージによって異なるため、幼年期から高齢期までそれぞれの段階に応じたスポーツ活動を推進する必要があります。年齢や体力、障害の有無を問わず、生涯を通じて誰もが親しめるスポーツ活動の充実に取り組みます。

既存のスポーツ施設や学校体育施設については、施設を有効活用するとともに、施設の機能維持や環境整備に取り組むことで市民のスポーツ活動を支援します。

これらの取り組みを通じて、すべての市民がライフステージに応じて継続的にスポーツ活動を楽しむことができる環境を整備し、スポーツへの興味・関心を高めるための魅力ある取り組みを進めます。

① スポーツ教室等への参加者定員に対する参加者の割合

スポーツ推進委員や地域の大学などと連携し、ライフステージに応じたスポーツ教室やスポーツ・レクリエーションの楽しさを感じてもらうためのイベント、健康づくりのための事業の拡充を図ります。

また、スポーツに関心をもつ子どもを増やすため、体を動かすことの楽しさを感じてもらうための子ども向けスポーツ教室を開催します。

指　標　名	スポーツ教室やスポーツイベントへの参加者定員に対する割合				
説　明	スポーツ課が主管し、スポーツ推進委員や地域の大学などの協力により開催したスポーツ教室やイベントへの参加者定員に対する割合				
現況値 令和 6 年度	目標までの道標				目標値 令和 12 年度
	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	
69.9%	71.0%	72.0%	73.0%	74.0%	75.0%

② スポーツ団体の活動支援

市民の主体的なスポーツ活動が活発に行われるように、東松山市スポーツ協会、東松山市レクリエーション協会、東松山市スポーツ少年団などのスポーツ団体に対し、必要な支援を行います。

③　学校体育施設開放事業の推進

市民の体力づくり、健康の増進を目的として、学校教育に支障のない範囲で市立小・中学校の体育施設を開放します。地域住民を対象にスポーツ活動への参加を促進します。

④　子育て世代への運動機会の提供

多様なライフワークバランスにより、スポーツから遠ざかっている子育て世代に向けて、子どもと一緒に楽しみながら参加できる教室を開催し、運動習慣づくりにつなげます。





スポーツ発見教室





親子スポーツ教室

⑤ スポーツ施設設備の維持管理

全ての市民が安全・安心に利用できる施設であるために、必要な修繕や機能維持に取り組みます。



東松山陸上競技場

⑥ スポーツ情報の発信強化

市が行うスポーツイベントなどに関する情報を広報紙やホームページ、メール配信サービスのほか SNS などを活用し、積極的に発信します。
スポーツ施設情報等、市民が必要としている情報をホームページに分かりやすく掲載します。



東松山市体育施設ホームページ　【https://sports.pac.or.jp/】







基本目標３：地域固有の文化資源の活用

（１）文化・芸術団体との協働と活動支援

市内には、様々な団体が自主的・主体的に文化芸術活動を展開しており、多くの市民が自己表現の手段として、文化・芸術活動に取り組んでいます。

また、多くの芸術家が市内で創作活動に取り組んでおり、東松山市の文化芸術を支えています。このような活動が将来に渡り継続されるよう、文化芸術活動に取り組む団体や市内若手芸術家への支援を行います。

また、次代を担う子どもたちに対し、一流の芸術を鑑賞する機会を提供し、文化芸術に対する意欲や創造力を高めるとともに豊かな感性を育むための取組みを行います。

① 文化芸術の次代を担う人材の育成と活用

東松山市文化団体協議会活動の支援により、市民の協議会への新規加入や文化・芸術活動への参加拡大を推進し、事業の充実を図っていきます。

また、東松山市文化団体協議会発行の「文協だより」により、会の活動内容を広く市民に周知し、文化・芸術活動団体の発展と拡充を支援します。

② 文化芸術を活用した地域づくりの推進

高坂彫刻プロムナードや箭弓稲荷神社をはじめとする文化芸術資源、地域の歴史や風土の中で育まれてきた伝統文化や食文化などは、郷土愛を醸成し、まちに活力を与えるものです。これらを活用し、活気ある地域づくりにつなげます。



高坂彫刻プロムナード

高坂駅西口から続く歩道約 1km にわたって並ぶ
彫刻家・高田博厚の作品 32 体

③ 観光・産業・子育て・福祉などの関連分野との連携

文化芸術は、観光・産業・子育て・福祉などの分野と連携することで、その魅力を広め、様々な分野に波及していくことが期待されています。これまで文化芸術に触れる機会のなかった方にも文化芸術に親しむきっかけを提供するとともに、従来からの事業や活動に文化芸術の視点を加えることで、新たな発見や展開が期待されます。

指標名	市立小学校アウトリーチ事業効果				
内　容	アウトリーチを実施した市立小学校におけるアンケート調査で、音楽や楽器などに「とても興味がわいた」「興味がわいた」と回答した児童の割合				
現況値 令和7年度	目標までの道標				目標値 令和13年度
	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
91．7%	94%	96%	98%	100%	100%

（２）文化財の保存と継承

東松山市には、国指定史跡「大谷瓦窯跡」、県指定史跡「将軍塚古墳」・「青鳥城跡」などの史跡や、県指定無形民俗文化財「金谷の餅つき踊り」などの民俗文化財、市指定文化財「三角縁陳氏作四神二獣鏡」や「雷電山古墳出土埴輪」などの有形文化財等、貴重な文化財が数多く所在します。東松山市の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産である文化財を保存し、未来の東松山市に継承していくことが必要です。

①　文化財の調査・研究の実施

文化財の正確な情報を得るための調査・研究を実施します。文化財保存のために必要な調査・研究を実施します。



埋蔵文化財発掘調査

②　文化財の保存・管理の充実

指定文化財の現状把握に努め、適正な保存管理を行います。指定史跡の下草刈りなど、適切な管理に取り組みます。



カタクリの群生地

③　文化財の継承への支援

指定文化財を後世に伝えるため、文化財の所有者・管理者に適切な助言・助成を行います。伝統文化の継承に不可欠な後継者の育成活動を支援します。東松山市民俗芸能保存連絡協議会との連携を深め、協議会の活動を支援します。



東松山市民俗芸能祭

指標名	指定文化財パトロールの実施率				
内　容	指定文化財の現状把握のために行う文化財パトロールを実施した割合				
現況値	目標までの道標				目標値
令和７年度	令和９年度	令和 10 年度	令和 11 年度	令和 12 年度	令和 13 年度
83%	85%	90%	95%	100%	100%

（３）文化財の啓発と活用

これまで、三角縁神獣鏡や将軍塚古墳など注目度の高い事物に関しては、専門的な知見に基づく解析に取り組んできました。文化財への理解と関心を深めるために、このような取組を続けていくことが重要であり、同時に若い世代には文化財を身近に感じる機会を増やすことが必要です。市民一人一人の文化財保護意識の更なる高揚を図り、市民と協働で文化財を守る体制を確立するために、市民のニーズに合わせた多角的な情報発信が必要です。

① 文化財の情報発信の強化

多くの市民が目にするホームページや広報紙を使って文化財の情報を発信します。指定文化財の解説板や標柱を設置し、文化財の情報提供に取り組みます。



解説板設置

② 文化財に親しむ機会の創出

調査研究成果を活用した展示や講座、現地見学会等を通し、文化財を身近に感じる機会の創出に取り組みます。歴史への理解を深めるため、出土文化財等の活用を継続します。



比企歴史の丘巡回文化財展

③ 学校教育や社会教育の事業との連携

指標名	文化財啓発事業への参加者数				
内　容	文化財の理解を深める講座等の参加者数				
現況値	目標までの道標				目標値
令和7年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
946人	1,080人	1,120人	1,160人	1,200人	1,240人

第３章　計画の策定体制

１　社会教育委員や関係組織及び関係団体

（１）社会教育委員の役割

東松山市社会教育推進計画を策定するにあたり、社会教育委員には、社会教育法第１７条の規定により、４回にわたる策定会議において助言をいただきました。

今後も、「人と地域がつながり、豊かな自然がはぐくむ“学びのまち”東松山」の実現のため、社会教育委員に助言を求めていきます。

（参考）社会教育法

第１７条　社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

（１）社会教育に関する諸計画を立案すること。

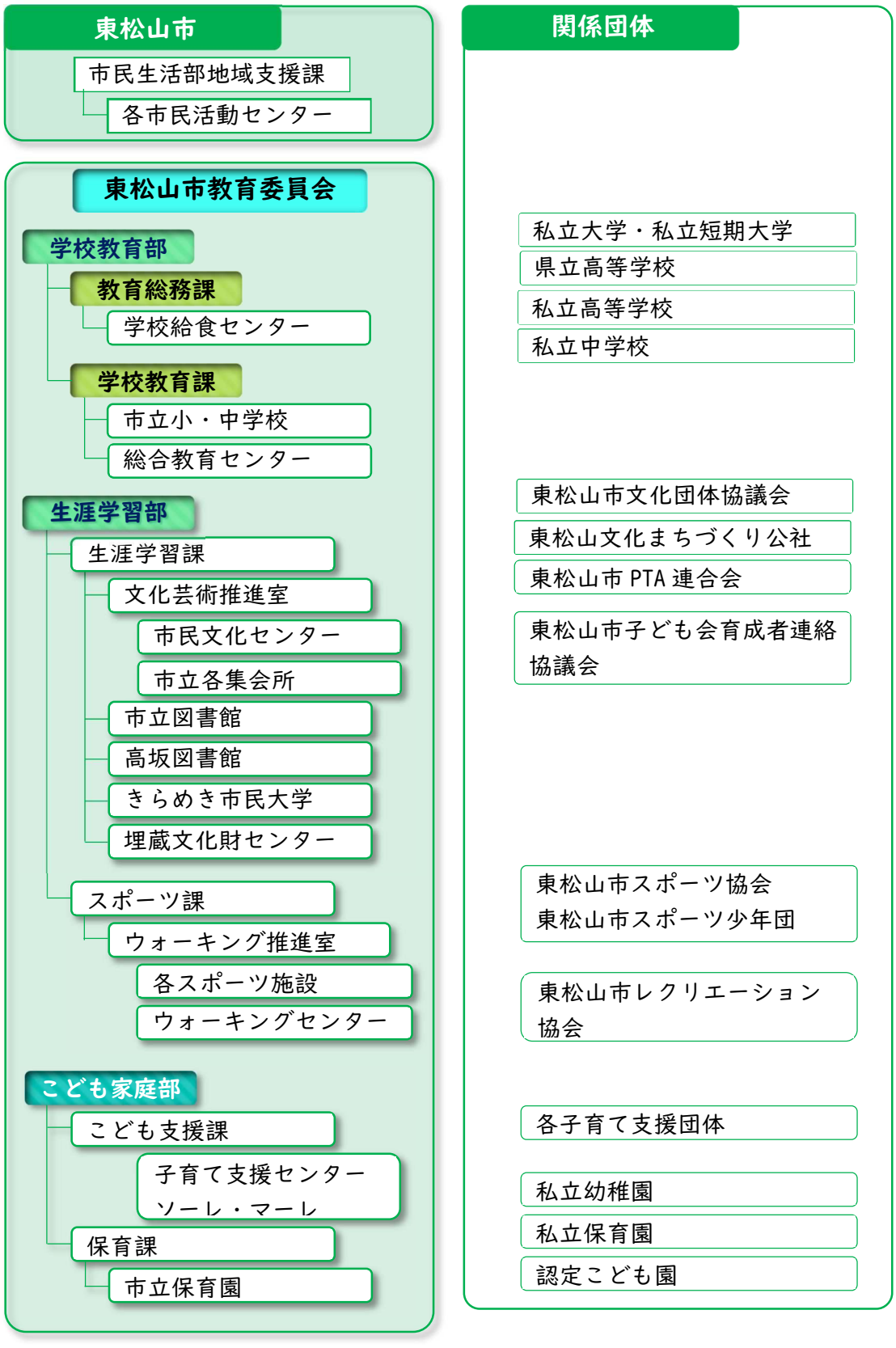
（２）定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること。

（３）前二号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。

２　社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることができる。

３　市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

（２）社会教育に関わる東松山市組織及び関係団体



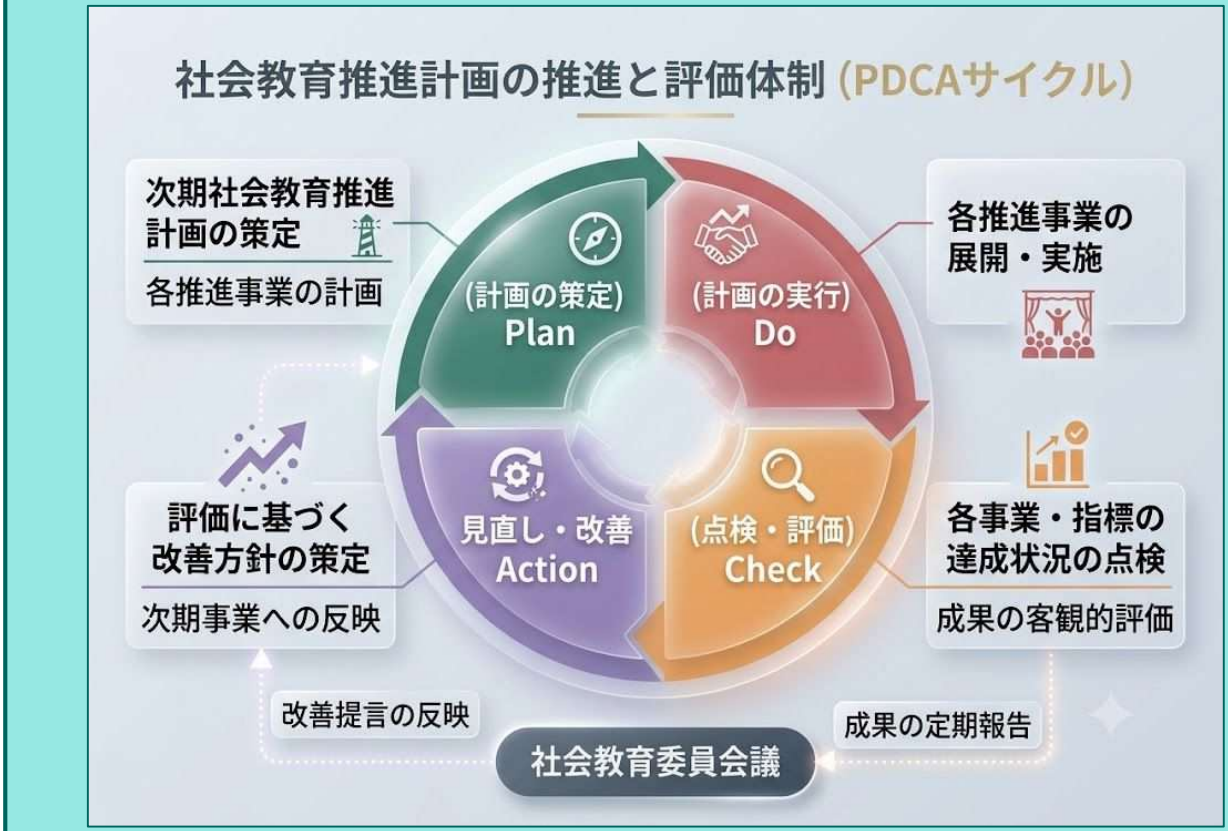
（３）策定経過

年　月　日	内　　容
令和３年３月 22 日（月）	令和２年度第２回社会教育委員会 第２次社会教育推進計画策定に向けた計画（案）について
令和３年３月 23 日（火） ～5 月 24 日（月）	第２次社会教育推進計画策定に向けた計画（案）作成
令和３年５月 25 日（火）	第１回社会教育委員会議定例会 第２次東松山市社会教育推進計画（案）について①
令和３年５月 26 日（水） ～6 月 25 日（金）	第２次社会教育推進計画市民アンケート調査内容検討
令和３年７月 １日（木） ～7 月 15 日（木）	第２次社会教育推進計画市民アンケート調査期間
令和３年８月 25 日（水） ～9 月９日（木）	第２次社会教育推進計画市民アンケート調査結果分析
令和３年９月 10 日（金） ～9 月 24 日（金）	第２次東松山市社会教育推進計画（素案） 原稿検討・編集①
令和３年 10 月４日（月）	第１回社会教育委員会議 臨時会 第２次東松山市社会教育推進計画（案）について②
令和３年 10 月５日（火） ～11 月９日（火）	第２次東松山市社会教育推進計画（素案） 原稿検討・編集②
令和３年 11 月 18 日（木）	第２回社会教育委員会議 臨時会 第２次東松山市社会教育推進計画（案）について③
令和３年 11 月 22 日（月）	教育委員会会議
令和３年 12 月 22（水）	パブリックコメント募集 開始
令和４年１月 11 日（火）	パブリックコメント募集 終了 寄せられた意見はなし
令和４年２月８日（火）	第２回社会教育委員会議定例会
令和４年２月 14 日（月）	教育委員会会議

（４）推進と評価体制（PDCA）

本計画に位置付けた各事業をより効果的かつ計画的に推進するため、「計画の策定（Plan）」「実行（Do）」「点検・評価（Check）」「見直し・改善（Action）」からなるPDCAサイクルを継続的に運用し、事業の検証と改善を図ります。

また、施策の柱ごとに設定した指標の達成に向けて、計画の進捗や成果を定期的に「社会教育委員会議」へ報告します。同会議からの専門的な助言や提言を反映させることで、客観的かつ適切な点検・評価を行い、次期事業への柔軟な見直し・改善へとつなげていきます。



（５）社会教育委員名簿（令和８年５月委嘱）

氏　名	選出区分	備　考
金　子　恒　雄	学識経験のある者	比企地区連合社会教育委員会理事
篠　崎　つや子	家庭教育の向上に資する活動を行う者	埼玉県家庭教育アドバイザー
池　永　和　美	学校教育及び社会教育の関係者	私立幼稚園協会会長
梶　野　義　明	学校教育及び社会教育の関係者	小・中学校校長会
神　戸　考　裕	社会教育の関係者	元ＰＴＡ会長
鈴　木　　明	社会教育の関係者	東松山市ゴルフ連盟理事長
野　口　紀　子	社会教育の関係者	元鳩山町社会教育指導員 退職校長
梅　澤　行　子	学識経験のある者	東松山市スポーツ推進委員
大　塚　　実	学識経験のある者	東松山市吹奏楽連盟代表 東松山市文化芸術推進審議会委員
髙　橋　明　美	学識経験のある者	元保育園長・茶華道連盟
中　嶋　　栄	学識経験のある者	宗教法人正法寺代表

委 員 長：金 子 恒 雄　　（計画策定時現在）

副委員長：篠 崎 つや子

（６）東松山市教育委員会

教　育　長	吉澤　　勲
教育長職務代理	稲垣　孝章
委　　員	利根川　澄子
委　　員	寺田　浩之
委　　員	類瀬　　直

（計画策定時現在）

（７）東松山市教育委員会事務局

生涯学習部		部　　長	田 嶋 靖 洋
		次　　長	田 島 信 子
	生涯学習課	課　　長	菊 池　 仁
		副　　課　　長	高 坂 靖 子
		主幹兼主任社会教育主事	岡 部 成 志
		文化芸術推進室長	熊 澤 篤 司
		図書館長	荻 野　 裕
		きらめき市民大学事務局長	千代田 章男
		埋蔵文化財センター所長	左 納　 徹
	スポーツ課	課　　長	大 木 克 彦
		ウォーキング推進室長	大 塚 貴 夫
こども家庭部		部　　長	杉 山 正 剛
		次　　長	加 藤 勝 子
	こども支援課	課　　長	大 石 和 夫
	保育課	課　　長	福 島 智 之
学校教育部		部　　長	高 荷 和 良
		次　　長	澤 田 一 彦
	教育総務課	課　　長	上 野 和 久
		学校給食センター所長	竹 間 信 行
	学校教育課	学校教育課長	内 田 恵 子
		総合教育センター事務長	田 原 祐 己 子

（計画策定時現在）

２　パブリックコメントの実施

パブリックコメント募集開始　令和８年１２月２２日（水）

パブリックコメント募集終了　令和９年　１月１１日（火）

３　資　　料

団体　調査結果

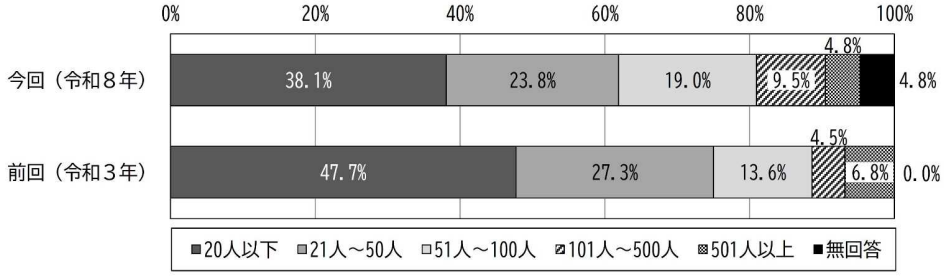
【ご協力いただいた団体一覧】

■東松山市将棋連盟	■東松山新柳会
■東松山茶華道連盟	■東松山市民劇場
■紅陽社	■東松山市民コーラス
■東松山吹奏楽連盟	■東松山市民ギタークラブ
■東松山市民謡民舞連盟	■東松山市社交ダンスクラブ
■東松山市邦楽三曲会	■東松山アマチュア無線クラブ
■陶芸クラブ東松山	■比企現代写真研究会
■二胡ユニット「優美」（ヨーメイ）	■むさし松山写真クラブ
■東松山美術協会第Ｉ部「絵画」	■東松山美術協会第２部「書・刻字」
■東松山美術協会第３部「写真」	■東松山美術協会第４部「工芸・彫刻」
■ガールスカウト埼玉県第２団	■ボーイスカウト東松山第Ｉ団
■東松山市ＰＴＡ連合会	■野田獅子舞保存会
■東平ひきずり餅保存会	■松葉町祭りばやし保存会
■箭弓町祭りばやし保存会	■金谷餅つき踊り保存会
■上野本獅子舞保存会	■下唐子獅子舞保存会
■神戸獅子舞保存会	■正代祭りばやし保存会
■武蔵流東松山太鼓	■地域活動支援センターあすみーる
■東松山市野球連盟	■東松山市ソフトテニス連盟
■東松山市サッカー協会	■野本ミニバススポーツ少年団
■東松山市歩こう会	■ソフトバレーボール連盟

貴団体のおおよその人数についてご記入ください。

貴団体の人数については、「20 人以下」が 38.1%と最も多く、次いで、「21 人～50 人」が 23.8%、「51 人～100 人」が 19.0%となっています。

前回と比較すると、「51 人～100 人」が 5.4 ポイント、「101 人～500 人」が 5.0 ポイント増加し、「20 人以下」が 9.6 ポイント減少となっています。

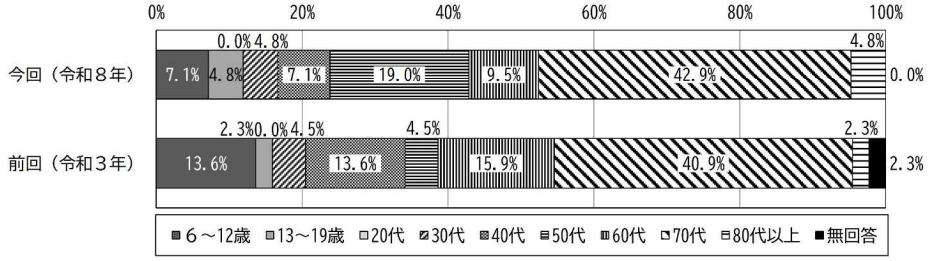


項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
20人以下	16	38.1%	21	47.7%
21人～50人	10	23.8%	12	27.3%
51人～100人	8	19.0%	6	13.6%
101人～500人	4	9.5%	2	4.5%
501人以上	2	4.8%	3	6.8%
無回答	2	4.8%	0	0.0%
回答者数	42	100.0%	44	100.0%

貴団体の活動の中心となる年齢層について教えてください。（あてはまる番号１つに○）

団体の活動の中心年齢層は、「70 代」が 42.9%と最も多く、次いで、「50 代」が 19.0%、「60 代」が 9.5%となっています。

前回と比較すると、「50 代」が 14.5 ポイント増加し、「６～12 歳」「40 代」がともに 6.5 ポイント、「60 代」が 6.4 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
６～12歳	3	7.1%	6	13.6%
13～19歳	2	4.8%	1	2.3%
20代	0	0.0%	0	0.0%
30代	2	4.8%	2	4.5%
40代	3	7.1%	6	13.6%
50代	8	19.0%	2	4.5%
60代	4	9.5%	7	15.9%
70代	18	42.9%	18	40.9%
80代以上	2	4.8%	1	2.3%
無回答	0	0.0%	1	2.3%
合計	42	100.0%	44	100.0%

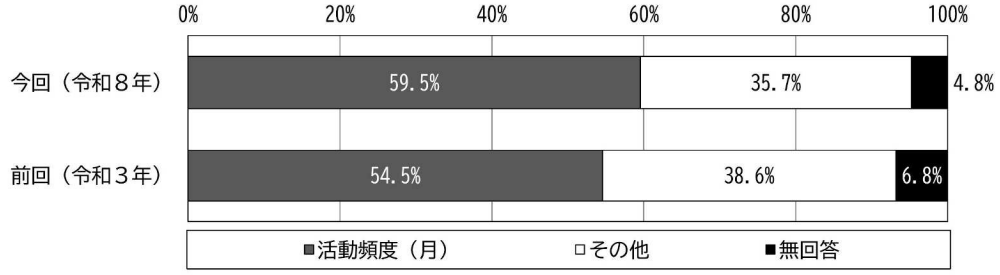
貴団体の活動頻度についてご記入ください。

団体の活動頻度については、「活動頻度（月）」が 59.5%に対し、「その他」が 35.7%となっています。

前回と比較すると、「活動頻度（月）」が 5.0 ポイント増加となっています。

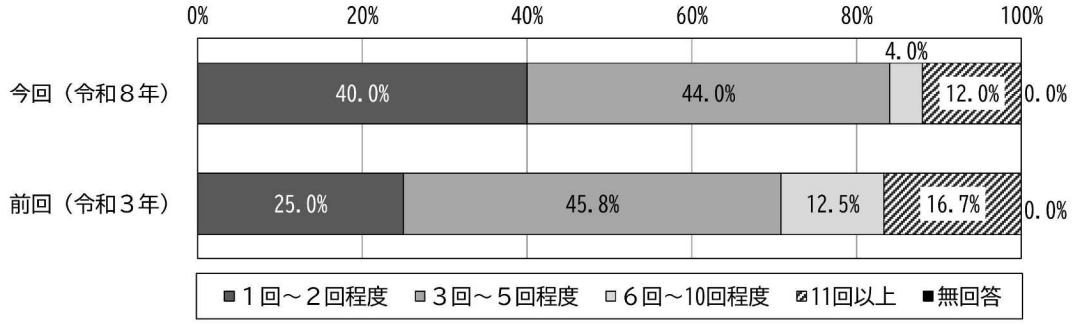
また、月の活動については、「３回～５回程度」が 44.0%と最も多く、次いで、「１回～２回程度」が 40.0%、「11 回以上」が 12.0%となっています。

前回と比較すると、「１回～２回程度」が 15.0 ポイント増加し、「６回～10 回程度」が 8.5 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
活動頻度（月）	25	59.5%	24	54.5%
その他	15	35.7%	17	38.6%
無回答	2	4.8%	3	6.8%
合計	42	100.0%	44	100.0%

【活動頻度（月）】



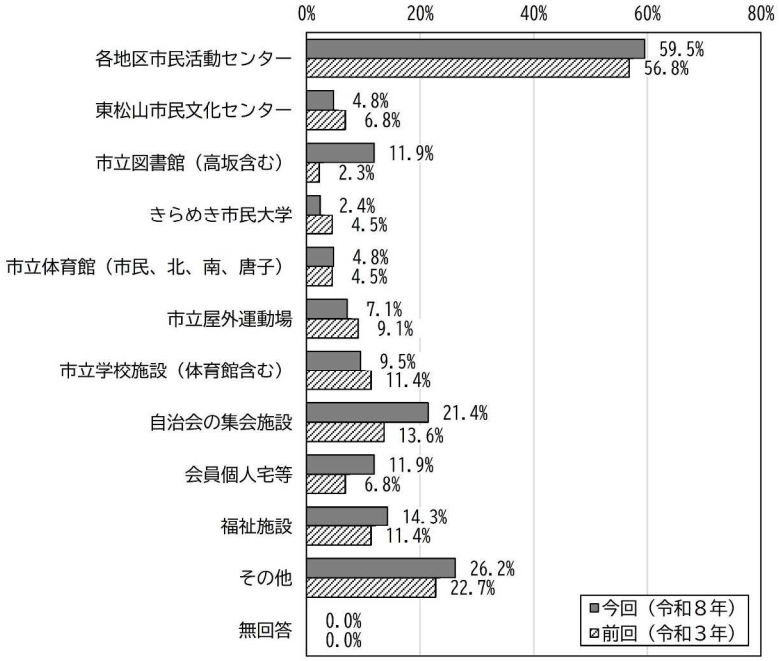
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
１回～２回程度	10	40.0%	6	25.0%
３回～５回程度	11	44.0%	11	45.8%
６回～10回程度	1	4.0%	3	12.5%
11回以上	3	12.0%	4	16.7%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	25	100.0%	24	100.0%
非該当	17		20	
合計	42		44	

貴団体の活動場所について教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

団体の活動場所については、「各地区市民活動センター」が 59.5%と最も多く、次いで、「自治会の集会施設」が 21.4%となっています。

また、「その他」が 26.2%となっています。

前回と比較すると、「市立図書館（高坂含む）」が 9.6 ポイント、「自治会の集会施設」が 7.8 ポイント、「会員個人宅等」が 5.1 ポイント増加となっています。

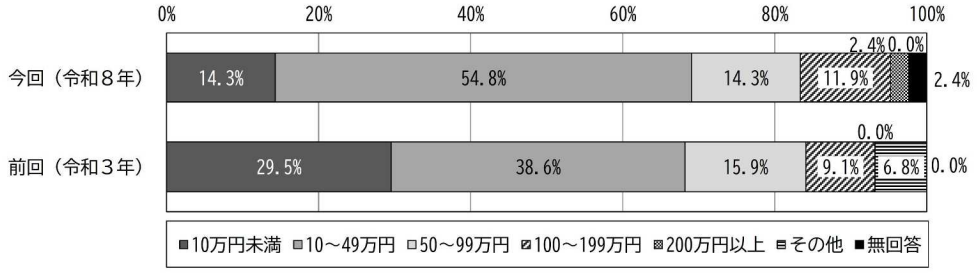


項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
各地区市民活動センター	25	59.5%	25	56.8%
東松山市民文化センター	2	4.8%	3	6.8%
市立図書館（高坂含む）	5	11.9%	1	2.3%
きらめき市民大学	1	2.4%	2	4.5%
市立体育館（市民、北、南、唐子）	2	4.8%	2	4.5%
市立屋外運動場	3	7.1%	4	9.1%
市立学校施設（体育館含む）	4	9.5%	5	11.4%
自治会の集会施設	9	21.4%	6	13.6%
会員個人宅等	5	11.9%	3	6.8%
福祉施設	6	14.3%	5	11.4%
その他	11	26.2%	10	22.7%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	42		44	

貴団体は、年間の活動にどれくらいの経費を必要としますか。（あてはまる番号１つに○）

団体の年間活動経費については、「10～49 万円」が 54.8%と最も多く、次いで、「10 万円未満」「50～99 万円」がともに 14.3%となっています。

前回と比較すると、「10～49 万円」が 16.2 ポイント増加し、「10 万円未満」が 15.2 ポイント、「その他」が 6.8 ポイント減少となっています。

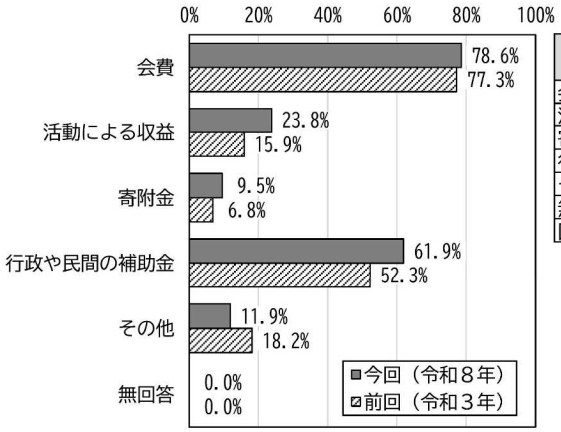


項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
10万円未満	6	14.3%	13	29.5%
10～49万円	23	54.8%	17	38.6%
50～99万円	6	14.3%	7	15.9%
100～199万円	5	11.9%	4	9.1%
200万円以上	1	2.4%	0	0.0%
その他	0	0.0%	3	6.8%
無回答	1	2.4%	0	0.0%
合計	42	100.0%	44	100.0%

貴団体は活動経費を主にどのようにまかなっていますか。（あてはまる番号すべてに○）

貴団体は活動経費をどのようにまかなっているかについては、「会費」が 78.6%と最も多く、次いで、「行政や民間の補助金」が 61.9%、「活動による収益」が 23.8%となっています。

前回と比較すると、「活動による収益」が 7.9 ポイント、「行政や民間の補助金」が 9.6 ポイント増加し、「その他」が 6.3 ポイント減少となっています。



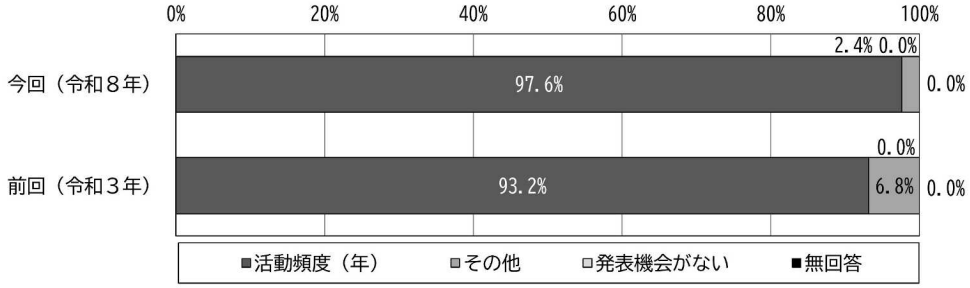
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
会費	33	78.6%	34	77.3%
活動による収益	10	23.8%	7	15.9%
寄附金	4	9.5%	3	6.8%
行政や民間の補助金	26	61.9%	23	52.3%
その他	5	11.9%	8	18.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	42		44	

この１年間に、貴団体の成果発表会・展示会・スポーツ大会などは年に何回くらいありましたか。

この１年間における、成果発表会・展示会・スポーツ大会については、「活動頻度（年）」が97.6%、「その他」が2.4%となっています。

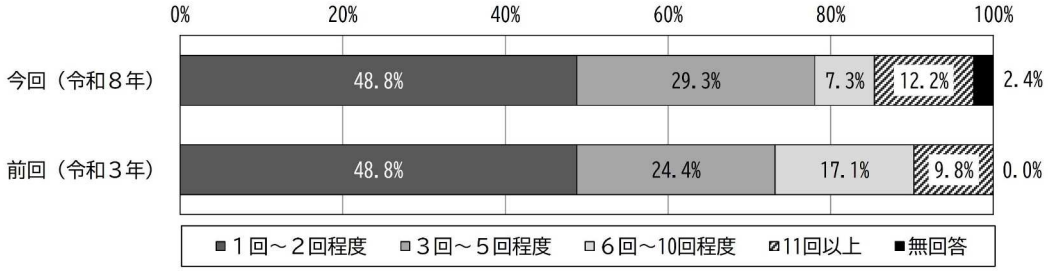
また、以前の発表回数については、「１回～２回程度」が48.8%と最も多く、次いで、「３回～５回程度」が29.3%、「11回以上」が12.2%となっています。

前回と比較すると、「６回～10回程度」が9.8ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
活動頻度（年）	41	97.6%	41	93.2%
その他	1	2.4%	3	6.8%
発表機会がない	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
合計	42	100.0%	44	100.0%

【活動頻度（年）】



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
１回～２回程度	20	48.8%	20	48.8%
３回～５回程度	12	29.3%	10	24.4%
６回～10回程度	3	7.3%	7	17.1%
11回以上	5	12.2%	4	9.8%
無回答	1	2.4%	0	0.0%
回答者数	41	100.0%	41	100.0%
非該当	1		3	
合計	42		44	

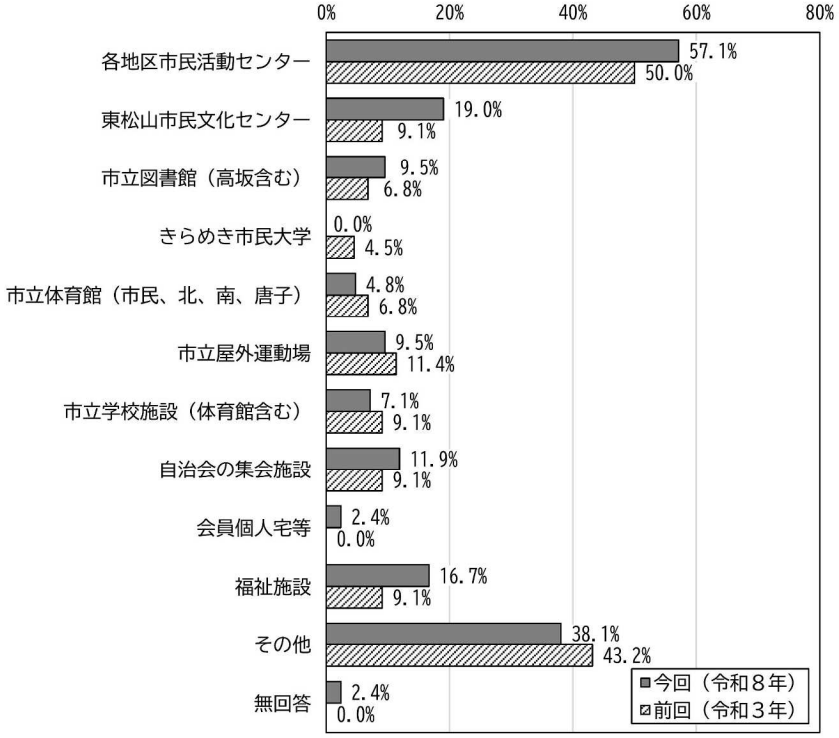
※前回の設問は「コロナ禍以前の１年」という表記になっています。

貴団体の成果発表会・展示会・スポーツ大会を行う場所について教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

団体の成果発表会・展示会・スポーツ大会を行う場所については、「各地区市民活動センター」が 57.1%と最も多く、次いで、「東松山市民文化センター」が 19.0%となっています。

また、「その他」が 38.1%となっています。

前回と比較すると、「各地区市民活動センター」が 7.1 ポイント、「東松山市民文化センター」が 9.9 ポイント、「福祉施設」が 7.6 ポイント増加し、「その他」が 5.1 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
各地区市民活動センター	24	57.1%	22	50.0%
東松山市民文化センター	8	19.0%	4	9.1%
市立図書館（高坂含む）	4	9.5%	3	6.8%
きらめき市民大学	0	0.0%	2	4.5%
市立体育館（市民、北、南、唐子）	2	4.8%	3	6.8%
市立屋外運動場	4	9.5%	5	11.4%
市立学校施設（体育館含む）	3	7.1%	4	9.1%
自治会の集会施設	5	11.9%	4	9.1%
会員個人宅等	1	2.4%	0	0.0%
福祉施設	7	16.7%	4	9.1%
その他	16	38.1%	19	43.2%
無回答	1	2.4%	0	0.0%
回答者数	42		44	
非該当	0		0	
合計	42		44	

※「その他」等具体的な記述は次ページ参照

具体的な記述

【福祉施設】

■福祉の町東松山デイサービス
■東松山市総合会館・箭弓稲荷神社
■総合会館【同様　１件】
■東松山市民福祉センター
■東松山市総合福祉エリア
■当法人のアトリエ兼ギャラリーにて、定期的に障害のある方の作品展を実施。また障害の有無問わず、地域の方の作品発表の場としても活用している。

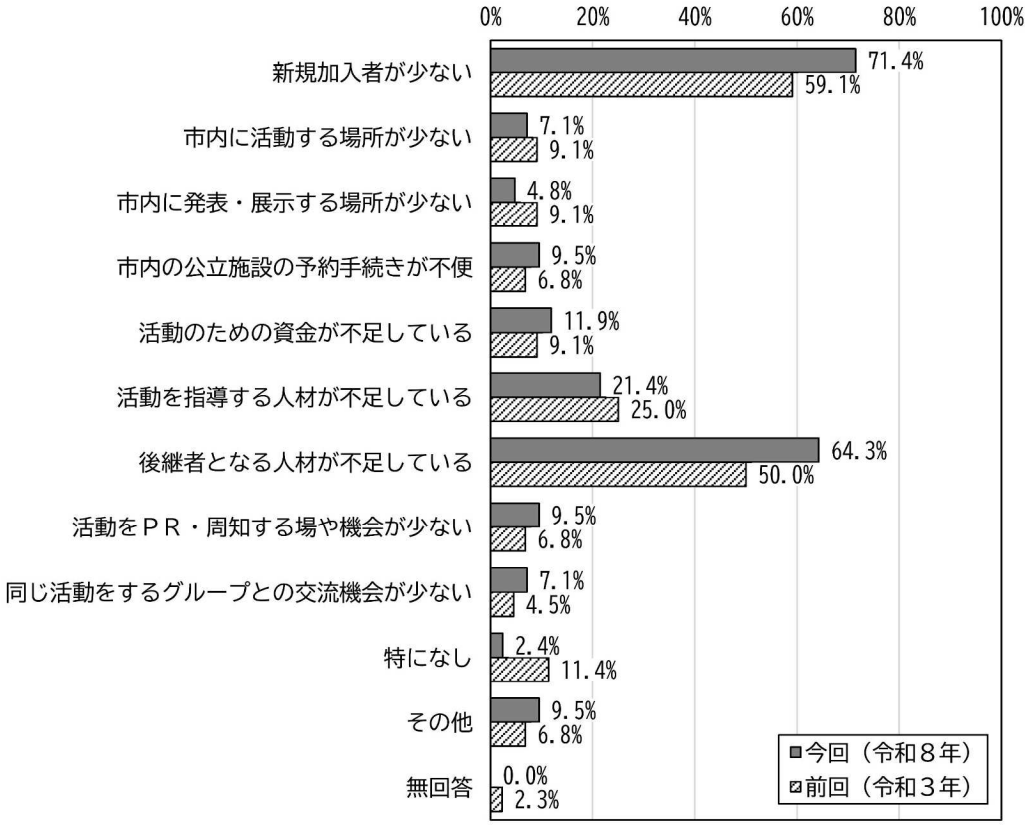
【その他】

■神社奉納
■東松山野球場他
■神戸神社
■地区の神社など
■唐子神社の境内
■総合会館【同様　１件】
■市内、県内、県外
■地区内にある宮司宅・八幡神社および街道
■箭弓神社(牡丹祭、初午祭)神楽殿、東松山夏祭り(町内巡行、ピオパーク)、民俗芸能祭(日本スリーデーマーチ)　、ぼたん通り祭
■他市学校施設、他市市立体育館(行田グリーンアリーナなど)
■市内祭り会場、箭弓稲荷神社、松葉町八幡神社、市総合会館
■ふれあいピック
■市内外福祉施設、市内外企業
■地区の神社，祭り会場（物見山）
■東松山総合会館１階多目的室を使い、県北西部エリアの障害者作品展を３年連続して実施。当法人の作品展、写真展を３回実施。

この１年間に、活動する上で特に困っていたことは何ですか。（あてはまる番号３つまでに○）

この１年間に、活動する上で特に困っていたことについては、「新規加入者が少ない」が 71.4%と最も多く、次いで、「後継者となる人材が不足している」が 64.3%、「活動を指導する人材が不足している」が 21.4%となっています。

前回と比較すると、「新規加入者が少ない」が 12.3 ポイント、「後継者となる人材が不足している」が 14.3 ポイント増加し、「特になし」が 9.0 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
新規加入者が少ない	30	71.4%	26	59.1%
市内に活動する場所が少ない	3	7.1%	4	9.1%
市内に発表・展示する場所が少ない	2	4.8%	4	9.1%
市内の公立施設の予約手続きが不便	4	9.5%	3	6.8%
活動のための資金が不足している	5	11.9%	4	9.1%
活動を指導する人材が不足している	9	21.4%	11	25.0%
後継者となる人材が不足している	27	64.3%	22	50.0%
活動をＰＲ・周知する場や機会が少ない	4	9.5%	3	6.8%
同じ活動をするグループとの交流機会が少ない	3	7.1%	2	4.5%
特になし	1	2.4%	5	11.4%
その他	4	9.5%	3	6.8%
無回答	0	0.0%	1	2.3%
回答者数	42		44	

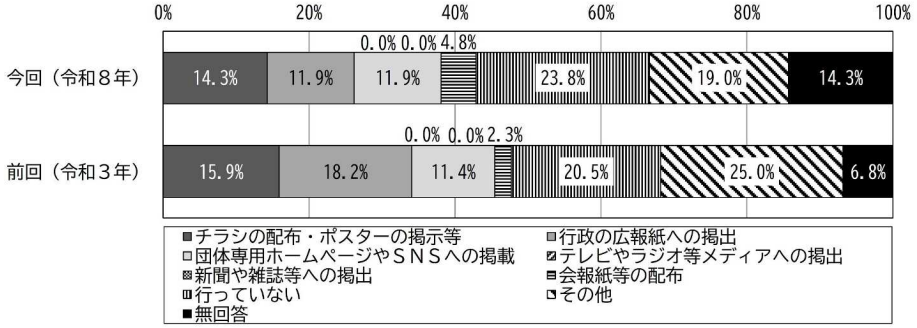
※前回は「コロナ禍以前の１年」という表記になっています。

貴団体は、ＰＲ活動（加入促進を含む）を行っていますか。（あてはまる番号１つに○）

ＰＲ活動については、「行っていない」が 23.8%と最も多く、次いで、「チラシの配布・ポスターの掲示等」が 14.3%となっています。

また、「その他」が 19.0%となっています。

前回と比較すると、「行政の広報紙への掲出」が 6.3 ポイント、「その他」が 6.0 ポイント減少となっています。

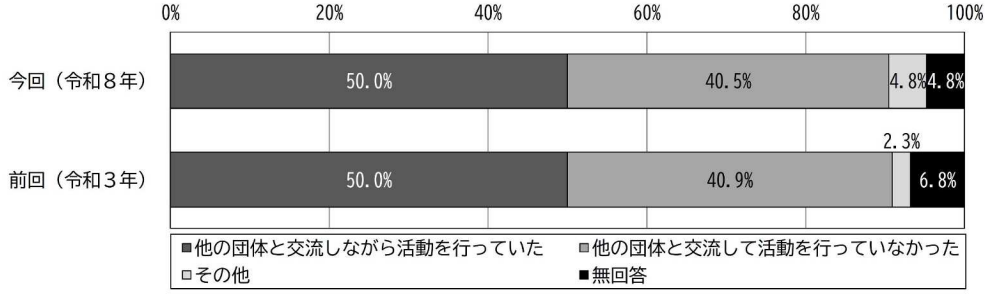


項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
チラシの配布・ポスターの掲示等	6	14.3%	7	15.9%
行政の広報紙への掲出	5	11.9%	8	18.2%
団体専用ホームページやＳＮＳへの掲載	5	11.9%	5	11.4%
テレビやラジオ等メディアへの掲出	0	0.0%	0	0.0%
新聞や雑誌等への掲出	0	0.0%	0	0.0%
会報紙等の配布	2	4.8%	1	2.3%
行っていない	10	23.8%	9	20.5%
その他	8	19.0%	11	25.0%
無回答	6	14.3%	3	6.8%
合計	42	100.0%	44	100.0%

この１年間に、貴団体は、他の団体（市外含む）と交流しながら活動を行っていましたか。（あてはまる番号１つに○）例：合同演奏会や合同の展示会を行っていた。同種目の団体との対外試合を行っていた。他団体の発表会へ参加していた。

この１年間における他団体との交流については、「他の団体と交流しながら活動を行っていた」が 50.0%と最も多く、次いで、「他の団体と交流して活動を行っていなかった」が 40.5%、

また、「その他」が 4.8%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
他の団体と交流しながら活動を行っていた	21	50.0%	22	50.0%
他の団体と交流して活動を行っていなかった	17	40.5%	18	40.9%
その他	2	4.8%	1	2.3%
無回答	2	4.8%	3	6.8%
合計	42	100.0%	44	100.0%

※前回は「コロナ禍以前の１年」という表記になっています。

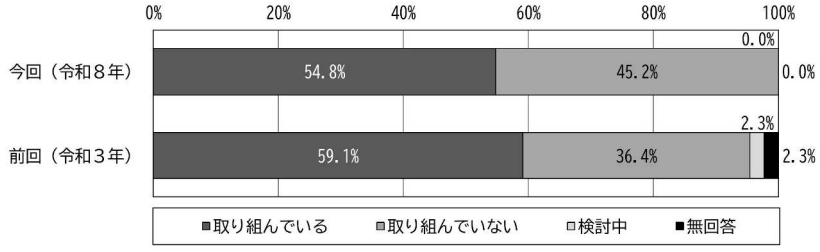
活動の具体的な内容をご記入ください。

■民俗芸能保存連絡協議会。
■民謡の発表会に、賛助出演をさせていただきました、また違った客層に出会えるかも。
■尺八の会員の身体の故障のため発表会に支障をきたすため、市外の会（別）の応援をお願いいたしました。別の楽器のグループに呼びかけ賛助出演を依頼した。
■西部地区や県の団体・他の市町村の団体と交流している。
■東松山地区の合唱祭への参加。(29 団体)文化団体協議会への参加。
■東京の有明 GYM-EX ハムフェアにて、全国の無線家と交流する。３DM などを PR する。
■埼玉県サッカー協会（公益財団法人）との連携・調査・事業開催。埼玉県西部地区での各カテゴリー（少年・中学・高校・一般・シニア）毎の調整・協議・交流事業の開催。
■相互の作品展・写真展の鑑賞及び、相補の撮影会への参加。
■美協の他の部を別の団体とすれば、絵画、書、写真などの部展には必ず行きます。その他市内ギャラリーでやる団体展示にもほとんど行って交流しています。また、工芸・彫刻部展には他の部の方々が来てお互いに研修、交流など行っています。
■団体の会報を利用、団体と行事を共催。
■比企郡 PTA 連合会（現在休会中）との合同事業として教育講演会、PTA 役員など研修会。
■東京都や神奈川県にあるクラシックギター団体と交流、楽譜の共有など。
■東松山夏祭りでの四町内共演。民俗芸能祭。
■連盟以外に、招待チームを呼んで大会を行っている。
■市内外のスポーツ少年団チームと、練習試合などを行っていた。
■吹奏楽祭開催。
■野本地区の、かかし祭に出展した。
■東松山市民俗芸能保存連絡協議会加盟団体との交流、市内太鼓団体との交流。民俗芸能祭。東松山市和太鼓団体「鼓遊連」加盟団体との交流。鼓遊連和太鼓演奏。武蔵流宗家武蔵太鼓様との交流(三芳町)合同練習。武蔵流龍神太鼓様との交流(鶴ケ島市)合同練習。和太鼓どどん様の公演観覧交流。
■複数のボーイスカウト団が合同で活動を実施。まちづくり公社主催イベントの一部コーナーを担当・実施。
■近隣の他団体とイベントを行いました。
■埼玉県内の福祉施設と、ネットワークを作り定期ミーティングや作品展の実施などをおこないました。また他市町村の福祉課等ともつながり、市町村主催の作品展の開催に協力を行いました。

貴団体は、観光、産業、子育て、まちづくり、国際交流、福祉、教育、その他の分野を越えた連携を図る取組を行っていますか。（あてはまる番号１つに○）例：商店会（産業）のイベントで作品展示を行っている。スリーデーマーチ（観光）で演奏を行っている。福祉施設（福祉）で訪問演奏を行っている。

団体の分野を越えた連携については、「取り組んでいる」が 54.8%、「取り組んでいない」が 45.2%となっています。

前回と比較すると、「取り組んでいない」が 8.8 ポイント増加となっています。



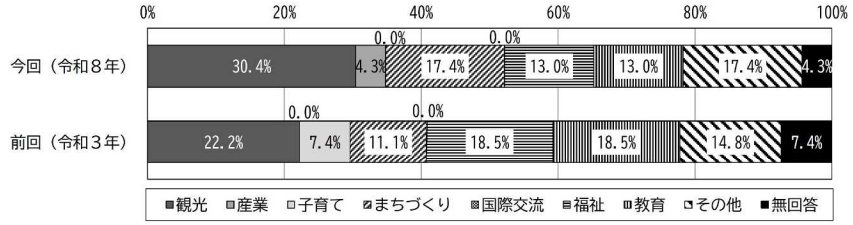
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
取り組んでいる	23	54.8%	26	59.1%
取り組んでいない	19	45.2%	16	36.4%
検討中	0	0.0%	1	2.3%
無回答	0	0.0%	1	2.3%
合計	42	100.0%	44	100.0%

取り組んでいる分野や検討中の分野はどのような分野ですか。（あてはまる番号１つに○）また、取組の具体的な内容を教えてください。

団体の分野を越えた連携に「取り組んでいる」もしくは「検討中」の分野については、「観光」が 30.4%と最も多く、次いで、「まちづくり」が 17.4%となっています。

また、「その他」が 17.4%となっています。

前回と比較すると、「観光」が 8.2 ポイント、「まちづくり」が 6.3 ポイント増加し、「子育て」が 7.4 ポイント、「福祉」「教育」がともに 5.5 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
観光	7	30.4%	6	22.2%
産業	1	4.3%	0	0.0%
子育て	0	0.0%	2	7.4%
まちづくり	4	17.4%	3	11.1%
国際交流	0	0.0%	0	0.0%
福祉	3	13.0%	5	18.5%
教育	3	13.0%	5	18.5%
その他	4	17.4%	4	14.8%
無回答	2	8.7%	2	7.4%
回答者数	23	100.0%	27	100.0%
非該当	19		17	
合計	42		44	

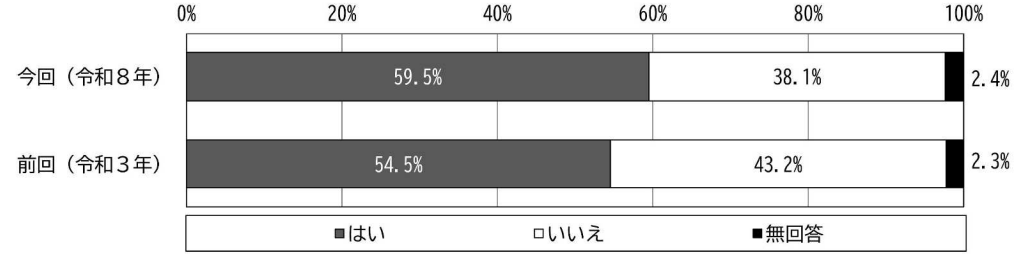
【取組の具体的な内容】

■福祉施設の依頼に対応。
■スポーツ競技。
■スリーデーマーチ（観光）で演舞を行っている。
■どこでも出演依頼があった場所。
■小学生１年生～６年生に将棋教室・将棋大会。
■８月夏休み中に電波教室。（FM ラジオ工作）小学生対象。
■青少年健全育成啓発活動への参加。
■ハートピアまちづくりへの参加。
■市内の小学校などで演奏。
■スリーデーマーチチェックポイント業務。
■総合福祉エリアの慰問、自治会のシニアクラブへの演奏会。
■小学生から高齢者まで参加、地区内の多くの方たちの協力で行っているので、地域の交流、街づくりに貢献していると考えている。
■スリーデーマーチでの歓迎演奏。
■キャンプやスキー教室。
■夏祭り、神社の祭り、民俗芸能祭、スリーデーマーチ歓迎演奏、民俗芸能大会。
■スリーデーマーチ演奏、箭弓稲荷神社祭典での奉納演奏などを行っている。
■ハートピアマルシェに出店。松山地区市民体育祭の運営奉仕。
■スリーデイマーチパレードの参加。ハートピアまつりへの出店。
■スリーデーマーチで、演奏を行っている。地区の祭りで奉納演奏を行っている。
■障害のある人たちの芸術文化活動の普及。魅力発信。アート活動を通じ地域の人たちと協働を行い、街づくりにも繋げていきたいと考えます。

貴団体は、次世代の担い手の増加・育成に向けた取組を行っていますか。（あてはまる番号１つに○）

次世代の担い手の増加・育成に向けた取組を行っているかについては、「はい」が 59.5%に対し、「いいえ」が 38.1%となっています。

前回と比較すると、「はい」が 5.0 ポイント増加し、「いいえ」が 5.1 ポイント減少となっています。



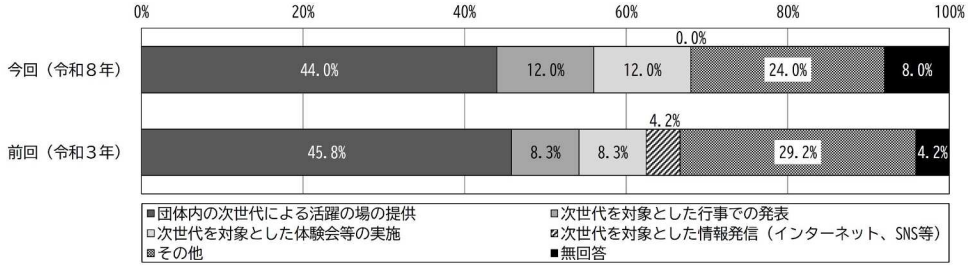
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
はい	25	59.5%	24	54.5%
いいえ	16	38.1%	19	43.2%
無回答	1	2.4%	1	2.3%
合計	42	100.0%	44	100.0%

それは、どのような取組ですか。（あてはまる番号１つに○）

次世代の担い手の増加・育成に向けた取組については、「団体内の次世代による活躍の場の提供」が 44.0%と最も多く、次いで、「次世代を対象とした行事での発表」「次世代を対象とした体験会等の実施」がともに 12.0%となっています。

また、「その他」が 24.0%となっています。

前回と比較すると、「その他」が 5.2 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
団体内の次世代による活躍の場の提供	11	44.0%	11	45.8%
次世代を対象とした行事での発表	3	12.0%	2	8.3%
次世代を対象とした体験会等の実施	3	12.0%	2	8.3%
次世代を対象とした情報発信（インターネット、SNS等）	0	0.0%	1	4.2%
その他	6	24.0%	7	29.2%
無回答	2	8.0%	1	4.2%
回答者数	25	100.0%	24	100.0%
非該当	17		20	
合計	42		44	

本市の生涯学習及び文化芸術の発展に向けてご意見やご要望をご自由にお書きください。

※原則として、回答の内容をそのまま掲載しています。

■イベントの開催時の販売促進の許可。展示施設での展示会等、柔軟性のある施設利用ができるようにしてほしい。文化芸術面での継承。並びに体験、体感できる事業（教室など）を特定の人や団体だけでなく、広い視野で拡げていただきたい。

■一昨年度（令和７年度）に東松山市民文化センターで開催された「民俗芸能大会」は大変盛況であり、東松山市の貴重な民俗芸能を広く市民へ周知する素晴らしい機会となりました。同大会は 1996 年以来の開催であったと記憶しておりますが、地域の伝統文化を次世代へ継承していくためにも、今後は５年に１回程度、教育委員会主催による定例開催をご検討いただければ幸いです。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

■何年かおきにでも結構ですが、高坂に高田博厚彫刻通りがあるので、あの場所で研修なりイベントをやって下さい。

■我がサークルも他のサークルと同様と存じますが、メンバーの高齢化・若い世代の入会が少ない状況となっています。そこで滑川町で今春開催されていた滑川町コミュニティセンターで各団体（サークル）のブースを設け、活動内容などサークル紹介・体験会を行い、参加を呼びかけていました。ぜひ東松山市でもこのような企画を毎年１回行なっていただきたいと存じます。ご検討よろしくお願い申し上げます。

■会員数は昨年より減少してはいますが、会員の活動の場や、幅は広がっています市からの補助金にとても助けられており、感謝しています。

■少子高齢化で、後継者となる人材がいない。

■障害のある人たちのアート活動をさらにおおくの方に知ってほしいと思っております。作品は国内だけでなく海外でも評価が高まっており、私達の施設に通う方の作品もフランスの国立美術館に所蔵されたりしております。東松山の姉妹都市オランダでもアウトサイダーアート、アールブリュットという形で活発に取り組まれています。スリーデーマーチなどでアートの交流も図れればいいですね。街の魅力のひとつとなりうるポテンシャルは、とても高いのではないかと感じています。障害のある人たちがアートを通じて活躍していく東松山にしていけるよう、福祉関係者だけでなく、行政はじめ地域の方々と一緒に取り組んで行ければと思っています。

■色々取り組んではいるのでしょうが。そこまでわかりません。生涯スポーツであるのは、ソフトバレーボールなのでその機会を東松山市で行って頂けたらいいなとも思います。

■人生 100 年時代に向けて、認知症にならない様に講演会を増やしてほしい。音楽（特にコーラス）は認知症の防止や改善に効果があると言われているので、色々なイベントを実施する場合全員で歌える場を設定してほしい。東松山市民歌をもっと PR して欲しい。

■鎮守様（唐子神社）と地域住民との関係が薄れているため、お祭りなどの維持にそのような活動をしているのか、他団体などの取り組み事例などの情報提供。

■東松山夏祭りでの山車の共演する場所（山車を持っている町内等の参加）を、増やす努力をしてほしい。

■東松山市内には人口芝のグラウンドが１つもない、人工芝のグラウンドは天候に左右されずに競技を実施できるばかりにとどまらず災害時の避難場所やテント村にもなり得る大変有用な施設である、長期的・多面的な視点で考察していただきたい。

■美術・芸術の分野においては、１つの時代の流れと見ています、特に写真に関しては趣味の世界において昭和 40 年代に始まり現在に至る。50 年位の流行に過ぎないと思います。令和の時代に入りスマホの進歩により、若い人達のカメラ離れに加速され今は 70 代 80 代の遊びに他ありません。若い人達に美術・芸術を面白いと感じさせる何かを発信してください。

■民俗芸能の継承のための経費が増加しているため、助成金の増加をお願いします。

■民俗芸能をもっと発表できる機会・場所があったらいいかな。



第３次東松山市社会教育推進計画

令和９年度　～　令和１３年度
（２０２７年度～２０３１年度）
令和９年３月策定

編集・発行　東松山市教育委員会
生涯学習課

〒３５５－８６０１　東松山市松葉町１－１－５８
TEL　０４９３－２１－１４３１
FAX　０４９３－２３－２２３９
E-mail　HMY028@city.higashimatsuyama.lg.jp

東松山市
生涯学習及び文化芸術に関する
アンケート調査報告書

令和８年８月

東松山市

目　次

Ⅰ．調査の概要 1
　１　調査の概要 3
Ⅱ．アンケート調査結果概要 5
　１　生涯学習分野について 7
　２　文化芸術分野について 9
　３　団体アンケートについて 11
Ⅲ．市民調査結果 13
　１　生涯学習分野について 15
　２　文化芸術分野について 32
　３　あなたご自身のことについて 77
　４　自由記述編 84
Ⅳ．団体調査結果 93

Ⅰ．調査の概要

1　調査の概要

（1）目　的

第３次東松山市社会教育推進計画及び第２次東松山市文化芸術推進基本計画の策定にあたり、市民の状況やニーズを把握するためのアンケート調査を実施しました。

（2）調査期間

令和８年６月 15 日（月）～ 令和８年６月 30 日（火）

（3）調査対象者

市民調査は、市内に在住の 18 歳以上の方 2,000 人を住民基本台帳から無作為に抽出し、調査票を郵送しました。回答方法は、郵送と WEB を併用しました。

団体調査は、市内で活動する団体の中から 50 団体の皆様へ調査票を郵送しました。回答方法は、郵送と WEB を併用しました。

（4）配布数及び回収数

	配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
市民調査	2,000 件	1,020 件 （郵送：646 件） （Web 回答：374 件）	1,019 件 （郵送：646 件） （Web 回答：373 件）	51.0% （32.3%） （18.7%）
団体調査	50 件	42 件 （郵送：27 件） （Web 回答：15 件）	42 件 （郵送：27 件） （Web 回答：15 件）	84.0% （54.0%） （30.0%）

※調査票回収件数のうち市民調査１件が郵送と Web の重複回答のため除外

（5）報告書の見方

・本報告書では、回答すべき箇所が回答されていないものは「無回答」として扱います。
・本報告書では、回答する必要のない箇所及び回答すべき箇所でないところを回答している場合は「非該当」として扱います。
・設問の構成比は、回答者数（該当設問での該当者数）を基数として百分率（%）で示しています。したがって、非該当者数は、構成比に含まれません。
・比率は全て百分率（%）で表し、小数点以下第二位を四捨五入し算出しているため合計が 100%にならない場合があります。
・複数回答については、回答者数を基数として百分率（%）で示しています。したがって、合計値が 100%にならない場合もあります。
・本報告書では、回答合計の表記を単一（あてはまる番号１つに○）回答は「合計」、複数（あてはまる番号すべてに○）回答は「回答者数」としています。非該当処理が含まれる設問は「回答者数」と表記しています。また、割合を設定している項目名について、単一回答は「構成比」、複数回答は「比率」と表記しています。

Ⅱ．アンケート調査結果概要

1　生涯学習分野について

生涯学習分野の現状について

この約１年間の生涯学習活動については、「特に行っていない」が約４割、次いで「スポーツや野外活動」が約２割となっています。生涯学習活動を行っていない理由について年代別でみると、10歳代～50歳代は、「仕事が忙しくて時間がない」が最も多く、30歳代は、「家事・育児・介護などが忙しくて時間がない」と回答している人も多くなっています。このことから、働いている世代や育児を行っている世代では、活動を行う時間がないことが考えられます。また、60歳代以上の５割以上の人が活動のきっかけをつかめておらず、70歳代の３割以上の人がやりたいことがわからない状況です。

生涯学習活動の方法については、「情報端末やインターネット」が42.2%と最も多く、次いで「自宅での学習活動（書籍など）」が36.6%となっています。年代別でみると、20歳代～60歳代は、「情報端末やインターネット」と多く回答していますが、70歳代以上では、「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」が多く回答しています。

・個々のライフステージや興味に沿い、時間や場所を選ばずに学習できるようなオンライン配信等の環境整備や、各年代・職種に合った情報提供方法が求められています。

・ＩＣＴ（情報通信技術）による学習活動だけでなく、各年代のニーズに合った生涯学習活動の支援が必要であると考えられます。

生涯学習分野の満足度について

生涯学習活動の満足度については、88.8%の人が「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答しており、自身が行った生涯学習活動の満足度が高いことが考えられます。一方、満足度が低い人の理由では、「身近なところに活動する場所が少ない」が20.0%と最も多く、次いで「費用が高い」が16.0%となっています。

生涯学習分野に関する情報発信について

生涯学習分野に関する情報収集先は、「インターネット（ホームページなど）」が51.3%と最も多く、次いで「広報紙」が38.4%となっています。年代別でみると、60歳代以下はインターネットから情報を得ていると回答した人が最も多く、次いで40歳代以下は SNS、50歳代～60歳代は広報紙となっています。70歳以上の高齢者では、広報紙が最も多くなっています。東松山市の生涯学習に関して必要な情報については、「イベントの情報」が50.2%と最も多く、次いで「学習・講座の情報」が44.9%、「施設の情報」が35.9%となっています。

・各年代・職種により求める情報の内容や情報収集先が異なるため、情報内容や情報発信方法を検討し、多くの市民が情報を受け取り、活用出来るようにする必要があると考えられます。

今後の生涯学習分野について

生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能、経験を仕事や地域活動に活かしたいと思うかについては、68.5%の人が「思う」「どちらかといえば思う」と回答しており、29.8%の人が「どちらかといえば思わない」「思わない」と回答しています。今後行いたい生涯学習活動については、「健康・福祉に関すること」が39.8%と最も多く、次いで「暮らしに関すること」が34.2%となっています。年代別でみると、20歳代以下は、「知識・教養・仕事に必要な技能や資格取得など」が最も多くなっており、30歳代は「子育て・教育に関すること」が43.9%となっています。40歳代は個々のライフステージにより、「知識・教養・仕事に必要な技能や資格取得など」か「子育て・教育に関すること」に、50歳代は「健康・福祉に関すること」か「知識・教養・仕事に必要な技能や資格取得など」に分かれて回答しています。また、60歳代以上は、「健康・福祉に関すること」が最も多くなっています。

生涯学習活動の機会を充実させるために、東松山市に特に力を入れてほしいことについては、「市民の関心の高い講座を増やす」が29.1%と最も多く、次いで「高齢者や障害者が参加しやすいよう配慮する」が25.9%となっています。年代別でみてみると、40歳代以下は「仕事や就職に活かせる講座を増やす」が最も多くなっています。また、職業別でみると、会社員・公務員は、「夜間・休日の講座を増やす」が最も多く28.1%となっています。

・生涯学習への意欲は高く、個々のライフステージごとに必要な学びが異なるため、それぞれのニーズに合った幅広い学習内容を整備し、質の高い学習機会を得られるような環境作りが求められています。

2　文化芸術分野について

文化芸術分野の現状について

文化芸術の興味関心については、「音楽」が76.0%と最も多く、次いで「メディア芸術」が73.8%となっています。この約１年間に、文化芸術を鑑賞したかについては、「鑑賞した」が51.0%、「鑑賞しなかった」が46.6%となっており、鑑賞した人の割合の方が多くなっています。鑑賞しなかった理由については、「時間がない」「きっかけがない」がそれぞれ３割を超えています。年代別でみると、20歳代～60歳代の幅広い層では４割以上が「時間がない」と回答しており、80歳代以上は、「場所が近くにない」が最も多くなっています。この約１年間に、鑑賞以外に、文化芸術活動をしたかについては、「活動をしなかった」が76.7%、「活動をした」が20.1%となっており、活動をしなかった人の割合が多くなっています。また、活動をしなかった理由については、「時間がない」が43.0%と最も多く、次いで「きっかけがない」が39.1%となっています。年代別でみると、10歳代と30歳代～50歳代では、「時間がない」と回答している人が多く、20歳代と60歳代～80歳代以上では、「きっかけがない」と回答している人が多くなっています。

・文化芸術への関心は高いが、時間やきっかけの不足により実際の活動は少ないと考えられます。個々のライフステージに応じて、文化芸術の鑑賞や活動を行いやすい環境の整備が必要であり、その情報や活動を発信することで効果的に周知啓発を行うことが求められています。

文化芸術分野の満足度について

市内での文化芸術鑑賞、文化芸術活動を行う機会や環境の満足度については、40.7%の人が「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答しており、52.6%の人が「どちらかといえば満足していない」「満足していない」と回答しています。満足しなかった理由については、「鑑賞や活動したい内容のイベントが行われていない」が37.7%と最も多く、次いで「情報（内容・時間・場所・費用など）が入手できない」が33.6%となっています。年代別でみると、20歳代と50歳代で「鑑賞や活動したい内容のイベントが行われていない」、30歳代～40歳代は「仕事や家事・育児・介護などが忙しくて時間がない」と回答している人が多くなっています。また、70歳代以上は、「身近なところに鑑賞や活動する場所がない」が最も多くなっています。

・満足度が低いため、市民のニーズの把握不足が考えられます。事業内容の見直し・環境整備を行い、時間のない子育て世代も託児や子連れで参加できるイベントを企画したり、高齢者には居住地域内で参加できる事業を増やしたりするなど、幅広い世代が参加できる取組が必要と考えられます。

文化芸術分野に関する情報発信について

文化芸術に関する情報収集方法については、「インターネット（ホームページなど）」が53.4%と最も多く、次いで「広報紙」が39.3%となっています。年代別でみると、70歳代以上では、「広報紙」が最も多くなっていることから、今後も紙媒体での情報発信も必要であることが伺えます。東松山市の文化芸術に必要な情報については、「イベントの情報」が67.0%と最も多く、次いで「施設の情報」が30.6%となっています。全ての性別・年代・職種で、「イベントの情報」の回答が多く、魅力的なイベントの積極的な情報発信が求められます。

今後の文化芸術分野について

東松山市で文化芸術活動を行うにあたり充実すべきことについて、全ての性別・年代・職種で「子どもや若い世代が、様々なアーティストや専門家と触れ合える機会」の回答が多く、アーティストや専門家と交流する場所の提供を求めています。子どもたちが文化芸術に親しむために充実すべき取組については、「公演や展示などの鑑賞機会」が44.4%と最も多く、次いで「音楽・ダンス・美術などの創作、実演体験」が42.8%となっています。

3　団体アンケートについて

団体活動の現状と今後の活動について

今回の調査にご協力いただいた42団体のうち、70歳代が中心となっている団体が18団体、50歳代が中心の団体が８団体と、市内で活動している団体は、高齢者だけでなく中高年も中心となっている団体が多いことがわかります。この１年間に活動する上で困ったことについては、「新規加入者が少ない」が最も多く71.4%、「後継者となる人材が不足している」が64.3%となっており、自由記述の意見でも少子高齢化や後継者不足対策についての意見が上がっています。一方、加入促進を含むＰＲ活動は、10団体が「行っていない」と回答しており、ＰＲ活動の促進が必要であると考えられます。なお、次世代の担い手の増加・育成に向けた取組を行っていると回答した団体は、約６割の25団体あり、そのうち４割以上の団体が、取組として団体内の次世代による活躍の場の提供を行っていると回答しています。

・団体やその活動内容について更なる情報発信や周知が必要と考えられます。

団体活動・成果発表会・展示会・スポーツ大会の場所について

団体の活動場所については、「各地区市民活動センター」が最も多く25団体が利用しており、成果発表会・展示会・スポーツ大会を行う場所も同様で、「各地区市民活動センター」が最も多く、24団体が利用している状況です。

他団体との交流について

市外を含む他団体との交流（この約１年間）については、半数の21団体が交流しながら活動していたと回答しています。活動の具体的な内容としては、賛助出演、作品展・写真展、民俗芸能祭などのイベントでの交流から、ミーティング、研修会などの会議での交流まで幅広い内容になっています。

・他団体との交流は規模に関係なく比較的活発であるが、中心となる年代は中高年以上であるため、若い世代が参加しやすい仕組みづくりを進めることが必要と考えられます。

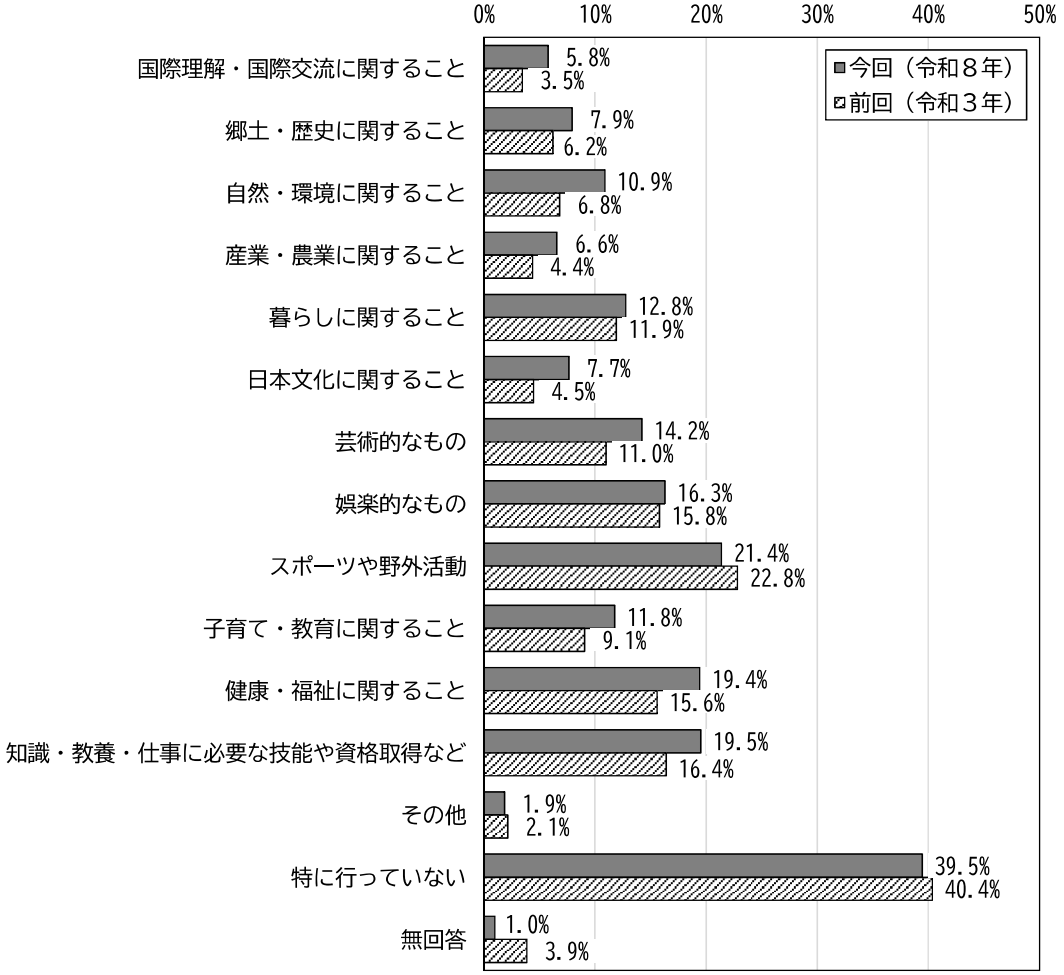
Ⅲ．市民調査結果

1　生涯学習分野について

【生涯学習とは】
　一般には人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習の意味で用いられます。（出典：『令和４年度文部科学白書』．文部科学省．2022）

問１　あなたは、この約１年間に、どのようなことについて生涯学習活動を行いましたか。（あてはまる番号すべてに○）

　この約１年間に、どのようなことについて生涯学習活動を行ったかについては、「特に行っていない」が 39.5%と最も多く、次いで、「スポーツや野外活動」が 21.4%、「知識・教養・仕事に必要な技能や資格取得など」が 19.5%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
国際理解・国際交流に関すること	59	5.8%	34	3.5%
郷土・歴史に関すること	81	7.9%	61	6.2%
自然・環境に関すること	111	10.9%	67	6.8%
産業・農業に関すること	67	6.6%	43	4.4%
暮らしに関すること	130	12.8%	117	11.9%
日本文化に関すること	78	7.7%	44	4.5%
芸術的なもの	145	14.2%	108	11.0%
娯楽的なもの	166	16.3%	155	15.8%
スポーツや野外活動	218	21.4%	224	22.8%
子育て・教育に関すること	120	11.8%	89	9.1%
健康・福祉に関すること	198	19.4%	153	15.6%
知識・教養・仕事に必要な技能や資格取得など	199	19.5%	161	16.4%
その他	19	1.9%	21	2.1%
特に行っていない	402	39.5%	396	40.4%
無回答	10	1.0%	38	3.9%
回答者数	1,019		981	

【性別・年齢別・職業別クロス】

		国際理解・国際交流に関すること	郷土・歴史に関すること	自然・環境に関すること	産業・農業に関すること	暮らしに関すること	日本文化に関すること	芸術的なもの	娯楽的なもの
全体（n=1,019）		5.8%	7.9%	10.9%	6.6%	12.8%	7.7%	14.2%	16.3%
【性別】	男性（n=430）	7.0%	9.1%	10.7%	7.9%	12.1%	8.6%	10.2%	15.1%
	女性（n=531）	4.9%	7.5%	11.1%	5.5%	13.6%	7.2%	17.3%	17.5%
	その他/回答しない（n=17）	5.9%	0.0%	5.9%	5.9%	17.6%	11.8%	11.8%	23.5%
【年齢別】	10代（n=15）	26.7%	20.0%	20.0%	0.0%	13.3%	26.7%	26.7%	33.3%
	20代（n=57）	12.3%	10.5%	8.8%	3.5%	17.5%	12.3%	14.0%	26.3%
	30代（n=132）	5.3%	6.8%	10.6%	5.3%	9.8%	9.1%	15.9%	20.5%
	40代（n=147）	5.4%	10.2%	11.6%	8.8%	14.3%	6.1%	16.3%	16.3%
	50代（n=175）	2.9%	4.0%	8.0%	4.0%	10.3%	4.6%	11.4%	16.6%
	60代（n=163）	4.9%	7.4%	8.0%	6.1%	11.7%	8.6%	13.5%	12.9%
	70代（n=201）	7.0%	10.0%	15.4%	9.5%	14.4%	8.0%	15.4%	13.9%
	80代以上（n=90）	4.4%	7.8%	10.0%	6.7%	16.7%	7.8%	8.9%	15.6%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	16.4%	11.5%	11.5%	16.4%	13.1%	14.8%	19.7%	16.4%
	会社員・公務員（n=317）	5.0%	5.0%	8.2%	3.8%	9.1%	6.9%	11.4%	16.7%
	パート・アルバイト（n=209）	1.9%	9.1%	9.1%	5.3%	14.8%	6.7%	13.9%	17.7%
	学生（n=30）	30.0%	26.7%	26.7%	6.7%	20.0%	26.7%	23.3%	30.0%
	家族従業者（n=9）	11.1%	0.0%	22.2%	11.1%	22.2%	33.3%	33.3%	44.4%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	3.7%	6.2%	17.3%	9.9%	19.8%	4.9%	24.7%	17.3%
	その他・無職（n=260）	5.0%	9.2%	10.4%	6.2%	12.3%	6.2%	10.8%	12.7%

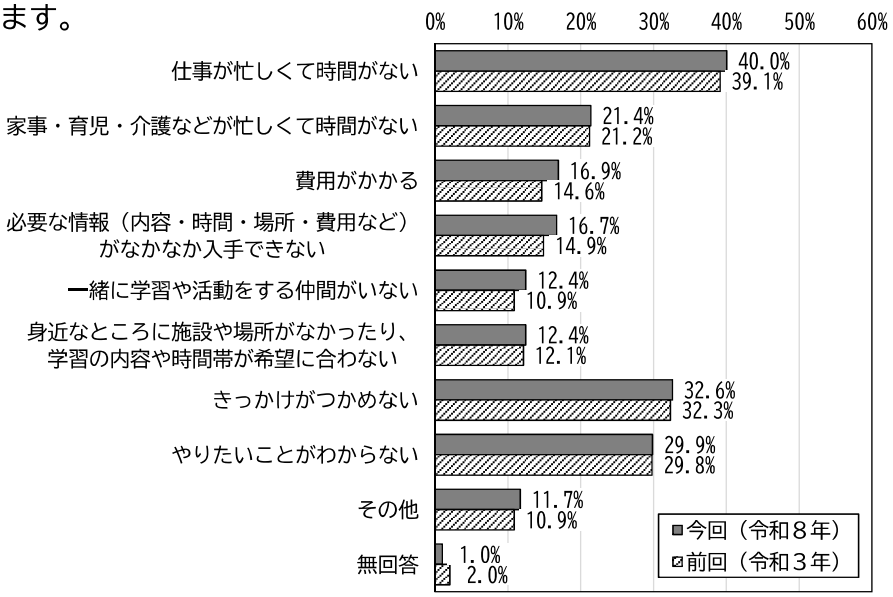
		スポーツや野外活動	子育て・教育に関すること	健康・福祉に関すること	知識・教養・仕事に必要な技能や資格取得など	その他	特に行っていない	無回答
全体（n=1,019）		21.4%	11.8%	19.4%	19.5%	1.9%	39.5%	1.0%
【性別】	男性（n=430）	24.7%	7.9%	16.7%	22.6%	2.3%	40.5%	0.5%
	女性（n=531）	19.4%	15.1%	21.5%	17.5%	1.7%	37.7%	1.1%
	その他/回答しない（n=17）	11.8%	11.8%	17.6%	23.5%	0.0%	52.9%	0.0%
【年齢別】	10代（n=15）	53.3%	13.3%	20.0%	46.7%	0.0%	6.7%	0.0%
	20代（n=57）	17.5%	12.3%	15.8%	45.6%	0.0%	31.6%	0.0%
	30代（n=132）	23.5%	31.1%	20.5%	30.3%	0.8%	31.8%	0.0%
	40代（n=147）	20.4%	25.9%	17.0%	29.3%	0.0%	37.4%	0.7%
	50代（n=175）	14.9%	6.3%	13.7%	19.4%	1.7%	50.3%	0.0%
	60代（n=163）	20.2%	6.1%	19.6%	12.3%	3.7%	44.2%	0.6%
	70代（n=201）	26.9%	2.5%	20.9%	9.0%	3.5%	36.8%	1.5%
	80代以上（n=90）	22.2%	3.3%	30.0%	6.7%	2.2%	37.8%	3.3%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	26.2%	8.2%	19.7%	21.3%	3.3%	31.1%	3.3%
	会社員・公務員（n=317）	21.5%	16.1%	14.5%	32.2%	0.9%	39.7%	0.0%
	パート・アルバイト（n=209）	17.7%	17.2%	22.0%	12.4%	2.4%	42.6%	0.5%
	学生（n=30）	40.0%	6.7%	23.3%	56.7%	0.0%	10.0%	0.0%
	家族従業者（n=9）	11.1%	11.1%	22.2%	22.2%	0.0%	33.3%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	18.5%	17.3%	23.5%	12.3%	2.5%	34.6%	1.2%
	その他・無職（n=260）	23.5%	2.3%	19.6%	9.2%	2.3%	44.2%	1.5%

※前回の設問は「コロナ禍以前の約１年間」という表記になっています。

問１で「特に行っていない」を選択した方の回答

問２　あなたが生涯学習活動を行っていない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

生涯学習活動を行っていない理由については、「仕事が忙しくて時間がない」が 40.0%と最も多く、次いで、「きっかけがつかめない」が 32.6%、「やりたいことがわからない」が 29.9%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
仕事が忙しくて時間がない	161	40.0%	155	39.1%
家事・育児・介護などが忙しくて時間がない	86	21.4%	84	21.2%
費用がかかる	68	16.9%	58	14.6%
必要な情報（内容・時間・場所・費用など）がなかなか入手できない	67	16.7%	59	14.9%
一緒に学習や活動をする仲間がいない	50	12.4%	43	10.9%
身近なところに施設や場所がなかったり、学習の内容や時間帯が希望に合わない	50	12.4%	48	12.1%
きっかけがつかめない	131	32.6%	128	32.3%
やりたいことがわからない	120	29.9%	118	29.8%
その他	47	11.7%	43	10.9%
無回答	4	1.0%	8	2.0%
回答者数	402		396	
非該当	617		585	
合計	1,019		981	

【性別・年齢別・職業別クロス】

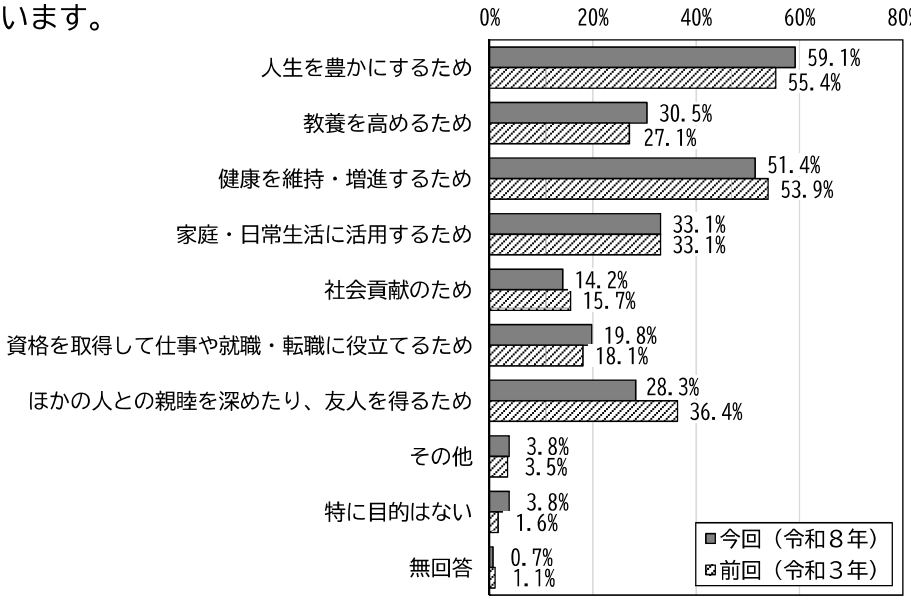
		仕事が忙しくて時間がない	家事・育児・介護などが忙しくて時間がない	費用がかかる	必要な情報（内容・時間・場所・費用など）がなかなか入手できない	一緒に学習や活動をする仲間がいない	身近なところに施設や場所がなかったり、学習の内容や時間帯が希望に合わない	きっかけがつかめない	やりたいことがわからない	その他	無回答
全体（n=402）		40.0%	21.4%	16.9%	16.7%	12.4%	12.4%	32.6%	29.9%	11.7%	1.0%
【性別】	男性（n=174）	43.1%	15.5%	14.4%	17.2%	8.6%	9.8%	33.9%	32.2%	9.8%	1.1%
	女性（n=200）	39.0%	28.0%	19.5%	16.5%	15.5%	14.5%	33.0%	29.5%	12.0%	1.0%
	その他/回答しない（n=9）	22.2%	22.2%	22.2%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	33.3%	0.0%
【年齢別】	10代（n=1）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代（n=18）	55.6%	11.1%	11.1%	16.7%	22.2%	11.1%	27.8%	27.8%	11.1%	0.0%
	30代（n=42）	57.1%	47.6%	19.0%	9.5%	7.1%	4.8%	23.8%	31.0%	7.1%	0.0%
	40代（n=55）	58.2%	32.7%	25.5%	14.5%	7.3%	5.5%	32.7%	34.5%	7.3%	0.0%
	50代（n=88）	53.4%	19.3%	21.6%	25.0%	17.0%	13.6%	37.5%	28.4%	6.8%	1.1%
	60代（n=72）	33.3%	13.9%	22.2%	25.0%	13.9%	20.8%	51.4%	34.7%	1.4%	1.4%
	70代（n=74）	16.2%	20.3%	8.1%	8.1%	13.5%	13.5%	27.0%	32.4%	18.9%	2.7%
	80代以上（n=34）	14.7%	8.8%	2.9%	11.8%	5.9%	8.8%	14.7%	14.7%	41.2%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=19）	57.9%	10.5%	0.0%	15.8%	5.3%	10.5%	36.8%	21.1%	10.5%	0.0%
	会社員・公務員（n=126）	66.7%	22.2%	18.3%	24.6%	14.3%	12.7%	34.9%	30.2%	3.2%	1.6%
	パート・アルバイト（n=89）	52.8%	29.2%	25.8%	18.0%	11.2%	15.7%	37.1%	31.5%	3.4%	0.0%
	学生（n=3）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	家族従業者（n=3）	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	100.0%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=28）	3.6%	46.4%	14.3%	14.3%	17.9%	17.9%	21.4%	17.9%	21.4%	0.0%
	その他・無職（n=115）	8.7%	13.9%	13.9%	8.7%	11.3%	8.7%	32.2%	31.3%	24.3%	0.9%

問１で「国際理解・国際交流に関すること」～「その他」を選択した方の回答

問３　あなたは、何を目的に生涯学習活動を行いましたか。（あてはまる番号すべてに○）

生涯学習活動の目的については、「人生を豊かにするため」が 59.1%と最も多く、次いで、「健康を維持・増進するため」が 51.4%、「家庭・日常生活に活用するため」が 33.1%となっています。

前回と比較すると、「ほかの人との親睦を深めたり、友人を得るため」が 8.1 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
人生を豊かにするため	359	59.1%	303	55.4%
教養を高めるため	185	30.5%	148	27.1%
健康を維持・増進するため	312	51.4%	295	53.9%
家庭・日常生活に活用するため	201	33.1%	181	33.1%
社会貢献のため	86	14.2%	86	15.7%
資格を取得して仕事や就職・転職に役立てるため	120	19.8%	99	18.1%
ほかの人との親睦を深めたり、友人を得るため	172	28.3%	199	36.4%
その他	23	3.8%	19	3.5%
特に目的はない	23	3.8%	9	1.6%
無回答	4	0.7%	6	1.1%
回答者数	607		547	
非該当	412		434	
合計	1,019		981	

【性別・年齢別・職業別クロス】

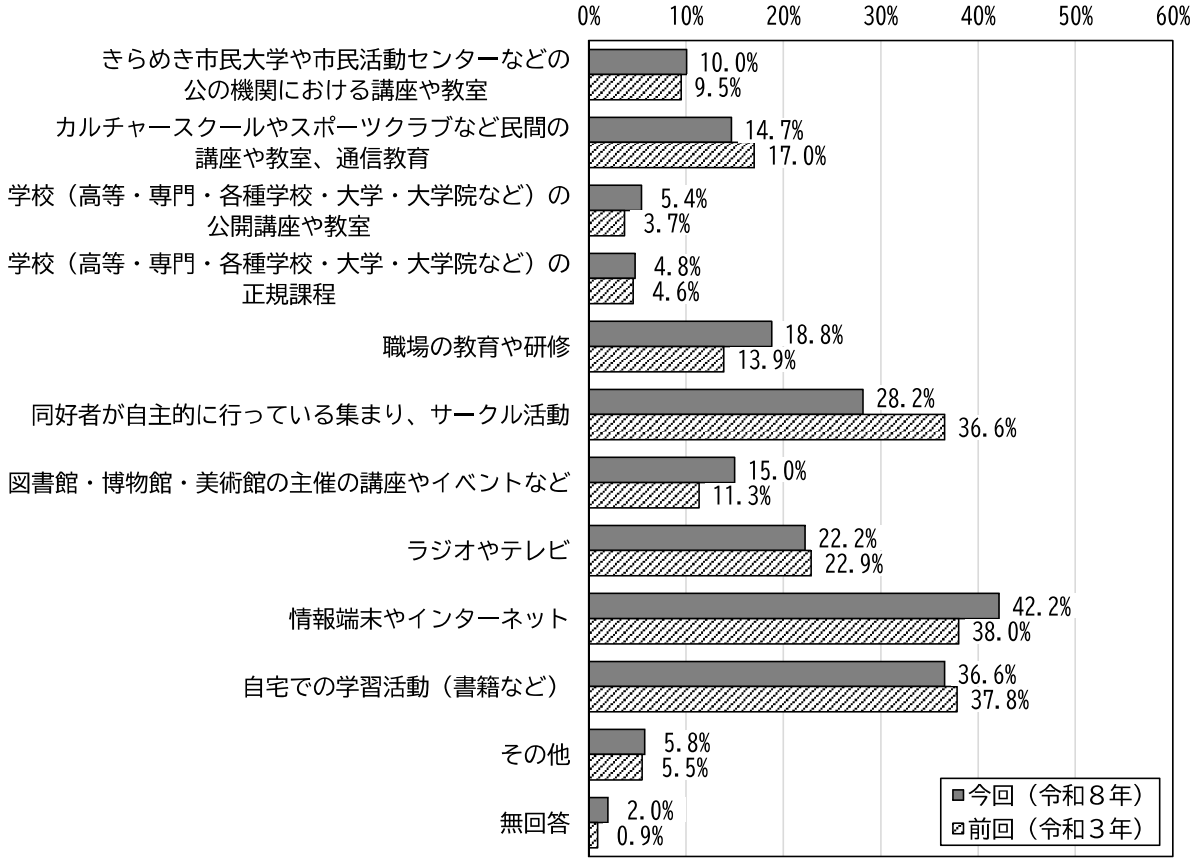
		人生を豊かにするため	教養を高めるため	健康を維持・増進するため	家庭・日常生活に活用するため	社会貢献のため	資格を取得して仕事や就職・転職に役立てるため	ほかの人との親睦を深めたり、友人を得るため	その他	特に目的はない	無回答
全体（n=607）		59.1%	30.5%	51.4%	33.1%	14.2%	19.8%	28.3%	3.8%	3.8%	0.7%
【性別】	男性（n=254）	55.5%	34.3%	52.0%	30.3%	16.5%	21.3%	24.4%	3.5%	3.5%	1.2%
	女性（n=325）	62.5%	27.7%	50.2%	35.4%	12.0%	19.7%	30.2%	4.3%	3.7%	0.3%
	その他/回答しない（n=8）	37.5%	37.5%	50.0%	50.0%	25.0%	25.0%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%
【年齢別】	10代（n=14）	57.1%	35.7%	35.7%	0.0%	0.0%	71.4%	50.0%	7.1%	14.3%	0.0%
	20代（n=39）	56.4%	48.7%	28.2%	23.1%	20.5%	48.7%	17.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代（n=90）	64.4%	35.6%	36.7%	41.1%	11.1%	31.1%	21.1%	4.4%	2.2%	1.1%
	40代（n=91）	62.6%	36.3%	42.9%	41.8%	11.0%	31.9%	13.2%	2.2%	5.5%	0.0%
	50代（n=87）	62.1%	28.7%	40.2%	35.6%	14.9%	21.8%	17.2%	5.7%	1.1%	0.0%
	60代（n=90）	53.3%	24.4%	55.6%	30.0%	15.6%	11.1%	35.6%	5.6%	3.3%	0.0%
	70代（n=124）	60.5%	28.2%	69.4%	32.3%	18.5%	4.0%	37.1%	3.2%	5.6%	2.4%
	80代以上（n=53）	47.2%	17.0%	75.5%	28.3%	9.4%	0.0%	47.2%	3.8%	3.8%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=40）	57.5%	40.0%	55.0%	40.0%	20.0%	12.5%	25.0%	7.5%	2.5%	0.0%
	会社員・公務員（n=191）	57.6%	34.0%	36.1%	30.4%	10.5%	36.6%	19.9%	4.7%	2.1%	1.0%
	パート・アルバイト（n=119）	63.9%	26.9%	49.6%	45.4%	16.8%	14.3%	24.4%	4.2%	3.4%	0.0%
	学生（n=27）	63.0%	51.9%	33.3%	7.4%	22.2%	70.4%	40.7%	3.7%	3.7%	0.0%
	家族従業者（n=6）	83.3%	50.0%	50.0%	16.7%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=52）	69.2%	30.8%	67.3%	40.4%	21.2%	3.8%	44.2%	1.9%	1.9%	0.0%
	その他・無職（n=141）	53.2%	23.4%	67.4%	27.0%	10.6%	4.3%	31.9%	2.1%	7.8%	1.4%

問１で「国際理解・国際交流に関すること」～「その他」を選択した方の回答

問４　あなたは、どのような方法で生涯学習活動を行いましたか。（あてはまる番号すべてに○）

生涯学習活動を行った方法については、「情報端末やインターネット」が 42.2%と最も多く、次いで、「自宅での学習活動（書籍など）」が 36.6%、「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」が 28.2%となっています。

前回と比較すると、「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」が 8.4 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
きらめき市民大学や市民活動センターなどの公の機関における講座や教室	61	10.0%	52	9.5%
カルチャースクールやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育	89	14.7%	93	17.0%
学校（高等・専門・各種学校・大学・大学院など）の公開講座や教室	33	5.4%	20	3.7%
学校（高等・専門・各種学校・大学・大学院など）の正規課程	29	4.8%	25	4.6%
職場の教育や研修	114	18.8%	76	13.9%
同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動	171	28.2%	200	36.6%
図書館・博物館・美術館の主催の講座やイベントな	91	15.0%	62	11.3%
ラジオやテレビ	135	22.2%	125	22.9%
情報端末やインターネット	256	42.2%	208	38.0%
自宅での学習活動（書籍など）	222	36.6%	207	37.8%
その他	35	5.8%	30	5.5%
無回答	12	2.0%	5	0.9%
回答者数	607		547	
非該当	412		434	
合計	1,019		981	

【性別・年齢別・職業別クロス】

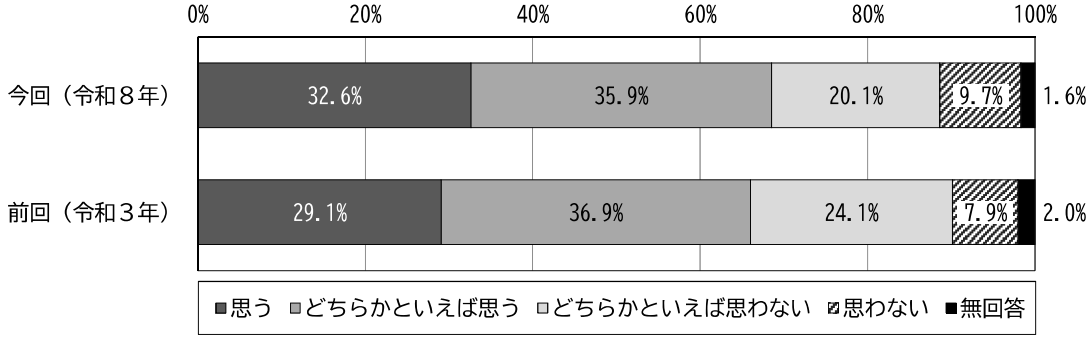
		きらめき市民大学や市民活動センターなどの公の機関における講座や教室	カルチャースクールやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育	学校（高等・専門・各種学校・大学・大学院など）の公開講座や教室	学校（高等・専門・各種学校・大学・大学院など）の正規課程	職場の教育や研修	同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動
全体（n=607）		10.0%	14.7%	5.4%	4.8%	18.8%	28.2%
【性別】	男性（n=254）	5.9%	9.4%	3.9%	4.7%	22.0%	26.4%
	女性（n=325）	12.9%	18.8%	6.2%	4.9%	16.3%	29.5%
	その他/回答しない（n=8）	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	25.0%	12.5%
【年齢別】	10代（n=14）	7.1%	0.0%	35.7%	78.6%	0.0%	35.7%
	20代（n=39）	0.0%	2.6%	15.4%	28.2%	12.8%	10.3%
	30代（n=90）	2.2%	12.2%	1.1%	2.2%	35.6%	15.6%
	40代（n=91）	6.6%	14.3%	4.4%	1.1%	34.1%	17.6%
	50代（n=87）	5.7%	26.4%	2.3%	1.1%	21.8%	24.1%
	60代（n=90）	13.3%	14.4%	5.6%	1.1%	15.6%	30.0%
	70代（n=124）	16.1%	14.5%	4.0%	0.0%	8.1%	43.5%
	80代以上（n=53）	20.8%	11.3%	5.7%	3.8%	0.0%	43.4%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=40）	7.5%	15.0%	2.5%	0.0%	10.0%	25.0%
	会社員・公務員（n=191）	2.1%	12.6%	1.0%	2.6%	38.7%	20.9%
	パート・アルバイト（n=119）	9.2%	21.0%	4.2%	0.0%	18.5%	26.1%
	学生（n=27）	3.7%	3.7%	40.7%	74.1%	3.7%	18.5%
	家族従業者（n=6）	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	33.3%	33.3%
	家事・育児・介護に専業（n=52）	21.2%	21.2%	5.8%	0.0%	5.8%	34.6%
	その他・無職（n=141）	17.7%	12.1%	4.3%	2.1%	3.5%	38.3%

		図書館・博物館・美術館の主催の講座やイベントなど	ラジオやテレビ	情報端末やインターネット	自宅での学習活動（書籍など）	その他	無回答
全体（n=607）		15.0%	22.2%	42.2%	36.6%	5.8%	2.0%
【性別】	男性（n=254）	11.8%	23.2%	49.6%	41.3%	7.1%	1.2%
	女性（n=325）	17.8%	21.2%	39.1%	33.8%	4.9%	2.8%
	その他/回答しない（n=8）	12.5%	25.0%	25.0%	25.0%	12.5%	0.0%
【年齢別】	10代（n=14）	0.0%	0.0%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%
	20代（n=39）	12.8%	15.4%	53.8%	46.2%	10.3%	0.0%
	30代（n=90）	18.9%	20.0%	58.9%	50.0%	4.4%	1.1%
	40代（n=91）	20.9%	18.7%	59.3%	42.9%	4.4%	0.0%
	50代（n=87）	16.1%	18.4%	55.2%	29.9%	3.4%	0.0%
	60代（n=90）	13.3%	26.7%	43.3%	31.1%	4.4%	2.2%
	70代（n=124）	12.9%	27.4%	26.6%	27.4%	11.3%	3.2%
	80代以上（n=53）	11.3%	28.3%	7.5%	43.4%	3.8%	9.4%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=40）	5.0%	22.5%	47.5%	55.0%	12.5%	2.5%
	会社員・公務員（n=191）	18.3%	15.7%	55.5%	38.7%	4.2%	1.0%
	パート・アルバイト（n=119）	19.3%	22.7%	43.7%	33.6%	5.0%	1.7%
	学生（n=27）	7.4%	7.4%	25.9%	37.0%	3.7%	0.0%
	家族従業者（n=6）	16.7%	33.3%	16.7%	66.7%	16.7%	16.7%
	家事・育児・介護に専業（n=52）	13.5%	32.7%	46.2%	30.8%	7.7%	0.0%
	その他・無職（n=141）	12.1%	27.7%	32.6%	33.3%	6.4%	4.3%

問１で「国際理解・国際交流に関すること」～「その他」を選択した方の回答

問５　あなたは、生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能、経験を仕事や地域活動に活かしたいと思いますか。（あてはまる番号１つに○）

生涯学習活動を通じて身につけた知識や技能、経験を仕事や地域活動に活かしたいと思うかについては、「思う(32.6%)」、「どちらかといえば思う(35.9%)」を合わせた『思う（計)』が68.5%に対し、「どちらかといえば思わない(20.1%)」、「思わない(9.7%)」を合わせた『思わない（計)』が29.8%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
思う	198	32.6%	159	29.1%
どちらかといえば思う	218	35.9%	202	36.9%
どちらかといえば思わない	122	20.1%	132	24.1%
思わない	59	9.7%	43	7.9%
無回答	11	1.8%	11	2.0%
回答者数	607	100.0%	547	100.0%
非該当	412		434	
合計	1,019		981	

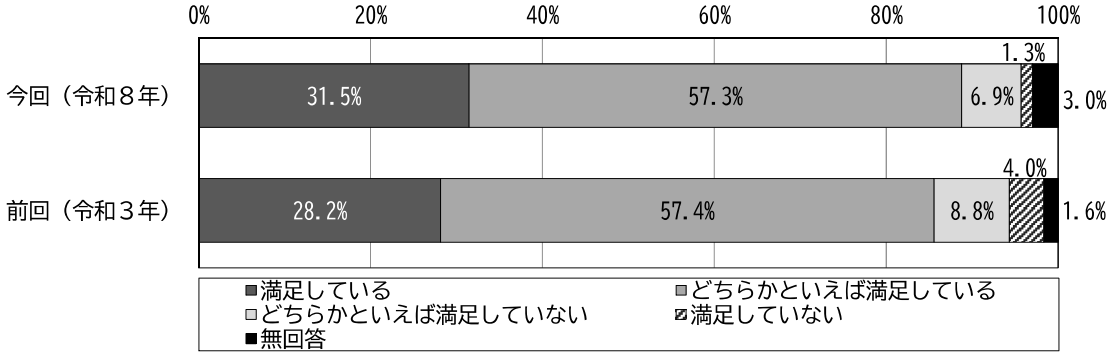
【性別・年齢別・職業別クロス】

		思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない	無回答
全体（n=607）		32.6%	35.9%	20.1%	9.7%	1.6%
【性別】	男性（n=254）	37.0%	35.8%	16.5%	8.7%	2.0%
	女性（n=325）	29.5%	35.4%	22.8%	10.8%	1.5%
	その他/回答しない（n=8）	12.5%	62.5%	12.5%	12.5%	0.0%
【年齢別】	10代（n=14）	78.6%	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代（n=39）	53.8%	20.5%	12.8%	10.3%	2.6%
	30代（n=90）	38.9%	37.8%	12.2%	8.9%	2.2%
	40代（n=91）	38.5%	44.0%	12.1%	5.5%	0.0%
	50代（n=87）	24.1%	40.2%	25.3%	10.3%	0.0%
	60代（n=90）	27.8%	36.7%	23.3%	11.1%	1.1%
	70代（n=124）	25.8%	33.1%	26.6%	11.3%	3.2%
	80代以上（n=53）	20.8%	34.0%	26.4%	15.1%	3.8%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=40）	52.5%	37.5%	7.5%	2.5%	0.0%
	会社員・公務員（n=191）	41.9%	36.6%	10.5%	9.4%	1.6%
	パート・アルバイト（n=119）	24.4%	41.2%	23.5%	9.2%	1.7%
	学生（n=27）	77.8%	14.8%	7.4%	0.0%	0.0%
	家族従業者（n=6）	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=52）	13.5%	38.5%	32.7%	13.5%	1.9%
	その他・無職（n=141）	17.7%	35.5%	29.8%	14.2%	2.8%

問１で「国際理解・国際交流に関すること」～「その他」を選択した方の回答

問６　あなたは、ご自身が行った生涯学習活動について満足していますか。（あてはまる番号１つに○）

自身が行った生涯学習活動の満足度については、「満足している(31.5%)」、「どちらかといえば満足している(57.3%)」を合わせた『満足している（計)』が 88.8%に対し、「どちらかといえば満足していない(6.9%)」、「満足していない(1.3%)」を合わせた『満足していない(計)』が 8.2%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
満足している	191	31.5%	154	28.2%
どちらかといえば満足している	348	57.3%	314	57.4%
どちらかといえば満足していない	42	6.9%	48	8.8%
満足していない	8	1.3%	22	4.0%
無回答	18	3.0%	9	1.6%
回答者数	607	100.0%	547	100.0%
非該当	412		434	
合計	1,019		981	

【性別・年齢別・職業別クロス】

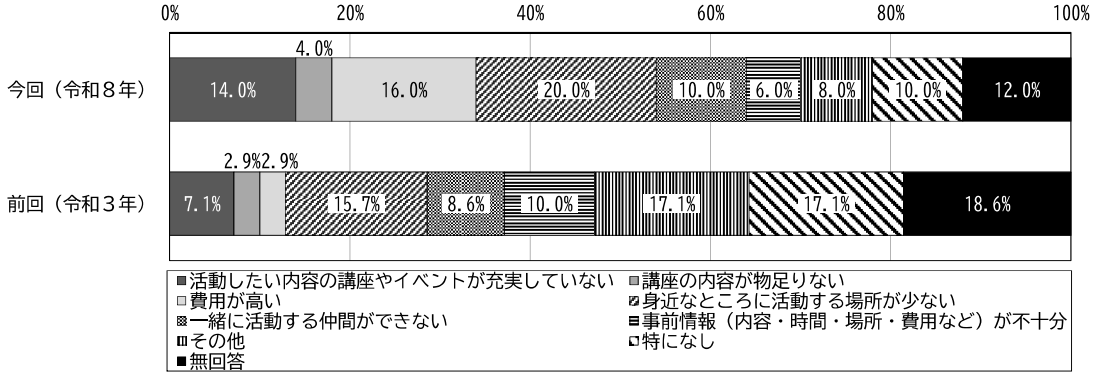
		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	無回答
全体（n=607）		31.5%	57.3%	6.9%	1.3%	3.0%
【性別】	男性（n=254）	26.8%	62.6%	5.9%	2.0%	2.8%
	女性（n=325）	35.1%	53.5%	7.4%	0.6%	3.4%
	その他/回答しない（n=8）	12.5%	75.0%	12.5%	0.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=14）	28.6%	64.3%	0.0%	7.1%	0.0%
	20代（n=39）	33.3%	59.0%	5.1%	0.0%	2.6%
	30代（n=90）	34.4%	52.2%	11.1%	0.0%	2.2%
	40代（n=91）	35.2%	59.3%	3.3%	2.2%	0.0%
	50代（n=87）	31.0%	57.5%	8.0%	2.3%	1.1%
	60代（n=90）	27.8%	63.3%	5.6%	1.1%	2.2%
	70代（n=124）	25.8%	60.5%	7.3%	0.0%	6.5%
	80代以上（n=53）	35.8%	47.2%	7.5%	1.9%	7.5%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=40）	25.0%	72.5%	0.0%	0.0%	2.5%
	会社員・公務員（n=191）	31.4%	57.1%	7.9%	1.6%	2.1%
	パート・アルバイト（n=119）	33.6%	59.7%	4.2%	0.8%	1.7%
	学生（n=27）	37.0%	59.3%	0.0%	3.7%	0.0%
	家族従業者（n=6）	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=52）	28.8%	59.6%	7.7%	0.0%	3.8%
	その他・無職（n=141）	30.5%	54.6%	8.5%	1.4%	5.0%

問６で「どちらかといえば満足していない」「満足していない」を選択した方の回答

問７　あなたが満足しなかった理由は何ですか。（あてはまる番号１つに○）

自身が行った生涯学習に満足しなかった理由については、「身近なところに活動する場所が少ない」が 20.0%と最も多く、次いで、「費用が高い」が 16.0%、「活動したい内容の講座やイベントが充実していない」が 14.0%となっています。

前回と比較すると、「活動したい内容の講座やイベントが充実していない」が 6.9 ポイント、「費用が高い」が 13.1 ポイント増加し、「その他」が 9.1 ポイント、「特になし」が 7.1 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
活動したい内容の講座やイベントが充実していない	7	14.0%	5	7.1%
講座の内容が物足りない	2	4.0%	2	2.9%
費用が高い	8	16.0%	2	2.9%
身近なところに活動する場所が少ない	10	20.0%	11	15.7%
一緒に活動する仲間ができない	5	10.0%	6	8.6%
事前情報（内容・時間・場所・費用など）が不十分	3	6.0%	7	10.0%
その他	4	8.0%	12	17.1%
特になし	5	10.0%	12	17.1%
無回答	6	12.0%	13	18.6%
回答者数	50	100.0%	70	100.0%
非該当	969		911	
合計	1,019		981	

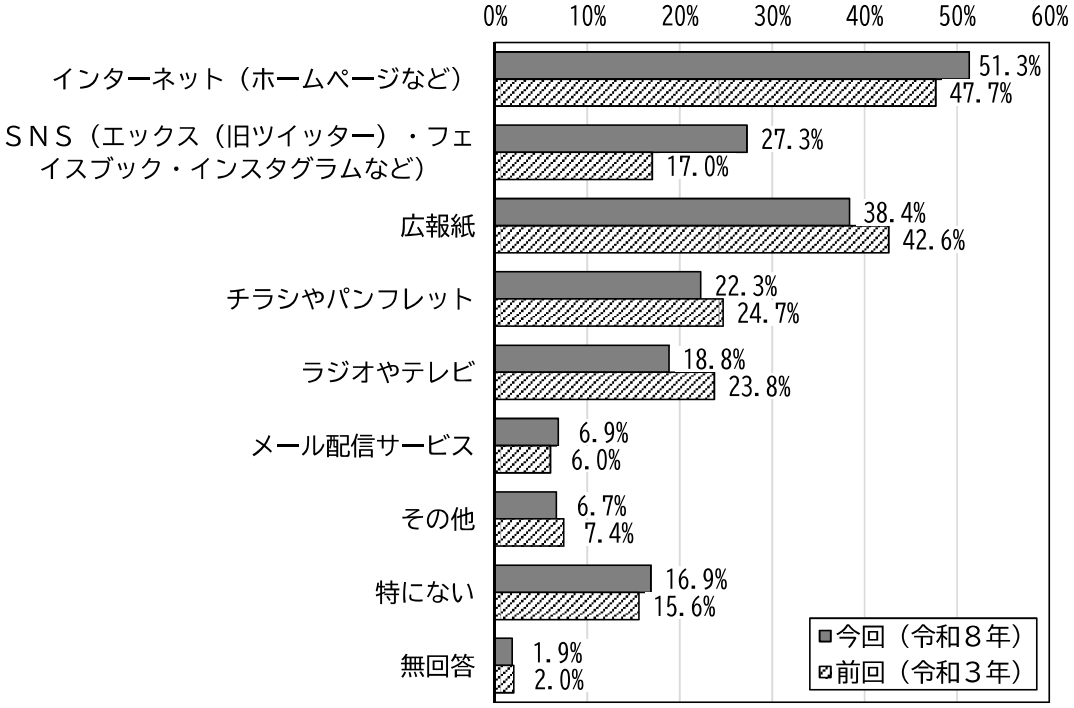
【性別・年齢別・職業別クロス】

		活動したい内容の講座やイベントが充実していない	講座の内容が物足りない	費用が高い	身近なところに活動する場所が少ない	一緒に活動する仲間ができない	事前情報（内容・時間・場所・費用など）が不十分	その他	特になし	無回答
全体（n=50）		14.0%	4.0%	16.0%	20.0%	10.0%	6.0%	8.0%	10.0%	12.0%
【性別】	男性（n=20）	20.0%	0.0%	20.0%	15.0%	5.0%	5.0%	0.0%	25.0%	10.0%
	女性（n=26）	7.7%	3.8%	15.4%	23.1%	11.5%	7.7%	15.4%	0.0%	15.4%
	その他/回答しない（n=1）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=1）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	20代（n=2）	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30代（n=10）	0.0%	0.0%	10.0%	50.0%	20.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%
	40代（n=5）	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%
	50代（n=9）	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	22.2%	11.1%
	60代（n=6）	16.7%	0.0%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%
	70代（n=9）	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	11.1%
	80代以上（n=5）	20.0%	0.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=0）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	会社員・公務員（n=18）	0.0%	0.0%	22.2%	27.8%	11.1%	5.6%	5.6%	11.1%	16.7%
	パート・アルバイト（n=6）	16.7%	0.0%	16.7%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%
	学生（n=1）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	家族従業者（n=1）	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=4）	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他・無職（n=14）	28.6%	7.1%	7.1%	7.1%	7.1%	0.0%	14.3%	21.4%	7.1%

問８　東松山市に限らず生涯学習に関する情報をどんなところから得ていますか。（あてはまる番号すべてに○）

東松山市に限らず生涯学習に関する情報をどんなところから得ているかについては、「インターネット（ホームページなど）」が 51.3%と最も多く、次いで、「広報紙」が 38.4%、「ＳＮＳ（エックス（旧ツイッター）・フェイスブック・インスタグラムなど）」が 27.3%となっています。

前回と比較すると、「ＳＮＳ（エックス（旧ツイッター）・フェイスブック・インスタグラムなど）」が 10.3 ポイント増加し、「ラジオやテレビ」が 5.0 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
インターネット（ホームページなど）	523	51.3%	468	47.7%
ＳＮＳ（エックス（旧ツイッター）・フェイスブック・インスタグラムな	278	27.3%	167	17.0%
広報紙	391	38.4%	418	42.6%
チラシやパンフレット	227	22.3%	242	24.7%
ラジオやテレビ	192	18.8%	233	23.8%
メール配信サービス	70	6.9%	59	6.0%
その他	68	6.7%	73	7.4%
特にない	172	16.9%	153	15.6%
無回答	19	1.9%	20	2.0%
回答者数	1,019		981	

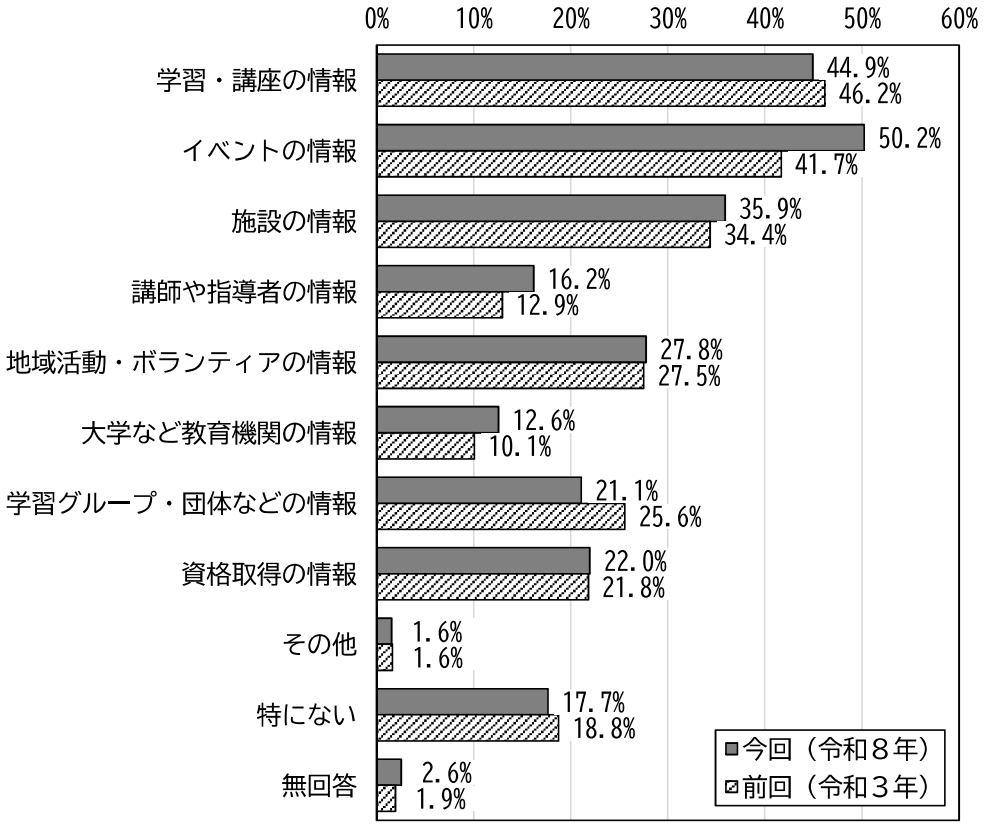
【性別・年齢別・職業別クロス】

		インターネット（ホームページなど）	SNS（エックス（旧ツイッター）・フェイスブック・インスタグラムなど）	広報紙	チラシやパンフレット	ラジオやテレビ	メール配信サービス	その他	特にない	無回答
全体（n=1,019）		51.3%	27.3%	38.4%	22.3%	18.8%	6.9%	6.7%	16.9%	1.9%
【性別】	男性（n=430）	56.3%	22.1%	32.1%	14.0%	19.1%	7.9%	6.0%	20.2%	0.5%
	女性（n=531）	49.9%	33.1%	42.9%	29.2%	19.2%	6.8%	7.3%	13.7%	2.3%
	その他/回答しない（n=17）	35.3%	29.4%	17.6%	35.3%	23.5%	0.0%	0.0%	41.2%	0.0%
【年齢別】	10代（n=15）	66.7%	33.3%	33.3%	13.3%	6.7%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%
	20代（n=57）	61.4%	57.9%	10.5%	5.3%	12.3%	1.8%	7.0%	21.1%	0.0%
	30代（n=132）	68.2%	59.8%	19.7%	17.4%	16.7%	3.8%	5.3%	18.2%	0.0%
	40代（n=147）	72.1%	43.5%	31.3%	25.9%	11.6%	6.1%	2.0%	17.7%	0.0%
	50代（n=175）	59.4%	28.0%	36.0%	18.9%	14.3%	4.6%	2.3%	18.3%	1.1%
	60代（n=163）	52.1%	16.0%	44.8%	27.0%	23.3%	12.9%	12.3%	12.9%	1.8%
	70代（n=201）	35.8%	9.0%	55.2%	28.4%	26.4%	11.4%	8.5%	14.4%	2.0%
	80代以上（n=90）	13.3%	2.2%	44.4%	24.4%	27.8%	3.3%	10.0%	24.4%	5.6%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	52.5%	27.9%	23.0%	32.8%	19.7%	9.8%	4.9%	21.3%	1.6%
	会社員・公務員（n=317）	65.0%	40.7%	25.9%	15.5%	14.8%	5.4%	4.7%	17.7%	0.3%
	パート・アルバイト（n=209）	60.8%	32.5%	41.6%	24.9%	16.7%	6.2%	5.3%	13.9%	0.5%
	学生（n=30）	63.3%	40.0%	20.0%	10.0%	6.7%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%
	家族従業者（n=9）	44.4%	0.0%	33.3%	33.3%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	45.7%	25.9%	53.1%	33.3%	28.4%	11.1%	8.6%	14.8%	1.2%
	その他・無職（n=260）	33.1%	10.8%	49.2%	24.2%	23.1%	8.8%	8.8%	21.2%	3.1%

問９　東松山市の生涯学習に関してどのような情報が必要だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

東松山市の生涯学習に関して必要な情報については、「イベントの情報」が 50.2%と最も多く、次いで、「学習・講座の情報」が 44.9%、「施設の情報」が 35.9%となっています。

前回と比較すると、「イベントの情報」が 8.5 ポイント増加となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
学習・講座の情報	458	44.9%	453	46.2%
イベントの情報	512	50.2%	409	41.7%
施設の情報	366	35.9%	337	34.4%
講師や指導者の情報	165	16.2%	127	12.9%
地域活動・ボランティアの情報	283	27.8%	270	27.5%
大学など教育機関の情報	128	12.6%	99	10.1%
学習グループ・団体などの情報	215	21.1%	251	25.6%
資格取得の情報	224	22.0%	214	21.8%
その他	16	1.6%	16	1.6%
特にない	180	17.7%	184	18.8%
無回答	26	2.6%	19	1.9%
回答者数	1,019		981	

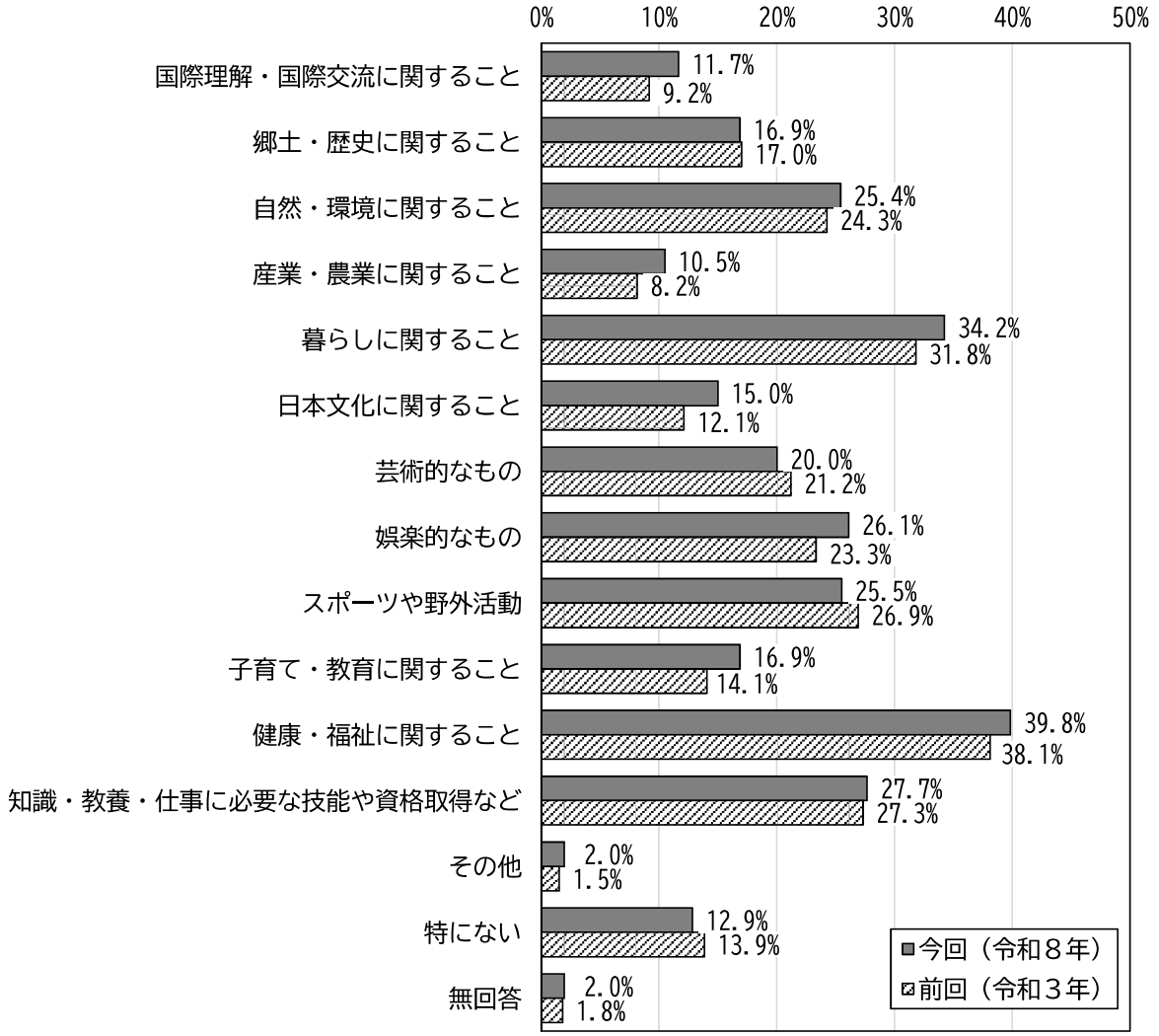
【性別・年齢別・職業別クロス】

		学習・講座の情報	イベントの情報	施設の情報	講師や指導者の情報	地域活動・ボランティアの情報	大学など教育機関の情報
全体（n=1,019）		44.9%	50.2%	35.9%	16.2%	27.8%	12.6%
【性別】	男性（n=430）	42.3%	47.4%	35.8%	16.0%	24.7%	13.5%
	女性（n=531）	48.2%	52.9%	36.2%	16.4%	30.7%	12.1%
	その他/回答しない（n=17）	35.3%	47.1%	35.3%	17.6%	17.6%	23.5%
【年齢別】	10代（n=15）	46.7%	40.0%	26.7%	6.7%	60.0%	20.0%
	20代（n=57）	40.4%	50.9%	26.3%	12.3%	26.3%	17.5%
	30代（n=132）	41.7%	56.8%	36.4%	15.9%	16.7%	12.9%
	40代（n=147）	51.0%	59.9%	39.5%	23.1%	26.5%	19.0%
	50代（n=175）	45.1%	56.0%	42.9%	18.3%	28.6%	13.1%
	60代（n=163）	54.6%	49.7%	41.7%	19.6%	31.3%	17.8%
	70代（n=201）	43.3%	44.8%	29.9%	10.9%	32.8%	6.0%
	80代以上（n=90）	32.2%	28.9%	27.8%	11.1%	23.3%	4.4%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	50.8%	47.5%	41.0%	16.4%	27.9%	14.8%
	会社員・公務員（n=317）	47.6%	56.5%	36.9%	18.3%	24.3%	14.2%
	パート・アルバイト（n=209）	50.7%	57.9%	42.6%	14.4%	31.6%	14.4%
	学生（n=30）	36.7%	40.0%	13.3%	13.3%	43.3%	26.7%
	家族従業者（n=9）	22.2%	55.6%	55.6%	44.4%	0.0%	22.2%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	48.1%	48.1%	39.5%	18.5%	35.8%	11.1%
	その他・無職（n=260）	38.8%	40.0%	30.4%	13.8%	26.5%	8.8%

		学習グループ・団体などの情報	資格取得の情報	その他	特にない	無回答
全体（n=1,019）		21.1%	22.0%	1.6%	17.7%	2.6%
【性別】	男性（n=430）	21.2%	23.7%	1.2%	18.1%	0.9%
	女性（n=531）	21.7%	21.8%	1.9%	17.1%	2.8%
	その他/回答しない（n=17）	11.8%	17.6%	0.0%	41.2%	0.0%
【年齢別】	10代（n=15）	33.3%	46.7%	0.0%	13.3%	0.0%
	20代（n=57）	10.5%	40.4%	3.5%	17.5%	0.0%
	30代（n=132）	18.9%	31.1%	1.5%	17.4%	1.5%
	40代（n=147）	18.4%	36.7%	0.0%	12.2%	0.0%
	50代（n=175）	17.1%	26.9%	2.3%	18.9%	1.7%
	60代（n=163）	32.5%	20.2%	1.2%	10.4%	1.8%
	70代（n=201）	21.4%	6.0%	1.5%	23.9%	1.5%
	80代以上（n=90）	21.1%	4.4%	2.2%	27.8%	8.9%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	13.1%	11.5%	1.6%	18.0%	4.9%
	会社員・公務員（n=317）	21.5%	32.2%	1.3%	14.8%	0.6%
	パート・アルバイト（n=209）	21.5%	28.2%	2.4%	11.5%	1.4%
	学生（n=30）	16.7%	43.3%	0.0%	20.0%	0.0%
	家族従業者（n=9）	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	24.7%	21.0%	3.7%	18.5%	2.5%
	その他・無職（n=260）	22.3%	8.8%	0.8%	26.5%	3.1%

問 10　あなたは、今後どのようなことについて、生涯学習活動を行いたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

今後行いたい生涯学習活動については、「健康・福祉に関すること」が 39.8%と最も多く、次いで、「暮らしに関すること」が 34.2%、「知識・教養・仕事に必要な技能や資格取得など」が 27.7%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
国際理解・国際交流に関すること	119	11.7%	90	9.2%
郷土・歴史に関すること	172	16.9%	167	17.0%
自然・環境に関すること	259	25.4%	238	24.3%
産業・農業に関すること	107	10.5%	80	8.2%
暮らしに関すること	349	34.2%	312	31.8%
日本文化に関すること	153	15.0%	119	12.1%
芸術的なもの	204	20.0%	208	21.2%
娯楽的なもの	266	26.1%	229	23.3%
スポーツや野外活動	260	25.5%	264	26.9%
子育て・教育に関すること	172	16.9%	138	14.1%
健康・福祉に関すること	406	39.8%	374	38.1%
知識・教養・仕事に必要な技能や資格取得など	282	27.7%	268	27.3%
その他	20	2.0%	15	1.5%
特にない	131	12.9%	136	13.9%
無回答	20	2.0%	18	1.8%
回答者数	1,019		981	

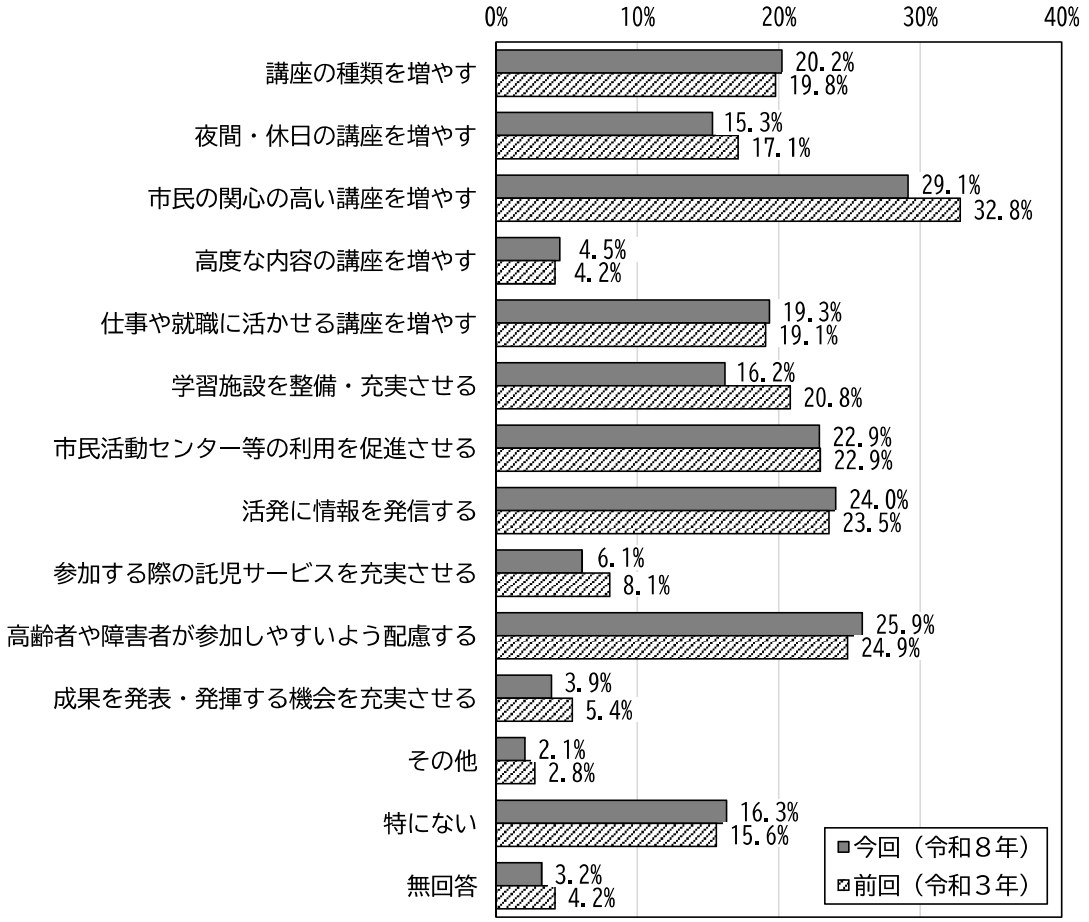
【性別・年齢別・職業別クロス】

		国際理解・国際交流に関すること	郷土・歴史に関すること	自然・環境に関すること	産業・農業に関すること	暮らしに関すること	日本文化に関すること	芸術的なもの	娯楽的なもの
全体（n=1,019）		11.7%	16.9%	25.4%	10.5%	34.2%	15.0%	20.0%	26.1%
【性別】	男性（n=430）	13.3%	21.6%	27.4%	12.6%	29.8%	13.3%	12.8%	22.8%
	女性（n=531）	10.5%	13.2%	24.5%	8.9%	38.8%	17.1%	25.8%	28.6%
	その他/回答しない（n=17）	17.6%	5.9%	11.8%	0.0%	23.5%	17.6%	17.6%	29.4%
【年齢別】	10代（n=15）	20.0%	26.7%	13.3%	6.7%	6.7%	13.3%	40.0%	40.0%
	20代（n=57）	15.8%	10.5%	22.8%	15.8%	29.8%	22.8%	17.5%	33.3%
	30代（n=132）	16.7%	9.8%	21.2%	11.4%	32.6%	19.7%	25.0%	28.0%
	40代（n=147）	14.3%	23.1%	28.6%	15.0%	36.1%	15.6%	21.8%	27.9%
	50代（n=175）	9.1%	12.0%	21.7%	11.4%	34.3%	12.6%	22.9%	29.7%
	60代（n=163）	11.0%	24.5%	27.0%	8.0%	42.9%	19.6%	19.6%	24.5%
	70代（n=201）	11.9%	17.4%	32.3%	9.5%	34.8%	12.9%	15.9%	21.9%
	80代以上（n=90）	3.3%	12.2%	20.0%	3.3%	27.8%	7.8%	11.1%	20.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	16.4%	24.6%	26.2%	14.8%	23.0%	18.0%	24.6%	24.6%
	会社員・公務員（n=317）	14.8%	15.5%	23.3%	13.2%	32.5%	17.4%	18.9%	28.4%
	パート・アルバイト（n=209）	9.6%	16.7%	25.4%	9.1%	41.6%	15.3%	23.0%	29.2%
	学生（n=30）	20.0%	26.7%	26.7%	6.7%	16.7%	16.7%	23.3%	33.3%
	家族従業者（n=9）	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	44.4%	44.4%	22.2%	33.3%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	11.1%	14.8%	37.0%	13.6%	45.7%	12.3%	34.6%	19.8%
	その他・無職（n=260）	9.2%	17.3%	24.6%	6.9%	33.5%	13.5%	12.3%	23.5%

		スポーツや野外活動	子育て・教育に関すること	健康・福祉に関すること	知識・教養・仕事に必要な技能や資格取得など	その他	特にない	無回答
全体（n=1,019）		25.5%	16.9%	39.8%	27.7%	2.0%	12.9%	2.0%
【性別】	男性（n=430）	32.6%	12.3%	34.7%	28.1%	2.1%	13.0%	0.9%
	女性（n=531）	21.3%	20.9%	45.4%	27.9%	1.9%	11.9%	2.1%
	その他/回答しない（n=17）	11.8%	17.6%	23.5%	29.4%	5.9%	41.2%	0.0%
【年齢別】	10代（n=15）	66.7%	20.0%	26.7%	73.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代（n=57）	22.8%	24.6%	26.3%	49.1%	1.8%	8.8%	0.0%
	30代（n=132）	33.3%	43.9%	31.8%	37.9%	0.8%	15.2%	0.0%
	40代（n=147）	23.8%	37.4%	32.0%	40.8%	0.0%	10.2%	0.0%
	50代（n=175）	25.1%	9.1%	37.7%	36.0%	2.9%	14.9%	1.1%
	60代（n=163）	30.1%	6.7%	47.2%	22.1%	1.8%	7.4%	1.2%
	70代（n=201）	25.9%	4.5%	46.3%	10.9%	2.5%	15.4%	2.0%
	80代以上（n=90）	10.0%	2.2%	55.6%	4.4%	5.6%	18.9%	7.8%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	24.6%	18.0%	36.1%	16.4%	1.6%	14.8%	1.6%
	会社員・公務員（n=317）	33.1%	24.6%	30.3%	39.7%	0.6%	9.8%	0.9%
	パート・アルバイト（n=209）	23.9%	23.4%	45.5%	31.6%	2.9%	10.0%	0.0%
	学生（n=30）	43.3%	10.0%	20.0%	60.0%	3.3%	3.3%	0.0%
	家族従業者（n=9）	11.1%	0.0%	44.4%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	23.5%	18.5%	55.6%	22.2%	1.2%	14.8%	0.0%
	その他・無職（n=260）	20.4%	4.2%	45.8%	13.1%	3.1%	19.2%	4.2%

問11　あなたは、生涯学習活動の機会を充実させるために、東松山市に特に力を入れてほしいことは何ですか。（あてはまる番号に３つまで○）

生涯学習活動の機会を充実させるために、東松山市に特に力を入れてほしいことについては、「市民の関心の高い講座を増やす」が29.1%と最も多く、次いで、「高齢者や障害者が参加しやすいよう配慮する」が25.9%、「活発に情報を発信する」が24.0%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
講座の種類を増やす	206	20.2%	194	19.8%
夜間・休日の講座を増やす	156	15.3%	168	17.1%
市民の関心の高い講座を増やす	297	29.1%	322	32.8%
高度な内容の講座を増やす	46	4.5%	41	4.2%
仕事や就職に活かせる講座を増やす	197	19.3%	187	19.1%
学習施設を整備・充実させる	165	16.2%	204	20.8%
市民活動センター等の利用を促進させる	233	22.9%	225	22.9%
活発に情報を発信する	245	24.0%	231	23.5%
参加する際の託児サービスを充実させる	62	6.1%	79	8.1%
高齢者や障害者が参加しやすいよう配慮する	264	25.9%	244	24.9%
成果を発表・発揮する機会を充実させる	40	3.9%	53	5.4%
その他	21	2.1%	27	2.8%
特にない	166	16.3%	153	15.6%
無回答	33	3.2%	41	4.2%
回答者数	1,019		981	

【性別・年齢別・職業別クロス】

		講座の種類を増やす	夜間・休日の講座を増やす	市民の関心の高い講座を増やす	高度な内容の講座を増やす	仕事や就職に活かせる講座を増やす	学習施設を整備・充実させる	市民活動センター等の利用を促進させる
全体（n=1,019）		20.2%	15.3%	29.1%	4.5%	19.3%	16.2%	22.9%
【性別】	男性（n=430）	19.1%	17.4%	25.8%	6.0%	20.0%	16.3%	24.7%
	女性（n=531）	22.0%	14.5%	32.6%	3.6%	19.8%	16.2%	21.8%
	その他/回答しない（n=17）	11.8%	23.5%	17.6%	5.9%	17.6%	17.6%	11.8%
【年齢別】	10代（n=15）	26.7%	20.0%	33.3%	6.7%	60.0%	20.0%	13.3%
	20代（n=57）	14.0%	7.0%	22.8%	8.8%	40.4%	14.0%	19.3%
	30代（n=132）	12.9%	20.5%	22.0%	3.8%	28.8%	22.7%	12.1%
	40代（n=147）	19.7%	23.8%	28.6%	4.8%	29.9%	27.9%	23.1%
	50代（n=175）	26.9%	29.7%	33.7%	6.9%	21.7%	13.1%	18.3%
	60代（n=163）	28.8%	15.3%	36.8%	2.5%	17.2%	13.5%	27.0%
	70代（n=201）	17.4%	4.0%	28.9%	4.5%	6.5%	11.9%	32.3%
	80代以上（n=90）	15.6%	2.2%	23.3%	3.3%	1.1%	8.9%	22.2%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	14.8%	19.7%	27.9%	9.8%	21.3%	9.8%	16.4%
	会社員・公務員（n=317）	20.8%	28.1%	25.6%	4.1%	25.9%	19.9%	19.9%
	パート・アルバイト（n=209）	23.9%	15.3%	34.9%	4.3%	27.3%	20.1%	22.5%
	学生（n=30）	20.0%	16.7%	26.7%	6.7%	36.7%	26.7%	13.3%
	家族従業者（n=9）	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	11.1%	11.1%	44.4%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	21.0%	4.9%	32.1%	3.7%	7.4%	16.0%	29.6%
	その他・無職（n=260）	18.8%	4.2%	29.2%	4.2%	9.2%	9.6%	26.9%

		活発に情報を発信する	参加する際の託児サービスを充実させる	高齢者や障害者が参加しやすいよう配慮する	成果を発表・発揮する機会を充実させる	その他	特にない	無回答
全体（n=1,019）		24.0%	6.1%	25.9%	3.9%	2.1%	16.3%	3.2%
【性別】	男性（n=430）	22.8%	4.9%	25.8%	4.9%	2.1%	18.6%	1.6%
	女性（n=531）	25.6%	7.5%	26.6%	3.2%	2.3%	13.7%	3.6%
	その他/回答しない（n=17）	17.6%	5.9%	5.9%	0.0%	0.0%	47.1%	0.0%
【年齢別】	10代（n=15）	46.7%	0.0%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代（n=57）	22.8%	7.0%	12.3%	3.5%	3.5%	22.8%	0.0%
	30代（n=132）	25.0%	16.7%	6.1%	4.5%	3.8%	19.7%	0.0%
	40代（n=147）	27.2%	9.5%	9.5%	4.8%	2.7%	12.2%	0.7%
	50代（n=175）	25.1%	3.4%	14.3%	3.4%	1.1%	17.1%	1.1%
	60代（n=163）	30.1%	5.5%	36.8%	3.1%	1.2%	11.0%	1.8%
	70代（n=201）	20.4%	3.0%	43.3%	4.0%	2.0%	21.4%	6.0%
	80代以上（n=90）	11.1%	1.1%	56.7%	3.3%	2.2%	15.6%	8.9%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	26.2%	9.8%	27.9%	6.6%	3.3%	16.4%	1.6%
	会社員・公務員（n=317）	26.5%	7.3%	11.0%	3.2%	2.2%	15.8%	0.9%
	パート・アルバイト（n=209）	25.4%	6.7%	23.9%	4.3%	1.0%	11.5%	1.4%
	学生（n=30）	36.7%	0.0%	13.3%	3.3%	3.3%	13.3%	0.0%
	家族従業者（n=9）	22.2%	0.0%	22.2%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	28.4%	12.3%	35.8%	3.7%	2.5%	17.3%	4.9%
	その他・無職（n=260）	18.1%	3.1%	42.3%	3.1%	2.3%	22.3%	5.0%

問 12　生涯学習を進めるために、ご意見ご要望がございましたら自由にお書きください。

※別途自由記述編Ｐ.84 を参照

2　文化芸術分野について

【文化芸術とは】

文化芸術は，人々の創造性をはぐくみ，その表現力を高めるとともに，人々の心のつながりや相互に理解し尊重し合う土壌を提供し，多様性を受け入れることができる心豊かな社会を形成するものであり，世界の平和に寄与するものである。更に，文化芸術は，それ自体が固有の意義と価値を有するとともに，それぞれの国やそれぞれの時代における国民共通のよりどころとして重要な意味を持ち，国際化が進展する中にあって，自己認識の基点となり，文化的な伝統を尊重する心を育てるものである。　出典：『文化芸術基本法』.（平成 13 年 12 月７日　法第 148 号）

【文化芸術基本法】

「文化芸術基本法」は，文化芸術に関する活動を行う人々の自主的な活動を促進することを基本としながら，文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図り，心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に貢献することを目的としています。（中略）

観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等文化芸術に関連する幅広い分野も含めた施策を推進するとともに，行政機関・文化芸術団体・民間事業者・学校・地域等の連携のこれまで以上の連携により，文化芸術に関する施策が更に推進されていくことが期待されます。

出典：文化庁ＨＰ

【文化芸術基本法が対象とする範囲】

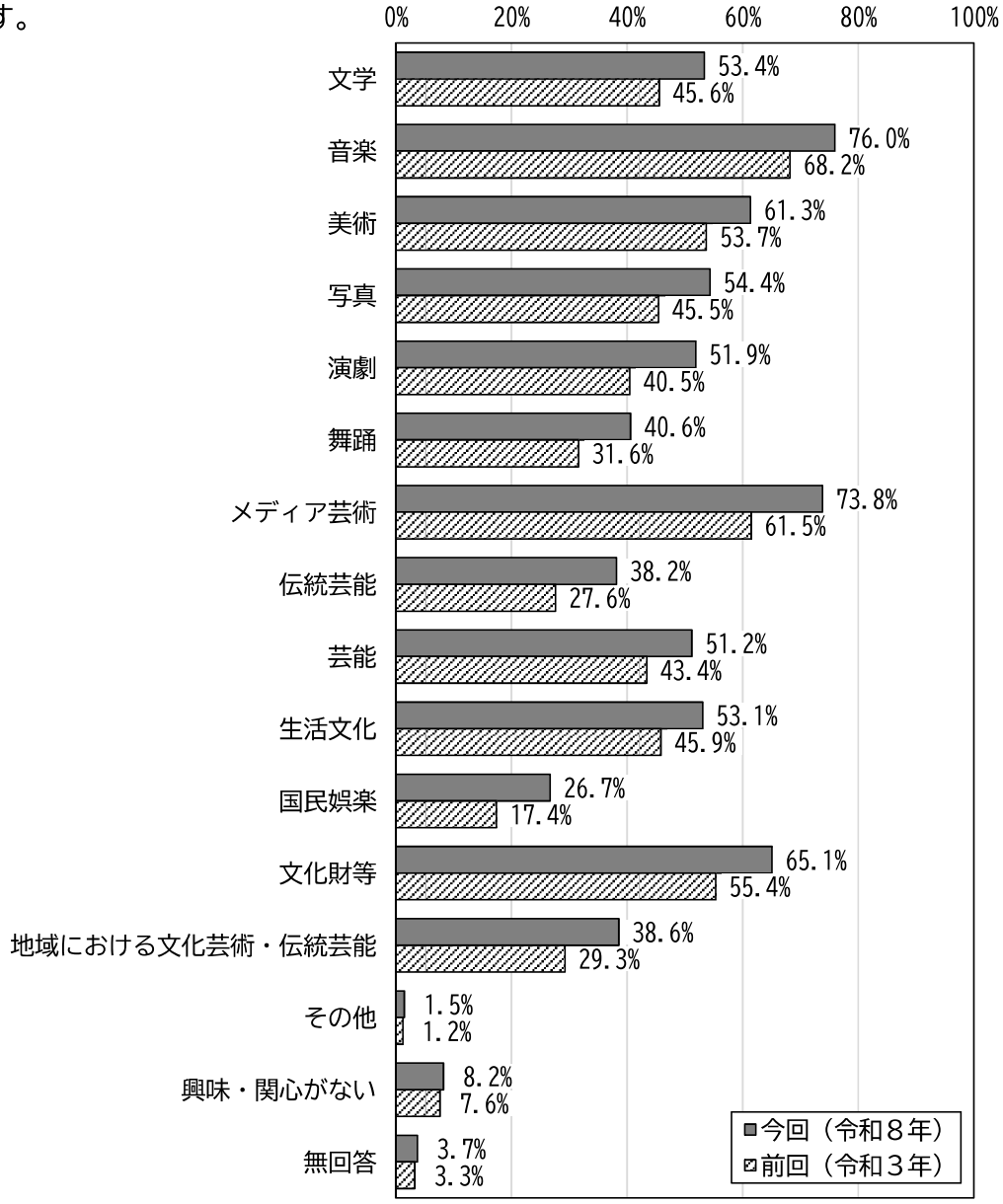
※このアンケートでの文化芸術の範囲は、文化芸術基本法が対象としている範囲を基本とします。

① 芸術（文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊 等）
② メディア芸術（映画、漫画、アニメーション 等）
③ 伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎、組踊 等）
④ 芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才、歌唱 等）
⑤ 生活文化（茶道、華道、書道、食文化等）、国民娯楽（囲碁、将棋等）、出版物、レコード等
⑥ 文化財等（有形・無形の文化財とその保存技術）
⑦ 地域における文化芸術（各地域の文化芸術の公演、展示、芸術祭等・地域固有の伝統芸能、地域の人々による民俗芸能）

問 13　あなたは、どのような文化芸術に興味・関心がありますか。（あてはまる番号すべてに○）

どのような文化芸術に興味・関心があるかについては、「音楽」が 76.0%と最も多く、次いで、「メディア芸術」が 73.8%、「文化財等」が 65.1%となっています。

前回と比較すると、いずれの分野でも、興味・関心の割合が増加しています。「メディア芸術」が 12.3 ポイント、「演劇」が 11.4 ポイント、「伝統芸能」が 10.6 ポイントとなっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
文学	544	53.4%	447	45.6%
音楽	774	76.0%	669	68.2%
美術	625	61.3%	527	53.7%
写真	554	54.4%	446	45.5%
演劇	529	51.9%	397	40.5%
舞踊	414	40.6%	310	31.6%
メディア芸術	752	73.8%	603	61.5%
伝統芸能	389	38.2%	271	27.6%
芸能	522	51.2%	426	43.4%
生活文化	541	53.1%	450	45.9%
国民娯楽	272	26.7%	171	17.4%
文化財等	663	65.1%	543	55.4%
地域における文化芸術・伝統芸能	393	38.6%	287	29.3%
その他	15	1.5%	12	1.2%
興味関心がない	84	8.2%	75	7.6%
無回答	38	3.7%	32	3.3%
回答者数	1,019		981	

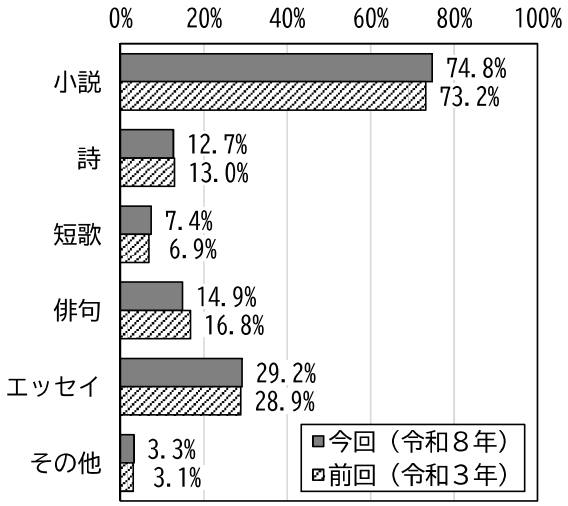
【性別・年齢別・職業別クロス】

		文学	音楽	美術	写真	演劇	舞踊	メディア芸術	伝統芸能
全体（n=1,019）		53.4%	76.0%	61.3%	54.4%	51.9%	40.6%	73.8%	38.2%
【性別】	男性（n=430）	52.8%	77.2%	61.9%	55.8%	46.5%	34.9%	76.7%	35.1%
	女性（n=531）	55.2%	75.9%	62.1%	54.4%	57.4%	45.4%	73.6%	41.6%
	その他/回答しない（n=17）	58.8%	58.8%	64.7%	52.9%	52.9%	35.3%	64.7%	35.3%
【年齢別】	10代（n=15）	73.3%	86.7%	73.3%	73.3%	73.3%	60.0%	100.0%	46.7%
	20代（n=57）	70.2%	82.5%	68.4%	64.9%	66.7%	50.9%	93.0%	43.9%
	30代（n=132）	65.9%	79.5%	65.9%	62.9%	65.2%	38.6%	87.9%	41.7%
	40代（n=147）	57.8%	78.9%	65.3%	59.2%	53.7%	41.5%	85.7%	34.7%
	50代（n=175）	45.7%	74.9%	56.0%	49.1%	50.3%	37.7%	75.4%	29.1%
	60代（n=163）	49.7%	72.4%	63.2%	54.6%	51.5%	41.1%	74.2%	41.7%
	70代（n=201）	51.2%	79.1%	64.7%	53.7%	47.8%	38.8%	62.7%	44.3%
	80代以上（n=90）	47.8%	64.4%	48.9%	42.2%	35.6%	41.1%	50.0%	36.7%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	50.8%	73.8%	68.9%	54.1%	47.5%	44.3%	68.9%	37.7%
	会社員・公務員（n=317）	57.4%	79.5%	59.3%	57.1%	58.4%	42.0%	86.1%	39.4%
	パート・アルバイト（n=209）	54.5%	72.7%	67.5%	60.3%	55.5%	42.1%	77.0%	36.8%
	学生（n=30）	66.7%	80.0%	73.3%	66.7%	63.3%	46.7%	93.3%	40.0%
	家族従業者（n=9）	44.4%	77.8%	77.8%	22.2%	55.6%	44.4%	66.7%	55.6%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	50.6%	80.2%	66.7%	50.6%	56.8%	44.4%	69.1%	46.9%
	その他・無職（n=260）	49.6%	74.2%	56.2%	49.6%	41.5%	34.6%	61.9%	36.2%

		芸能	生活文化	国民娯楽	文化財等	地域における文化芸術・伝統芸能	その他	興味・関心がない	無回答
全体（n=1,019）		51.2%	53.1%	26.7%	65.1%	38.6%	1.5%	8.2%	3.7%
【性別】	男性（n=430）	55.1%	44.7%	37.0%	70.5%	38.6%	2.1%	7.2%	1.9%
	女性（n=531）	49.0%	60.3%	18.8%	61.8%	38.6%	1.1%	8.9%	4.0%
	その他/回答しない（n=17）	58.8%	58.8%	23.5%	58.8%	47.1%	0.0%	23.5%	5.9%
【年齢別】	10代（n=15）	80.0%	60.0%	46.7%	73.3%	53.3%	6.7%	6.7%	0.0%
	20代（n=57）	56.1%	52.6%	35.1%	66.7%	43.9%	0.0%	8.8%	0.0%
	30代（n=132）	47.0%	56.1%	27.3%	59.1%	40.9%	0.8%	10.6%	0.0%
	40代（n=147）	51.0%	57.1%	25.2%	68.0%	37.4%	2.0%	8.2%	1.4%
	50代（n=175）	45.7%	47.4%	21.1%	66.3%	32.6%	2.3%	9.7%	2.9%
	60代（n=163）	51.5%	60.1%	28.2%	70.6%	39.9%	1.8%	6.1%	1.8%
	70代（n=201）	59.2%	52.7%	28.4%	67.2%	40.8%	0.5%	9.5%	4.5%
	80代以上（n=90）	47.8%	43.3%	25.6%	55.6%	36.7%	2.2%	4.4%	12.2%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	54.1%	39.3%	24.6%	68.9%	39.3%	1.6%	9.8%	3.3%
	会社員・公務員（n=317）	50.5%	51.7%	30.6%	67.5%	38.2%	2.2%	7.3%	0.6%
	パート・アルバイト（n=209）	53.6%	60.3%	25.8%	65.6%	39.7%	1.4%	8.6%	1.9%
	学生（n=30）	66.7%	60.0%	40.0%	73.3%	50.0%	3.3%	13.3%	0.0%
	家族従業者（n=9）	66.7%	77.8%	0.0%	66.7%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	49.4%	67.9%	17.3%	65.4%	45.7%	1.2%	4.9%	6.2%
	その他・無職（n=260）	48.8%	46.9%	26.2%	61.9%	35.0%	0.8%	9.6%	5.4%

【文学】

どのような文学に興味・関心があるかついては、「小説」が 74.8%と最も多く、次いで、「エッセイ」が 29.2%、「俳句」が 14.9%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
小説	407	74.8%	327	73.2%
詩	69	12.7%	58	13.0%
短歌	40	7.4%	31	6.9%
俳句	81	14.9%	75	16.8%
エッセイ	159	29.2%	129	28.9%
その他	18	3.3%	14	3.1%
回答者数	544		447	

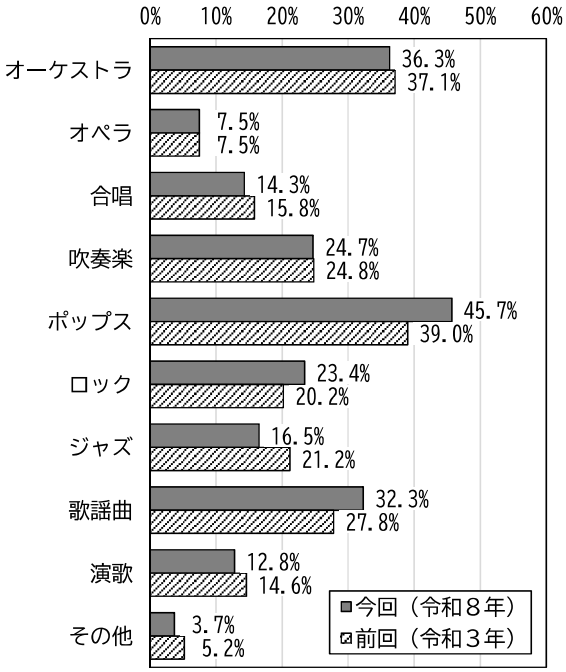
【性別・年齢別・職業別クロス】

		小説	詩	短歌	俳句	エッセイ	その他
全体（n=544）		74.8%	12.7%	7.4%	14.9%	29.2%	3.3%
【性別】	男性（n=227）	79.3%	11.5%	6.6%	14.1%	19.4%	4.0%
	女性（n=293）	72.0%	13.0%	8.5%	16.0%	36.2%	3.1%
	その他/回答しない（n=10）	90.0%	20.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=11）	72.7%	9.1%	9.1%	9.1%	27.3%	9.1%
	20代（n=40）	80.0%	5.0%	5.0%	12.5%	22.5%	10.0%
	30代（n=87）	83.9%	9.2%	5.7%	5.7%	33.3%	2.3%
	40代（n=85）	74.1%	9.4%	2.4%	8.2%	31.8%	2.4%
	50代（n=80）	75.0%	10.0%	6.3%	12.5%	31.3%	5.0%
	60代（n=81）	85.2%	21.0%	4.9%	11.1%	27.2%	2.5%
	70代（n=103）	64.1%	15.5%	12.6%	24.3%	28.2%	2.9%
	80代以上（n=43）	67.4%	14.0%	18.6%	39.5%	20.9%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=31）	93.5%	22.6%	3.2%	6.5%	12.9%	3.2%
	会社員・公務員（n=182）	82.4%	8.2%	6.0%	9.3%	21.4%	4.4%
	パート・アルバイト（n=114）	72.8%	11.4%	3.5%	15.8%	40.4%	1.8%
	学生（n=20）	80.0%	10.0%	5.0%	10.0%	15.0%	5.0%
	家族従業者（n=4）	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=41）	75.6%	12.2%	12.2%	12.2%	43.9%	0.0%
	その他・無職（n=129）	64.3%	17.8%	13.2%	26.4%	27.9%	4.7%

【音楽】

どのような音楽に興味・関心があるかについては、「ポップス」が 45.7%と最も多く、次いで、「オーケストラ」が 36.3%、「歌謡曲」が 32.3%となっています。

前回と比較すると、「ポップス」が 6.7 ポイント増加となっています。



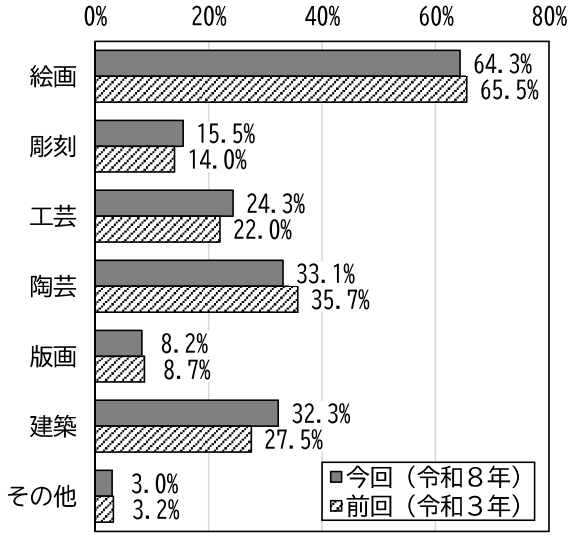
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
オーケストラ	281	36.3%	248	37.1%
オペラ	58	7.5%	50	7.5%
合唱	111	14.3%	106	15.8%
吹奏楽	191	24.7%	166	24.8%
ポップス	354	45.7%	261	39.0%
ロック	181	23.4%	135	20.2%
ジャズ	128	16.5%	142	21.2%
歌謡曲	250	32.3%	186	27.8%
演歌	99	12.8%	98	14.6%
その他	29	3.7%	35	5.2%
回答者数	774		669	

【性別・年齢別・職業別クロス】

		オーケストラ	オペラ	合唱	吹奏楽	ポップス	ロック	ジャズ	歌謡曲	演歌	その他
全体（n=774）		36.3%	7.5%	14.3%	24.7%	45.7%	23.4%	16.5%	32.3%	12.8%	3.7%
【性別】	男性（n=332）	31.3%	5.1%	6.9%	20.5%	45.5%	29.8%	18.7%	37.3%	18.1%	5.1%
	女性（n=403）	41.2%	9.4%	20.1%	27.8%	47.9%	19.1%	14.1%	27.8%	7.9%	2.5%
	その他/回答しない（n=10）	30.0%	10.0%	30.0%	20.0%	50.0%	30.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=13）	53.8%	7.7%	15.4%	30.8%	61.5%	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%
	20代（n=47）	40.4%	6.4%	17.0%	21.3%	63.8%	29.8%	17.0%	19.1%	6.4%	2.1%
	30代（n=105）	37.1%	10.5%	17.1%	21.9%	65.7%	32.4%	21.9%	12.4%	1.0%	3.8%
	40代（n=116）	35.3%	9.5%	14.7%	31.0%	54.3%	39.7%	16.4%	19.0%	4.3%	2.6%
	50代（n=131）	34.4%	8.4%	13.0%	23.7%	55.0%	34.4%	16.0%	36.6%	1.5%	3.1%
	60代（n=118）	34.7%	1.7%	11.0%	21.2%	50.0%	21.2%	21.2%	45.8%	6.8%	4.2%
	70代（n=159）	39.0%	8.8%	15.7%	27.0%	26.4%	8.2%	11.9%	40.9%	31.4%	4.4%
	80代以上（n=58）	32.8%	5.2%	12.1%	19.0%	12.1%	1.7%	10.3%	46.6%	39.7%	5.2%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=45）	37.8%	13.3%	13.3%	15.6%	46.7%	37.8%	28.9%	42.2%	15.6%	2.2%
	会社員・公務員（n=252）	35.3%	6.7%	11.5%	23.8%	54.4%	35.3%	16.7%	25.8%	3.6%	4.0%
	パート・アルバイト（n=152）	34.2%	9.2%	21.1%	30.9%	52.6%	20.4%	16.4%	30.9%	9.9%	3.9%
	学生（n=24）	54.2%	8.3%	8.3%	20.8%	62.5%	37.5%	8.3%	4.2%	0.0%	0.0%
	家族従業者（n=7）	42.9%	14.3%	28.6%	0.0%	28.6%	14.3%	28.6%	42.9%	42.9%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=65）	47.7%	9.2%	21.5%	33.8%	46.2%	13.8%	16.9%	36.9%	9.2%	4.6%
	その他・無職（n=193）	35.2%	5.2%	11.4%	20.7%	32.1%	13.0%	13.0%	40.4%	24.9%	3.6%

【美術】

どのような美術に興味・関心があるかについては、「絵画」が 64.3%と最も多く、次いで、「陶芸」が 33.1%、「建築」が 32.3%となっています。



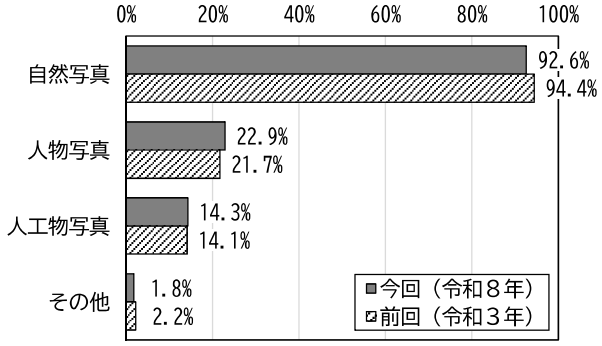
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
絵画	402	64.3%	345	65.5%
彫刻	97	15.5%	74	14.0%
工芸	152	24.3%	116	22.0%
陶芸	207	33.1%	188	35.7%
版画	51	8.2%	46	8.7%
建築	202	32.3%	145	27.5%
その他	19	3.0%	17	3.2%
回答者数	625		527	

【性別・年齢別・職業別クロス】

		絵画	彫刻	工芸	陶芸	版画	建築	その他
全体（n=625）		64.3%	15.5%	24.3%	33.1%	8.2%	32.3%	3.0%
【性別】	男性（n=266）	60.5%	16.5%	20.7%	27.4%	7.9%	39.5%	2.6%
	女性（n=330）	68.8%	15.2%	27.3%	37.9%	8.5%	27.9%	3.6%
	その他/回答しない（n=11）	36.4%	9.1%	18.2%	36.4%	0.0%	18.2%	0.0%
【年齢別】	10代（n=11）	81.8%	9.1%	9.1%	27.3%	9.1%	45.5%	0.0%
	20代（n=39）	64.1%	12.8%	20.5%	25.6%	7.7%	35.9%	7.7%
	30代（n=87）	63.2%	20.7%	34.5%	33.3%	11.5%	33.3%	2.3%
	40代（n=96）	66.7%	18.8%	28.1%	33.3%	5.2%	46.9%	0.0%
	50代（n=98）	56.1%	14.3%	24.5%	34.7%	8.2%	38.8%	4.1%
	60代（n=103）	70.9%	17.5%	26.2%	43.7%	8.7%	27.2%	1.9%
	70代（n=130）	64.6%	11.5%	20.0%	30.0%	7.7%	26.9%	4.6%
	80代以上（n=44）	63.6%	13.6%	9.1%	22.7%	6.8%	13.6%	4.5%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=42）	59.5%	16.7%	31.0%	26.2%	9.5%	54.8%	4.8%
	会社員・公務員（n=188）	59.6%	17.6%	28.7%	31.9%	10.6%	37.8%	1.1%
	パート・アルバイト（n=141）	70.9%	14.9%	20.6%	40.4%	5.0%	30.5%	2.8%
	学生（n=22）	72.7%	13.6%	18.2%	40.9%	13.6%	31.8%	4.5%
	家族従業者（n=7）	42.9%	28.6%	28.6%	71.4%	14.3%	28.6%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=54）	77.8%	16.7%	33.3%	33.3%	9.3%	33.3%	1.9%
	その他・無職（n=146）	61.0%	13.0%	17.8%	26.7%	6.2%	23.3%	6.2%

【写真】

どのような写真に興味・関心があるかについては、「自然写真」が 92.6%と最も多く、次いで、「人物写真」が 22.9%、「人工物写真」が 14.3%となっています。



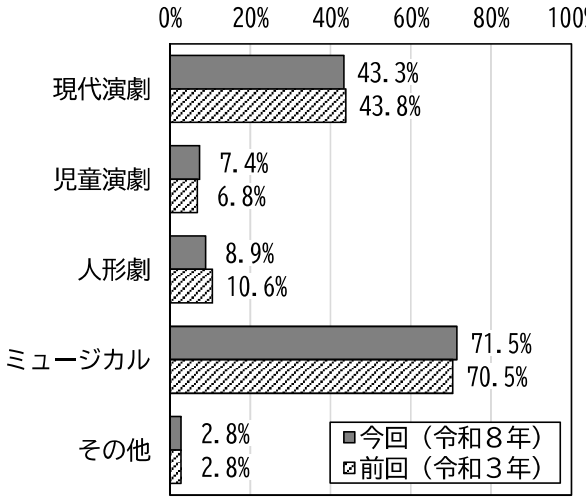
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
自然写真	513	92.6%	421	94.4%
人物写真	127	22.9%	97	21.7%
人工物写真	79	14.3%	63	14.1%
その他	10	1.8%	10	2.2%
回答者数	554		446	

【性別・年齢別・職業別クロス】

		自然写真	人物写真	人工物写真	その他
全体（n=554）		92.6%	22.9%	14.3%	1.8%
【性別】	男性（n=240）	91.7%	25.8%	16.7%	1.7%
	女性（n=289）	93.8%	20.8%	12.8%	2.1%
	その他/回答しない（n=9）	100.0%	11.1%	22.2%	0.0%
【年齢別】	10代（n=11）	90.9%	18.2%	9.1%	0.0%
	20代（n=37）	89.2%	24.3%	18.9%	0.0%
	30代（n=83）	95.2%	30.1%	19.3%	0.0%
	40代（n=87）	92.0%	35.6%	18.4%	0.0%
	50代（n=86）	89.5%	18.6%	19.8%	4.7%
	60代（n=89）	93.3%	22.5%	12.4%	2.2%
	70代（n=108）	94.4%	16.7%	9.3%	3.7%
	80代以上（n=38）	97.4%	5.3%	2.6%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=33）	100.0%	18.2%	18.2%	0.0%
	会社員・公務員（n=181）	90.6%	29.8%	17.7%	1.7%
	パート・アルバイト（n=126）	94.4%	24.6%	15.1%	0.8%
	学生（n=20）	90.0%	20.0%	15.0%	0.0%
	家族従業者（n=2）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=41）	95.1%	9.8%	9.8%	0.0%
	その他・無職（n=129）	93.0%	17.8%	10.9%	3.9%

【演劇】

どのような演劇に興味・関心があるかついては、「ミュージカル」が 71.5%と最も多く、次いで、「現代演劇」が 43.3%、「人形劇」が 8.9%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
現代演劇	229	43.3%	174	43.8%
児童演劇	39	7.4%	27	6.8%
人形劇	47	8.9%	42	10.6%
ミュージカル	378	71.5%	280	70.5%
その他	15	2.8%	11	2.8%
回答者数	529		397	

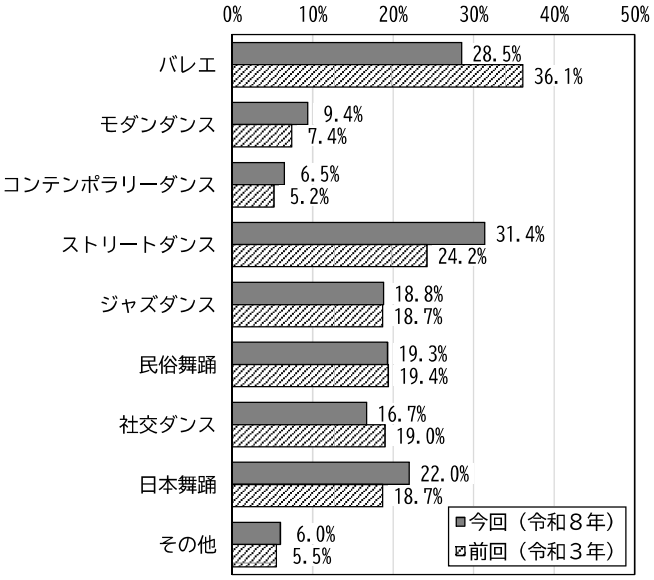
【性別・年齢別・職業別クロス】

		現代演劇	児童演劇	人形劇	ミュージカル	その他
全体（n=529）		43.3%	7.4%	8.9%	71.5%	2.8%
【性別】	男性（n=200）	50.5%	6.0%	8.0%	61.0%	4.0%
	女性（n=305）	39.3%	8.2%	9.2%	78.0%	2.3%
	その他/回答しない（n=9）	33.3%	11.1%	0.0%	88.9%	0.0%
【年齢別】	10代（n=11）	36.4%	9.1%	9.1%	81.8%	9.1%
	20代（n=38）	34.2%	2.6%	7.9%	57.9%	7.9%
	30代（n=86）	40.7%	15.1%	9.3%	84.9%	0.0%
	40代（n=79）	41.8%	8.9%	11.4%	78.5%	0.0%
	50代（n=88）	46.6%	4.5%	3.4%	68.2%	3.4%
	60代（n=84）	44.0%	10.7%	10.7%	77.4%	2.4%
	70代（n=96）	44.8%	2.1%	9.4%	63.5%	6.3%
	80代以上（n=32）	56.3%	3.1%	6.3%	50.0%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=29）	69.0%	17.2%	20.7%	51.7%	0.0%
	会社員・公務員（n=185）	36.8%	7.0%	7.0%	75.1%	3.2%
	パート・アルバイト（n=116）	42.2%	8.6%	9.5%	76.7%	0.9%
	学生（n=19）	47.4%	0.0%	5.3%	57.9%	5.3%
	家族従業者（n=5）	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=46）	52.2%	8.7%	10.9%	80.4%	0.0%
	その他・無職（n=108）	43.5%	3.7%	7.4%	66.7%	5.6%

【舞踊】

どのような舞踊に興味・関心があるかついては、「ストリートダンス」が 31.4%と最も多く、次いで、「バレエ」が 28.5%、「日本舞踊」が 22.0%となっています。

前回と比較すると、「ストリートダンス」が 7.2 ポイント増加し、「バレエ」が 7.6 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
バレエ	118	28.5%	112	36.1%
モダンダンス	39	9.4%	23	7.4%
コンテンポラリー	27	6.5%	16	5.2%
ストリートダンス	130	31.4%	75	24.2%
ジャズダンス	78	18.8%	58	18.7%
民俗舞踊	80	19.3%	60	19.4%
社交ダンス	69	16.7%	59	19.0%
日本舞踊	91	22.0%	58	18.7%
その他	25	6.0%	17	5.5%
回答者数	414		310	

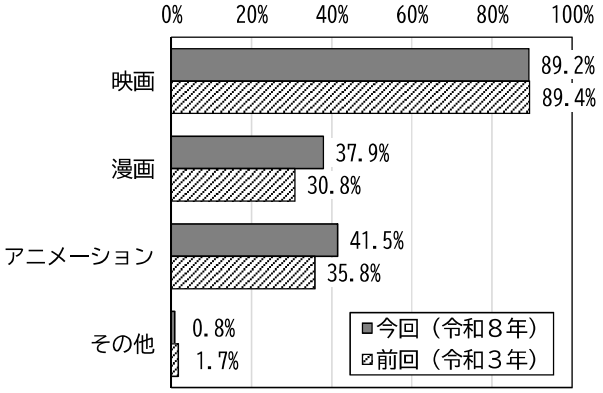
【性別・年齢別・職業別クロス】

		バレエ	モダンダンス	コンテンポラリーダンス	ストリートダンス	ジャズダンス	民俗舞踊	社交ダンス	日本舞踊	その他
全体（n=414）		28.5%	9.4%	6.5%	31.4%	18.8%	19.3%	16.7%	22.0%	6.0%
【性別】	男性（n=150）	14.0%	6.0%	5.3%	41.3%	14.7%	18.0%	17.3%	18.0%	6.7%
	女性（n=241）	38.2%	11.6%	7.9%	26.1%	21.2%	18.7%	16.2%	24.5%	5.8%
	その他/回答しない（n=6）	16.7%	0.0%	0.0%	33.3%	16.7%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%
【年齢別】	10代（n=9）	44.4%	22.2%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%
	20代（n=29）	20.7%	3.4%	6.9%	44.8%	3.4%	13.8%	6.9%	27.6%	10.3%
	30代（n=51）	25.5%	7.8%	5.9%	52.9%	21.6%	13.7%	13.7%	21.6%	3.9%
	40代（n=61）	21.3%	11.5%	6.6%	52.5%	23.0%	16.4%	11.5%	14.8%	3.3%
	50代（n=66）	34.8%	6.1%	10.6%	39.4%	18.2%	13.6%	13.6%	15.2%	12.1%
	60代（n=67）	35.8%	14.9%	9.0%	28.4%	23.9%	19.4%	16.4%	19.4%	6.0%
	70代（n=78）	26.9%	7.7%	3.8%	12.8%	19.2%	28.2%	25.6%	28.2%	5.1%
	80代以上（n=37）	27.0%	8.1%	0.0%	0.0%	10.8%	24.3%	24.3%	35.1%	2.7%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=27）	37.0%	14.8%	7.4%	44.4%	44.4%	25.9%	18.5%	18.5%	3.7%
	会社員・公務員（n=133）	22.6%	9.0%	8.3%	46.6%	13.5%	12.8%	12.0%	17.3%	6.0%
	パート・アルバイト（n=88）	31.8%	6.8%	3.4%	30.7%	19.3%	20.5%	17.0%	21.6%	6.8%
	学生（n=14）	42.9%	14.3%	21.4%	35.7%	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%
	家族従業者（n=4）	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=36）	38.9%	22.2%	5.6%	30.6%	27.8%	25.0%	19.4%	25.0%	2.8%
	その他・無職（n=90）	26.7%	5.6%	5.6%	8.9%	14.4%	22.2%	22.2%	30.0%	8.9%

【メディア芸術】

どのようなメディア芸術に興味・関心があるかついては、「映画」が 89.2%と最も多く、次いで、「アニメーション」が 41.5%、「漫画」が 37.9%となっています。

前回と比較すると、「漫画」が 7.1 ポイント、「アニメーション」が 5.7 ポイント増加となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
映画	671	89.2%	539	89.4%
漫画	285	37.9%	186	30.8%
アニメーション	312	41.5%	216	35.8%
その他	6	0.8%	10	1.7%
回答者数	752		603	

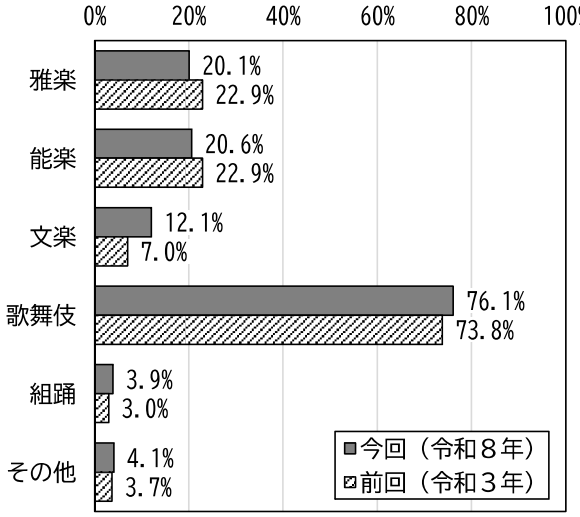
【性別・年齢別・職業別クロス】

		映画	漫画	アニメーション	その他
全体（n=752）		89.2%	37.9%	41.5%	0.8%
【性別】	男性（n=330）	89.4%	42.4%	46.7%	1.2%
	女性（n=391）	89.3%	34.3%	37.9%	0.5%
	その他/回答しない（n=11）	72.7%	63.6%	45.5%	0.0%
【年齢別】	10代（n=15）	86.7%	60.0%	46.7%	0.0%
	20代（n=53）	77.4%	64.2%	69.8%	0.0%
	30代（n=116）	89.7%	66.4%	63.8%	0.9%
	40代（n=126）	84.1%	60.3%	52.4%	0.0%
	50代（n=132）	87.1%	33.3%	44.7%	0.0%
	60代（n=121）	93.4%	26.4%	28.1%	1.7%
	70代（n=126）	95.2%	7.9%	19.0%	1.6%
	80代以上（n=45）	93.3%	2.2%	15.6%	2.2%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=42）	83.3%	45.2%	47.6%	0.0%
	会社員・公務員（n=273）	87.2%	52.7%	51.6%	0.4%
	パート・アルバイト（n=161）	90.7%	37.9%	38.5%	0.0%
	学生（n=28）	82.1%	53.6%	50.0%	0.0%
	家族従業者（n=6）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=56）	85.7%	28.6%	48.2%	1.8%
	その他・無職（n=161）	93.2%	18.0%	27.3%	1.9%

【伝統芸能】

どのような伝統芸能に興味・関心があるかついては、「歌舞伎」が 76.1%と最も多く、次いで、「能楽」が 20.6%、「雅楽」が 20.1%となっています。

前回と比較すると、「文楽」が 5.1 ポイント増加となっています。



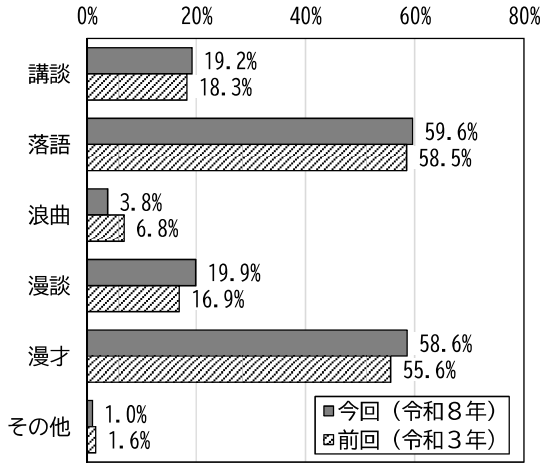
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
雅楽	78	20.1%	62	22.9%
能楽	80	20.6%	62	22.9%
文楽	47	12.1%	19	7.0%
歌舞伎	296	76.1%	200	73.8%
組踊	15	3.9%	8	3.0%
その他	16	4.1%	10	3.7%
回答者数	389		271	

【性別・年齢別・職業別クロス】

		雅楽	能楽	文楽	歌舞伎	組踊	その他
全体（n=389）		20.1%	20.6%	12.1%	76.1%	3.9%	4.1%
【性別】	男性（n=151）	20.5%	17.9%	13.2%	74.2%	4.0%	3.3%
	女性（n=221）	20.4%	22.2%	10.9%	77.4%	3.2%	5.0%
	その他/回答しない（n=6）	16.7%	33.3%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=7）	28.6%	0.0%	14.3%	57.1%	0.0%	14.3%
	20代（n=25）	28.0%	28.0%	16.0%	40.0%	0.0%	20.0%
	30代（n=55）	25.5%	23.6%	18.2%	81.8%	5.5%	3.6%
	40代（n=51）	13.7%	25.5%	5.9%	80.4%	2.0%	2.0%
	50代（n=51）	33.3%	19.6%	13.7%	70.6%	3.9%	7.8%
	60代（n=68）	20.6%	22.1%	13.2%	89.7%	1.5%	1.5%
	70代（n=89）	13.5%	15.7%	7.9%	75.3%	6.7%	2.2%
	80代以上（n=33）	12.1%	18.2%	12.1%	75.8%	0.0%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=23）	17.4%	30.4%	13.0%	82.6%	4.3%	0.0%
	会社員・公務員（n=125）	19.2%	20.8%	14.4%	77.6%	1.6%	6.4%
	パート・アルバイト（n=77）	20.8%	11.7%	10.4%	79.2%	3.9%	3.9%
	学生（n=12）	16.7%	33.3%	8.3%	41.7%	0.0%	8.3%
	家族従業者（n=5）	20.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=38）	23.7%	26.3%	5.3%	89.5%	2.6%	0.0%
	その他・無職（n=94）	19.1%	22.3%	11.7%	70.2%	5.3%	4.3%

【芸能】

どのような芸能に興味・関心があるかついては、「落語」が 59.6%と最も多く、次いで、「漫才」が 58.6%、「漫談」が 19.9%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
講談	100	19.2%	78	18.3%
落語	311	59.6%	249	58.5%
浪曲	20	3.8%	29	6.8%
漫談	104	19.9%	72	16.9%
漫才	306	58.6%	237	55.6%
その他	5	1.0%	7	1.6%
回答者数	522		426	

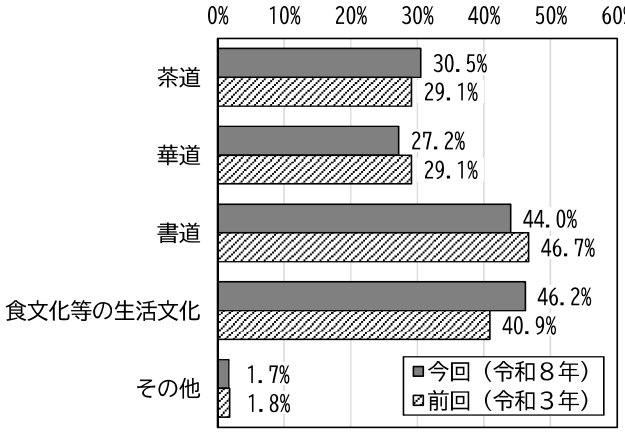
【性別・年齢別・職業別クロス】

		講談	落語	浪曲	漫談	漫才	その他
全体（n=522）		19.2%	59.6%	3.8%	19.9%	58.6%	1.0%
【性別】	男性（n=237）	20.3%	62.0%	4.6%	25.3%	61.6%	0.4%
	女性（n=260）	17.7%	57.3%	3.1%	15.0%	56.9%	1.2%
	その他/回答しない（n=10）	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	60.0%	10.0%
【年齢別】	10代（n=12）	0.0%	41.7%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
	20代（n=32）	6.3%	43.8%	0.0%	15.6%	71.9%	6.3%
	30代（n=62）	19.4%	43.5%	3.2%	24.2%	79.0%	0.0%
	40代（n=75）	17.3%	53.3%	1.3%	21.3%	65.3%	0.0%
	50代（n=80）	21.3%	47.5%	2.5%	20.0%	66.3%	3.8%
	60代（n=84）	20.2%	64.3%	0.0%	25.0%	59.5%	0.0%
	70代（n=119）	22.7%	77.3%	5.0%	16.8%	43.7%	0.0%
	80代以上（n=43）	18.6%	69.8%	18.6%	9.3%	37.2%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=33）	36.4%	66.7%	6.1%	36.4%	54.5%	0.0%
	会社員・公務員（n=160）	12.5%	51.3%	0.6%	24.4%	70.6%	0.6%
	パート・アルバイト（n=112）	25.9%	53.6%	3.6%	16.1%	66.1%	0.0%
	学生（n=20）	5.0%	50.0%	0.0%	15.0%	60.0%	5.0%
	家族従業者（n=6）	33.3%	33.3%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=40）	12.5%	65.0%	2.5%	15.0%	50.0%	2.5%
	その他・無職（n=127）	18.9%	74.0%	7.9%	15.7%	43.3%	1.6%

【生活文化】

どのような生活文化に興味・関心があるかついては、「食文化等の生活文化」が 46.2%と最も多く、次いで、「書道」が 44.0%、「茶道」が 30.5%となっています。

前回と比較すると、「食文化等の生活文化」が 5.3 ポイント増加となっています。



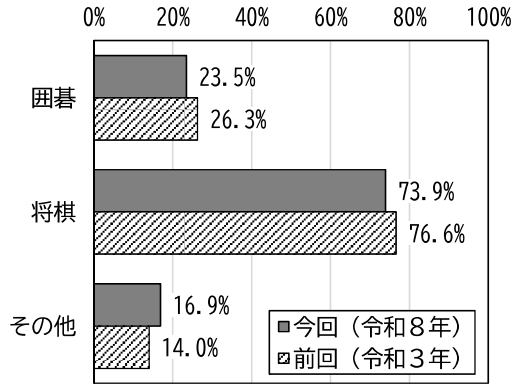
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
茶道	165	30.5%	131	29.1%
華道	147	27.2%	131	29.1%
書道	238	44.0%	210	46.7%
食文化等の生活文化	250	46.2%	184	40.9%
その他	9	1.7%	8	1.8%
回答者数	541		450	

【性別・年齢別・職業別クロス】

		茶道	華道	書道	食文化等の生活文化	その他
全体（n=541）		30.5%	27.2%	44.0%	46.2%	1.7%
【性別】	男性（n=192）	25.5%	10.4%	35.4%	53.1%	2.1%
	女性（n=320）	35.0%	37.5%	49.1%	41.9%	1.6%
	その他/回答しない（n=10）	10.0%	20.0%	40.0%	60.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=9）	33.3%	22.2%	44.4%	33.3%	0.0%
	20代（n=30）	46.7%	26.7%	46.7%	53.3%	0.0%
	30代（n=74）	33.8%	29.7%	45.9%	45.9%	1.4%
	40代（n=84）	42.9%	27.4%	48.8%	46.4%	0.0%
	50代（n=83）	19.3%	20.5%	43.4%	50.6%	1.2%
	60代（n=98）	32.7%	32.7%	53.1%	36.7%	2.0%
	70代（n=106）	27.4%	27.4%	32.1%	50.9%	3.8%
	80代以上（n=39）	17.9%	23.1%	38.5%	46.2%	2.6%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=24）	37.5%	25.0%	50.0%	45.8%	0.0%
	会社員・公務員（n=164）	30.5%	25.6%	43.9%	48.2%	1.2%
	パート・アルバイト（n=126）	30.2%	26.2%	46.8%	49.2%	0.8%
	学生（n=18）	44.4%	22.2%	55.6%	27.8%	0.0%
	家族従業者（n=7）	28.6%	14.3%	28.6%	57.1%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=55）	36.4%	45.5%	61.8%	32.7%	0.0%
	その他・無職（n=122）	27.9%	23.8%	31.1%	49.2%	4.9%

【国民娯楽】

どのような国民娯楽に興味関心があるかついては、「将棋」が 73.9%、「囲碁」が 23.5%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
囲碁	64	23.5%	45	26.3%
将棋	201	73.9%	131	76.6%
その他	46	16.9%	24	14.0%
合計	272		171	

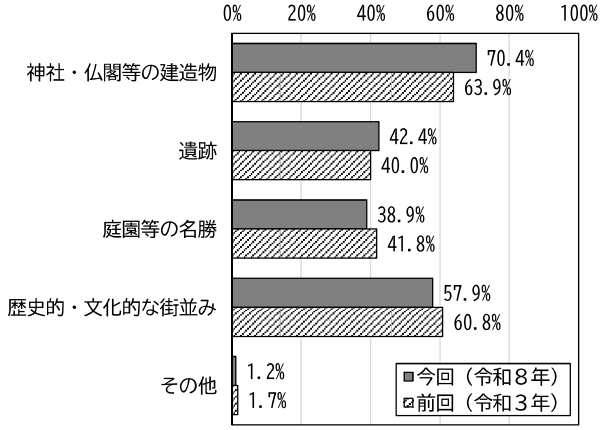
【性別・年齢別・職業別クロス】

		囲碁	将棋	その他
全体（n=272）		23.5%	73.9%	16.9%
【性別】	男性（n=159）	22.6%	81.8%	12.6%
	女性（n=100）	25.0%	62.0%	25.0%
	その他/回答しない（n=4）	25.0%	75.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=7）	0.0%	85.7%	28.6%
	20代（n=20）	20.0%	85.0%	10.0%
	30代（n=36）	36.1%	69.4%	19.4%
	40代（n=37）	24.3%	81.1%	16.2%
	50代（n=37）	18.9%	70.3%	24.3%
	60代（n=46）	21.7%	76.1%	15.2%
	70代（n=57）	22.8%	66.7%	19.3%
	80代以上（n=23）	26.1%	78.3%	4.3%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=15）	40.0%	73.3%	20.0%
	会社員・公務員（n=97）	25.8%	82.5%	14.4%
	パート・アルバイト（n=54）	27.8%	64.8%	18.5%
	学生（n=12）	0.0%	91.7%	16.7%
	家族従業者（n=0）	0.0%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=14）	14.3%	85.7%	7.1%
	その他・無職（n=68）	20.6%	64.7%	20.6%

【文化財等】

どのような文化財等に興味・関心があるかついては、「神社・仏閣等の建造物」が 70.4%と最も多く、次いで、「歴史的・文化的な街並み」が 57.9%、「遺跡」が 42.4%となっています。

前回と比較すると、「神社・仏閣等の建造物」が 6.5 ポイント増加となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
神社・仏閣等の建造物	467	70.4%	347	63.9%
遺跡	281	42.4%	217	40.0%
庭園等の名勝	258	38.9%	227	41.8%
歴史的・文化的な街並み	384	57.9%	330	60.8%
その他	8	1.2%	9	1.7%
回答者数	663		543	

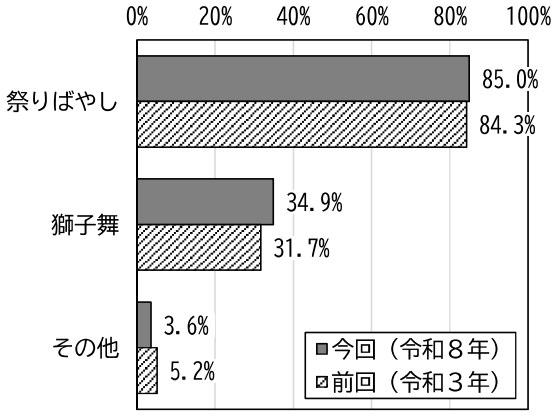
【性別・年齢別・職業別クロス】

		神社・仏閣等の建造物	遺跡	庭園等の名勝	歴史的・文化的な街並み	その他
全体（n=663）		70.4%	42.4%	38.9%	57.9%	1.2%
【性別】	男性（n=303）	74.9%	45.9%	34.7%	56.4%	1.0%
	女性（n=328）	67.1%	39.3%	43.0%	59.5%	1.5%
	その他/回答しない（n=10）	70.0%	50.0%	20.0%	80.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=11）	72.7%	45.5%	36.4%	63.6%	0.0%
	20代（n=38）	71.1%	44.7%	28.9%	71.1%	0.0%
	30代（n=78）	66.7%	43.6%	34.6%	62.8%	3.8%
	40代（n=100）	80.0%	64.0%	31.0%	67.0%	0.0%
	50代（n=116）	75.9%	45.7%	33.6%	55.2%	0.0%
	60代（n=115）	72.2%	41.7%	40.9%	57.4%	1.7%
	70代（n=135）	68.9%	27.4%	48.1%	52.6%	1.5%
	80代以上（n=50）	50.0%	30.0%	50.0%	48.0%	2.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=42）	78.6%	50.0%	33.3%	38.1%	0.0%
	会社員・公務員（n=214）	72.9%	49.5%	34.6%	65.9%	1.9%
	パート・アルバイト（n=137）	70.8%	39.4%	39.4%	63.5%	0.7%
	学生（n=22）	68.2%	54.5%	22.7%	59.1%	0.0%
	家族従業者（n=6）	33.3%	16.7%	33.3%	83.3%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=53）	71.7%	34.0%	52.8%	60.4%	0.0%
	その他・無職（n=161）	68.3%	37.3%	41.6%	49.7%	1.9%

※今回の設問は前回の「寺社」から「神社」という表記になっています。

【地域における文化芸術・伝統芸能】

地域における文化芸術・伝統芸能においてどのようなものに興味・関心があるかについては、「祭りばやし」が 85.0%、「獅子舞」が 34.9%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
祭りばやし	334	85.0%	242	84.3%
獅子舞	137	34.9%	91	31.7%
その他	14	3.6%	15	5.2%
合計	393		287	

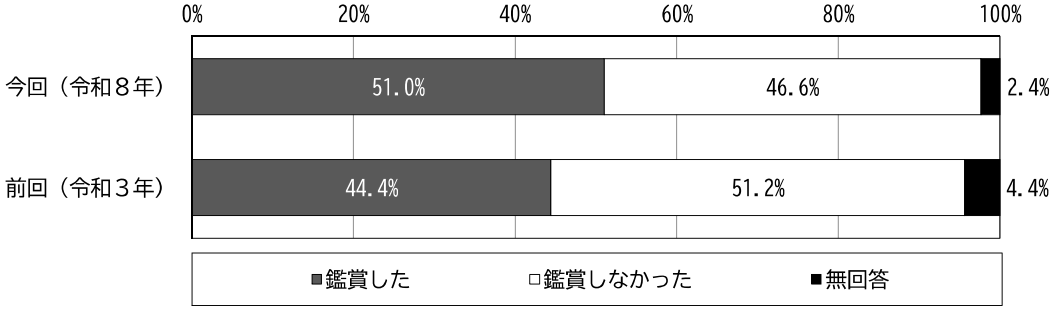
【性別・年齢別・職業別クロス】

		祭りばやし	獅子舞	その他
全体（n=393）		85.0%	34.9%	3.6%
【性別】	男性（n=166）	86.7%	29.5%	2.4%
	女性（n=205）	83.4%	40.0%	4.9%
	その他/回答しない（n=8）	100.0%	12.5%	0.0%
【年齢別】	10代（n=8）	75.0%	25.0%	12.5%
	20代（n=25）	76.0%	28.0%	8.0%
	30代（n=54）	90.7%	35.2%	3.7%
	40代（n=55）	90.9%	38.2%	0.0%
	50代（n=57）	86.0%	31.6%	0.0%
	60代（n=65）	84.6%	33.8%	6.2%
	70代（n=82）	80.5%	39.0%	4.9%
	80代以上（n=33）	87.9%	33.3%	3.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=24）	91.7%	37.5%	0.0%
	会社員・公務員（n=121）	88.4%	29.8%	3.3%
	パート・アルバイト（n=83）	86.7%	38.6%	4.8%
	学生（n=15）	66.7%	26.7%	13.3%
	家族従業者（n=2）	100.0%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=37）	81.1%	48.6%	0.0%
	その他・無職（n=91）	82.4%	35.2%	4.4%

問14　あなたは、この約１年間に、文化芸術を鑑賞しましたか。（あてはまる番号１つに○）

この約１年間に、文化芸術を鑑賞したかについては、「鑑賞した」が51.0%に対し、「鑑賞しなかった」が46.6%となっています。

前回と比較すると、「鑑賞した」が6.6ポイント増加となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
鑑賞した	520	51.0%	436	44.4%
鑑賞しなかった	475	46.6%	502	51.2%
無回答	24	2.4%	43	4.4%
合計	1,019	100.0%	981	100.0%

【性別・年齢別・職業別クロス】

		鑑賞した	鑑賞しなかった	無回答
全体（n=1,019）		51.0%	46.6%	2.4%
【性別】	男性（n=430）	46.3%	52.1%	1.6%
	女性（n=531）	56.5%	41.4%	2.1%
	その他/回答しない（n=17）	41.2%	58.8%	0.0%
【年齢別】	10代（n=15）	73.3%	26.7%	0.0%
	20代（n=57）	75.4%	24.6%	0.0%
	30代（n=132）	58.3%	41.7%	0.0%
	40代（n=147）	55.8%	42.9%	1.4%
	50代（n=175）	48.6%	50.9%	0.6%
	60代（n=163）	46.6%	53.4%	0.0%
	70代（n=201）	50.2%	47.3%	2.5%
	80代以上（n=90）	36.7%	52.2%	11.1%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	39.3%	55.7%	4.9%
	会社員・公務員（n=317）	51.7%	47.9%	0.3%
	パート・アルバイト（n=209）	56.0%	43.5%	0.5%
	学生（n=30）	83.3%	16.7%	0.0%
	家族従業者（n=9）	55.6%	44.4%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	60.5%	38.3%	1.2%
	その他・無職（n=260）	45.4%	51.9%	2.7%

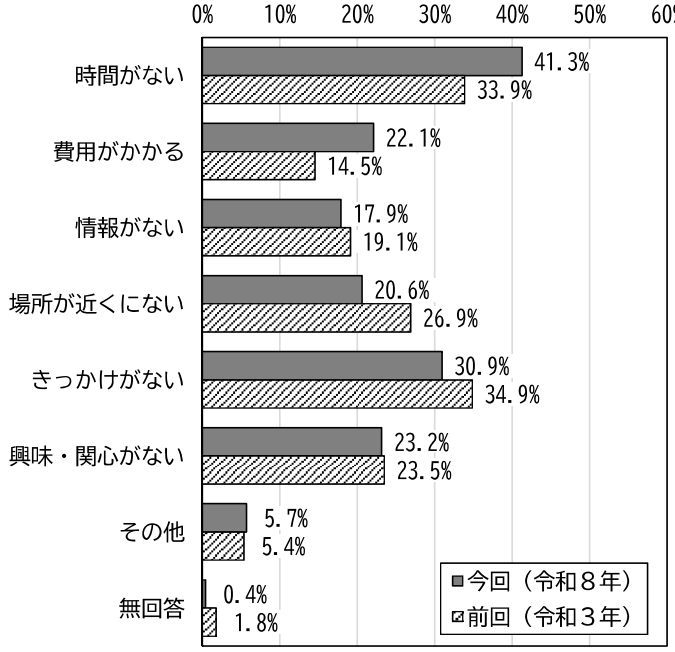
※前回の設問は「コロナ禍以前の約１年間」という表記になっています。

問 14 で「鑑賞しなかった」を選択した方の回答

問 15　あなたが鑑賞しなかった理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

文化芸術を鑑賞しなかった理由については、「時間がない」が 41.3%と最も多く、次いで、「きっかけがない」が 30.9%、「興味・関心がない」が 23.2%となっています。

前回と比較すると、「時間がない」が 7.4 ポイント、「費用がかかる」が 7.6 ポイント増加し、「場所が近くにない」が 6.3 ポイント減少となっています。



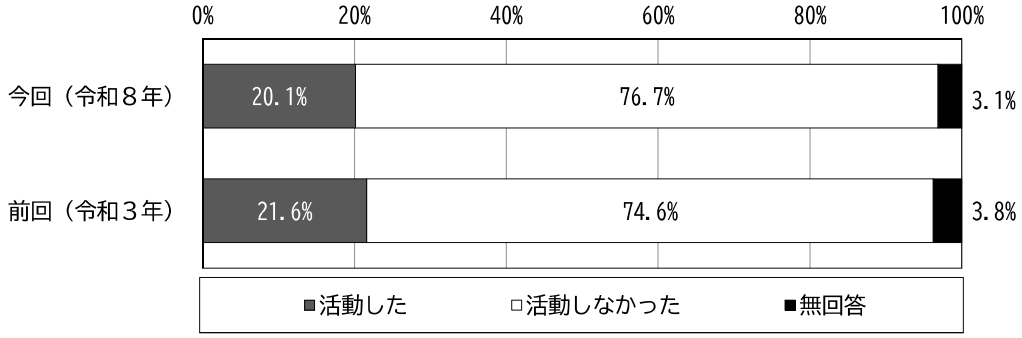
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
時間がない	196	41.3%	170	33.9%
費用がかかる	105	22.1%	73	14.5%
情報がない	85	17.9%	96	19.1%
場所が近くにない	98	20.6%	135	26.9%
きっかけがない	147	30.9%	175	34.9%
興味・関心がない	110	23.2%	118	23.5%
その他	27	5.7%	27	5.4%
無回答	2	0.4%	9	1.8%
回答者数	475		502	
非該当	544		479	
合計	1,019		981	

【性別・年齢別・職業別クロス】

		時間がない	費用がかかる	情報がない	場所が近くにない	きっかけがない	興味・関心がない	その他	無回答
全体（n=475）		41.3%	22.1%	17.9%	20.6%	30.9%	23.2%	5.7%	0.4%
【性別】	男性（n=224）	40.6%	19.6%	19.2%	15.2%	31.3%	22.8%	5.8%	0.0%
	女性（n=220）	43.2%	25.9%	16.4%	25.9%	31.8%	23.2%	5.5%	0.5%
	その他/回答しない（n=10）	30.0%	30.0%	20.0%	30.0%	20.0%	30.0%	10.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=4）	50.0%	75.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代（n=14）	50.0%	35.7%	21.4%	28.6%	28.6%	42.9%	7.1%	0.0%
	30代（n=55）	60.0%	29.1%	18.2%	14.5%	32.7%	29.1%	5.5%	0.0%
	40代（n=63）	60.3%	25.4%	7.9%	12.7%	25.4%	22.2%	1.6%	0.0%
	50代（n=89）	48.3%	28.1%	20.2%	12.4%	27.0%	25.8%	4.5%	0.0%
	60代（n=87）	41.4%	25.3%	28.7%	25.3%	37.9%	17.2%	2.3%	1.1%
	70代（n=95）	23.2%	14.7%	11.6%	25.3%	32.6%	26.3%	8.4%	0.0%
	80代以上（n=47）	17.0%	6.4%	19.1%	34.0%	31.9%	12.8%	14.9%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=34）	44.1%	11.8%	23.5%	17.6%	29.4%	17.6%	0.0%	0.0%
	会社員・公務員（n=152）	55.9%	23.7%	19.7%	13.2%	32.2%	23.0%	2.6%	0.0%
	パート・アルバイト（n=91）	54.9%	38.5%	18.7%	23.1%	25.3%	24.2%	0.0%	0.0%
	学生（n=5）	60.0%	60.0%	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家族従業者（n=4）	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=31）	29.0%	25.8%	12.9%	32.3%	29.0%	19.4%	12.9%	3.2%
	その他・無職（n=135）	20.0%	14.1%	13.3%	24.4%	33.3%	25.9%	13.3%	0.0%

問16　あなたは、この約１年間に、鑑賞以外に、文化芸術活動（講座の受講や習い事も含む）をしましたか。（あてはまる番号１つに○）

この約１年間に、鑑賞以外に、文化芸術活動をしたかについては、「活動した」が20.1%に対し、「活動しなかった」が76.7%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
活動した	205	20.1%	212	21.6%
活動しなかった	782	76.7%	732	74.6%
無回答	32	3.1%	37	3.8%
合計	1,019	100.0%	981	100.0%

【性別・年齢別・職業別クロス】

		活動した	活動しなかった	無回答
全体（n=1,019）		20.1%	76.7%	3.1%
【性別】	男性（n=430）	15.3%	82.3%	2.3%
	女性（n=531）	24.3%	72.9%	2.8%
	その他/回答しない（n=17）	5.9%	94.1%	0.0%
【年齢別】	10代（n=15）	60.0%	40.0%	0.0%
	20代（n=57）	24.6%	73.7%	1.8%
	30代（n=132）	18.9%	81.1%	0.0%
	40代（n=147）	15.0%	84.4%	0.7%
	50代（n=175）	11.4%	88.0%	0.6%
	60代（n=163）	20.2%	78.5%	1.2%
	70代（n=201）	27.4%	67.7%	5.0%
	80代以上（n=90）	20.0%	68.9%	11.1%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	26.2%	67.2%	6.6%
	会社員・公務員（n=317）	14.8%	84.9%	0.3%
	パート・アルバイト（n=209）	16.7%	82.3%	1.0%
	学生（n=30）	50.0%	50.0%	0.0%
	家族従業者（n=9）	33.3%	66.7%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	33.3%	64.2%	2.5%
	その他・無職（n=260）	18.8%	76.9%	4.2%

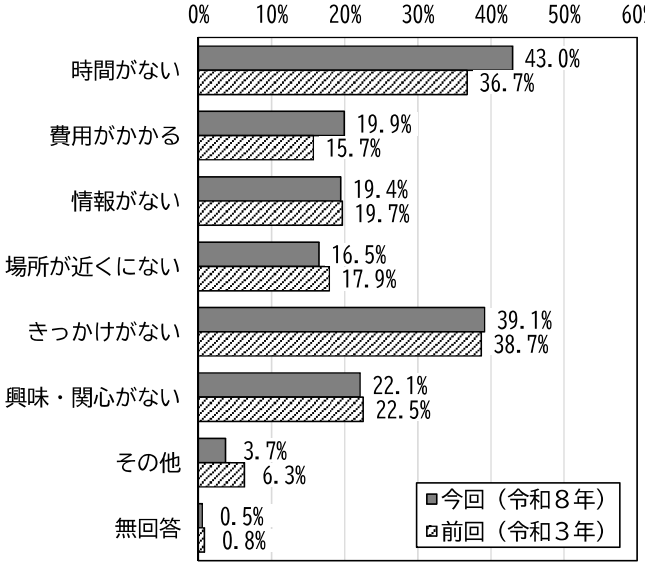
※前回の設問は「コロナ禍以前の約１年間」という表記になっています。

問16で「活動しなかった」を選択した方の回答

問17　あなたが活動をしなかった理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

文化芸術活動をしなかった理由については、「時間がない」が 43.0%と最も多く、次いで、「きっかけがない」が 39.1%、「興味・関心がない」が 22.1%となっています。

前回と比較すると、「時間がない」が 6.3 ポイント増加となっています。



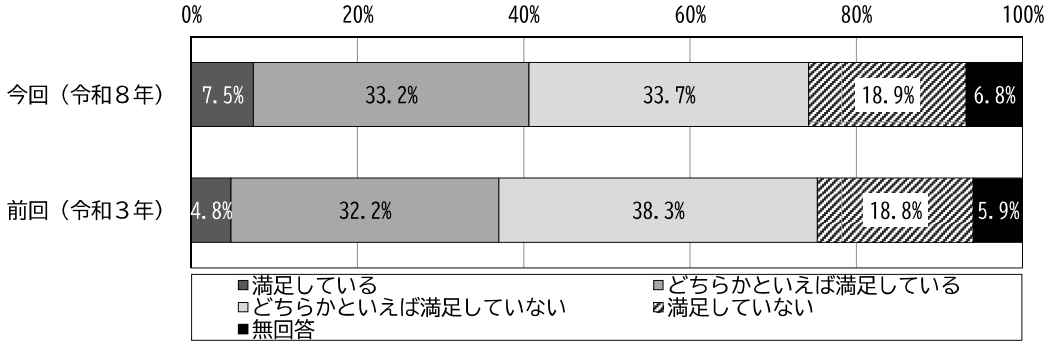
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
時間がない	336	43.0%	269	36.7%
費用がかかる	156	19.9%	115	15.7%
情報がない	152	19.4%	144	19.7%
場所が近くにない	129	16.5%	131	17.9%
きっかけがない	306	39.1%	283	38.7%
興味・関心がない	173	22.1%	165	22.5%
その他	29	3.7%	46	6.3%
無回答	4	0.5%	6	0.8%
回答者数	782		732	
非該当	237		249	
合計	1,019		981	

【性別・年齢別・職業別クロス】

		時間がない	費用がかかる	情報がない	場所が近くにない	きっかけがない	興味・関心がない	その他	無回答
全体（n=782）		43.0%	19.9%	19.4%	16.5%	39.1%	22.1%	3.7%	0.5%
【性別】	男性（n=354）	41.2%	16.4%	18.1%	11.3%	39.3%	22.9%	3.1%	0.0%
	女性（n=387）	45.2%	23.3%	20.9%	20.9%	39.5%	21.7%	4.1%	0.3%
	その他/回答しない（n=16）	56.3%	25.0%	18.8%	18.8%	31.3%	31.3%	6.3%	0.0%
【年齢別】	10代（n=6）	83.3%	66.7%	16.7%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代（n=42）	40.5%	26.2%	26.2%	19.0%	47.6%	38.1%	4.8%	0.0%
	30代（n=107）	57.9%	21.5%	19.6%	15.9%	40.2%	22.4%	1.9%	0.0%
	40代（n=124）	57.3%	25.8%	11.3%	15.3%	32.3%	16.1%	1.6%	0.8%
	50代（n=154）	51.3%	29.9%	21.4%	12.3%	35.7%	27.3%	2.6%	0.0%
	60代（n=128）	42.2%	15.6%	32.0%	18.8%	44.5%	18.0%	0.8%	0.0%
	70代（n=136）	25.0%	7.4%	13.2%	15.4%	43.4%	26.5%	6.6%	0.0%
	80代以上（n=62）	14.5%	11.3%	14.5%	24.2%	35.5%	14.5%	14.5%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=41）	53.7%	7.3%	17.1%	9.8%	22.0%	19.5%	0.0%	0.0%
	会社員・公務員（n=269）	56.5%	24.2%	21.9%	12.6%	41.3%	18.6%	0.7%	0.0%
	パート・アルバイト（n=172）	54.7%	26.2%	19.2%	20.3%	35.5%	24.4%	2.3%	0.6%
	学生（n=15）	46.7%	33.3%	26.7%	20.0%	46.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	家族従業者（n=6）	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=52）	38.5%	15.4%	17.3%	17.3%	40.4%	25.0%	3.8%	0.0%
	その他・無職（n=200）	17.0%	13.0%	17.0%	18.5%	42.5%	25.0%	10.0%	0.0%

問18　あなたが市内で、文化芸術を鑑賞したり、文化芸術活動を行ったりする機会や環境について満足していますか。（あてはまる番号１つに○）

市内で、文化芸術を鑑賞、文化芸術活動を行う機会や環境の満足度については、「満足している(7.5%)」、「どちらかといえば満足している(33.2%)」を合わせた『満足している（計)』が 40.7%に対し、「どちらかといえば満足していない(33.7%)」、「満足していない(18.9%)」を合わせた『満足していない（計)』が 52.6%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
満足している	76	7.5%	47	4.8%
どちらかといえば満足している	338	33.2%	316	32.2%
どちらかといえば満足していない	343	33.7%	376	38.3%
満足していない	193	18.9%	184	18.8%
無回答	69	6.8%	58	5.9%
合計	1,019	100.0%	981	100.0%

【性別・年齢別・職業別クロス】

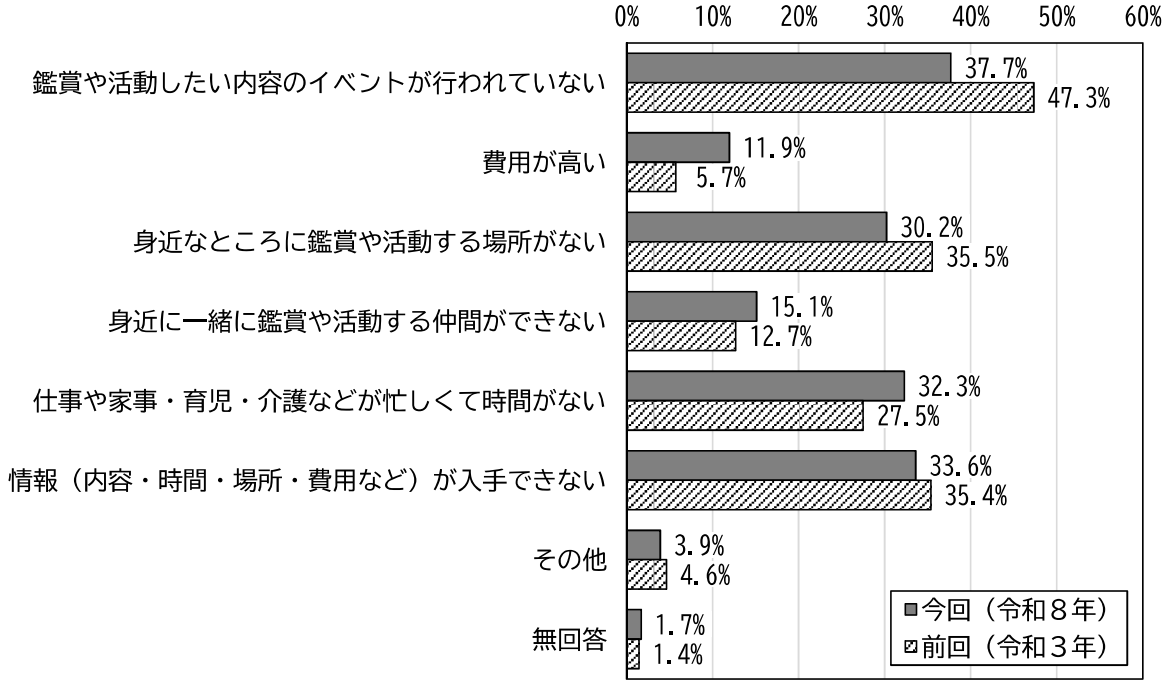
		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	無回答
全体（n=1,019）		7.5%	33.2%	33.7%	18.9%	6.8%
【性別】	男性（n=430）	7.0%	32.1%	34.7%	20.7%	5.6%
	女性（n=531）	8.1%	34.8%	32.8%	17.9%	6.4%
	その他/回答しない（n=17）	5.9%	29.4%	35.3%	23.5%	5.9%
【年齢別】	10代（n=15）	20.0%	33.3%	20.0%	26.7%	0.0%
	20代（n=57）	12.3%	42.1%	24.6%	21.1%	0.0%
	30代（n=132）	12.9%	24.2%	34.8%	26.5%	1.5%
	40代（n=147）	6.8%	34.0%	36.7%	21.1%	1.4%
	50代（n=175）	3.4%	28.6%	39.4%	25.1%	3.4%
	60代（n=163）	4.9%	32.5%	40.5%	18.4%	3.7%
	70代（n=201）	9.0%	41.8%	25.9%	12.4%	10.9%
	80代以上（n=90）	5.6%	35.6%	27.8%	7.8%	23.3%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	11.5%	32.8%	26.2%	16.4%	13.1%
	会社員・公務員（n=317）	5.7%	26.5%	40.4%	25.2%	2.2%
	パート・アルバイト（n=209）	7.2%	37.8%	34.9%	18.2%	1.9%
	学生（n=30）	23.3%	43.3%	20.0%	13.3%	0.0%
	家族従業者（n=9）	11.1%	33.3%	44.4%	11.1%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	7.4%	39.5%	28.4%	16.0%	8.6%
	その他・無職（n=260）	7.7%	35.8%	28.5%	16.2%	11.9%

問 18 で「どちらかといえば満足していない」「満足していない」を選択した方の回答

問 19　あなたが満足しなかった理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

市内の文化芸術の環境に満足しなかった理由については、「鑑賞や活動したい内容のイベントが行われていない」が 37.7%と最も多く、次いで、「情報（内容・時間・場所・費用など）が入手できない」が 33.6%、「仕事や家事・育児・介護などが忙しくて時間がない」が 32.3%となっています。

前回と比較すると、「費用が高い」が 6.2 ポイント増加し、「鑑賞や活動したい内容のイベントが行われていない」が 9.6 ポイント、「身近なところに鑑賞や活動する場所がない」が 5.3 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
鑑賞や活動したい内容のイベントが行われていない	202	37.7%	265	47.3%
費用が高い	64	11.9%	32	5.7%
身近なところに鑑賞や活動する場所がない	162	30.2%	199	35.5%
身近に一緒に鑑賞や活動する仲間ができない	81	15.1%	71	12.7%
仕事や家事・育児・介護などが忙しくて時間がない	173	32.3%	154	27.5%
情報（内容・時間・場所・費用など）が入手できない	180	33.6%	198	35.4%
その他	21	3.9%	26	4.6%
無回答	9	1.7%	8	1.4%
回答者数	536		560	
非該当	483		421	
合計	1,019		981	

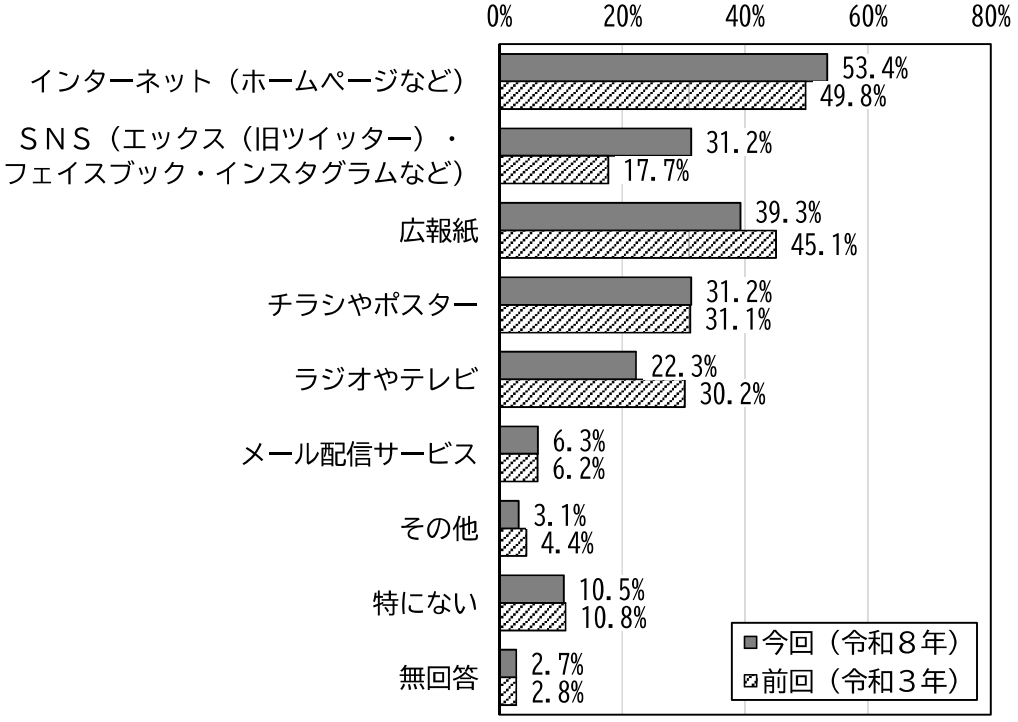
【性別・年齢別・職業別クロス】

		鑑賞や活動したい内容のイベントが行われていない	費用が高い	身近なところに鑑賞や活動する場所がない	身近に一緒に鑑賞や活動する仲間ができない	仕事や家事・育児・介護などが忙しくて時間がない	情報（内容・時間・場所・費用など）が入手できない	その他	無回答
全体（n=536）		37.7%	11.9%	30.2%	15.1%	32.3%	33.6%	3.9%	1.7%
【性別】	男性（n=238）	34.0%	8.0%	26.9%	13.9%	24.8%	37.8%	4.2%	2.5%
	女性（n=269）	40.9%	15.2%	34.9%	16.4%	39.4%	30.1%	3.3%	1.1%
	その他/回答しない（n=10）	40.0%	30.0%	10.0%	10.0%	30.0%	20.0%	10.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=7）	57.1%	42.9%	28.6%	71.4%	0.0%	57.1%	0.0%	0.0%
	20代（n=26）	61.5%	19.2%	23.1%	19.2%	38.5%	46.2%	3.8%	0.0%
	30代（n=81）	35.8%	13.6%	35.8%	16.0%	54.3%	25.9%	6.2%	0.0%
	40代（n=85）	42.4%	12.9%	27.1%	8.2%	44.7%	25.9%	3.5%	1.2%
	50代（n=113）	38.1%	14.2%	26.5%	13.3%	37.2%	31.0%	2.7%	0.9%
	60代（n=96）	36.5%	7.3%	31.3%	14.6%	20.8%	47.9%	3.1%	2.1%
	70代（n=77）	32.5%	7.8%	37.7%	18.2%	14.3%	33.8%	5.2%	2.6%
	80代以上（n=32）	21.9%	12.5%	31.3%	15.6%	9.4%	21.9%	3.1%	9.4%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=26）	34.6%	7.7%	30.8%	7.7%	34.6%	23.1%	0.0%	3.8%
	会社員・公務員（n=208）	37.0%	7.7%	26.4%	12.0%	43.8%	37.0%	3.8%	1.0%
	パート・アルバイト（n=111）	39.6%	21.6%	34.2%	14.4%	36.0%	27.0%	2.7%	0.9%
	学生（n=10）	70.0%	30.0%	10.0%	50.0%	10.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	家族従業者（n=5）	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=36）	41.7%	13.9%	36.1%	22.2%	36.1%	30.6%	8.3%	0.0%
	その他・無職（n=116）	35.3%	11.2%	37.1%	17.2%	9.5%	37.9%	5.2%	3.4%

問 20　東松山市に限らず文化芸術に関する情報をどんなところから得ていますか。（あてはまる番号すべてに○）

東松山市に限らず文化芸術に関する情報収集方法については、「インターネット（ホームページなど）」が 53.4%と最も多く、次いで、「広報紙」が 39.3%、「ＳＮＳ（エックス（旧ツイッター）・フェイスブック・インスタグラムなど）」「チラシやポスター」がともに 31.2%となっています。

前回と比較すると、「ＳＮＳ（エックス（旧ツイッター）・フェイスブック・インスタグラムなど）」が 13.5 ポイント増加し、「広報紙」が 5.8 ポイント、「ラジオやテレビ」が 7.9 ポイント減少となっています。



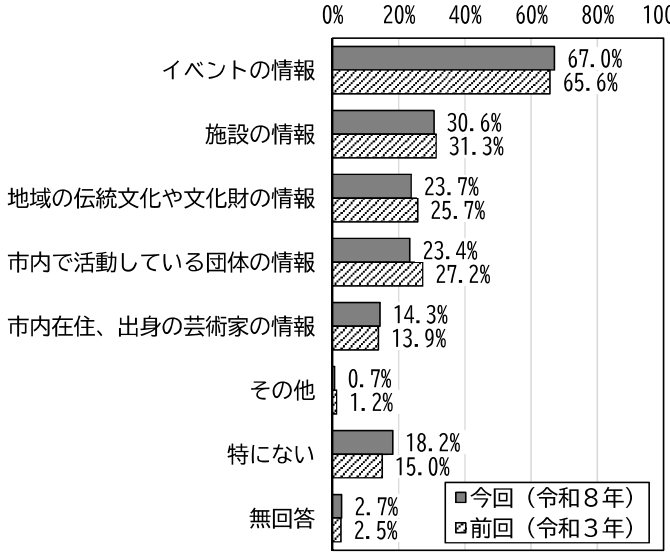
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
インターネット（ホームページなど）	544	53.4%	489	49.8%
ＳＮＳ（エックス（旧ツイッター）・フェイスブック・インスタグラムな	318	31.2%	174	17.7%
広報紙	400	39.3%	442	45.1%
チラシやポスター	318	31.2%	305	31.1%
ラジオやテレビ	227	22.3%	296	30.2%
メール配信サービス	64	6.3%	61	6.2%
その他	32	3.1%	43	4.4%
特にない	107	10.5%	106	10.8%
無回答	28	2.7%	27	2.8%
回答者数	1,019		981	

【性別・年齢別・職業別クロス】

		インターネット（ホームページなど）	SNS（エックス（旧ツイッター）・フェイスブック・インスタグラムなど）	広報紙	チラシやポスター	ラジオやテレビ	メール配信サービス	その他	特にない	無回答
全体（n=1,019）		53.4%	31.2%	39.3%	31.2%	22.3%	6.3%	3.1%	10.5%	2.7%
【性別】	男性（n=430）	59.3%	26.0%	36.7%	25.3%	23.0%	5.8%	2.6%	12.6%	2.3%
	女性（n=531）	51.0%	37.5%	40.5%	36.5%	22.8%	7.3%	3.8%	8.1%	1.9%
	その他/回答しない（n=17）	47.1%	29.4%	29.4%	29.4%	17.6%	0.0%	5.9%	29.4%	5.9%
【年齢別】	10代（n=15）	80.0%	60.0%	20.0%	26.7%	6.7%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%
	20代（n=57）	61.4%	66.7%	8.8%	15.8%	12.3%	5.3%	3.5%	12.3%	0.0%
	30代（n=132）	64.4%	60.6%	26.5%	22.0%	12.9%	5.3%	2.3%	14.4%	0.0%
	40代（n=147）	78.2%	49.0%	27.9%	25.2%	19.0%	6.8%	0.0%	12.2%	0.7%
	50代（n=175）	65.7%	34.9%	30.9%	21.1%	18.9%	5.1%	2.3%	9.7%	1.1%
	60代（n=163）	56.4%	19.0%	47.9%	37.4%	27.6%	8.6%	4.9%	7.4%	1.8%
	70代（n=201）	34.3%	10.0%	60.2%	49.8%	31.8%	9.5%	3.5%	8.5%	2.0%
	80代以上（n=90）	13.3%	5.6%	46.7%	35.6%	31.1%	2.2%	7.8%	12.2%	12.2%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	60.7%	31.1%	34.4%	34.4%	23.0%	11.5%	0.0%	6.6%	6.6%
	会社員・公務員（n=317）	68.8%	44.8%	26.2%	20.2%	14.8%	6.3%	1.6%	11.7%	0.3%
	パート・アルバイト（n=209）	61.2%	35.4%	42.6%	32.5%	24.4%	5.3%	2.4%	8.1%	1.4%
	学生（n=30）	66.7%	60.0%	13.3%	26.7%	6.7%	0.0%	3.3%	6.7%	0.0%
	家族従業者（n=9）	44.4%	11.1%	33.3%	44.4%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	44.4%	29.6%	51.9%	51.9%	33.3%	13.6%	4.9%	8.6%	0.0%
	その他・無職（n=260）	35.0%	13.8%	50.0%	37.3%	28.1%	5.4%	6.5%	13.5%	3.5%

問 21　東松山市の文化芸術に関してどのような情報が必要だと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

東松山市の文化芸術に必要な情報については、「イベントの情報」が 67.0%と最も多く、次いで、「施設の情報」が 30.6%、「地域の伝統文化や文化財の情報」が 23.7%となっています。



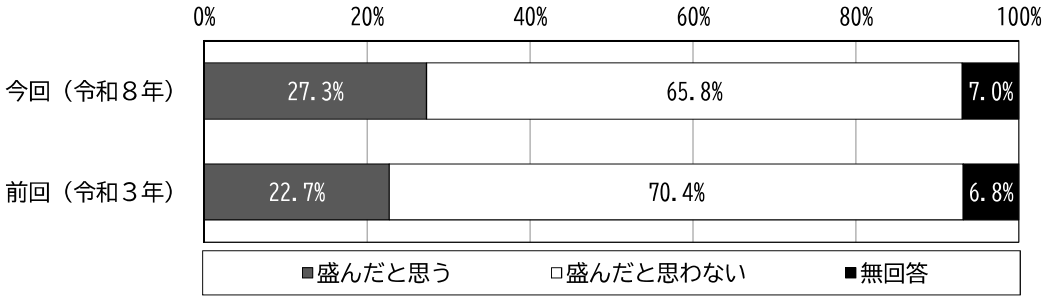
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
イベントの情報	683	67.0%	644	65.6%
施設の情報	312	30.6%	307	31.3%
地域の伝統文化や文化財の情報	242	23.7%	252	25.7%
市内で活動している団体の情報	238	23.4%	267	27.2%
市内在住、出身の芸術家の情報	146	14.3%	136	13.9%
その他	7	0.7%	12	1.2%
特にない	185	18.2%	147	15.0%
無回答	28	2.7%	25	2.5%
回答者数	1,019		981	

【性別・年齢別・職業別クロス】

		イベントの情報	施設の情報	地域の伝統文化や文化財の情報	市内で活動している団体の情報	市内在住、出身の芸術家の情報	その他	特にない	無回答
全体（n=1,019）		67.0%	30.6%	23.7%	23.4%	14.3%	0.7%	18.2%	2.7%
【性別】	男性（n=430）	64.4%	31.6%	29.5%	22.1%	15.3%	0.2%	18.6%	2.3%
	女性（n=531）	70.1%	29.9%	19.6%	24.1%	13.9%	1.1%	17.1%	2.3%
	その他/回答しない（n=17）	58.8%	35.3%	17.6%	23.5%	5.9%	0.0%	23.5%	5.9%
【年齢別】	10代（n=15）	73.3%	46.7%	20.0%	46.7%	6.7%	0.0%	13.3%	0.0%
	20代（n=57）	78.9%	29.8%	14.0%	14.0%	15.8%	1.8%	14.0%	0.0%
	30代（n=132）	68.9%	34.1%	15.9%	19.7%	15.2%	0.8%	23.5%	0.8%
	40代（n=147）	73.5%	29.9%	18.4%	19.0%	6.1%	0.7%	15.6%	0.7%
	50代（n=175）	72.0%	37.7%	24.0%	25.7%	16.6%	1.1%	17.7%	0.6%
	60代（n=163）	73.0%	32.5%	33.1%	28.8%	16.0%	1.2%	10.4%	1.2%
	70代（n=201）	59.7%	25.9%	29.9%	22.4%	14.9%	0.0%	22.4%	3.5%
	80代以上（n=90）	43.3%	18.9%	21.1%	23.3%	18.9%	0.0%	22.2%	12.2%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	68.9%	29.5%	23.0%	21.3%	14.8%	0.0%	11.5%	4.9%
	会社員・公務員（n=317）	74.1%	33.8%	23.0%	22.4%	13.2%	0.6%	17.0%	0.3%
	パート・アルバイト（n=209）	70.8%	34.0%	21.5%	27.3%	11.0%	1.0%	15.8%	1.4%
	学生（n=30）	70.0%	26.7%	16.7%	20.0%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
	家族従業者（n=9）	33.3%	11.1%	22.2%	22.2%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	77.8%	37.0%	28.4%	24.7%	21.0%	2.5%	12.3%	0.0%
	その他・無職（n=260）	55.0%	25.0%	26.9%	22.3%	15.8%	0.4%	25.4%	4.2%

問 22　東松山市は文化や芸術に関する活動が盛んだと思いますか。（あてはまる番号１つに○）

東松山市は文化や芸術に関する活動が盛んだと思うかについては、「盛んだと思う」が 27.3%に対し、「盛んだと思わない」が 65.8%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
盛んだと思う	278	27.3%	223	22.7%
盛んだと思わない	670	65.8%	691	70.4%
無回答	71	7.0%	67	6.8%
合計	1,019	100.0%	981	100.0%

【性別・年齢別・職業別クロス】

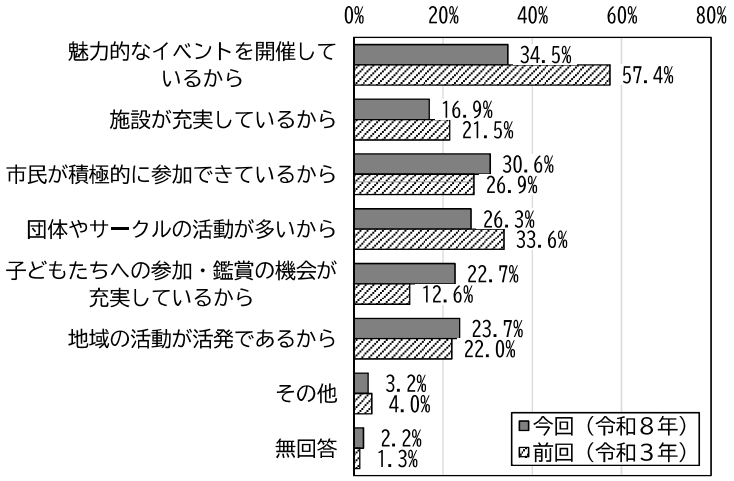
		盛んだと思う	盛んだと思わない	無回答
全体（n=1,019）		27.3%	65.8%	7.0%
【性別】	男性（n=430）	24.0%	70.0%	6.0%
	女性（n=531）	30.1%	64.0%	5.8%
	その他/回答しない（n=17）	23.5%	64.7%	11.8%
【年齢別】	10代（n=15）	26.7%	73.3%	0.0%
	20代（n=57）	24.6%	73.7%	1.8%
	30代（n=132）	25.0%	75.0%	0.0%
	40代（n=147）	27.9%	70.7%	1.4%
	50代（n=175）	24.0%	72.0%	4.0%
	60代（n=163）	23.3%	73.0%	3.7%
	70代（n=201）	34.8%	55.7%	9.5%
	80代以上（n=90）	28.9%	43.3%	27.8%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	24.6%	65.6%	9.8%
	会社員・公務員（n=317）	22.7%	75.7%	1.6%
	パート・アルバイト（n=209）	30.1%	67.0%	2.9%
	学生（n=30）	33.3%	63.3%	3.3%
	家族従業者（n=9）	55.6%	44.4%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	23.5%	69.1%	7.4%
	その他・無職（n=260）	30.8%	56.5%	12.7%

問 22 で「盛んだと思う」を選択した方の回答

問 23　盛んだと思う理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

文化や芸術に関する活動が盛んだと思う理由については、「魅力的なイベントを開催しているから」が 34.5%と最も多く、次いで、「市民が積極的に参加できているから」が 30.6%、「団体やサークルの活動が多いから」が 26.3%となっています。

前回と比較すると、「子どもたちへの参加・鑑賞の機会が充実しているから」が 10.1 ポイント増加し、「魅力的なイベントを開催しているから」が 22.9 ポイント、「団体やサークルの活動が多いから」が 7.3 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
魅力的なイベントを開催しているから	96	34.5%	128	57.4%
施設充実しているから	47	16.9%	48	21.5%
市民が積極的に参加できているから	85	30.6%	60	26.9%
団体やサークルの活動が多いから	73	26.3%	75	33.6%
子どもたちへの参加・鑑賞の機会が充実しているから	63	22.7%	28	12.6%
地域の活動が活発であるから	66	23.7%	49	22.0%
その他	9	3.2%	9	4.0%
無回答	6	2.2%	3	1.3%
回答者数	278		223	
非該当	741		758	
合計	1,019		981	

【性別・年齢別・職業別クロス】

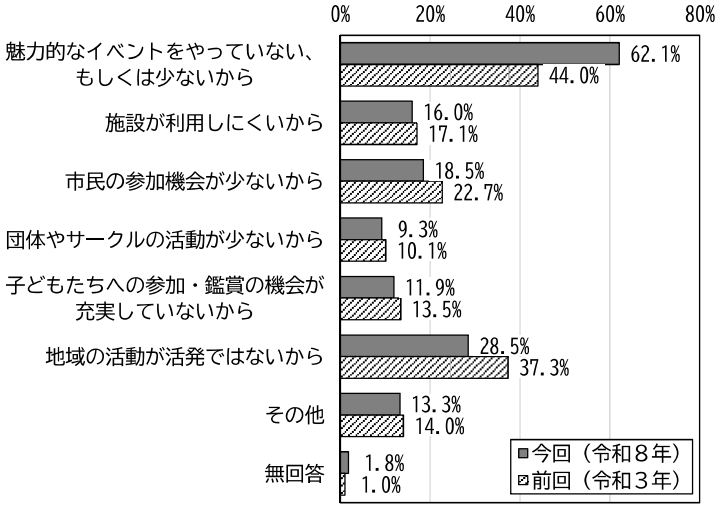
		魅力的なイベントを開催しているから	施設が充実しているから	市民が積極的に参加できているから	団体やサークルの活動が多いから	子どもたちへの参加・鑑賞の機会が充実しているから	地域の活動が活発であるから	その他	無回答
全体（n=278）		34.5%	16.9%	30.6%	26.3%	22.7%	23.7%	3.2%	2.2%
【性別】	男性（n=103）	38.8%	18.4%	29.1%	16.5%	23.3%	31.1%	1.9%	0.0%
	女性（n=160）	32.5%	16.3%	31.3%	31.9%	22.5%	20.0%	4.4%	3.1%
	その他/回答しない（n=4）	25.0%	0.0%	25.0%	50.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=4）	75.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	20代（n=14）	50.0%	28.6%	28.6%	7.1%	21.4%	21.4%	0.0%	0.0%
	30代（n=33）	42.4%	9.1%	15.2%	18.2%	36.4%	12.1%	6.1%	0.0%
	40代（n=41）	36.6%	7.3%	7.3%	14.6%	39.0%	26.8%	4.9%	2.4%
	50代（n=42）	26.2%	19.0%	23.8%	11.9%	21.4%	21.4%	2.4%	4.8%
	60代（n=38）	42.1%	13.2%	31.6%	23.7%	15.8%	23.7%	0.0%	2.6%
	70代（n=70）	34.3%	25.7%	47.1%	45.7%	20.0%	25.7%	2.9%	0.0%
	80代以上（n=26）	15.4%	11.5%	50.0%	38.5%	7.7%	34.6%	7.7%	3.8%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=15）	20.0%	20.0%	46.7%	13.3%	20.0%	33.3%	0.0%	13.3%
	会社員・公務員（n=72）	38.9%	6.9%	13.9%	12.5%	31.9%	23.6%	4.2%	0.0%
	パート・アルバイト（n=63）	38.1%	25.4%	22.2%	25.4%	28.6%	20.6%	1.6%	1.6%
	学生（n=10）	60.0%	30.0%	30.0%	10.0%	30.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	家族従業者（n=5）	40.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%
	家事・育児・介護に専業（n=19）	42.1%	21.1%	31.6%	31.6%	26.3%	10.5%	0.0%	0.0%
	その他・無職（n=80）	28.8%	15.0%	47.5%	40.0%	13.8%	27.5%	6.3%	2.5%

問 22 で「盛んだと思わない」を選択した方の回答

問 24　盛んだと思わない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

文化や芸術に関する活動が盛んだと思わない理由については、「魅力的なイベントをやっていない、もしくは少ないから」が 62.1%と最も多く、次いで、「地域の活動が活発ではないから」が 28.5%、「市民の参加機会が少ないから」が 18.5%となっています。

前回と比較すると、「魅力的なイベントをやっていない、もしくは少ないから」が 18.1 ポイント増加し、「地域の活動が活発ではないから」が 8.8 ポイント減少となっています。



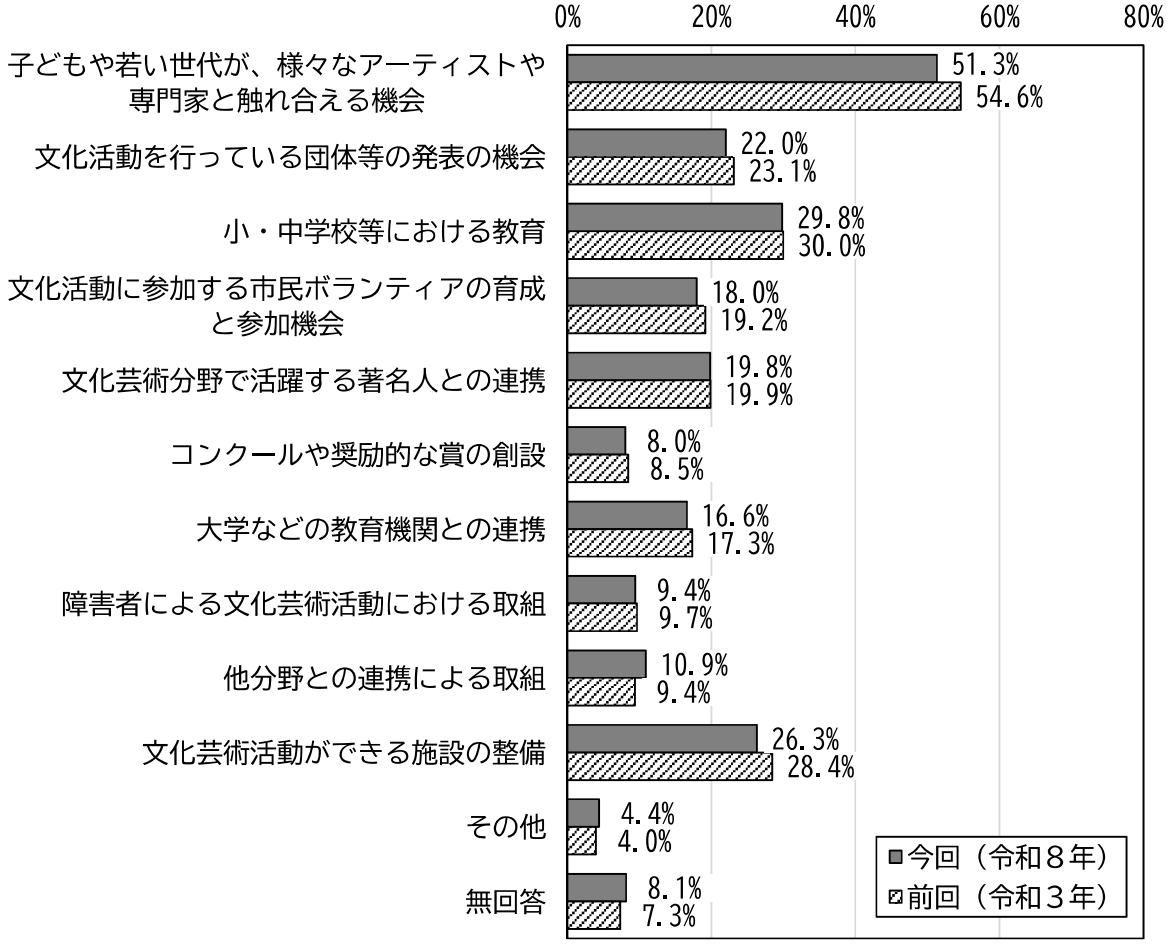
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
魅力的なイベントをやっていない、もしくは少ないから	416	62.1%	304	44.0%
施設が利用しにくいから	107	16.0%	118	17.1%
市民の参加機会が少ないから	124	18.5%	157	22.7%
団体やサークルの活動が少ないから	62	9.3%	70	10.1%
子どもたちへの参加・鑑賞の機会が充実していないから	80	11.9%	93	13.5%
地域の活動が活発ではないから	191	28.5%	258	37.3%
その他	89	13.3%	97	14.0%
無回答	12	1.8%	7	1.0%
回答者数	670		691	
非該当	349		290	
合計	1,019		981	

【性別・年齢別・職業別クロス】

		魅力的なイベントをやっていない、もしくは少ないから	施設が利用しにくいから	市民の参加機会が少ないから	団体やサークルの活動が少ないから	子どもたちへの参加・鑑賞の機会が充実していないから	地域の活動が活発ではないから	その他	無回答
全体（n=670）		62.1%	16.0%	18.5%	9.3%	11.9%	28.5%	13.3%	1.8%
【性別】	男性（n=301）	62.5%	14.0%	20.6%	9.6%	10.0%	30.9%	12.3%	0.3%
	女性（n=340）	62.1%	17.4%	17.1%	9.1%	13.8%	24.4%	14.4%	3.2%
	その他/回答しない（n=11）	45.5%	9.1%	18.2%	9.1%	18.2%	45.5%	18.2%	0.0%
【年齢別】	10代（n=11）	63.6%	27.3%	18.2%	27.3%	18.2%	27.3%	9.1%	0.0%
	20代（n=42）	50.0%	2.4%	19.0%	9.5%	7.1%	23.8%	28.6%	0.0%
	30代（n=99）	49.5%	16.2%	13.1%	12.1%	26.3%	21.2%	25.3%	2.0%
	40代（n=104）	63.5%	11.5%	14.4%	5.8%	25.0%	26.0%	10.6%	0.0%
	50代（n=126）	69.0%	14.3%	17.5%	5.6%	4.0%	28.6%	14.3%	0.8%
	60代（n=119）	70.6%	18.5%	21.8%	8.4%	5.0%	31.1%	10.1%	1.7%
	70代（n=112）	58.9%	22.3%	24.1%	13.4%	6.3%	32.1%	7.1%	5.4%
	80代以上（n=39）	61.5%	12.8%	23.1%	10.3%	10.3%	28.2%	2.6%	2.6%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=40）	57.5%	20.0%	12.5%	10.0%	12.5%	25.0%	15.0%	2.5%
	会社員・公務員（n=240）	63.3%	12.1%	15.8%	8.3%	13.8%	25.8%	17.1%	0.0%
	パート・アルバイト（n=140）	67.1%	15.7%	24.3%	12.9%	12.9%	30.7%	11.4%	1.4%
	学生（n=19）	63.2%	10.5%	10.5%	5.3%	10.5%	26.3%	15.8%	0.0%
	家族従業者（n=4）	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=56）	58.9%	23.2%	16.1%	7.1%	16.1%	26.8%	14.3%	7.1%
	その他・無職（n=147）	55.8%	18.4%	22.4%	8.2%	6.8%	28.6%	9.5%	3.4%

問 25　東松山市で文化芸術活動を行うにあたり充実すべきことはどんなことだと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

東松山市で文化芸術活動を行うにあたり充実すべきことについては、「子どもや若い世代が、様々なアーティストや専門家と触れ合える機会」が 51.3%と最も多く、次いで、「小・中学校等における教育」が 29.8%、「文化芸術活動ができる施設の整備」が 26.3%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
子どもや若い世代が、様々なアーティストや専門家と触れ合える機会	523	51.3%	536	54.6%
文化活動を行っている団体等の発表の機会	224	22.0%	227	23.1%
小・中学校等における教育	304	29.8%	294	30.0%
文化活動に参加する市民ボランティアの育成と参加機会	183	18.0%	188	19.2%
文化芸術分野で活躍する著名人との連携	202	19.8%	195	19.9%
コンクールや奨励的な賞の創設	82	8.0%	83	8.5%
大学などの教育機関との連携	169	16.6%	170	17.3%
障害者による文化芸術活動における取組	96	9.4%	95	9.7%
他分野との連携による取組	111	10.9%	92	9.4%
文化芸術活動ができる施設の整備	268	26.3%	279	28.4%
その他	45	4.4%	39	4.0%
無回答	83	8.1%	72	7.3%
回答者数	1,019		981	

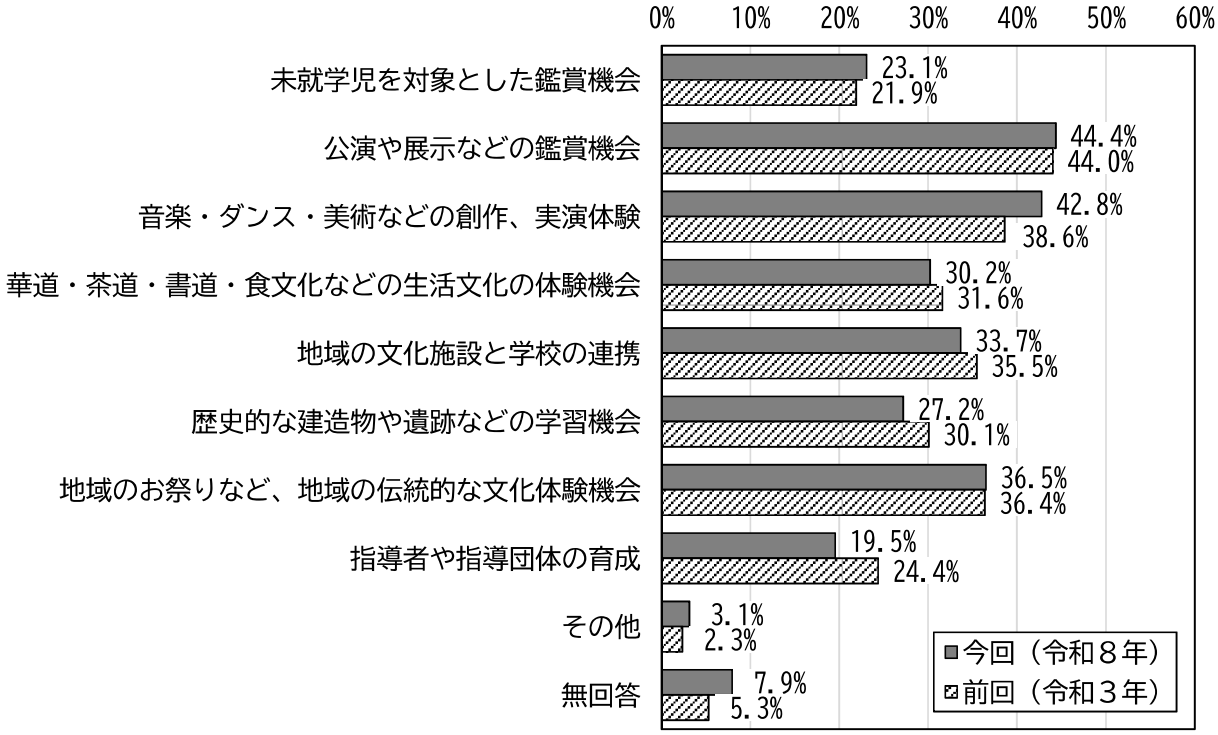
【性別・年齢別・職業別クロス】

		子どもや若い世代が、様々なアーティストや専門家と触れ合える機会	文化活動を行っている団体等の発表の機会	小・中学校等における教育	文化活動に参加する市民ボランティアの育成と参加機会	文化芸術分野で活躍する著名人との連携	コンクールや奨励的な賞の創設
全体（n=1,019）		51.3%	22.0%	29.8%	18.0%	19.8%	8.0%
【性別】	男性（n=430）	50.2%	24.2%	27.9%	19.3%	20.5%	9.1%
	女性（n=531）	52.9%	20.7%	31.3%	17.1%	20.5%	7.3%
	その他/回答しない（n=17）	52.9%	23.5%	29.4%	5.9%	11.8%	11.8%
【年齢別】	10代（n=15）	66.7%	33.3%	53.3%	20.0%	40.0%	20.0%
	20代（n=57）	68.4%	8.8%	33.3%	17.5%	14.0%	10.5%
	30代（n=132）	67.4%	15.2%	44.7%	9.1%	19.7%	11.4%
	40代（n=147）	59.9%	15.0%	43.5%	10.9%	12.2%	9.5%
	50代（n=175）	49.7%	22.3%	26.3%	13.7%	28.0%	10.3%
	60代（n=163）	52.8%	18.4%	27.6%	21.5%	21.5%	3.7%
	70代（n=201）	40.3%	35.3%	18.9%	28.9%	20.4%	6.0%
	80代以上（n=90）	30.0%	30.0%	14.4%	20.0%	17.8%	6.7%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	42.6%	23.0%	32.8%	19.7%	29.5%	8.2%
	会社員・公務員（n=317）	59.6%	16.1%	34.1%	13.9%	19.9%	9.5%
	パート・アルバイト（n=209）	55.0%	21.5%	33.0%	17.7%	23.0%	7.2%
	学生（n=30）	56.7%	20.0%	50.0%	16.7%	26.7%	16.7%
	家族従業者（n=9）	44.4%	11.1%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	60.5%	27.2%	33.3%	21.0%	21.0%	11.1%
	その他・無職（n=260）	40.4%	29.6%	20.4%	21.5%	16.2%	6.2%

		大学などの教育機関との連携	障害者による文化芸術活動における取組	他分野との連携による取組	文化芸術活動ができる施設の整備	その他	無回答
全体（n=1,019）		16.6%	9.4%	10.9%	26.3%	4.4%	8.1%
【性別】	男性（n=430）	17.2%	8.8%	11.4%	26.7%	5.1%	6.0%
	女性（n=531）	16.9%	9.8%	11.3%	26.6%	4.3%	8.3%
	その他/回答しない（n=17）	17.6%	17.6%	5.9%	23.5%	0.0%	17.6%
【年齢別】	10代（n=15）	53.3%	13.3%	13.3%	26.7%	0.0%	0.0%
	20代（n=57）	19.3%	7.0%	12.3%	28.1%	7.0%	3.5%
	30代（n=132）	18.9%	11.4%	12.1%	22.7%	1.5%	1.5%
	40代（n=147）	18.4%	5.4%	6.8%	21.1%	5.4%	2.7%
	50代（n=175）	18.3%	9.7%	17.1%	32.0%	6.9%	5.1%
	60代（n=163）	19.6%	8.0%	12.3%	30.7%	4.3%	5.5%
	70代（n=201）	12.9%	11.9%	9.5%	27.4%	5.0%	9.5%
	80代以上（n=90）	6.7%	11.1%	6.7%	21.1%	2.2%	31.1%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	18.0%	8.2%	18.0%	27.9%	3.3%	13.1%
	会社員・公務員（n=317）	21.5%	6.0%	12.3%	26.5%	4.1%	2.8%
	パート・アルバイト（n=209）	13.9%	9.1%	11.0%	25.8%	5.3%	4.8%
	学生（n=30）	43.3%	13.3%	10.0%	26.7%	0.0%	3.3%
	家族従業者（n=9）	33.3%	11.1%	11.1%	11.1%	0.0%	22.2%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	14.8%	12.3%	12.3%	32.1%	2.5%	8.6%
	その他・無職（n=260）	11.9%	11.9%	8.5%	26.5%	6.5%	11.9%

問 26　子どもたちが文化芸術に親しむための取組について、充実すべきことはどんなことだと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）

子どもたちが文化芸術に親しむための取組については、「公演や展示などの鑑賞機会」が 44.4%と最も多く、次いで、「音楽・ダンス・美術などの創作、実演体験」が 42.8%、「地域のお祭りなど、地域の伝統的な文化体験機会」が 36.5%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
未就学児を対象とした鑑賞機会	235	23.1%	215	21.9%
公演や展示などの鑑賞機会	452	44.4%	432	44.0%
音楽・ダンス・美術などの創作、実演体験	436	42.8%	379	38.6%
華道・茶道・書道・食文化などの生活文化の体験機会	308	30.2%	310	31.6%
地域の文化施設と学校の連携	343	33.7%	348	35.5%
歴史的な建造物や遺跡などの学習機会	277	27.2%	295	30.1%
地域のお祭りなど、地域の伝統的な文化体験機会	372	36.5%	357	36.4%
指導者や指導団体の育成	199	19.5%	239	24.4%
その他	32	3.1%	23	2.3%
無回答	81	7.9%	52	5.3%
回答者数	1,019		981	

【性別・年齢別・職業別クロス】

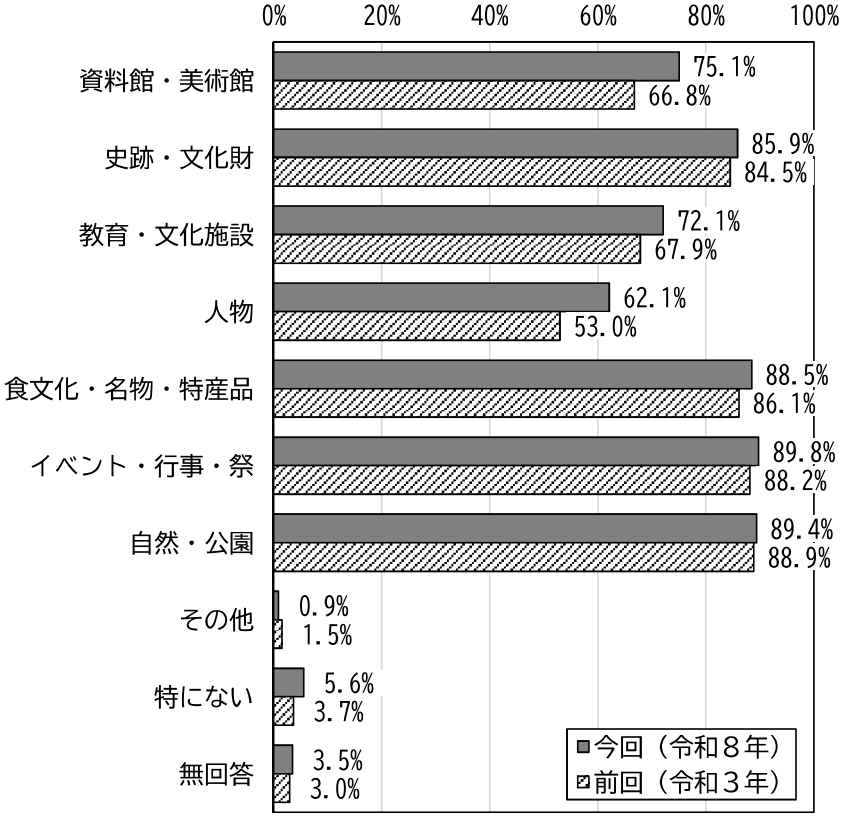
		未就学児を対象とした鑑賞機会	公演や展示などの鑑賞機会	音楽・ダンス・美術などの創作、実演体験	華道・茶道・書道・食文化などの生活文化の体験機会	地域の文化施設と学校の連携
全体（n=1,019）		23.1%	44.4%	42.8%	30.2%	33.7%
【性別】	男性（n=430）	19.8%	45.8%	38.4%	23.3%	32.8%
	女性（n=531）	26.0%	43.7%	47.1%	36.7%	36.3%
	その他/回答しない（n=17）	35.3%	58.8%	23.5%	11.8%	35.3%
【年齢別】	10代（n=15）	20.0%	46.7%	46.7%	46.7%	33.3%
	20代（n=57）	28.1%	36.8%	52.6%	31.6%	33.3%
	30代（n=132）	47.7%	44.7%	48.5%	37.9%	42.4%
	40代（n=147）	23.1%	40.1%	50.3%	36.7%	32.7%
	50代（n=175）	24.6%	40.6%	41.7%	27.4%	37.1%
	60代（n=163）	22.1%	48.5%	47.9%	33.1%	34.4%
	70代（n=201）	12.4%	53.2%	35.3%	23.9%	31.8%
	80代以上（n=90）	10.0%	41.1%	24.4%	20.0%	30.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	21.3%	39.3%	44.3%	23.0%	32.8%
	会社員・公務員（n=317）	25.9%	40.4%	45.4%	31.9%	36.3%
	パート・アルバイト（n=209）	28.2%	53.1%	46.4%	38.8%	34.0%
	学生（n=30）	20.0%	40.0%	46.7%	33.3%	46.7%
	家族従業者（n=9）	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	44.4%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	28.4%	53.1%	53.1%	38.3%	51.9%
	その他・無職（n=260）	18.1%	44.2%	34.2%	21.9%	27.3%

		歴史的な建造物や遺跡などの学習機会	地域のお祭りなど、地域の伝統的な文化体験機会	指導者や指導団体の育成	その他	無回答
全体（n=1,019）		27.2%	36.5%	19.5%	3.1%	7.9%
【性別】	男性（n=430）	30.5%	35.8%	22.3%	2.8%	7.2%
	女性（n=531）	25.6%	38.6%	16.8%	3.6%	6.6%
	その他/回答しない（n=17）	23.5%	23.5%	35.3%	0.0%	17.6%
【年齢別】	10代（n=15）	26.7%	46.7%	13.3%	0.0%	0.0%
	20代（n=57）	19.3%	45.6%	8.8%	5.3%	3.5%
	30代（n=132）	26.5%	46.2%	19.7%	1.5%	2.3%
	40代（n=147）	29.9%	36.1%	16.3%	4.1%	4.8%
	50代（n=175）	30.9%	36.0%	22.9%	4.0%	6.3%
	60代（n=163）	29.4%	35.6%	19.0%	2.5%	3.7%
	70代（n=201）	27.4%	35.3%	22.4%	2.5%	10.4%
	80代以上（n=90）	22.2%	26.7%	20.0%	4.4%	22.2%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	24.6%	44.3%	19.7%	1.6%	11.5%
	会社員・公務員（n=317）	29.3%	38.2%	19.9%	2.8%	4.7%
	パート・アルバイト（n=209）	29.2%	37.3%	20.6%	2.4%	3.8%
	学生（n=30）	26.7%	43.3%	13.3%	0.0%	0.0%
	家族従業者（n=9）	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%	11.1%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	32.1%	39.5%	17.3%	1.2%	6.2%
	その他・無職（n=260）	25.8%	33.8%	20.0%	5.8%	11.5%

問 27　あなたが「東松山市の魅力的な地域資源」として思い浮かぶものはどのようなものがありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「東松山市の魅力的な地域資源」として思い浮かぶものについては、「イベント・行事・祭」が 89.8%と最も多く、次いで、「自然・公園」が 89.4%、「食文化・名物・特産品」が 88.5%となっています。

前回と比較すると、「資料館・美術館」が 8.3 ポイント、「人物」が 9.1 ポイント増加となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
資料館・美術館	765	75.1%	655	66.8%
史跡・文化財	875	85.9%	829	84.5%
教育・文化施設	735	72.1%	666	67.9%
人物	633	62.1%	520	53.0%
食文化・名物・特産品	902	88.5%	845	86.1%
イベント・行事・祭	915	89.8%	865	88.2%
自然・公園	911	89.4%	872	88.9%
その他	9	0.9%	15	1.5%
特にない	57	5.6%	36	3.7%
無回答	36	3.5%	29	3.0%
回答者数	1,019		981	

【性別・年齢別・職業別クロス】

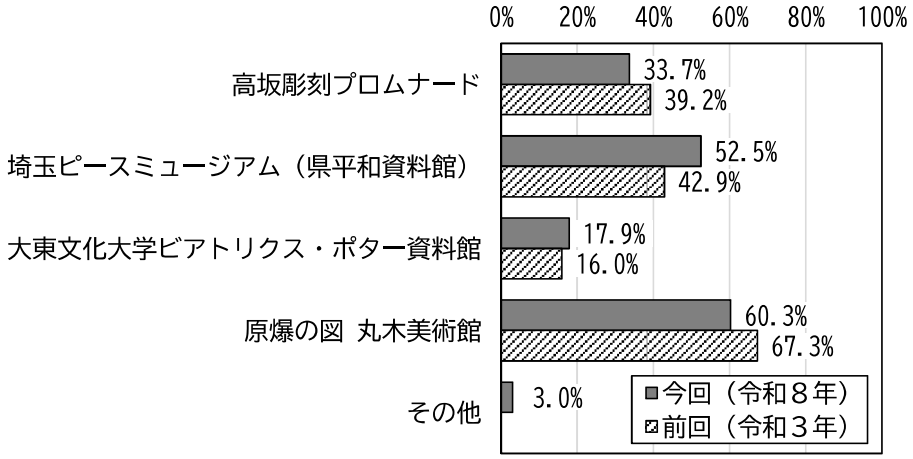
		資料館・美術館	史跡・文化財	教育・文化施設	人物	食文化・特産品・名物	イベント・行事・祭
全体（n=1,019）		75.1%	85.9%	72.1%	62.1%	88.5%	89.8%
【性別】	男性（n=430）	76.7%	87.9%	73.7%	63.5%	87.9%	89.5%
	女性（n=531）	75.5%	86.1%	72.9%	62.5%	91.5%	91.5%
	その他/回答しない（n=17）	70.6%	82.4%	47.1%	58.8%	82.4%	82.4%
【年齢別】	10代（n=15）	80.0%	100.0%	93.3%	80.0%	93.3%	93.3%
	20代（n=57）	78.9%	91.2%	71.9%	64.9%	94.7%	93.0%
	30代（n=132）	73.5%	81.1%	69.7%	47.0%	90.2%	89.4%
	40代（n=147）	73.5%	88.4%	65.3%	60.5%	92.5%	93.9%
	50代（n=175）	75.4%	88.6%	70.3%	60.6%	90.9%	89.7%
	60代（n=163）	75.5%	87.7%	74.2%	63.8%	90.8%	90.8%
	70代（n=201）	78.6%	87.6%	80.6%	72.6%	87.6%	89.1%
	80代以上（n=90）	77.8%	80.0%	72.2%	66.7%	82.2%	88.9%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	73.8%	82.0%	60.7%	62.3%	86.9%	85.2%
	会社員・公務員（n=317）	73.2%	85.5%	71.3%	56.5%	91.8%	90.9%
	パート・アルバイト（n=209）	78.9%	88.0%	71.8%	64.6%	90.0%	91.9%
	学生（n=30）	83.3%	93.3%	80.0%	70.0%	93.3%	90.0%
	家族従業者（n=9）	66.7%	77.8%	77.8%	44.4%	88.9%	100.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	84.0%	91.4%	79.0%	70.4%	95.1%	93.8%
	その他・無職（n=260）	75.0%	86.2%	75.8%	65.4%	85.8%	88.8%

		自然・公園	その他	特にない	無回答
全体（n=1,019）		89.4%	0.9%	5.6%	3.5%
【性別】	男性（n=430）	88.8%	0.9%	7.0%	2.6%
	女性（n=531）	91.5%	0.8%	4.5%	2.4%
	その他/回答しない（n=17）	76.5%	0.0%	11.8%	11.8%
【年齢別】	10代（n=15）	93.3%	0.0%	6.7%	0.0%
	20代（n=57）	89.5%	0.0%	7.0%	0.0%
	30代（n=132）	88.6%	0.0%	8.3%	3.0%
	40代（n=147）	92.5%	0.0%	5.4%	2.7%
	50代（n=175）	88.6%	2.3%	3.4%	1.7%
	60代（n=163）	90.8%	1.2%	4.9%	1.2%
	70代（n=201）	90.5%	1.0%	7.5%	3.5%
	80代以上（n=90）	88.9%	0.0%	3.3%	6.7%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	88.5%	0.0%	4.9%	4.9%
	会社員・公務員（n=317）	89.0%	1.3%	6.3%	2.2%
	パート・アルバイト（n=209）	90.9%	0.5%	7.2%	1.0%
	学生（n=30）	86.7%	0.0%	6.7%	0.0%
	家族従業者（n=9）	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	93.8%	1.2%	3.7%	1.2%
	その他・無職（n=260）	90.4%	0.8%	5.0%	4.6%

【資料館・美術館】

魅力的な資料館･美術館として思い浮かぶものについては､｢原爆の図 丸木美術館｣が 60.3%と最も多く、次いで、｢埼玉ピースミュージアム（県平和資料館)｣ が 52.5%、｢高坂彫刻プロムナード｣ が 33.7%となっています。

前回と比較すると、｢埼玉ピースミュージアム（県平和資料館)｣ が 9.6 ポイント増加し、｢高坂彫刻プロムナード｣ が 5.5 ポイント、｢原爆の図 丸木美術館｣ が 7.0 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
高坂彫刻プロムナード	258	33.7%	257	39.2%
埼玉ピースミュージアム（県平和資料館）	402	52.5%	281	42.9%
大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館	137	17.9%	105	16.0%
原爆の図 丸木美術館	461	60.3%	441	67.3%
その他	23	3.0%	－	－
回答者数	765		655	

※前回は「その他」の選択項目はありませんでした

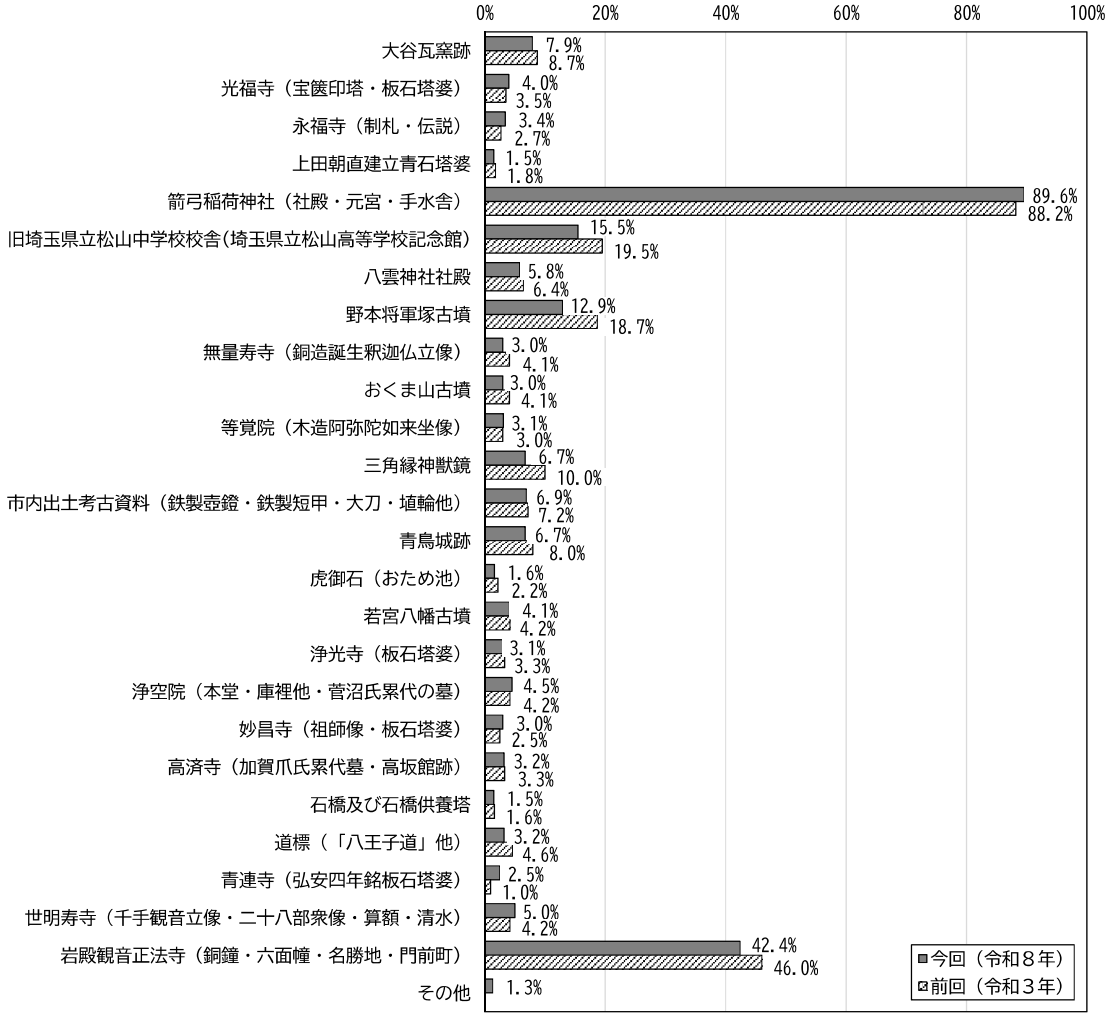
【性別・年齢別・職業別クロス】

		高坂彫刻プロムナード	埼玉ピースミュージアム（県平和資料館）	大東文化大学ビアトリクス・ポター資料館	原爆の図 丸木美術館	その他
全体（n=765）		33.7%	52.5%	17.9%	60.3%	3.0%
【性別】	男性（n=330）	33.9%	51.2%	13.9%	61.5%	3.3%
	女性（n=401）	32.9%	54.6%	20.9%	58.6%	3.0%
	その他/回答しない（n=12）	41.7%	33.3%	16.7%	66.7%	0.0%
【年齢別】	10代（n=12）	16.7%	75.0%	33.3%	58.3%	0.0%
	20代（n=45）	20.0%	51.1%	4.4%	46.7%	6.7%
	30代（n=97）	32.0%	57.7%	19.6%	44.3%	6.2%
	40代（n=108）	30.6%	58.3%	17.6%	46.3%	2.8%
	50代（n=132）	29.5%	42.4%	22.7%	64.4%	2.3%
	60代（n=123）	31.7%	48.0%	14.6%	66.7%	3.3%
	70代（n=158）	47.5%	58.2%	20.3%	67.7%	1.3%
	80代以上（n=70）	32.9%	50.0%	11.4%	74.3%	2.9%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=45）	20.0%	40.0%	20.0%	77.8%	2.2%
	会社員・公務員（n=232）	30.2%	51.3%	17.7%	53.0%	4.7%
	パート・アルバイト（n=165）	37.6%	54.5%	21.8%	57.6%	1.8%
	学生（n=25）	24.0%	72.0%	20.0%	44.0%	0.0%
	家族従業者（n=6）	0.0%	33.3%	33.3%	83.3%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=68）	36.8%	57.4%	16.2%	54.4%	4.4%
	その他・無職（n=195）	38.5%	52.8%	13.8%	69.7%	2.6%

【史跡・文化財】

魅力的な史跡・文化財として思い浮かぶものについては、「箭弓稲荷神社（社殿・元宮・手水舎）」が 89.6%と最も多く、次いで、「岩殿観音正法寺（銅鐘・六面幢・名勝地・門前町）」が 42.4%、「旧埼玉県立松山中学校校舎(埼玉県立松山高等学校記念館)」が 15.5%となっています。

前回と比較すると、「野本将軍塚古墳」が 5.8 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
大谷瓦窯跡	69	7.9%	72	8.7%
光福寺（宝篋印塔・板石塔婆）	35	4.0%	29	3.5%
永福寺（制札・伝説）	30	3.4%	22	2.7%
上田朝直建立青石塔婆	13	1.5%	15	1.8%
箭弓稲荷神社（社殿・元宮・手水舎）	784	89.6%	731	88.2%
旧埼玉県立松山中学校校舎(埼玉県立松山高等学校記念館)	136	15.5%	162	19.5%
八雲神社社殿	51	5.8%	53	6.4%
野本将軍塚古墳	113	12.9%	155	18.7%
無量寿寺（銅造誕生釈迦仏立像）	26	3.0%	34	4.1%
おくま山古墳	26	3.0%	34	4.1%
等覚院（木造阿弥陀如来坐像）	27	3.1%	25	3.0%
三角縁神獣鏡	59	6.7%	83	10.0%
市内出土考古資料（鉄製壺鐙・鉄製短甲・大刀・埴輪他）	60	6.9%	60	7.2%
青鳥城跡	59	6.7%	66	8.0%
虎御石（おため池）	14	1.6%	18	2.2%
若宮八幡古墳	36	4.1%	35	4.2%
浄光寺（板石塔婆）	27	3.1%	27	3.3%
浄空院（本堂・庫裡他・菅沼氏累代の墓）	39	4.5%	35	4.2%
妙昌寺（祖師像・板石塔婆）	26	3.0%	21	2.5%
高済寺（加賀爪氏累代墓・高坂館跡）	28	3.2%	27	3.3%
石橋及び石橋供養塔	13	1.5%	13	1.6%
道標（「八王子道」他）	28	3.2%	38	4.6%
青連寺（弘安四年銘板石塔婆）	22	2.5%	8	1.0%
世明寿寺（千手観音立像・二十八部衆像・算額・清水）	44	5.0%	35	4.2%
岩殿観音正法寺（銅鐘・六面幢・名勝地・門前町）	371	42.4%	381	46.0%
その他	11	1.3%	－	－
回答者数	875		829	

※前回は「その他」の選択項目はありませんでした

【性別・年齢別・職業別クロス】

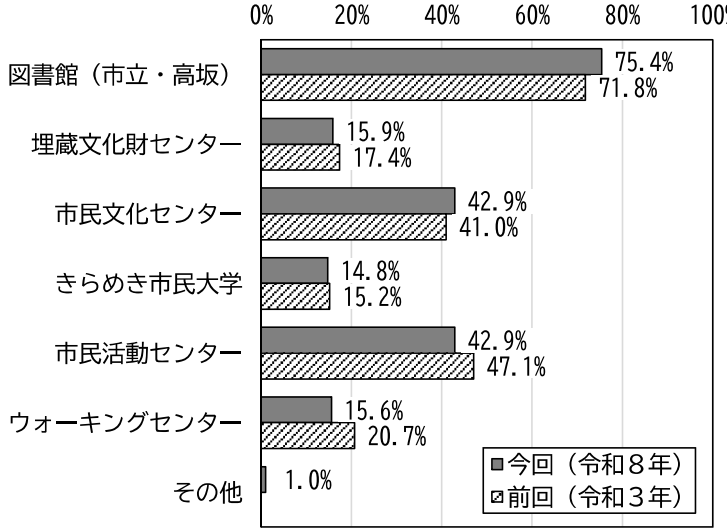
		大谷瓦窯跡	光福寺（宝篋印塔・板石塔婆）	永福寺（制札・伝説）	上田朝直建立青石塔婆	箭弓稲荷神社（社殿・元宮・手水舎）	旧埼玉県立松山中学校校舎（埼玉県立松山高等学校記念館）	八雲神社社殿	野本将軍塚古墳	無量寿寺（銅造誕生釈迦仏立像）	おくま山古墳	等覚院（木造阿弥陀如来坐像）	三角縁神獣鏡	市内出土考古資料（鉄製壺鐙・鉄製短甲・大刀・埴輪他）
全体（n=875）		7.9%	4.0%	3.4%	1.5%	89.6%	15.5%	5.8%	12.9%	3.0%	3.0%	3.1%	6.7%	6.9%
【性別】	男性（n=378）	10.1%	5.3%	4.8%	1.9%	88.1%	15.1%	6.1%	16.1%	4.2%	3.4%	3.4%	6.6%	9.0%
	女性（n=457）	6.3%	3.1%	2.6%	1.1%	90.6%	16.0%	5.7%	10.1%	2.0%	2.6%	2.6%	7.4%	5.3%
	その他/回答しない（n=14）	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	92.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=15）	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%
	20代（n=52）	1.9%	1.9%	3.8%	0.0%	82.7%	3.8%	3.8%	7.7%	1.9%	1.9%	0.0%	7.7%	0.0%
	30代（n=107）	3.7%	2.8%	3.7%	0.9%	87.9%	5.6%	4.7%	4.7%	0.9%	2.8%	0.9%	0.9%	0.9%
	40代（n=130）	3.1%	2.3%	1.5%	0.8%	90.0%	10.8%	3.8%	6.9%	0.8%	2.3%	1.5%	4.6%	2.3%
	50代（n=155）	3.9%	2.6%	2.6%	1.3%	92.9%	17.4%	7.1%	12.9%	1.3%	1.9%	2.6%	7.7%	5.2%
	60代（n=143）	6.3%	3.5%	4.2%	2.8%	93.0%	21.0%	3.5%	11.2%	3.5%	1.4%	2.8%	7.7%	8.4%
	70代（n=176）	16.5%	6.8%	5.1%	2.3%	90.9%	19.3%	10.2%	22.7%	5.7%	6.3%	5.7%	8.5%	14.2%
	80代以上（n=72）	19.4%	8.3%	2.8%	1.4%	80.6%	19.4%	4.2%	15.3%	6.9%	2.8%	5.6%	12.5%	12.5%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=50）	8.0%	8.0%	8.0%	2.0%	88.0%	20.0%	6.0%	18.0%	6.0%	2.0%	14.0%	8.0%	12.0%
	会社員・公務員（n=271）	4.1%	2.6%	3.0%	1.1%	90.0%	10.7%	4.8%	9.6%	2.2%	2.6%	1.5%	4.1%	3.3%
	パート・アルバイト（n=184）	7.1%	3.8%	1.6%	1.1%	91.8%	16.3%	4.3%	10.3%	0.5%	2.7%	1.6%	7.1%	6.5%
	学生（n=28）	3.6%	3.6%	3.6%	0.0%	85.7%	7.1%	3.6%	17.9%	3.6%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
	家族従業者（n=7）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=74）	4.1%	1.4%	5.4%	2.7%	90.5%	20.3%	8.1%	9.5%	1.4%	2.7%	6.8%	8.1%	6.8%
	その他・無職（n=224）	14.3%	6.3%	4.5%	2.2%	88.8%	18.8%	7.6%	17.0%	5.4%	4.0%	2.7%	8.9%	11.2%

		青鳥城跡	虎御石（おため池）	若宮八幡古墳	浄光寺（板石塔婆）	浄空院（本堂・庫裡他・菅沼氏累代の墓）	妙昌寺（祖師像・板石塔婆）	高済寺（加賀爪氏累代墓・高坂館跡）	石橋及び石橋供養塔	道標（「八王子道」他）	青連寺（弘安四年銘板石塔婆）	世明寿寺（千手観音立像・二十八部衆像・算額・清水）	岩殿観音正法寺（銅鐘・六面幢・名勝地・門前町）	その他
全体（n=875）		6.7%	1.6%	4.1%	3.1%	4.5%	3.0%	3.2%	1.5%	3.2%	2.5%	5.0%	42.4%	1.3%
【性別】	男性（n=378）	9.0%	1.9%	4.5%	3.2%	4.0%	2.9%	5.0%	2.4%	4.5%	2.9%	6.1%	46.3%	1.1%
	女性（n=457）	4.8%	1.3%	3.9%	3.1%	4.8%	3.1%	2.0%	0.9%	2.4%	2.2%	4.4%	38.7%	1.1%
	その他/回答しない（n=14）	7.1%	0.0%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%
【年齢別】	10代（n=15）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	26.7%	0.0%
	20代（n=52）	5.8%	1.9%	3.8%	3.8%	1.9%	1.9%	1.9%	0.0%	1.9%	1.9%	3.8%	19.2%	3.8%
	30代（n=107）	3.7%	0.9%	1.9%	2.8%	2.8%	2.8%	0.9%	1.9%	0.9%	0.9%	3.7%	22.4%	1.9%
	40代（n=130）	4.6%	1.5%	2.3%	1.5%	0.0%	0.8%	1.5%	1.5%	1.5%	1.5%	3.8%	33.8%	0.8%
	50代（n=155）	8.4%	1.3%	3.9%	2.6%	2.6%	3.9%	1.3%	1.3%	3.2%	1.9%	1.9%	34.8%	0.0%
	60代（n=143）	6.3%	0.0%	4.2%	2.1%	3.5%	2.8%	2.8%	0.0%	2.8%	2.1%	3.5%	43.4%	0.7%
	70代（n=176）	10.2%	3.4%	6.3%	5.1%	9.7%	5.1%	8.0%	4.0%	6.8%	5.7%	10.8%	62.5%	1.1%
	80代以上（n=72）	5.6%	1.4%	6.9%	5.6%	11.1%	1.4%	4.2%	0.0%	4.2%	1.4%	5.6%	66.7%	1.4%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=50）	12.0%	0.0%	8.0%	6.0%	12.0%	4.0%	4.0%	0.0%	6.0%	4.0%	4.0%	34.0%	0.0%
	会社員・公務員（n=271）	5.2%	1.1%	3.3%	2.2%	2.2%	2.6%	1.8%	1.5%	1.5%	1.8%	3.3%	37.6%	1.1%
	パート・アルバイト（n=184）	5.4%	1.6%	3.8%	3.3%	2.7%	3.3%	1.1%	1.6%	2.2%	1.1%	4.3%	35.9%	1.1%
	学生（n=28）	7.1%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	3.6%	3.6%	10.7%	25.0%	0.0%
	家族従業者（n=7）	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=74）	6.8%	0.0%	5.4%	1.4%	5.4%	2.7%	2.7%	0.0%	6.8%	2.7%	6.8%	50.0%	0.0%
	その他・無職（n=224）	8.0%	2.7%	4.0%	3.6%	7.6%	3.6%	7.1%	2.2%	4.9%	3.1%	6.3%	53.1%	1.8%

【教育・文化施設】

魅力的な教育・文化施設として思い浮かぶものについては、「図書館（市立・高坂）」が 75.4%と最も多く、次いで、「市民文化センター」「市民活動センター」がともに 42.9%となっています。

前回と比較すると「ウォーキングセンター」が 5.1 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
図書館（市立・高坂）	554	75.4%	478	71.8%
埋蔵文化財センター	117	15.9%	116	17.4%
市民文化センター	315	42.9%	273	41.0%
きらめき市民大学	109	14.8%	101	15.2%
市民活動センター	315	42.9%	314	47.1%
ウォーキングセンター	115	15.6%	138	20.7%
その他	7	1.0%	-	-
回答者数	735		666	

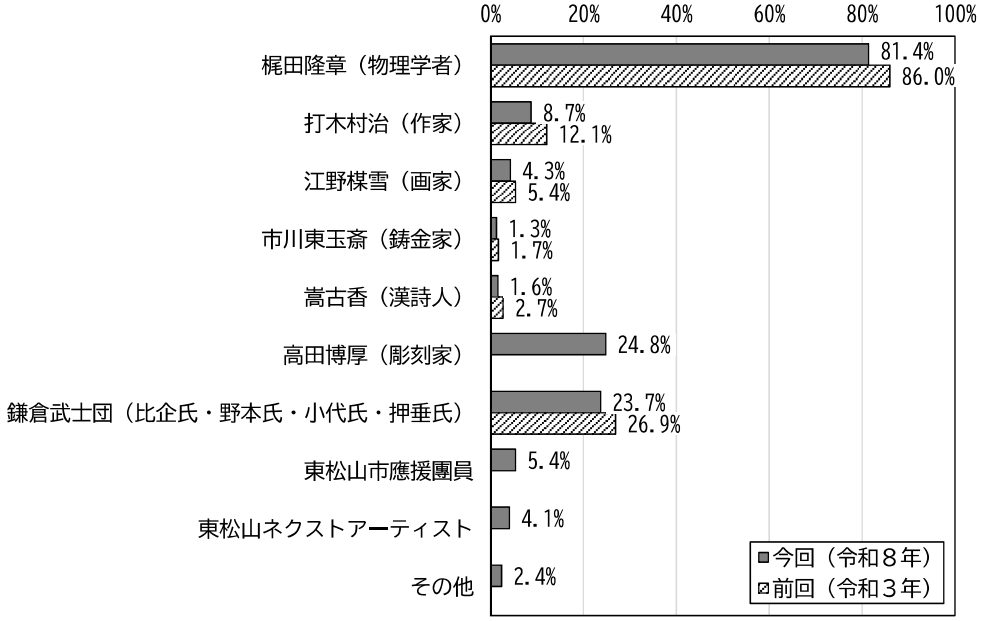
※前回は「その他」の選択項目はありませんでした

【性別・年齢別・職業別クロス】

		図書館（市立・高坂）	埋蔵文化財センター	市民文化センター	きらめき市民大学	市民活動センター	ウォーキングセンター	その他
全体（n=735）		75.4%	15.9%	42.9%	14.8%	42.9%	15.6%	1.0%
【性別】	男性（n=317）	76.3%	18.9%	39.4%	15.5%	43.8%	17.4%	0.3%
	女性（n=387）	74.9%	13.4%	45.2%	14.5%	41.9%	14.5%	1.0%
	その他/回答しない（n=8）	87.5%	12.5%	50.0%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=14）	78.6%	7.1%	50.0%	14.3%	35.7%	0.0%	0.0%
	20代（n=41）	78.0%	7.3%	26.8%	4.9%	29.3%	7.3%	0.0%
	30代（n=92）	89.1%	5.4%	38.0%	8.7%	30.4%	10.9%	1.1%
	40代（n=96）	79.2%	11.5%	35.4%	11.5%	31.3%	9.4%	1.0%
	50代（n=123）	80.5%	15.4%	37.4%	13.8%	38.2%	20.3%	0.0%
	60代（n=121）	68.6%	16.5%	52.1%	9.1%	41.3%	13.2%	0.8%
	70代（n=162）	70.4%	23.5%	51.9%	22.8%	59.9%	24.7%	0.6%
	80代以上（n=65）	67.7%	24.6%	38.5%	26.2%	53.8%	13.8%	1.5%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=37）	59.5%	29.7%	35.1%	10.8%	56.8%	8.1%	0.0%
	会社員・公務員（n=226）	81.9%	8.8%	34.5%	9.7%	31.0%	13.7%	0.9%
	パート・アルバイト（n=150）	74.0%	16.0%	50.0%	15.3%	42.7%	19.3%	0.7%
	学生（n=24）	70.8%	16.7%	41.7%	12.5%	33.3%	4.2%	0.0%
	家族従業者（n=7）	42.9%	0.0%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=64）	84.4%	14.1%	42.2%	12.5%	45.3%	17.2%	0.0%
	その他・無職（n=197）	72.6%	22.3%	49.2%	21.3%	53.3%	18.8%	1.0%

【人物】

魅力的な人物について思い浮かぶものについては、「梶田隆章（物理学者）」が 81.4%と最も多く、次いで、「高田博厚（彫刻家）」が 24.8%、「鎌倉武士団（比企氏・野本氏・小代氏・押垂氏）」が 23.7%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
梶田隆章（物理学者）	515	81.4%	447	86.0%
打木村治（作家）	55	8.7%	63	12.1%
江野楳雪（画家）	27	4.3%	28	5.4%
市川東玉斎（鋳金家）	8	1.3%	9	1.7%
嵩古香（漢詩人）	10	1.6%	14	2.7%
高田博厚（彫刻家）	157	24.8%	－	－
鎌倉武士団（比企氏・野本氏・小代氏・押垂氏）	150	23.7%	140	26.9%
東松山市應援團員	34	5.4%	－	－
東松山ネクストアーティスト	26	4.1%	－	－
その他	15	2.4%	－	－
回答者数	633		520	

※前回は「高田博厚（彫刻家）」「東松山市慶援團員」「東松山ネクストアーティスト」「その他」の選択項目はありませんでした

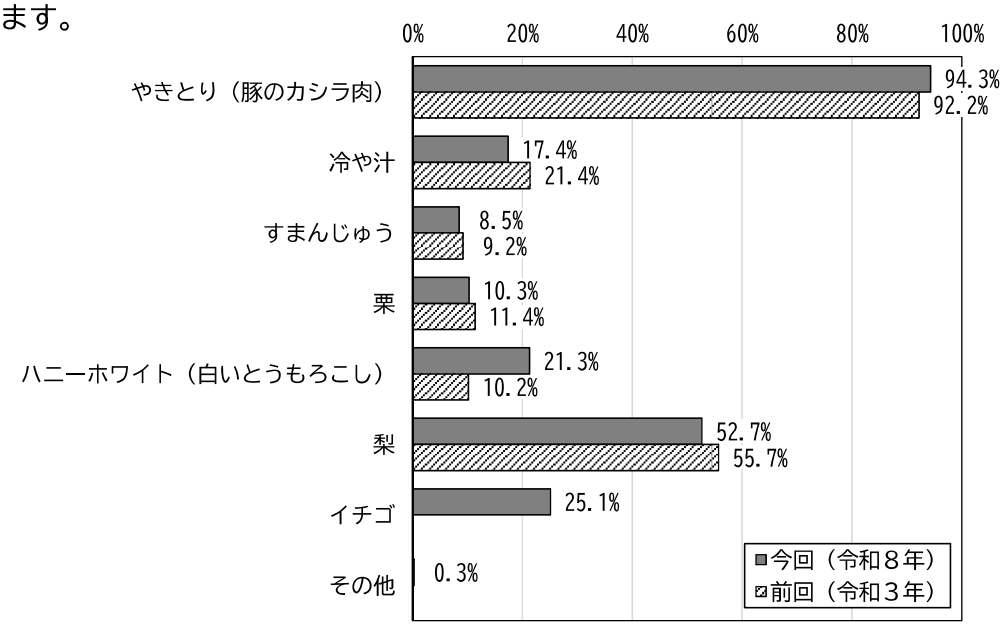
【性別・年齢別・職業別クロス】

		梶田隆章（物理学者）	打木村治（作家）	江野楳雪（画家）	市川東玉斎（鋳金家）	嵩古香（漢詩人）	高田博厚（彫刻家）	鎌倉武士団（比企氏・野本氏・小代氏・押垂氏）	東松山市應援團員	東松山ネクストアーティスト	その他
全体（n=633）		81.4%	8.7%	4.3%	1.3%	1.6%	24.8%	23.7%	5.4%	4.1%	2.4%
【性別】	男性（n=273）	76.2%	6.2%	4.4%	1.1%	1.8%	25.3%	32.6%	5.5%	6.2%	2.2%
	女性（n=332）	85.8%	10.2%	3.9%	1.5%	1.5%	23.8%	17.8%	5.1%	2.4%	2.7%
	その他/回答しない（n=10）	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	30.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=12）	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代（n=37）	62.2%	2.7%	2.7%	0.0%	5.4%	10.8%	10.8%	10.8%	5.4%	16.2%
	30代（n=62）	74.2%	4.8%	4.8%	1.6%	1.6%	14.5%	11.3%	8.1%	11.3%	4.8%
	40代（n=89）	79.8%	1.1%	1.1%	1.1%	0.0%	19.1%	23.6%	7.9%	4.5%	2.2%
	50代（n=106）	89.6%	2.8%	1.9%	1.9%	1.9%	18.9%	18.9%	3.8%	3.8%	0.9%
	60代（n=104）	86.5%	5.8%	2.9%	1.0%	0.0%	21.2%	23.1%	3.8%	2.9%	1.9%
	70代（n=146）	81.5%	13.7%	6.2%	2.1%	2.1%	40.4%	34.9%	5.5%	4.1%	0.7%
	80代以上（n=60）	78.3%	28.3%	10.0%	0.0%	3.3%	28.3%	31.7%	3.3%	0.0%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=38）	71.1%	7.9%	0.0%	0.0%	2.6%	13.2%	36.8%	2.6%	0.0%	0.0%
	会社員・公務員（n=179）	80.4%	3.4%	2.2%	2.2%	2.8%	15.1%	17.3%	7.8%	7.8%	3.4%
	パート・アルバイト（n=135）	86.7%	5.9%	4.4%	1.5%	0.7%	26.7%	20.0%	8.1%	3.7%	3.0%
	学生（n=21）	81.0%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	23.8%	23.8%	4.8%	4.8%	0.0%
	家族従業者（n=4）	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=57）	86.0%	15.8%	5.3%	0.0%	1.8%	28.1%	31.6%	1.8%	1.8%	1.8%
	その他・無職（n=170）	80.0%	12.9%	6.5%	1.2%	1.2%	35.3%	28.8%	3.5%	2.4%	2.4%

【食文化・名物・特産品】

魅力的な食文化・名物・特産品として思い浮かぶものについては、「やきとり（豚のカシラ肉）」が 94.3%と最も多く、次いで、「梨」が 52.7%、「イチゴ」が 25.1%となっています。

前回と比較すると、「ハニーホワイト（白いとうもろこし）」が 11.1 ポイント増加となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
やきとり（豚のカシラ肉）	851	94.3%	779	92.2%
冷や汁	157	17.4%	181	21.4%
すまんじゅう	77	8.5%	78	9.2%
栗	93	10.3%	96	11.4%
ハニーホワイト（白いとうもろこし）	192	21.3%	86	10.2%
梨	475	52.7%	471	55.7%
イチゴ	226	25.1%	－	－
その他	3	0.3%	－	－
回答者数	902		845	

※前回は「イチゴ」「その他」の選択項目はありませんでした

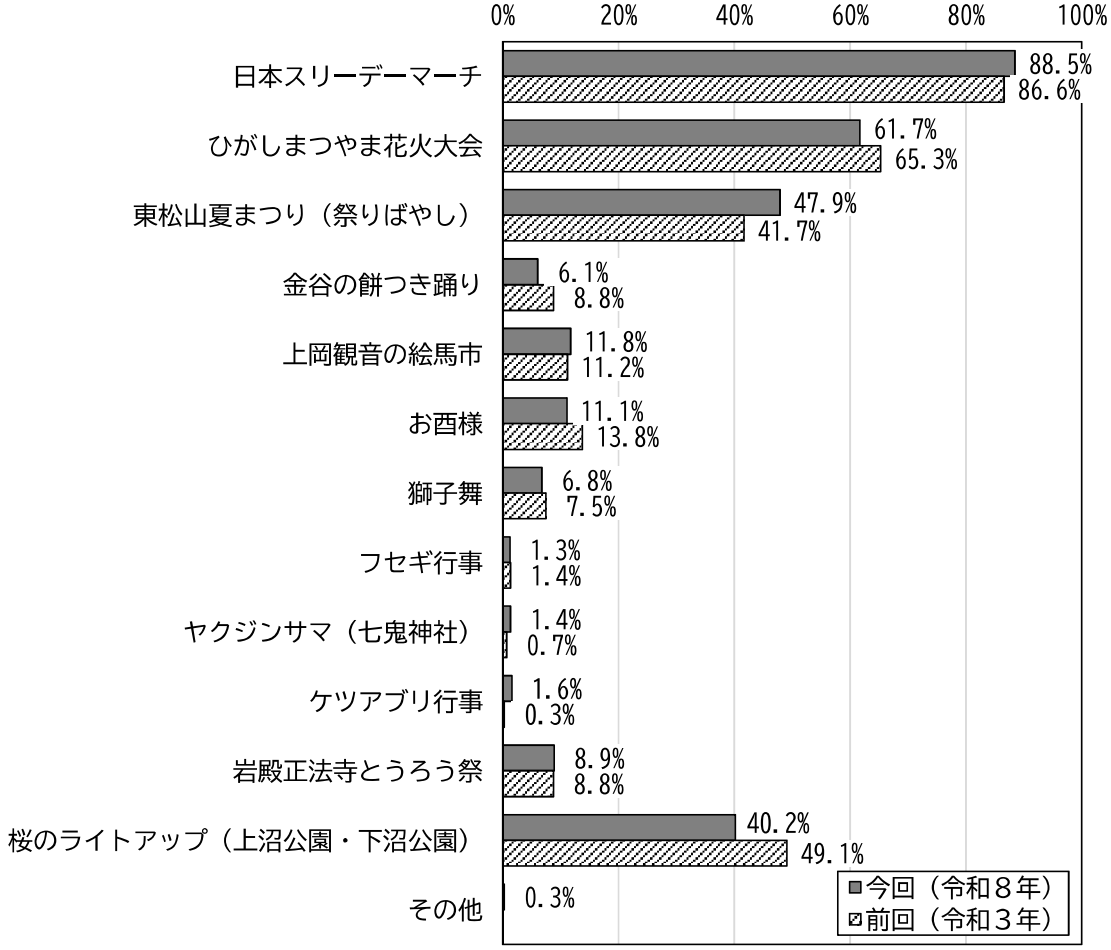
【性別・年齢別・職業別クロス】

		やきとり（豚のカシラ肉）	冷や汁	すまんじゅう	栗	ハニーホワイト（白いとうもろこし）	梨	イチゴ	その他
全体（n=902）		94.3%	17.4%	8.5%	10.3%	21.3%	52.7%	25.1%	0.3%
【性別】	男性（n=378）	96.8%	17.5%	9.5%	7.7%	16.7%	49.2%	21.4%	0.3%
	女性（n=486）	92.6%	17.3%	8.0%	12.3%	25.1%	54.5%	28.4%	0.4%
	その他/回答しない（n=14）	78.6%	28.6%	0.0%	14.3%	14.3%	50.0%	21.4%	0.0%
【年齢別】	10代（n=14）	85.7%	7.1%	7.1%	7.1%	21.4%	50.0%	14.3%	0.0%
	20代（n=54）	94.4%	13.0%	3.7%	7.4%	13.0%	27.8%	20.4%	1.9%
	30代（n=119）	97.5%	16.8%	3.4%	7.6%	16.8%	43.7%	28.6%	0.0%
	40代（n=136）	94.9%	12.5%	5.1%	5.1%	21.3%	48.5%	18.4%	0.0%
	50代（n=159）	97.5%	14.5%	3.8%	8.2%	16.4%	53.5%	19.5%	0.0%
	60代（n=148）	95.9%	18.9%	6.8%	8.1%	17.6%	53.4%	25.7%	0.7%
	70代（n=176）	90.9%	21.6%	16.5%	15.9%	30.7%	63.6%	29.0%	0.6%
	80代以上（n=74）	86.5%	27.0%	21.6%	23.0%	29.7%	58.1%	40.5%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=53）	100.0%	28.3%	7.5%	9.4%	18.9%	45.3%	17.0%	0.0%
	会社員・公務員（n=291）	97.3%	13.4%	4.1%	6.5%	15.8%	43.6%	19.6%	0.7%
	パート・アルバイト（n=188）	94.7%	15.4%	5.9%	9.0%	23.4%	60.6%	26.1%	0.0%
	学生（n=28）	92.9%	14.3%	3.6%	10.7%	21.4%	35.7%	17.9%	0.0%
	家族従業者（n=8）	62.5%	25.0%	0.0%	12.5%	25.0%	50.0%	12.5%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=77）	90.9%	22.1%	9.1%	16.9%	33.8%	63.6%	37.7%	0.0%
	その他・無職（n=223）	91.0%	20.6%	16.6%	13.0%	22.4%	55.6%	30.9%	0.4%

【イベント・行事・祭】

魅力的なイベント・行事・祭として思い浮かぶものについては、「日本スリーデーマーチ」が88.5%と最も多く、次いで、「ひがしまつやま花火大会」が61.7%、「東松山夏まつり（祭りばやし）」が47.9%となっています。

前回と比較すると、「東松山夏まつり（祭りばやし）」が6.2ポイント増加し、「桜のライトアップ（上沼公園・下沼公園）」が8.9ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
日本スリーデーマーチ	810	88.5%	749	86.6%
ひがしまつやま花火大会	565	61.7%	565	65.3%
東松山夏まつり（祭りばやし）	438	47.9%	361	41.7%
金谷の餅つき踊り	56	6.1%	76	8.8%
上岡観音の絵馬市	108	11.8%	97	11.2%
お酉様	102	11.1%	119	13.8%
獅子舞	62	6.8%	65	7.5%
フセギ行事	12	1.3%	12	1.4%
ヤクジンサマ（七鬼神社）	13	1.4%	6	0.7%
ケツアブリ行事	15	1.6%	3	0.3%
岩殿正法寺とうろう祭	81	8.9%	76	8.8%
桜のライトアップ（上沼公園・下沼公園）	368	40.2%	425	49.1%
その他	3	0.3%	－	－
回答者数	915		865	

※前回は「その他」の選択項目はありませんでした

【性別・年齢別・職業別クロス】

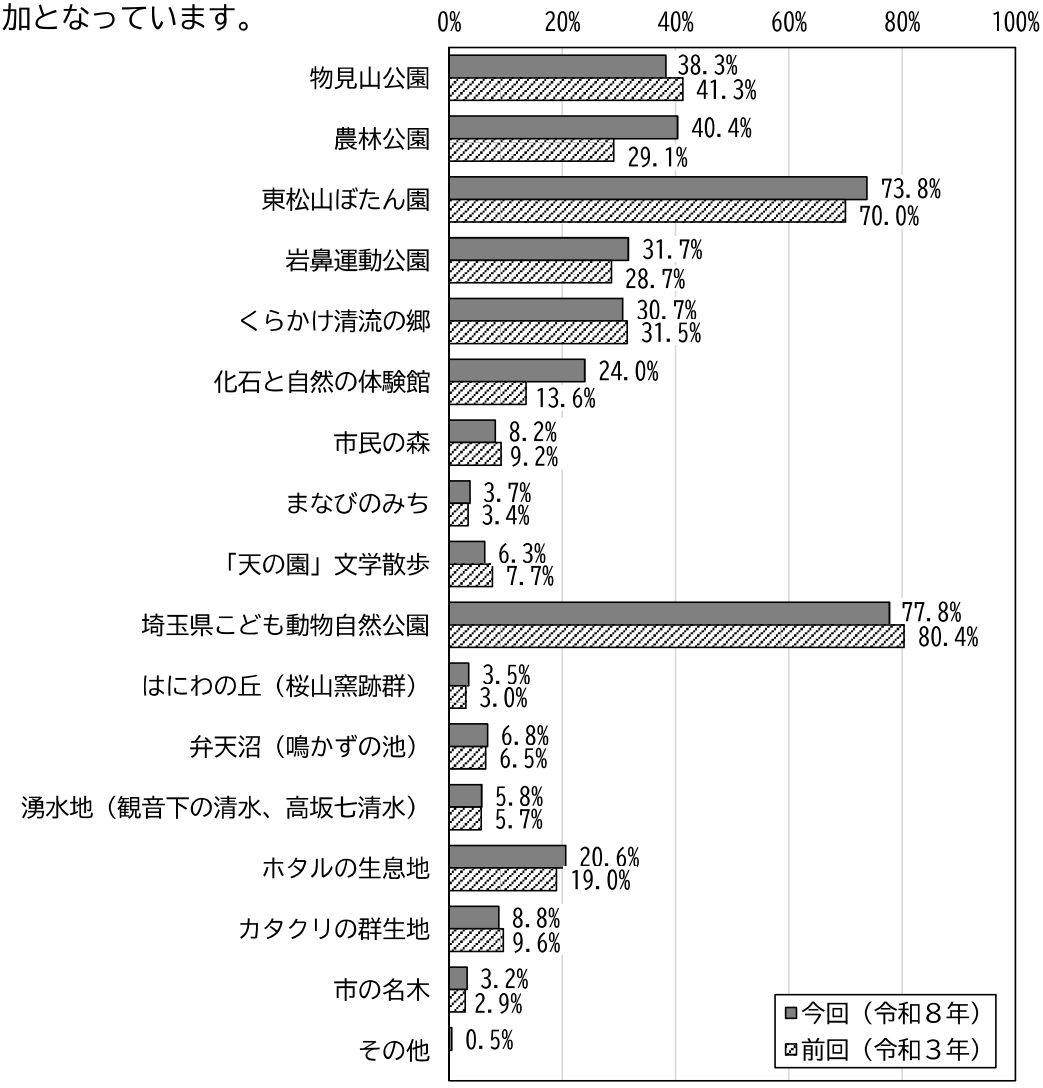
		日本スリーデーマーチ	ひがしまつやま花火大会	東松山夏まつり（祭りばやし）	金谷の餅つき踊り	上岡観音の絵馬市	お酉様	獅子舞
全体（n=915）		88.5%	61.7%	47.9%	6.1%	11.8%	11.1%	6.8%
【性別】	男性（n=385）	89.1%	59.2%	47.0%	6.8%	10.6%	10.6%	6.8%
	女性（n=486）	88.3%	63.8%	49.8%	5.8%	13.0%	12.1%	7.0%
	その他/回答しない（n=14）	85.7%	57.1%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=14）	85.7%	64.3%	78.6%	0.0%	7.1%	7.1%	14.3%
	20代（n=53）	79.2%	69.8%	54.7%	0.0%	1.9%	7.5%	7.5%
	30代（n=118）	87.3%	68.6%	54.2%	3.4%	1.7%	4.2%	8.5%
	40代（n=138）	90.6%	59.4%	45.7%	2.9%	5.8%	8.0%	2.9%
	50代（n=157）	91.7%	61.1%	47.8%	3.2%	7.0%	10.8%	5.7%
	60代（n=148）	90.5%	58.8%	45.3%	5.4%	12.2%	10.1%	4.7%
	70代（n=179）	88.8%	62.0%	46.9%	11.7%	22.3%	17.9%	7.8%
	80代以上（n=80）	83.8%	55.0%	42.5%	15.0%	28.8%	18.8%	12.5%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=52）	86.5%	50.0%	38.5%	13.5%	13.5%	7.7%	13.5%
	会社員・公務員（n=288）	87.2%	62.8%	49.7%	2.4%	3.1%	8.3%	4.2%
	パート・アルバイト（n=192）	94.8%	67.2%	51.6%	4.2%	10.4%	11.5%	5.7%
	学生（n=27）	88.9%	74.1%	63.0%	0.0%	7.4%	7.4%	11.1%
	家族従業者（n=9）	88.9%	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=76）	81.6%	63.2%	53.9%	7.9%	17.1%	18.4%	7.9%
	その他・無職（n=231）	88.3%	59.3%	43.3%	10.8%	20.8%	13.4%	8.2%

		フセギ行事	ヤクジンサマ（七鬼神社）	ケツアブリ行事	岩殿正法寺とうろう祭	桜のライトアップ（上沼公園・下沼公園）	その他
全体（n=915）		1.3%	1.4%	1.6%	8.9%	40.2%	0.3%
【性別】	男性（n=385）	2.1%	1.8%	1.8%	8.3%	34.8%	0.3%
	女性（n=486）	0.8%	1.2%	1.6%	9.1%	44.7%	0.4%
	その他/回答しない（n=14）	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%
【年齢別】	10代（n=14）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	35.7%	0.0%
	20代（n=53）	1.9%	0.0%	0.0%	3.8%	26.4%	1.9%
	30代（n=118）	1.7%	2.5%	1.7%	5.9%	28.8%	0.8%
	40代（n=138）	0.7%	0.0%	0.0%	7.2%	35.5%	0.0%
	50代（n=157）	0.6%	1.3%	0.6%	6.4%	43.9%	0.6%
	60代（n=148）	0.7%	1.4%	1.4%	9.5%	40.5%	0.0%
	70代（n=179）	3.4%	2.8%	5.0%	13.4%	48.6%	0.0%
	80代以上（n=80）	0.0%	1.3%	1.3%	13.8%	47.5%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=52）	5.8%	0.0%	0.0%	5.8%	26.9%	0.0%
	会社員・公務員（n=288）	1.0%	1.4%	1.0%	5.9%	33.7%	0.3%
	パート・アルバイト（n=192）	0.5%	1.0%	1.6%	8.9%	43.8%	1.0%
	学生（n=27）	3.7%	0.0%	0.0%	3.7%	22.2%	0.0%
	家族従業者（n=9）	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	55.6%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=76）	0.0%	1.3%	1.3%	13.2%	51.3%	0.0%
	その他・無職（n=231）	1.3%	2.6%	3.5%	11.7%	46.8%	0.0%

【自然・公園】

魅力的な自然・公園として思い浮かぶものについては、「埼玉県こども動物自然公園」が77.8%と最も多く、次いで、「東松山ぼたん園」が 73.8%、「農林公園」が 40.4%となっています。

前回と比較すると、「農林公園」が 11.3 ポイント、「化石と自然の体験館」が 10.4 ポイント増加となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
物見山公園	349	38.3%	360	41.3%
農林公園	368	40.4%	254	29.1%
東松山ぼたん園	672	73.8%	610	70.0%
岩鼻運動公園	289	31.7%	250	28.7%
くらかけ清流の郷	280	30.7%	275	31.5%
化石と自然の体験館	219	24.0%	119	13.6%
市民の森	75	8.2%	80	9.2%
まなびのみち	34	3.7%	30	3.4%
「天の園」文学散歩	57	6.3%	67	7.7%
埼玉県こども動物自然公園	709	77.8%	701	80.4%
はにわの丘（桜山窯跡群）	32	3.5%	26	3.0%
弁天沼（鳴かずの池）	62	6.8%	57	6.5%
湧水地（観音下の清水、高坂七清水）	53	5.8%	50	5.7%
ホタルの生息地	188	20.6%	166	19.0%
カタクリの群生地	80	8.8%	84	9.6%
市の名木	29	3.2%	25	2.9%
その他	5	0.5%	－	－
回答者数	911		872	

※前回は「その他」の選択項目はありませんでした

【性別・年齢別・職業別クロス】

		物見山公園	農林公園	東松山ぼたん園	岩鼻運動公園	くらかけ清流の郷	化石と自然の体験館	市民の森	まなびのみち	「一天の園」文学散歩
全体（n=911）		38.3%	40.4%	73.8%	31.7%	30.7%	24.0%	8.2%	3.7%	6.3%
【性別】	男性（n=382）	44.2%	33.8%	70.7%	33.2%	32.5%	23.6%	10.7%	5.5%	4.7%
	女性（n=486）	34.2%	45.3%	76.1%	31.3%	29.4%	24.7%	6.8%	2.7%	7.6%
	その他/回答しない（n=13）	23.1%	30.8%	76.9%	23.1%	30.8%	30.8%	7.7%	0.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=14）	28.6%	35.7%	78.6%	64.3%	28.6%	21.4%	0.0%	0.0%	7.1%
	20代（n=51）	31.4%	25.5%	60.8%	21.6%	23.5%	23.5%	2.0%	0.0%	2.0%
	30代（n=117）	20.5%	45.3%	77.8%	23.9%	25.6%	31.6%	4.3%	1.7%	3.4%
	40代（n=136）	22.1%	36.0%	64.0%	26.5%	30.1%	35.3%	4.4%	2.9%	1.5%
	50代（n=155）	32.3%	32.3%	64.5%	40.6%	32.3%	25.8%	3.9%	2.6%	3.2%
	60代（n=148）	41.2%	44.6%	77.7%	28.4%	34.5%	18.9%	9.5%	4.1%	4.7%
	70代（n=182）	57.1%	45.1%	83.5%	39.0%	36.3%	19.8%	18.7%	8.8%	11.5%
	80代以上（n=80）	62.5%	45.0%	81.3%	27.5%	23.8%	13.8%	11.3%	2.5%	17.5%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=54）	29.6%	42.6%	70.4%	18.5%	29.6%	20.4%	3.7%	5.6%	5.6%
	会社員・公務員（n=282）	30.9%	31.2%	67.0%	30.5%	29.1%	25.2%	5.0%	2.8%	2.5%
	パート・アルバイト（n=190）	29.5%	47.4%	73.2%	33.7%	32.6%	33.2%	10.0%	4.2%	4.7%
	学生（n=26）	38.5%	30.8%	73.1%	46.2%	26.9%	19.2%	0.0%	0.0%	7.7%
	家族従業者（n=9）	22.2%	33.3%	77.8%	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
	家事・育児・介護に専業（n=76）	50.0%	47.4%	82.9%	34.2%	38.2%	32.9%	6.6%	3.9%	13.2%
	その他・無職（n=235）	53.6%	44.3%	80.0%	34.5%	32.3%	17.0%	14.5%	5.1%	8.9%

		埼玉県こども動物自然公園	はにわの丘（桜山窯跡群）	弁天沼（鳴かずの池）	湧水地（観音下の清水、高坂七清水）	ホタルの生息地	カタクリの群生地	市の名木	その他
全体（n=911）		77.8%	3.5%	6.8%	5.8%	20.6%	8.8%	3.2%	0.5%
【性別】	男性（n=382）	72.5%	3.9%	7.6%	7.1%	19.1%	7.3%	2.6%	0.3%
	女性（n=486）	82.1%	3.3%	6.2%	4.9%	22.2%	9.7%	3.9%	0.8%
	その他/回答しない（n=13）	84.6%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%
【年齢別】	10代（n=14）	71.4%	7.1%	14.3%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	20代（n=51）	68.6%	2.0%	2.0%	2.0%	17.6%	2.0%	0.0%	2.0%
	30代（n=117）	82.1%	1.7%	1.7%	1.7%	19.7%	5.1%	1.7%	0.9%
	40代（n=136）	77.9%	1.5%	3.7%	2.9%	23.5%	1.5%	0.0%	0.0%
	50代（n=155）	81.9%	1.9%	4.5%	4.5%	20.0%	6.5%	3.2%	0.0%
	60代（n=148）	82.4%	3.4%	6.8%	7.4%	18.9%	6.8%	2.7%	0.7%
	70代（n=182）	73.6%	8.2%	12.6%	11.0%	24.7%	16.5%	7.7%	0.5%
	80代以上（n=80）	72.5%	2.5%	11.3%	7.5%	17.5%	21.3%	5.0%	1.3%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=54）	72.2%	3.7%	7.4%	7.4%	14.8%	7.4%	1.9%	1.9%
	会社員・公務員（n=282）	80.1%	2.8%	4.6%	3.5%	20.2%	3.9%	1.4%	0.7%
	パート・アルバイト（n=190）	81.1%	2.1%	6.3%	5.3%	21.6%	5.8%	3.7%	0.0%
	学生（n=26）	61.5%	3.8%	11.5%	3.8%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	家族従業者（n=9）	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=76）	89.5%	6.6%	7.9%	5.3%	28.9%	18.4%	5.3%	0.0%
	その他・無職（n=235）	73.6%	4.7%	8.5%	8.9%	20.9%	14.0%	5.1%	0.9%

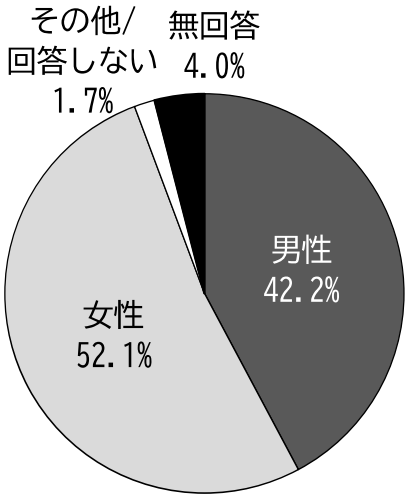
問 28　東松山市では、多様な文化芸術活動を促進し、文化芸術を推進するため、令和３年４月１日に「東松山市文化芸術推進条例」を制定しましたが、東松山市の文化芸術推進にあたって、あなたのアイディア、提案等をお聞かせください。

※別途自由記述編を参照

3　あなたご自身のことについて

問 29　あなたの性別を教えてください。（あてはまる番号１つに○）※自認する性でお答えください。

回答者の性別は、「男性」が 42.2%、「女性」が 52.1%となっています。



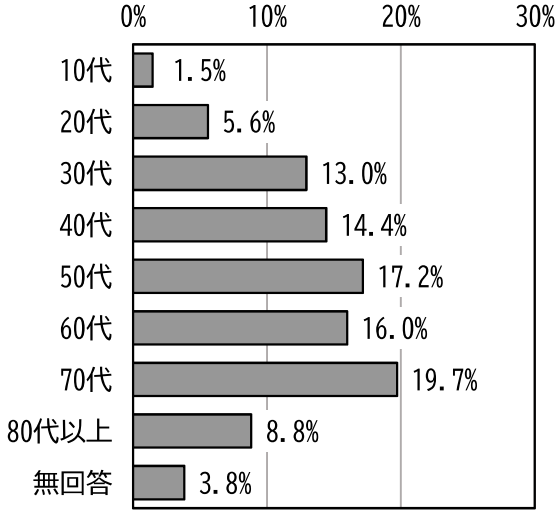
項目	度数	構成比
男性	430	42.2%
女性	531	52.1%
その他/回答しない	17	1.7%
無回答	41	4.0%
合計	1,019	100.0%

【年齢別・職業別クロス】

		男性	女性	その他/回答しない	無回答
全体（n=1,019）		42.2%	52.1%	1.7%	4.0%
【年齢】	10代（n=15）	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
	20代（n=57）	36.8%	61.4%	1.8%	0.0%
	30代（n=132）	36.4%	58.3%	4.5%	0.8%
	40代（n=147）	42.9%	53.1%	4.1%	0.0%
	50代（n=175）	46.9%	52.6%	0.0%	0.6%
	60代（n=163）	43.6%	55.2%	1.2%	0.0%
	70代（n=201）	51.2%	48.3%	0.5%	0.0%
	80代以上（n=90）	40.0%	58.9%	1.1%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	67.2%	32.8%	0.0%	0.0%
	会社員・公務員（n=317）	61.2%	36.3%	1.9%	0.6%
	パート・アルバイト（n=209）	22.0%	73.7%	3.8%	0.5%
	学生（n=30）	36.7%	60.0%	3.3%	0.0%
	家族従業者（n=9）	11.1%	88.9%	0.0%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	1.2%	98.8%	0.0%	0.0%
	その他・無職（n=260）	50.4%	48.5%	0.8%	0.4%

問 30　あなたの年齢を教えてください。（あてはまる番号１つに○）

年齢については、「70 代」が 19.7%と最も多く、次いで、「50 代」が 17.2%、「60 代」が 16.0%となっています。



項目	度数	構成比
10代	15	1.5%
20代	57	5.6%
30代	132	13.0%
40代	147	14.4%
50代	175	17.2%
60代	163	16.0%
70代	201	19.7%
80代以上	90	8.8%
無回答	39	3.8%
合計	1,019	100.0%

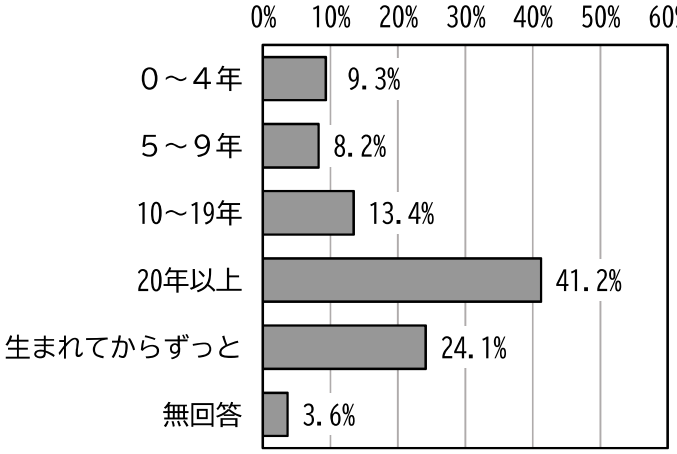
【性別・職業別クロス】

		10代	20代	30代	40代	50代
全体（n=1,019）		1.5%	5.6%	13.0%	14.4%	17.2%
【性別】	男性（n=430）	1.4%	4.9%	11.2%	14.7%	19.1%
	女性（n=531）	1.7%	6.6%	14.5%	14.7%	17.3%
	その他/回答しない（n=17）	0.0%	5.9%	35.3%	35.3%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	0.0%	1.6%	8.2%	19.7%	13.1%
	会社員・公務員（n=317）	0.0%	7.6%	26.5%	22.1%	27.8%
	パート・アルバイト（n=209）	0.5%	3.8%	14.4%	23.9%	20.6%
	学生（n=30）	43.3%	53.3%	0.0%	3.3%	0.0%
	家族従業者（n=9）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	0.0%	1.2%	9.9%	9.9%	14.8%
	その他・無職（n=260）	0.4%	2.7%	1.5%	2.3%	8.1%

		60代	70代	80代以上	無回答
全体（n=1,019）		16.0%	19.7%	8.8%	3.8%
【性別】	男性（n=430）	16.5%	24.0%	8.4%	0.0%
	女性（n=531）	16.9%	18.3%	10.0%	0.0%
	その他/回答しない（n=17）	11.8%	5.9%	5.9%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	24.6%	21.3%	11.5%	0.0%
	会社員・公務員（n=317）	13.6%	1.9%	0.3%	0.3%
	パート・アルバイト（n=209）	23.4%	12.9%	0.5%	0.0%
	学生（n=30）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	家族従業者（n=9）	11.1%	11.1%	44.4%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	21.0%	33.3%	9.9%	0.0%
	その他・無職（n=260）	13.8%	47.3%	23.5%	0.4%

問 31　あなたは、東松山市に住んでどのくらいになりますか。（あてはまる番号１つに○）

東松山市に住んでいる年数については、「20 年以上」が 41.2%と最も多く、次いで、「生まれてからずっと」が 24.1%、「10～19 年」が 13.4%となっています。



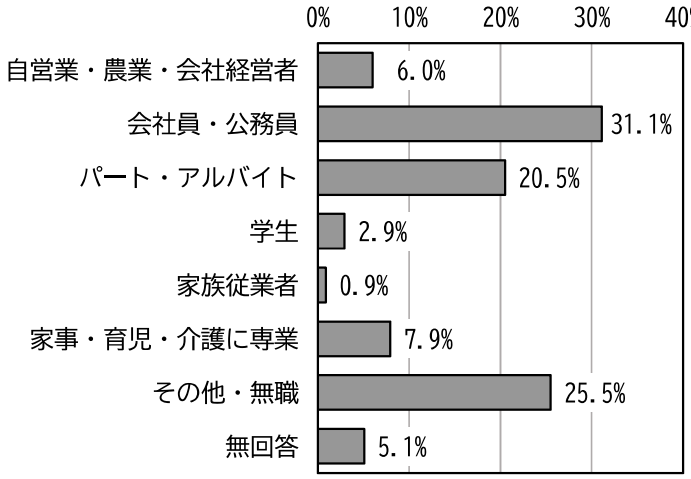
項目	度数	構成比
０～４年	95	9.3%
５～９年	84	8.2%
10～19年	137	13.4%
20年以上	420	41.2%
生まれてからずっと	246	24.1%
無回答	37	3.6%
合計	1,019	100.0%

【性別・年齢別・職業別クロス】

		０～４年	５～９年	10～19年	20年以上	生まれてからずっと	無回答
全体（n=1,019）		9.3%	8.2%	13.4%	41.2%	24.1%	3.6%
【性別】	男性（n=430）	8.8%	7.7%	13.5%	41.2%	28.8%	0.0%
	女性（n=531）	10.4%	9.2%	13.6%	45.0%	21.8%	0.0%
	その他/回答しない（n=17）	5.9%	5.9%	29.4%	23.5%	35.3%	0.0%
【年齢別】	10代（n=15）	20.0%	6.7%	46.7%	0.0%	26.7%	0.0%
	20代（n=57）	29.8%	7.0%	12.3%	15.8%	35.1%	0.0%
	30代（n=132）	24.2%	28.8%	11.4%	9.1%	26.5%	0.0%
	40代（n=147）	6.8%	13.6%	30.6%	19.7%	29.3%	0.0%
	50代（n=175）	9.1%	4.6%	19.4%	46.3%	20.6%	0.0%
	60代（n=163）	6.7%	2.5%	6.1%	61.3%	23.3%	0.0%
	70代（n=201）	2.5%	4.0%	6.5%	62.7%	24.4%	0.0%
	80代以上（n=90）	1.1%	1.1%	4.4%	70.0%	23.3%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	3.3%	11.5%	13.1%	41.0%	31.1%	0.0%
	会社員・公務員（n=317）	16.4%	12.6%	14.8%	31.2%	24.9%	0.0%
	パート・アルバイト（n=209）	6.7%	9.1%	19.6%	38.8%	25.8%	0.0%
	学生（n=30）	23.3%	6.7%	23.3%	10.0%	36.7%	0.0%
	家族従業者（n=9）	0.0%	22.2%	0.0%	66.7%	11.1%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	11.1%	6.2%	21.0%	43.2%	18.5%	0.0%
	その他・無職（n=260）	3.8%	3.5%	6.5%	61.5%	24.6%	0.0%

問 32　あなたの職業はどれに該当しますか。（あてはまる番号１つに○）

職業については、「会社員・公務員」が 31.1%と最も多く、次いで、「その他・無職」が 25.5%、「パート・アルバイト」が 20.5%となっています。



項目	度数	構成比
自営業・農業・会社経営者	61	6.0%
会社員・公務員	317	31.1%
パート・アルバイト	209	20.5%
学生	30	2.9%
家族従業者	9	0.9%
家事・育児・介護に専業	81	7.9%
その他・無職	260	25.5%
無回答	52	5.1%
合計	1,019	100.0%

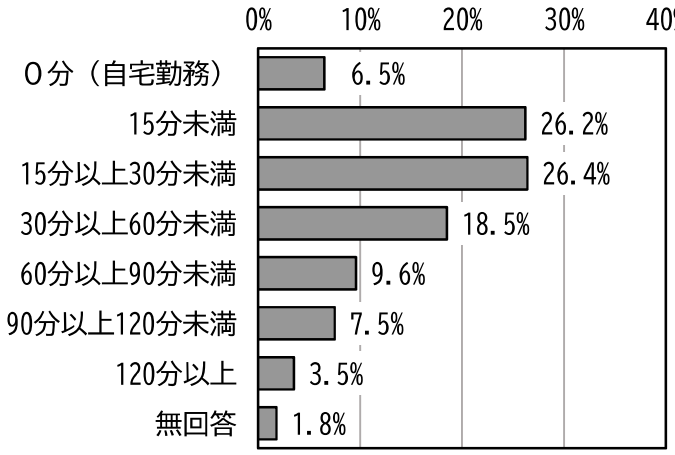
【性別・年齢別クロス】

		自営業・農業・会社経営者	会社員・公務員	パート・アルバイト	学生	家族従業者	家事・育児・介護に専業	その他・無職	無回答
全体（n=1,019）		6.0%	31.1%	20.5%	2.9%	0.9%	7.9%	25.5%	5.1%
【性別】	男性（n=430）	9.5%	45.1%	10.7%	2.6%	0.2%	0.2%	30.5%	1.2%
	女性（n=531）	3.8%	21.7%	29.0%	3.4%	1.5%	15.1%	23.7%	1.9%
	その他/回答しない（n=17）	0.0%	35.3%	47.1%	5.9%	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%
【年齢別】	10代（n=15）	0.0%	0.0%	6.7%	86.7%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%
	20代（n=57）	1.8%	42.1%	14.0%	28.1%	0.0%	1.8%	12.3%	0.0%
	30代（n=132）	3.8%	63.6%	22.7%	0.0%	0.0%	6.1%	3.0%	0.8%
	40代（n=147）	8.2%	47.6%	34.0%	0.7%	0.0%	5.4%	4.1%	0.0%
	50代（n=175）	4.6%	50.3%	24.6%	0.0%	1.7%	6.9%	12.0%	0.0%
	60代（n=163）	9.2%	26.4%	30.1%	0.0%	0.6%	10.4%	22.1%	1.2%
	70代（n=201）	6.5%	3.0%	13.4%	0.0%	0.5%	13.4%	61.2%	2.0%
	80代以上（n=90）	7.8%	1.1%	1.1%	0.0%	4.4%	8.9%	67.8%	8.9%

問 32 で「自営業・農業・会社経営者」～「家族従業者」を選択した方の回答

問 33　通勤や通学の時間はどのくらいですか。（あてはまる番号１つに○）

通勤や通学については、「15 分以上 30 分未満」が 26.4%と最も多く、次いで、「15 分未満」が 26.2%、「30 分以上 60 分未満」が 18.5%となっています。



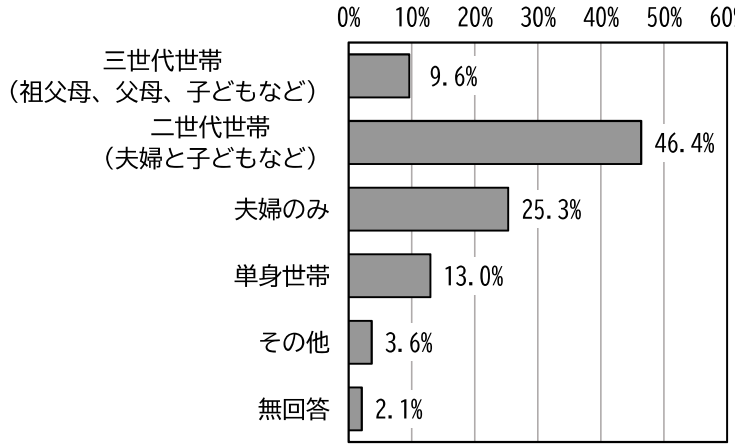
項目	度数	構成比
0分（自宅勤務）	41	6.5%
15分未満	164	26.2%
15分以上30分未満	165	26.4%
30分以上60分未満	116	18.5%
60分以上90分未満	60	9.6%
90分以上120分未満	47	7.5%
120分以上	22	3.5%
無回答	11	1.8%
回答者数	626	100.0%
非該当	393	
合計	1,019	

【性別・年齢別・職業別クロス】

		0分（自宅勤務）	15分未満	15分以上30分未満	30分以上60分未満	60分以上90分未満	90分以上120分未満	120分以上	無回答
全体（n=626）		6.5%	26.2%	26.4%	18.5%	9.6%	7.5%	3.5%	1.8%
【性別】	男性（n=293）	5.8%	18.8%	22.2%	24.9%	11.6%	9.9%	5.1%	1.7%
	女性（n=315）	7.3%	34.0%	28.6%	13.3%	7.9%	5.1%	2.2%	1.6%
	その他/回答しない（n=15）	6.7%	13.3%	53.3%	6.7%	6.7%	6.7%	0.0%	6.7%
【年齢別】	10代（n=14）	0.0%	7.1%	7.1%	21.4%	35.7%	21.4%	7.1%	0.0%
	20代（n=49）	0.0%	14.3%	16.3%	18.4%	26.5%	16.3%	8.2%	0.0%
	30代（n=119）	5.9%	20.2%	24.4%	21.8%	11.8%	10.9%	2.5%	2.5%
	40代（n=133）	3.8%	33.8%	32.3%	20.3%	6.8%	3.0%	0.0%	0.0%
	50代（n=142）	4.2%	32.4%	28.2%	18.3%	5.6%	6.3%	4.2%	0.7%
	60代（n=108）	8.3%	24.1%	24.1%	19.4%	9.3%	7.4%	5.6%	1.9%
	70代（n=47）	21.3%	27.7%	36.2%	6.4%	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%
	80代以上（n=13）	30.8%	15.4%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	30.8%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	45.9%	18.0%	13.1%	8.2%	1.6%	1.6%	4.9%	6.6%
	会社員・公務員（n=317）	1.6%	20.5%	22.1%	26.5%	12.0%	11.7%	5.0%	0.6%
	パート・アルバイト（n=209）	1.0%	40.7%	40.7%	10.5%	4.3%	1.0%	0.0%	1.9%
	学生（n=30）	0.0%	6.7%	6.7%	13.3%	40.0%	23.3%	10.0%	0.0%
	家族従業者（n=9）	66.7%	11.1%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
	家事・育児・介護に専業（n=0）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	その他・無職（n=0）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問 34　あなたの（同居している）世帯の状況は次のどれにあたりますか。（あてはまる番号１つに○）

世帯の状況については、「二世代世帯（夫婦と子どもなど）」が 46.4%と最も多く、次いで、「夫婦のみ」が 25.3%、「単身世帯」が 13.0%となっています。



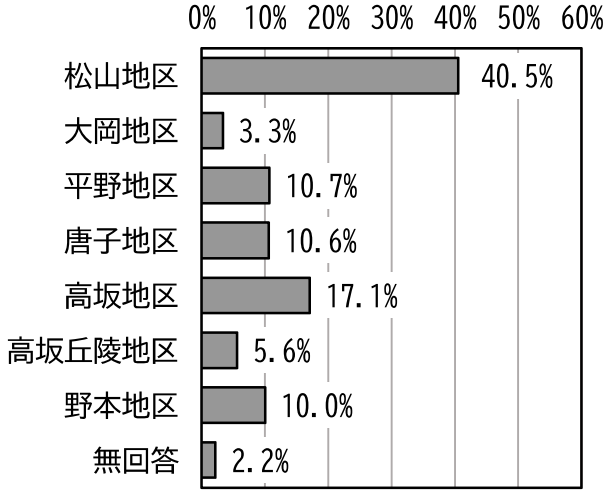
項目	度数	構成比
三世代世帯（祖父母、父母、子どもなど）	98	9.6%
二世代世帯（夫婦と子どもなど）	473	46.4%
夫婦のみ	258	25.3%
単身世帯	132	13.0%
その他	37	3.6%
無回答	21	2.1%
合計	1,019	100.0%

【性別・年齢別・職業別クロス】

		三世代世帯（祖父母、父母、子どもなど）	二世代世帯（夫婦と子どもなど）	夫婦のみ	単身世帯	その他	無回答
全体（n=1,019）		9.6%	46.4%	25.3%	13.0%	3.6%	2.1%
【性別】	男性（n=430）	9.1%	41.9%	29.8%	15.1%	2.3%	1.9%
	女性（n=531）	10.2%	50.8%	22.4%	11.1%	4.5%	0.9%
	その他/回答しない（n=17）	11.8%	58.8%	0.0%	23.5%	5.9%	0.0%
【年齢別】	10代（n=15）	26.7%	60.0%	0.0%	6.7%	6.7%	0.0%
	20代（n=57）	21.1%	54.4%	7.0%	12.3%	3.5%	1.8%
	30代（n=132）	9.1%	67.4%	6.8%	10.6%	3.0%	3.0%
	40代（n=147）	10.9%	70.1%	6.8%	6.8%	4.1%	1.4%
	50代（n=175）	12.6%	50.3%	20.6%	13.1%	2.9%	0.6%
	60代（n=163）	7.4%	35.6%	40.5%	14.1%	1.8%	0.6%
	70代（n=201）	5.5%	27.4%	47.3%	15.4%	3.0%	1.5%
	80代以上（n=90）	6.7%	31.1%	31.1%	21.1%	8.9%	1.1%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	18.0%	41.0%	27.9%	11.5%	1.6%	0.0%
	会社員・公務員（n=317）	10.4%	55.8%	16.4%	12.9%	3.2%	1.3%
	パート・アルバイト（n=209）	9.1%	51.7%	21.5%	10.5%	4.3%	2.9%
	学生（n=30）	26.7%	63.3%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	家族従業者（n=9）	0.0%	55.6%	22.2%	0.0%	22.2%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	8.6%	50.6%	33.3%	6.2%	0.0%	1.2%
	その他・無職（n=260）	6.2%	32.3%	36.9%	18.5%	5.0%	1.2%

問 35　あなたが住んでいる地区はどこですか。（あてはまる地区の番号に○）

住んでいる地区については、「松山地区」が 40.5%と最も多く、次いで、「高坂地区」が 17.1%、「平野地区」が 10.7%となっています。



項目	度数	構成比
松山地区	413	40.5%
大岡地区	34	3.3%
平野地区	109	10.7%
唐子地区	108	10.6%
高坂地区	174	17.1%
高坂丘陵地区	57	5.6%
野本地区	102	10.0%
無回答	22	2.2%
合計	1,019	100.0%

【性別・年齢別・職業別クロス】

		松山地区	大岡地区	平野地区	唐子地区	高坂地区	高坂丘陵地区	野本地区	無回答
全体（n=1,019）		40.5%	3.3%	10.7%	10.6%	17.1%	5.6%	10.0%	2.2%
【性別】	男性（n=430）	40.7%	2.8%	10.7%	10.2%	18.1%	6.7%	9.3%	1.4%
	女性（n=531）	41.4%	3.6%	10.4%	11.3%	15.8%	5.1%	10.5%	1.9%
	その他/回答しない（n=17）	23.5%	5.9%	11.8%	5.9%	35.3%	0.0%	17.6%	0.0%
【年齢別】	10代（n=15）	60.0%	6.7%	0.0%	6.7%	13.3%	0.0%	13.3%	0.0%
	20代（n=57）	38.6%	1.8%	8.8%	10.5%	24.6%	0.0%	12.3%	3.5%
	30代（n=132）	36.4%	1.5%	8.3%	11.4%	26.5%	3.8%	9.1%	3.0%
	40代（n=147）	38.1%	4.1%	7.5%	7.5%	27.9%	5.4%	8.8%	0.7%
	50代（n=175）	46.9%	1.1%	9.1%	14.9%	14.9%	3.4%	7.4%	2.3%
	60代（n=163）	46.0%	1.8%	12.9%	11.0%	10.4%	6.1%	10.4%	1.2%
	70代（n=201）	35.3%	6.0%	13.4%	8.5%	14.4%	10.0%	10.9%	1.5%
	80代以上（n=90）	41.1%	5.6%	13.3%	12.2%	5.6%	7.8%	14.4%	0.0%
【職業別】	自営業・農業・会社経営者（n=61）	29.5%	9.8%	9.8%	13.1%	13.1%	4.9%	19.7%	0.0%
	会社員・公務員（n=317）	42.0%	2.2%	8.2%	11.0%	21.5%	4.4%	8.2%	2.5%
	パート・アルバイト（n=209）	35.9%	2.4%	13.9%	11.5%	18.7%	6.2%	9.6%	1.9%
	学生（n=30）	36.7%	3.3%	6.7%	10.0%	26.7%	0.0%	13.3%	3.3%
	家族従業者（n=9）	44.4%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%
	家事・育児・介護に専業（n=81）	45.7%	1.2%	14.8%	11.1%	11.1%	4.9%	9.9%	1.2%
	その他・無職（n=260）	45.4%	4.2%	10.4%	8.5%	13.5%	7.7%	9.2%	1.2%

4　自由記述編

問 12　生涯学習を進めるために、ご意見ご要望がございましたら自由にお書きください。

※原則として、回答の内容をそのまま掲載しています。

広報・情報発信について

■このアンケートをする以前は特に何も考えていませんでしたが、少し考えてみようかなと思った。見やすい学習活動情報がもっと欲しいです。　（女性、50 代）
■以前ボランティアに参加したいと思っていたが、どの様なボランティアかがわからなかったためサイトを作って募集している団体の一覧が見れるようにして欲しい。　（女性、20 代）
■何をしたいか。何ができるか。を考える時、私は引越してきたばかりで情報源が少ない。今はこれだけ情報ツールが溢れているのだから、市役所やハローワークなどは、もっと情報ツールを増やしてアピールしてほしい。　（女性、60 代）
■皆が気軽に参加できるような活動が出来たらと思います、そこで大人と子供の交流も深められたらと思います。皆が興味を持ち、やってみたいと思う様な、発信の仕方がもっと上手に出来たらと思います。　（女性、60 代）
■現在特に何がしたいというわけではありませんが、一覧が載っているパンフレットや HP での案内があれば、いつか始めるきっかけにはなるかもしれないです。　（男性、40 代）
■広報の活動のお知らせが通り一遍なので、「こんなに楽しい講座をしていますよ。」と読んだ人が興味を持つような活動をもっとアピールしてはどうでしょうか、私は広報でやってみたい趣味が見つかり楽しく学ばせてもらっています。　（女性、70 代）
■広報活動を充実してやってほしい。　（男性、60 代）
■講座の情報が調べにくい。市の公式ホームページで調べたことがあるが、なかなか出てこなかった。ホームページ記載がないのか、そもそも講座が少ないのか。せっかく興味をもっていたが諦めてしまった。　（女性、40 代）
■講座の情報などを、スマホに届けてほしい。　（男性、60 代）
■今よりも市民への情報を、少し多めに発信して欲しい。　（男性、40 代）
■市の広報誌だけでなく、スーパーやドラッグストアなどで学習講座やイベントなどの告知が出来たら、今より多くの人が生涯学習に興味を抱けるのではないでしょうか。　（男性、50 代）
■市内での活動に参加した事がありません、情報が少ない様に感じます。　（女性、60 代）
■市役所の HP をわかりやすく改善して下さい。　（男性、70 代）
■市役所は、一方的なお知らせが多く、今回調査の様な生涯学習活動のための情報の公開や提供を広報ひがしまつやまやホームページ等でお願いします。　（男性、70 代）
■私もあまり知らなかったので、もう少し市から発信していただけると知っている方が増えると思います。　（女性、40 代）
■住まいがアパートであるため、広報が届かず情報不足です。　（男性、50 代）
■身体の不自由な人への情報。　（男性、80 代以上）
■生涯学習を進めるには、年齢を重ねるとだんだん外に出たり、人に会うことが億劫になってしまったり、消極的になってきます。定年後は、収入も減ります。なので、費用もあまりかからず、沢山の人の所に情報が行き渡る様、広報等を活用し、講座の情報など発信し続けてほしいと思います。　（女性、60 代）
■働いていると、なかなか情報を得られないので、東松山の LINE をもっと活用してもらうと良いかもしれません。　（女性、40 代）
■必要な情報を入手したい。第２人生で生かしたい。　（男性、50 代）
■平日に開催されるものがほとんどで仕事をしている身では参加の機会がない。どのような団体が活動しているのかも知る機会がない。夜や休日に活動している市内や近隣の社会体育や各種団体などの一括情報なども知りたい。　（女性、60 代）

など

環境整備（場所・施設・交通手段・時間）について

■e-ラーニング、動画配信などの充実とそれを利用できるオンデマンドの自習室があると「凄い」と思います。 （男性、60代）
■Webを利用したオンライン学習等を増やす・無料の講座等を増やす。 （女性、60代）
■エアロビクス、ヨガ、サルセーション、ストリートダンス、顔ヨガ、運動の教室をやってほしい。（女性、60代）
■たくさんの市民が参加しやすい、学習の場を要望します。 （男性、60代）
■駅の近くに活動施設を作って欲しい、図書館をもっと利用しやすい様にして欲しい（ネットで何でも出来る様に）、料理や麺・ミネラルについて勉強したいので、そういう場があると嬉しい。（女性、30代）
■現在は車で移動でき、活動していますが、高齢で車の運転が出来なくなった際の安価での移動手段を希望します。 （男性、70代）
■交通手段がいつまで続けられるのか心配。 （女性、70代）
■講座を受ける為の施設の充実。 （女性、60代）
■高齢者の場合、足がないことが参加できない理由。市から、小型バス等、出してほしい。 （女性、80代以上）
■場所は徒歩か自転車で行ける所。箭弓神社や了善寺のように広くて、緑豊かなセンスの良い所を希望します。 （女性、70代）
■早い者順ではなく、抽選を併用する事で参加できていなかった人にも機会を提供する。車を持っていない人に配慮して、公共交通などとの連携を行う。 （男性、50代）
■通いやすい場所・時間である事。 （女性、70代）
■東松山から都内に通勤するような人は通勤に時間がかかるため、もっと小規模でもいいから会社帰りに参加しやすい（駅チカとか）場所で行って欲しい。 （女性、60代）
■特に、きらめき市民大学の立地条件が悪く、市内循環バスで高齢者が身軽に行けるシステムを作っていただきたいと思います。 （男性、80代以上）
■日中は忙しく時間が作れないため、夜の時間でも利用できる施設（遅い時間まで）があれば助かります。 （男性、30代）
■平日昼間開催が多いので、夜間土日など参加できる時間帯を作ってほしい。 （女性、50代）
■歴史的建造物保存の積極的な促進。 （男性、60代）
■「広報ひがしまつやま」はとてもよく出来ていると感心しています。写真も美しく、わかりやすい。沢山の情報があってとても楽しみです。他県から来たのでとても頼りにしています。このまま頑張っていただきたいです。平野活動センターの二階のトレーニングルームのトレーニングマシンがほぼ無くなっていて残念です。どうにかどこかで使われなくなったマシンを、探して入れてもらえないかと思います。健康増進センターは遠く、毎日は行けない。熊谷の施設に行っています。有料ジムも沢山ありますが、手軽に行ける場所があるとありがたいです。（不明、不明）
■スポーツ野外活動整備の充実。 （不明、不明）

など

施策・取組について

■１人ひとりのニーズに合わせた機会を提供していただくのが理想ですが、なかなか難しいと思います。 （男性、70 代）
■ありきたりのものではなく、幅広い層が参加できる新しい分野の生涯学習を発信してほしい。（女性、50 代）
■いろいろな生涯学習に図書館が重要な役割を果たすと思うのですが、もう少し東松山図書館の存在そのものを広くアピールしてもいいような気がします。 （男性、50 代）
■オンラインで出来る動画・配信をお願いします。 （その他/回答しない、30 代）
■お祭りや、イベントを増やしてほしい。地域交流のため。 （女性、40 代）
■きらめき大学や講座の SNS を発信する。(作業中や参加者の声を動画で） （女性、60 代）
■この郵送が来た時に、生涯学習なにそれと思いましたし、そんな活動があるのも知らなかった。仕事に活かせる資格取得講座があれば魅力的です。 （女性、20 代）
■これから外国の方が増えていくと思うので、語学や食文化を通じてお互いを理解しコミュニケーションをより深められるような、講座やイベントがあれば良いのではないかと思います。 （女性、50 代）
■ただ話を聞くだけでなく、実際にロールプレイやワークを交えた学習があると良いと思います。（男性、30 代）
■どこか施設に行って行うワークショップ形式の学習も面白いとは思いますが、手軽に行える通信講座のような形で学習を進められることで、生涯学習をより身近に感じられるのではないかと思います。 （女性、10 代）
■プロスポーツ選手（特にサッカー）による講座を増やしてほしい。 （男性、30 代）
■まずは興味を持ちやすい気軽なテーマから企画してほしいです。 （女性、60 代）
■介護する側には余裕が無い。無料又は安価で介護を代行してもらえれば参加出来る。 （男性、80 代以上）
■皆が出やすい講座を充実させる。 （男性、70 代）
■外国人の交通マナーを徹底してほしい。 （男性、50 代）
■学習ができる機会があることにまず感謝です。講座の種類を増やしてほしいです。多くの知識を持った人が東松山にはいらっしゃると思います。市民全体が健康で充実した生活が出来るように、生涯学習はとても大切なことと考えます。現在は、学ぶことのみですが、少しでも社会に貢献出来るようになりたいです。 （女性、70 代）
■学生時代に生涯学習の講座を調べていたが、県外を含む他自治体と比べ、東松山市は講座の数が少なく感じた。まずは量が課題。そして、全体として対象者が偏っている。単発の講座よりも、数回の連続した長期的な講座が有効。 （男性、20 代）
■興味がもてるイベントを増やしてほしい。 （女性、40 代）
■空いている施設を活用し、さまざまな生涯学習活動をしてほしい。老後のこと、災害などのことを取り上げてほしい。 （女性、70 代）
■継続的に同じような講座ができると嬉しいです。特に手話の講座がいいです。 （女性、40 代）
■健康維持の為の料理講座や、献立の作り方など生活に直結した学習があったら良いなと思う。（女性、50 代）
■健康予防方法を知る講座。 （男性、60 代）
■現役世代が参加していないのは時間的体力的に余裕がないからだと思う、生活に余裕がないからだと思う。生活に余裕がなければ生涯学習どころではない、一番の近道は情報発信や講座の内容ではなく、子育てや生活支援の充実だと思う。(文化芸術についても同じ） （男性、30 代）
■講座を行う場合に行った人が得をする特典があれば、参加をする人が増えると思います。例えば就職に活かせる講座であれば、書類選考を免除できるなど。 （その他/回答しない、20 代）
■高齢者、障害者の体力、健康に応じた学習を進めて参加しやすくして頂きたい。（男性、60 代）
■高齢者のふるさと学習。 （女性、70 代）
■高齢者も気軽に参加できるような、内容が増えたらいいなと思う。(女性、40 代）

■子供と学べ、体験できる講座に参加したい。 （女性、30 代）
■市が主催する講座に際しては修了証の様な物を発行する。更に修了証取得者には行政サービスなどで何か特典をつけば受講者が増えて、その先には、行政に対する満足度も上がるだけでなく、市民生活も向上し「人生の豊かさ度」が上がるかと思います。 （男性、50 代）
■市民にアンケートを取り、興味を持っていることを取り上げてサークルを作る。時には大学教授などを招き、議論する。 （男性、70 代）
■私が在学している東京電機大学のような、高等教育機関との連携を進めてほしい。一人暮らしをしている学生と、地域の人との関わりが増やせたら良いと思う。 （男性、20 代）
■私は時代に取り残された感じです、アナログ時代で育ちましたので現代のように我慢をしなくて済む生活には反対？昔の制度や思想を取り戻したいと思う人は他にもいるのでしょうか？悪く言えば現況の変化についていけない人の集いも必要、申し込みも携帯・パソコンからは無理基本 TEL が一番安心です。 （女性、60 代）
■資格取得の補助等があると、嬉しいです。東松山市に資格者等が増えると雇用や、地域の活性化にもつながると思います。 （男性、20 代）
■障害のある子ども、家族も参加しやすい雰囲気、内容のあるイベントがあるといいなと思います。（男性、40 代）
■生涯学習がないと生きていけない・所得につながる学習を無料で受けたい。 （男性、50 代）
■生涯学習の講座内容に興味があったとしても、日時の折り合いがつかない事が多いので、録画配信できるものは録画配信する等、柔軟な対応があるといいです。 （女性、40 代）
■生涯学習の目的意識が高まれば、地域全体で活動が活性化していくと思います。（男性、30 代）
■専門の講師を呼ぶのも大変ですので、例えば市内にある大東文化大学の学生さんなどにお願いして、講座をひらいたりするなど。 （女性、50 代）
■誰でも気軽に参加できる講座や、イベントが増えることを希望します。 （女性、60 代）
■誰もが自分の学んだ事を伝えていけるように、誰もが講座を簡単に開演できて講師になれるシステムがあれば相互作用で生涯学習が進むと思います。 （女性、40 代）
■男性がもっと参加できるように。 （女性、80 代以上）
■地域で就職支援を行うなど。（現状何が行われているか知りません） （女性、10 代）
■地区ごとの老人会（サロン）等で出前講習会。 （男性、80 代以上）
■東松山と言えばウォーキング・やきとり全国区になる為のストーリー造りと実行計画 。（男性、70 代）
■東松山には歴史的な物（古墳とか）が沢山あるその資源を生かせないものか？ （男性、60 代）
■年齢制限なく、親子で参加できるものが希望です。 （女性、40 代）
■年齢層が限定的なものが多いイメージ。（主に高齢者や小学生以下の子ども中心）もっと年齢層の枠を広げて、20～40 代やファミリー層も興味を示すものを活動として増やすと良いと思います。 （女性、40 代）
■防犯パトロール隊を増やす活動をして欲しいです!!若い方にも防犯パトロール隊に参加して欲しいなぁ～と思ってます！そう言う集まりを作ってもらって、防犯パトロール隊で、安心、安全な街づくりに繋げられたらいいなと思ってます！ （男性、20 代）
■東松山市ウインドアンサンブルの元団員です。ウインドにもっと依頼演奏の機会を与えていただきたいです。もう 40 年も地元で活動している楽団なのに、自主公演以外に演奏する機会がないのは寂しいです。 （男性、40 代）

など

その他

■そのような活動が好きではない方もいると思います、活動のある方にお任せしたいです。 （女性、50 代）
■そもそも、この地域に魅力がなさすぎる。 （女性、40 代）
■そもそも生涯学習に具体的に何が含まれるのかよくわからない。 （男性、60 代）
■どんな事をすれば良いか、色々やりがいが見つかるようになると良いと思います。 （女性、60 代）
■まだ働いているので、平日昼間は参加し辛い。積極的に受講したいと思うものが無い。国際交流は良いのだけど先ず入国する側が日本の事を勉強すべき。順番がおかしい。誤解ならすみません。（男性、60 代）
■まもなく仕事の任期は終了しますが、退職後、どのようにして生活していくのか少々悩んでいます。飽きずに長期にわたり、かつ、楽しく金銭的にも負担が少ない生涯学習を見つけたいと思っています。 （男性、70 代）
■現在フルタイムで仕事をしているため、東松山市で参加したものがあっても参加できない状況です。今の職場で活かせる知識や情報を得るのにネットから情報を活用。学童を管理している会社での研修を大切にしています。市内には歴史的なものが沢山あるので休みを利用して少しずつ学びたいと思います。 （女性、60 代）
■高等教育機関（大学学部・大学院）との、連係を増やしていくことが重要と考えます。（男性、50 代）
■高齢者あり知能低下の為。 （男性、80 代以上）
■今は情報社会であり、本人が必要と思えば学習等は何とでもなる。（特に都市圏にあるので）（経済的な問題がある人は支援が必要かも） （男性、80 代以上）
■昨今の物価高により生活維持が最優先となっており、生涯学習に回す金銭的、精神的な余裕が一切ないのが現状です。生涯学習の必要性は否定しませんが、現在の社会情勢や生活環境では、日々の生活を営むことだけで手一杯な状況です。 （女性、60 代）
■市政に何も求めていない、そもそも人材がいない。 （男性、50 代）
■市役所が管轄する公共施設を、職員がなわばりにしない。市民が１人１人意識を持ち、気軽に利用でき、それぞれが目的をもち勉強をする。 （男性、50 代）
■私の住む高坂ニュータウンは運動するにはクロスカントリーやテニスコート・野球場又屋内では旧緑山小学校体育館等恵まれており、高坂丘陵市民センターでは文化芸術に関する催事やサークル等多彩にあるので、大勢の方に参加して欲しいと思います。 （女性、70 代）
■生涯学習というワードを今回初めて知ったので、これからいろいろ調べてみようと思う。 （男性、40 代）
■生涯学習を推進しなければいけないから、意見を聞いているように見えます。なぜ生涯学習の必要性を感じなかったら市民の方々は学習しようと思わないのでは？ （男性、30 代）
■定年になり、家で過ごす時間ができた時に考えたい。 （女性、50 代）
■必要な情報は自分のタイミングで調べて学び、実践が必要であれば行います。特に市が率先して何かを行う必要性を感じたことはありません （男性、40 代）
■本当に今、何が求められているのかを考えた方が良いと思う。セミナーや研修は講師や主催者により、質のバラつきが大きいと感じる。良質で内容に深みのあるものなら、需要があると思う。（男性、40 代）
■今では携帯やパソコンで注文の多い料理店的な手間のかかる申込・確認が増えていますが、実際的な情報を熟知した方が相談案内をしていただけると、とりつきやすいように思います。 （不明、不明）

など

問 28　東松山市では、多様な文化芸術活動を促進し、文化芸術を推進するため、令和３年４月１日に「東松山市文化芸術推進条例」を制定しましたが、東松山市の文化芸術推進にあたって、あなたのアイディア、提案等をお聞かせください。

※原則として、回答の内容をそのまま掲載しています。

広報・情報発信について

■SNS の広報戦略が足りていないと思います。SNS 運用もプロに委託して広報するなどどうでしょうか。　（男性、20 代）

■もっと芸術活動に関して、アピールの仕方を考えた方が良いと思う。色々な活動が行われていても、日頃、家事と仕事を中心にしていると、そのような活動すら知らないことが多いです。（女性、60 代）

■楽しく学ぶ事が出来る様に、東松山市民全体に、その情報や活動が配信され、その情報が入手しやすい様に環境も整えて、市民の方々が安心して利用出来る様にしてほしい。小さいお子様から高齢の人まで、正しい情報が伝わる様に考えてほしい。　（男性、60 代）

■広報での情報以外で情報を目にする機会が少ないので、PR 動画などを SNS 等で紹介したら興味を持ってくれるのではないでしょうか。　（男性、50 代）

■今は SNS で流行する物事が多いと個人的には考えており、よく東松山は東京や神奈川から来た人に何もない所だと言われることが多々あります。若者をターゲットに学割などを使用して、地域資源をアピールすれば、より良い町だと社会に広げられるのではないかと思いました。　（その他/回答しない、20 代）

■今回このアンケートを通じて、知り得た東松山の文化芸術が沢山ありました。メディアや SNS を駆使したり、企業と連携したり、もっと広く東松山の魅力をアピールしてほしいです。（女性、50 代）

■最近は新聞を取る家庭が減っているので、市の情報誌に宣伝チラシなどを入れた方が、色々な家庭にも、様々な情報を知ってもらえると思う。　（女性、30 代）

■子育ても仕事もしなくなると、人との繋がりがなくなり、地域の情報も入ってこなくなります。広報くらいしか情報源がないので、大きなイベントだけでなく、小さな個別団体の発表会や展示会の日程だけでも広報に載せていただけたら、見に行くきっかけにはなるかと思います。　（女性、60 代）

■市が色々な取り組みをしているとか、色々なイベントをしていることが、このアンケートでわかったが、広報の仕方がホームページだけだったり、チラシだったり、門戸が狭い。ホームページも情報が多すぎて、目的を探すのが難しい。もう少し調べやすい工夫を願う。また季節のイベントなどは、わかりやすく情報ツール（LINE など）でアピールしてほしい。　（女性、60 代）

■生涯学習は自分自身の物だから、自分で見つけ行うものであると思う。手伝いとしてチラシとかで知らせてほしい。　（男性、70 代）

■全国区のメディアなどに対する発信、マーケティング活動。　（男性、40 代）

■知らなったので、広報や SNS で発信してほしい。若者が興味のある人に推進してもらう。　（女性、30 代）

■地域資源を広報誌で説明する。　（男性、60 代）

■配信や動画など、外に出れない人にも文化などに触れる機会が欲しいです。　（その他/回答しない、30 代）

■文化芸術活動をしている事を知る機会がほぼ無い気がするので、市内の色々なところに（スーパー、ドラッグストア、コンビニなど）活動のポスターやチラシ等を、ホームページのトップページの目立つ所にバナーを置いたりしてみる。　（男性、50 代）

など

場所・施設について

■そのような条例が制定されていたとは知りませんでした。先日、ぼたん公園でこびと図鑑とのコラボがあり、子どもと行きました。ぼたんが咲いている時期なら、子供にもぼたんに興味を持ってもらえたと思います。E スポーツ施設などがあったら子どもが喜ぶと思います。 （女性、40代）
■ぼたん通りから、市役所通りが拓けると良いです。映画館あるといいな。 （女性、70代）
■もっともっと現代アーティストのライブ等が、出来る施設を建ててほしい。 （男性、40代）
■映画館や劇場を造ってほしい。図書館二階（高坂）などのスペースをもう少し充実させてほしい。都内にあるような、カフェ併設の図書館などになるととても良いと思う。 （女性、40代）
■核となる施設とそのインフラを整備しないと、人は集まらない。人が集まらないと文化が生まれにくい。「東松山」を知っている埼玉県民は少ないと思います。アナウンサーでさえ、東松島市と読み間違う画面を数回見聞きしています。散歩したい道が少なく、「歩け歩け」の町とは程遠い環境かと。 （男性、60代）
■気軽に映画を見れる施設を造ってほしい。 （女性、50代）
■子供達が学び、習得して披露する場。高齢者が集い、今まで習得してきた技術や食文化を伝え販売し、利益を得られる場が（旧まるひろ通りなどに）あると良いです。 （女性、50代）
■施設の老朽化の改善。 （男性、40代）
■多様な活動を促進する前に、各施設に行く手段を充実させてほしい。各市民活動センター他、駅より遠く不便。車での参加が必須となり、利用しにくい理由のひとつとして、東松山駅が寂れていること。道路だけ整備されても、特徴がなく活気がない。以前の様に、東松山駅周辺が活気があると、色々な活動にも影響があると思う。市長、各トップの方々、これからの駅の発展に期待したい。 （女性、60代）
■彫刻の森美術館のようにアートな公園を造ってほしい。座るところがあって、のんびりできる、みんなが立ち寄りたくなるような広場、空間があったら良いなと思います。 （女性、30代）
■発表会等で施設を借りたい時など、文化センターだと大きすぎて活動センターだと小さくて音響が悪かったりするので、丁度使いやすい広さ、価格、音の良さのあるホールがあれば、もっと市民も関わりが持てると思います。 （男性、50代）
■美術館などの芸術に関する施設がほしい。 （男性、60代）

など

施策取組について

■子供達に、日本ならではの華道、茶道、着付などの体験をさせたい。定期的に学校に講師の方を呼んで、学ぶ機会を作ってほしい（できたら、大人も一緒に受けれたら嬉しい）。ミュージカルや、歌舞伎などの鑑賞ツアーを企画してほしい。 （女性、40代）
■エキナカや駅の付近に東松山市の物産展（お土産屋）等を作り、食文化に関する品物の購入数を増やす、駅のタクシープール付近の植え込みなどにイルミネーション（冬場）で飾ったり、パブリックビューイングを設置し、市で行っている文化芸術など紹介する。 （女性、60代）
■芸術を見る機会と参加する機会を増やし、市民に興味を持ってもらう。坂戸市がよさこいを行っているように市としての活動を増やす。 （男性、50代）
■結局税収が下がれば続けられない。次の世代に繋がる施策を基準にすべき。 （男性、30代）
■高等教育機関との連携を進める。 （男性、20代）
■高齢者は外出するのが億劫になっています。文化芸術活動に参加したら、ポイントが付く等の楽しみがプラスされ、ちょっと出かけてみようかという気持ちが生まれる様な気がします。 （女性、70代）
■今ある施設（公園や体育館、公民館 etc）でできるイベントの実施。 （女性、70代）

■産業、文化との連携。学生と地域産業を結びつける取り組みを継続的に行う事。（男性、50 代）
■史跡や文化財は沢山あるが、一つ一つが離れていて、地味でなかなか行く機会もないので、スタンプラリーのように各施設に足を運ぶイベントがあっても良いのではないかと思う。他地域からの転入者にも、積極的に案内して、東松山の地域や歴史に理解を深めてもらうきっかけにもなるのではないかと思う。 （女性、50 代）
■子育て世代を対象とした参加型の催しなどが良いかもしれません。（スタンプラリー、バスツアーなど）地域コミュニティの発展なくして、文化芸術の意識向上は難しいかもしれません。人が集まるショッピングセンターのイベントスペースや、デジタルサイネージ、道の駅（農産物直売所）、サービスエリアでの継続的な官民連携の啓蒙活動が必要と思われます。 （男性、50 代）
■子供たち（学生含む）が、もっと興味や夢中になれるような施策は必要かと思います。詳しくは書ききれません。 （男性、50 代）
■市民参加型のアートイベントや学校・地域連携による文化芸術体験を充実させ、歴史や自然を活かした事業とデジタル発信を推進し、誰もが親しめる文化芸術のまちづくりを進める。（男性、20 代）
■市民文化センターに芸能関係、伝統芸能などを公演してほしいと思います。 （女性、70 代）
■私は老人で、会場に向かうことが困難です。リモートでの講座を希望します。地区老人会（サロン）毎日１回、定例会で活動を促すことも提案します。 （男性、80 代以上）
■週末に、国家資格などの受講講座があると楽しみです。 （女性、40 代）
■春と秋（二期）になってしまいそうですが、市がしっかりと関わって、１週間～月間として、地域でのイベントを拡大し、実施したらと思います。（バラバラすぎます）。 （女性、80 代以上）
■書道に関する文化活動です。 （男性、50 代）
■小さい頃から、多くの文化芸術に触れあうことが大切だと思いますので、その機会を作っていただきたい。 （男性、70 代）
■小中学校生のイベント鑑賞会参加。 （男性、70 代）
■推進条例があるという感覚もなく過ごしている。もっと市民に伝わるような、町作りを推進してほしい。 （女性、70 代）
■他県で、子どもたちが考えた仮想のまち（お店屋さん）を実際に作り上げるという取り組みをしているのを見たことがあります。とても魅力的だと思うので、東松山市でもこういった子どもたちにフォーカスした取り組みができると良いと思います。 （女性、30 代）
■東松山は食（焼き鳥）の文化が武器になると思います。焼き鳥販売店へのさらなるプッシュが必要と感じます。例えば、販売店の決済方法、駐車場の有無、持ち帰り対応の可否などを記したマップの作成。また web では店外観が分かるようにするとか。さらに、QR コード決済、カード決済対応してない店舗には補助金でサポートするとか。20～30 年前と比べ、東松山の誇るべき焼き鳥が下火になってるように感じます。 （男性、40 代）
■東松山花火大会が、今後開催が出来ない、また、スリーデーマーチも同様イベント類がほとんど衰退する現状を打破する為、新しい市を代表する何かイベントが欲しいと思っています。 （男性、70 代）
■東松山市民文化センターに、劇団四季や宝塚歌劇団、その他、本物の芸術と呼べる劇団を呼び、公演していただくことによって、東松山の子どもたちが芸術に触れ、人生における芸術の重要さを知ることになるのではないかと思います。 （女性、10 代）
■乳幼児の育児中で、日中あまり身動きのとれない主婦層も楽しめるイベントがあると大変嬉しいです。夜時間帯に子供を預けて出来る活動。幼児連れ歓迎イベント等。 （女性、30 代）

など

■年代的にも違いがありますが、高齢者が多い反面、都会や外国からの移住も増えています。近所の外国の方ともコミュニケーションをとったりしています。みんなで参加型の大げさに文化芸術と言わず、地域の祭り・イベントを活発に、若い方にも参加を促進させられる何かしらのポイント制度の活用などいかがでしょうか。高齢者には、健康に動いてもらえるポイント制度も良いかもしれません。　（女性、70 代）
■年配の方で言えば、お金と時間と余裕がないとなかなか自分を潤すまでに至るのは難しい気がする。それこそ、貧困の差（背景）が余生の過ごし方になる気がする。子どもたちへは、参加してみて何が自分に合うのか、ワクワクするのか、体験型にし、後の人生の糧に少しでもなったら良いな。　（女性、50 代）
■文化センターという良い施設があるので、多岐にわたるイベントの企画をもっと大々的に行ったらどうでしょうか。　（女性、60 代）
■文化芸術というと、特別なものだという印象があります。でも、市民が気軽に参加し楽しめる機会を増やしていただきたいと思います。例えば、サッカーや野球などのパブリックビューイングを開催し、世代を超えてみんなで応援できる場を設けることも、地域一体感を育む文化活動の１つではないでしょうか。また、駅周辺などに、参加しやすい場所での小規模な演奏会や作品展示、市民による発表の機会が増えることでの小規模な演奏会や作品展示、市民による発表の機会が増える事で、文化芸術をより身近に感じられる様になる事を期待しています。　（女性、60 代）
■名所を巡るバス観光ツアーが有れば行きたい。　（男性、60 代）
■予算を立てるのも大変だと思うが、有名な絵画や彫刻を呼び寄せ、市民鑑賞講座などを開設したらどうか。東松山の文化・芸術を一冊にまとめて本にしたらどうか。　（男性、70 代）

など

その他

■花火の回数が多くなった。風情が無くなった。有料席で、花火を観に行きにくくなった。残念。（女性、50 代）
■高坂彫刻クロムナードを誉めるが、私は不快です（私は女性です）。あの彫刻は女性ヌードが多く、おかしいです。男女同権なら、男性ヌードも置くべきです。女性を甘く見ているようで不快です。そう思っている市民もいる事をわかってください。　（女性、60 代）
■今年はなぜ東松山花火大会を中止にしたのか。一年に一度、とても楽しみにしていたのに。物価高騰はこの先も続くであろうし、他の市町村でも同じだが、熊谷・寄居は行われる。目玉イベントを中止にする程、財政難なのか。　（女性、50 代）
■子供たちが小さい時から様々なものを体験し、見て感動して大切に思う気持ちを養うこと。本を読むことから離れ、文字から離れ、スマホやパソコンの時代なので、自分の目で見て自分で考えて「素敵」と感じる事、感動する事が大切ではないかと思います。忙しい中で、親も自然や古きものを一緒に感じて感情表現を豊かにしてほしい。　（女性、60 代）
■市内で、資格試験を受けられれば良いと思います。　（男性、80 代以上）
■市内で育った人は、ある程度東松山市について文化芸術の知識があるかもしれませんが、市外から転入してきた人は、思っている以上に地域のことがわかっていないと思います。　（男性、30 代）
■市民数人をグループに、彼らを講師にする。　（女性、30 代）
■職員ではなく、文化人をトップとして推進する。　（女性、50 代）
■東松山市の皆様でつくりあげるミュージカル。　（女性、50 代）

など

Ⅳ. 団体調査結果

問１　貴団体の団体名をご記入ください。

【ご協力いただいた団体一覧】

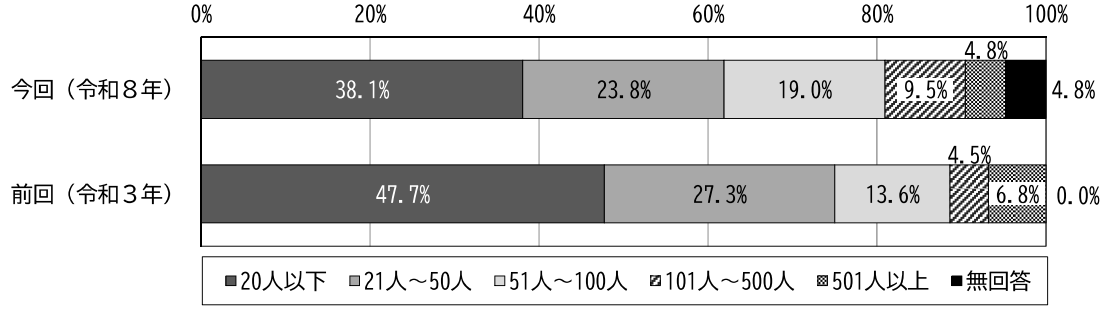
■東松山市将棋連盟	■東松山新柳会
■東松山茶華道連盟	■東松山市民劇場
■紅陽社	■東松山市民コーラス
■東松山吹奏楽連盟	■東松山市民ギタークラブ
■東松山市民謡民舞連盟	■東松山市社交ダンスクラブ
■東松山市邦楽三曲会	■東松山アマチュア無線クラブ
■陶芸クラブ東松山	■比企現代写真研究会
■二胡ユニット「優美」（ヨーメイ）	■むさし松山写真クラブ
■東松山美術協会第１部「絵画」	■東松山美術協会第２部「書・刻字」
■東松山美術協会第３部「写真」	■東松山美術協会第４部「工芸・彫刻」
■ガールスカウト埼玉県第２団	■ボーイスカウト東松山第１団
■東松山市ＰＴＡ連合会	■野田獅子舞保存会
■東平ひきずり餅保存会	■松葉町祭りばやし保存会
■箭弓町祭りばやし保存会	■金谷餅つき踊り保存会
■上野本獅子舞保存会	■下唐子獅子舞保存会
■神戸獅子舞保存会	■正代祭りばやし保存会
■武蔵流東松山太鼓	■地域活動支援センターあすみーる
■東松山市野球連盟	■東松山市ソフトテニス連盟
■東松山市サッカー協会	■野本ミニバススポーツ少年団
■東松山市歩こう会	■ソフトバレーボール連盟

※団体名の回答がないものが２件ありました。

問２　貴団体のおおよその人数についてご記入ください。

団体の人数については、「20 人以下」が 38.1%と最も多く、次いで、「21 人～50 人」が 23.8%、「51 人～100 人」が 19.0%となっています。

前回と比較すると、「51 人～100 人」が 5.4 ポイント、「101 人～500 人」が 5.0 ポイント増加し、「20 人以下」が 9.6 ポイント減少となっています。

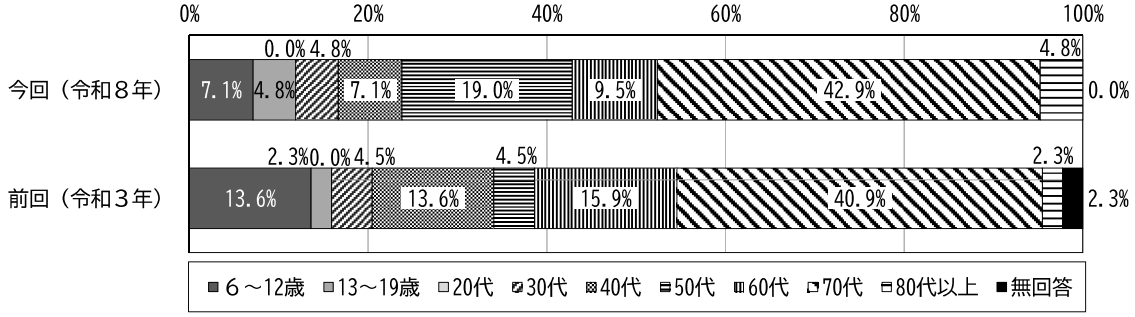


項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
20人以下	16	38.1%	21	47.7%
21人～50人	10	23.8%	12	27.3%
51人～100人	8	19.0%	6	13.6%
101人～500人	4	9.5%	2	4.5%
501人以上	2	4.8%	3	6.8%
無回答	2	4.8%	0	0.0%
回答者数	42	100.0%	44	100.0%

問３　貴団体の活動の中心となる年齢層について教えてください。（あてはまる番号１つに○）

団体の活動の中心年齢層は、「70 代」が 42.9%と最も多く、次いで、「50 代」が 19.0%、「60 代」が 9.5%となっています。

前回と比較すると、「50 代」が 14.5 ポイント増加し、「６～12 歳」「40 代」がともに 6.5 ポイント、「60 代」が 6.4 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
６～12歳	3	7.1%	6	13.6%
13～19歳	2	4.8%	1	2.3%
20代	0	0.0%	0	0.0%
30代	2	4.8%	2	4.5%
40代	3	7.1%	6	13.6%
50代	8	19.0%	2	4.5%
60代	4	9.5%	7	15.9%
70代	18	42.9%	18	40.9%
80代以上	2	4.8%	1	2.3%
無回答	0	0.0%	1	2.3%
合計	42	100.0%	44	100.0%

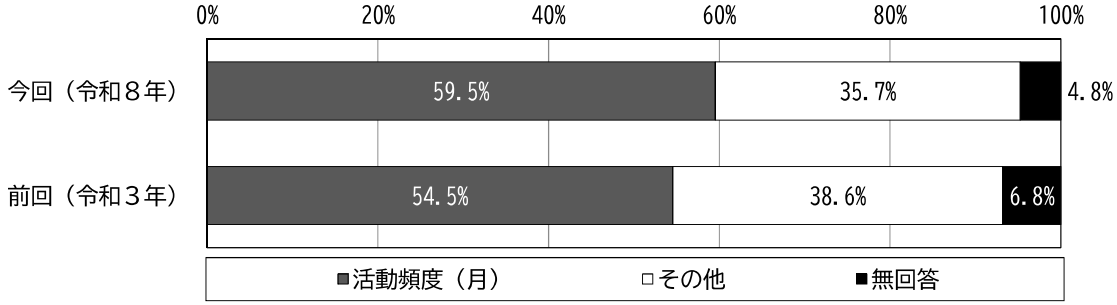
問４　貴団体の活動頻度についてご記入ください。

団体の活動頻度については、「活動頻度（月）」が 59.5%に対し、「その他」が 35.7%となっています。

前回と比較すると、「活動頻度（月）」が 5.0 ポイント増加となっています。

また、月の活動については、「３回～５回程度」が 44.0%と最も多く、次いで、「１回～２回程度」が 40.0%、「11 回以上」が 12.0%となっています。

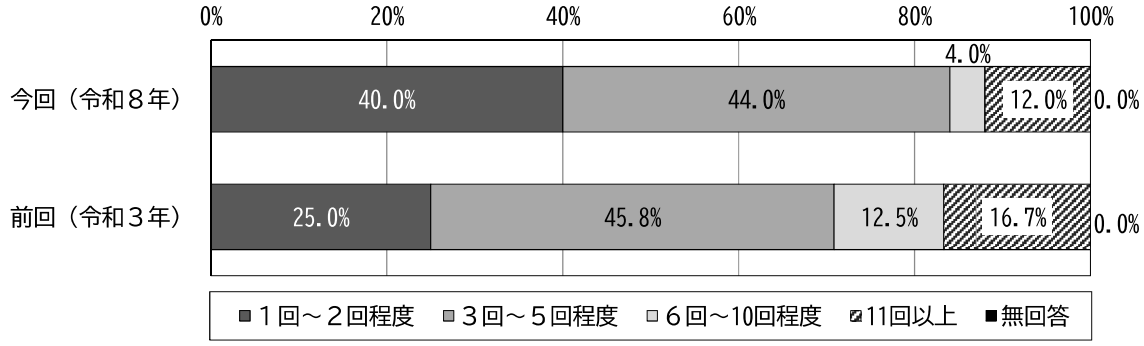
前回と比較すると、「１回～２回程度」が 15.0 ポイント増加し、「６回～10 回程度」が 8.5 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
活動頻度（月）	25	59.5%	24	54.5%
その他	15	35.7%	17	38.6%
無回答	2	4.8%	3	6.8%
合計	42	100.0%	44	100.0%

問４で「活動頻度（月）」を選択した方の回答

【活動頻度（月）】



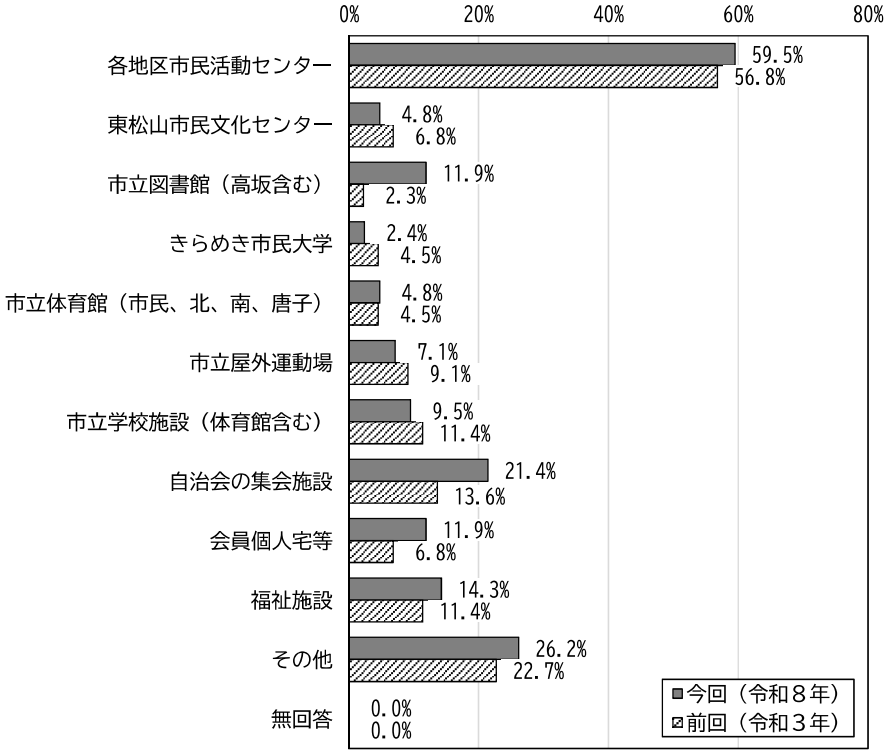
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
１回～２回程度	10	40.0%	6	25.0%
３回～５回程度	11	44.0%	11	45.8%
６回～10回程度	1	4.0%	3	12.5%
11回以上	3	12.0%	4	16.7%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	25	100.0%	24	100.0%
非該当	17		20	
合計	42		44	

問５　貴団体の活動場所について教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

団体の活動場所については、「各地区市民活動センター」が 59.5%と最も多く、次いで、「自治会の集会施設」が 21.4%となっています。

また、「その他」が 26.2%となっています。

前回と比較すると、「市立図書館（高坂含む）」が 9.6 ポイント、「自治会の集会施設」が 7.8 ポイント、「会員個人宅等」が 5.1 ポイント増加となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
各地区市民活動センター	25	59.5%	25	56.8%
東松山市民文化センター	2	4.8%	3	6.8%
市立図書館（高坂含む）	5	11.9%	1	2.3%
きらめき市民大学	1	2.4%	2	4.5%
市立体育館（市民、北、南、唐子）	2	4.8%	2	4.5%
市立屋外運動場	3	7.1%	4	9.1%
市立学校施設（体育館含む）	4	9.5%	5	11.4%
自治会の集会施設	9	21.4%	6	13.6%
会員個人宅等	5	11.9%	3	6.8%
福祉施設	6	14.3%	5	11.4%
その他	11	26.2%	10	22.7%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	42		44	

具体的な記述

【福祉施設】

■ボランティア依頼に対応
■東松山市民福祉センター
■東松山総合会館【同様　１件】
■共生型多機能センターあすみーる
■障害のある方が毎日通い、創作活動をしています。併設のギャラリーでは定期的に作品展を実施しています。

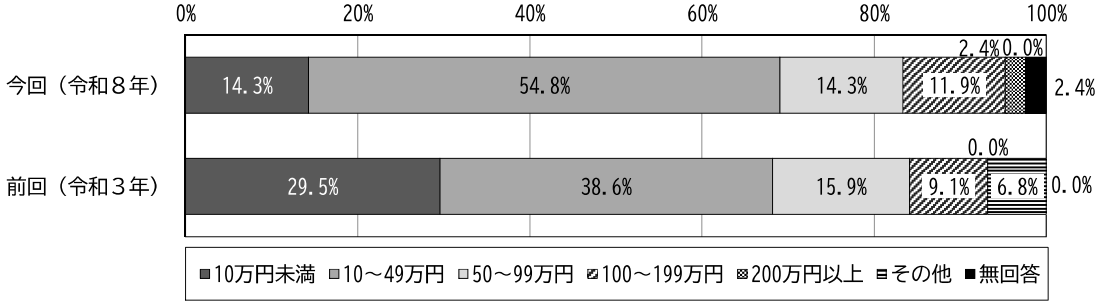
【その他】

■東松山市野球場他
■総合会館
■東松山市総合会館・箭弓稲荷神社
■上野本八幡神社
■神興での奉納・神社境内
■松葉町八幡神社等各祭会場等
■毎週土曜日オンエアミーティング（無線）
■市内公園、市民の森
■地域の公共施設を活用し、埼玉県内の障害のある人たちの作品展の開催。市町村と協働し作品展を開催しています。

問６　貴団体は、年間の活動にどれくらいの経費を必要としますか。（あてはまる番号１つに○）

団体の年間活動経費については、「10～49 万円」が 54.8%と最も多く、次いで、「10 万円未満」「50～99 万円」がともに 14.3%となっています。

前回と比較すると、「10～49 万円」が 16.2 ポイント増加し、「10 万円未満」が 15.2 ポイント、「その他」が 6.8 ポイント減少となっています。

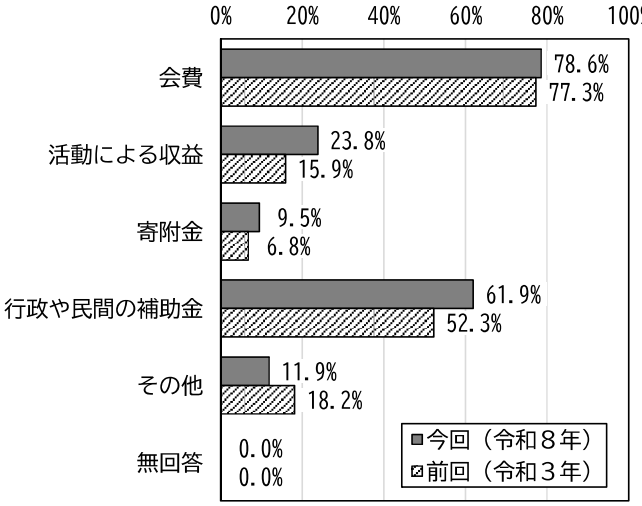


項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
10万円未満	6	14.3%	13	29.5%
10～49万円	23	54.8%	17	38.6%
50～99万円	6	14.3%	7	15.9%
100～199万円	5	11.9%	4	9.1%
200万円以上	1	2.4%	0	0.0%
その他	0	0.0%	3	6.8%
無回答	1	2.4%	0	0.0%
合計	42	100.0%	44	100.0%

問７　貴団体は活動経費を主にどのようにまかなっていますか。（あてはまる番号すべてに○）

団体は活動経費をどのようにまかなっているかについては、「会費」が 78.6%と最も多く、次いで、「行政や民間の補助金」が 61.9%、「活動による収益」が 23.8%となっています。

前回と比較すると、「活動による収益」が 7.9 ポイント、「行政や民間の補助金」が 9.6 ポイント増加し、「その他」が 6.3 ポイント減少となっています。



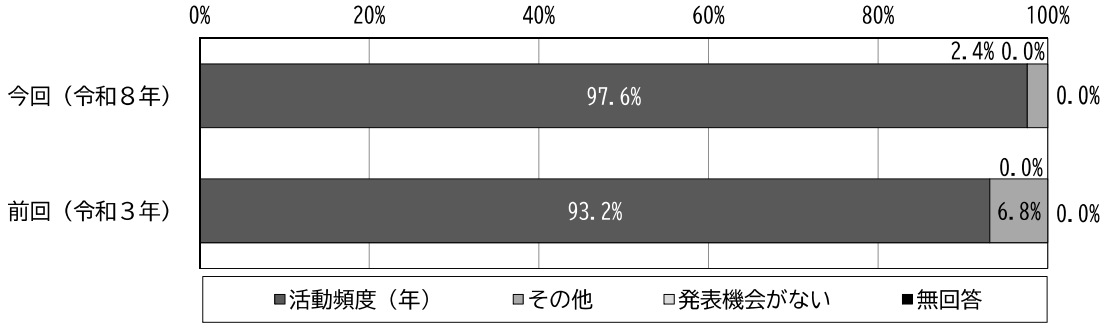
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
会費	33	78.6%	34	77.3%
活動による収益	10	23.8%	7	15.9%
寄附金	4	9.5%	3	6.8%
行政や民間の補助金	26	61.9%	23	52.3%
その他	5	11.9%	8	18.2%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	42		44	

問８　この１年間に、貴団体の成果発表会・展示会・スポーツ大会などは年に何回くらいありましたか。

この１年間における、成果発表会・展示会・スポーツ大会については、「毎年開催」が 97.6%、「その他」が 2.4%となっています。

また、年間の成果発表会などの回数については、「１回～２回程度」が 48.8%と最も多く、次いで、「３回～５回程度」が 29.3%、「11 回以上」が 12.2%となっています。

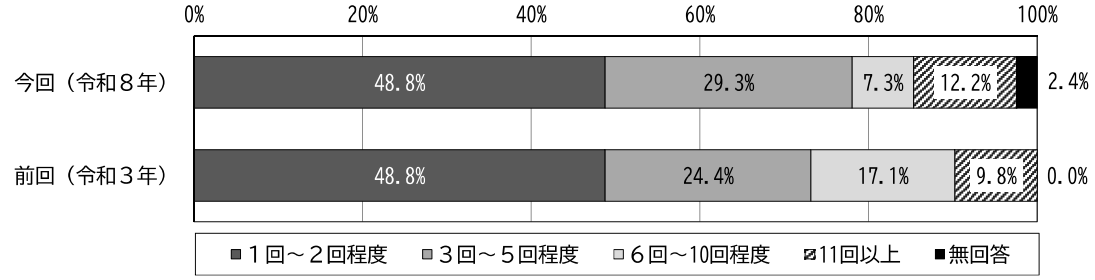
前回と比較すると、「６回～10 回程度」が 9.8 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
活動頻度（年）	41	97.6%	41	93.2%
その他	1	2.4%	3	6.8%
発表機会がない	0	0.0%	0	0.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%
合計	42	100.0%	44	100.0%

問８で「活動頻度（年）」を選択した方の回答

【活動頻度（年）】



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
１回～２回程度	20	48.8%	20	48.8%
３回～５回程度	12	29.3%	10	24.4%
６回～10回程度	3	7.3%	7	17.1%
11回以上	5	12.2%	4	9.8%
無回答	1	2.4%	0	0.0%
回答者数	41	100.0%	41	100.0%
非該当	1		3	
合計	42		44	

※前回の設問は「コロナ禍以前の約１年間」という表記になっています。

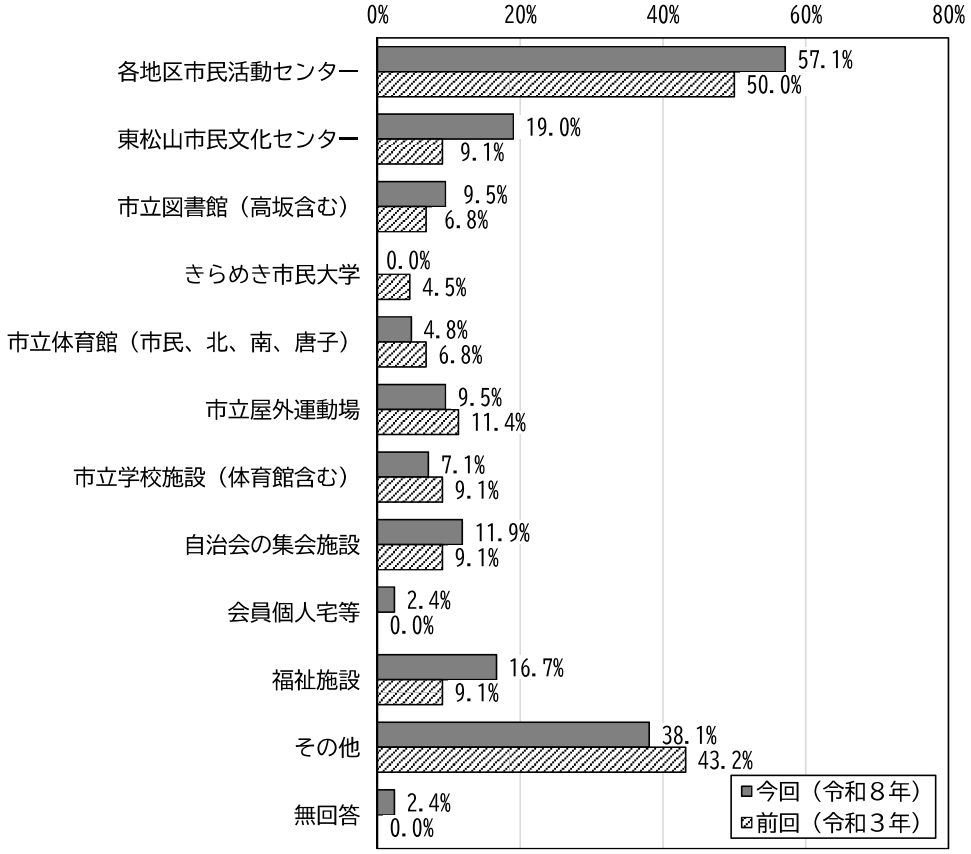
問８で「活動頻度（年）」「その他」を選択した方の回答

問９　貴団体の成果発表会・展示会・スポーツ大会を行う場所について教えてください。（あてはまる番号すべてに○）

団体の成果発表会・展示会・スポーツ大会を行う場所については、「各地区市民活動センター」が 57.1%と最も多く、次いで、「東松山市民文化センター」が 19.0%となっています。

また、「その他」が 38.1%となっています。

前回と比較すると、「各地区市民活動センター」が 7.1 ポイント、「東松山市民文化センター」が 9.9 ポイント、「福祉施設」が 7.6 ポイント増加し、「その他」が 5.1 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
各地区市民活動センター	24	57.1%	22	50.0%
東松山市民文化センター	8	19.0%	4	9.1%
市立図書館（高坂含む）	4	9.5%	3	6.8%
きらめき市民大学	0	0.0%	2	4.5%
市立体育館（市民、北、南、唐子）	2	4.8%	3	6.8%
市立屋外運動場	4	9.5%	5	11.4%
市立学校施設（体育館含む）	3	7.1%	4	9.1%
自治会の集会施設	5	11.9%	4	9.1%
会員個人宅等	1	2.4%	0	0.0%
福祉施設	7	16.7%	4	9.1%
その他	16	38.1%	19	43.2%
無回答	1	2.4%	0	0.0%
回答者数	42		44	
非該当	0		0	
合計	42		44	

※「その他」等具体的な記述は次ページ参照

具体的な記述

【福祉施設】

■福祉の町東松山デイサービス
■東松山市総合会館・箭弓稲荷神社
■総合会館【同様　１件】
■東松山市民福祉センター
■東松山市総合福祉エリア
■当法人のアトリエ兼ギャラリーにて、定期的に障害のある方の作品展を実施。また障害の有無問わず、地域の方の作品発表の場としても活用している。

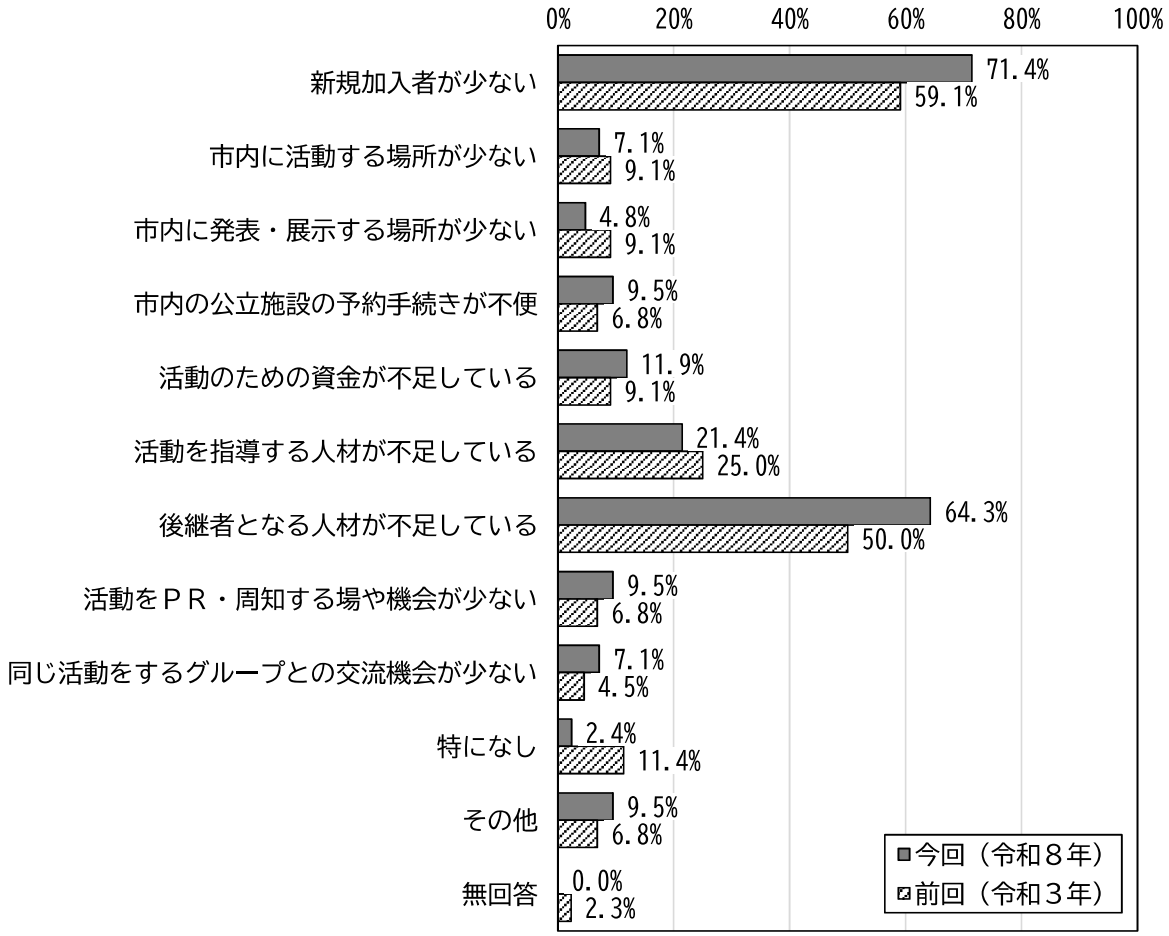
【その他】

■神社奉納
■東松山野球場他
■神戸神社
■地区の神社など
■唐子神社の境内
■総合会館【同様　１件】
■市内、県内、県外
■地区内にある宮司宅・八幡神社および街道
■箭弓神社(牡丹祭、初午祭)神楽殿、東松山夏祭り(町内巡行、ピオパーク)、民俗芸能祭(日本スリーデーマーチ）、ぼたん通り祭
■他市学校施設、他市市立体育館(行田グリーンアリーナなど)
■市内祭り会場、箭弓稲荷神社、松葉町八幡神社、市総合会館
■ふれあいピック
■市内外福祉施設、市内外企業
■地区の神社，祭り会場（物見山）
■東松山総合会館１階多目的室を使い、県北西部エリアの障害者作品展を３年連続して実施。当法人の作品展、写真展を３回実施。

問10　この１年間に、活動する上で特に困っていたことは何ですか。（あてはまる番号３つまでに○）

この１年間に、活動する上で特に困っていたことについては、「新規加入者が少ない」が71.4%と最も多く、次いで、「後継者となる人材が不足している」が64.3%、「活動を指導する人材が不足している」が21.4%となっています。

前回と比較すると、「新規加入者が少ない」が12.3ポイント、「後継者となる人材が不足している」が14.3ポイント増加し、「特になし」が9.0ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	比率	度数	比率
新規加入者が少ない	30	71.4%	26	59.1%
市内に活動する場所が少ない	3	7.1%	4	9.1%
市内に発表・展示する場所が少ない	2	4.8%	4	9.1%
市内の公立施設の予約手続きが不便	4	9.5%	3	6.8%
活動のための資金が不足している	5	11.9%	4	9.1%
活動を指導する人材が不足している	9	21.4%	11	25.0%
後継者となる人材が不足している	27	64.3%	22	50.0%
活動をＰＲ・周知する場や機会が少ない	4	9.5%	3	6.8%
同じ活動をするグループとの交流機会が少ない	3	7.1%	2	4.5%
特になし	1	2.4%	5	11.4%
その他	4	9.5%	3	6.8%
無回答	0	0.0%	1	2.3%
回答者数	42		44	

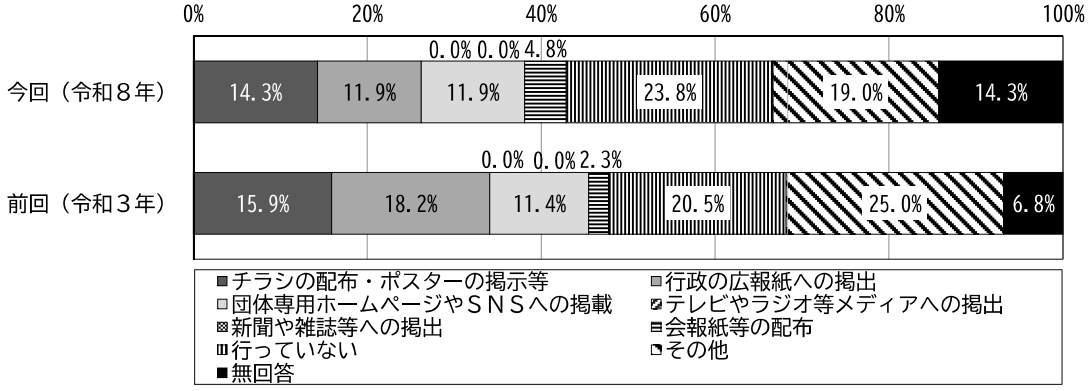
※前回は「コロナ禍以前の約１年間」という表記になっています。

問 11　貴団体は、ＰＲ活動（加入促進を含む）を行っていますか。（あてはまる番号１つに○）

ＰＲ活動については、「行っていない」が 23.8%と最も多く、次いで、「チラシの配布・ポスターの掲示等」が 14.3%となっています。

また、「その他」が 19.0%となっています。

前回と比較すると、「行政の広報紙への掲出」が 6.3 ポイント、「その他」が 6.0 ポイント減少となっています。

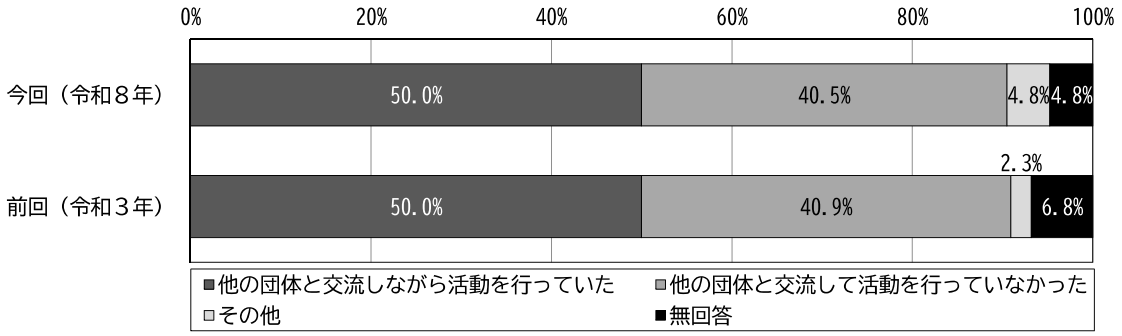


項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
チラシの配布・ポスターの掲示等	6	14.3%	7	15.9%
行政の広報紙への掲出	5	11.9%	8	18.2%
団体専用ホームページやＳＮＳへの掲載	5	11.9%	5	11.4%
テレビやラジオ等メディアへの掲出	0	0.0%	0	0.0%
新聞や雑誌等への掲出	0	0.0%	0	0.0%
会報紙等の配布	2	4.8%	1	2.3%
行っていない	10	23.8%	9	20.5%
その他	8	19.0%	11	25.0%
無回答	6	14.3%	3	6.8%
合計	42	100.0%	44	100.0%

問 12　この１年間に、貴団体は、他の団体（市外含む）と交流しながら活動を行っていましたか。（あてはまる番号１つに○）例：合同演奏会や合同の展示会を行っていた。同種目の団体との対外試合を行っていた。他団体の発表会へ参加していた。

この１年間における他団体との交流については、「他の団体と交流しながら活動を行っていた」が 50.0%と最も多く、次いで、「他の団体と交流して活動を行っていなかった」が 40.5%、

また、「その他」が 4.8%となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
他の団体と交流しながら活動を行っていた	21	50.0%	22	50.0%
他の団体と交流して活動を行っていなかった	17	40.5%	18	40.9%
その他	2	4.8%	1	2.3%
無回答	2	4.8%	3	6.8%
合計	42	100.0%	44	100.0%

※前回は「コロナ禍以前の約１年間」という表記になっています。

問 12 で「他の団体と交流しながら活動を行っていた」を選択した方の回答

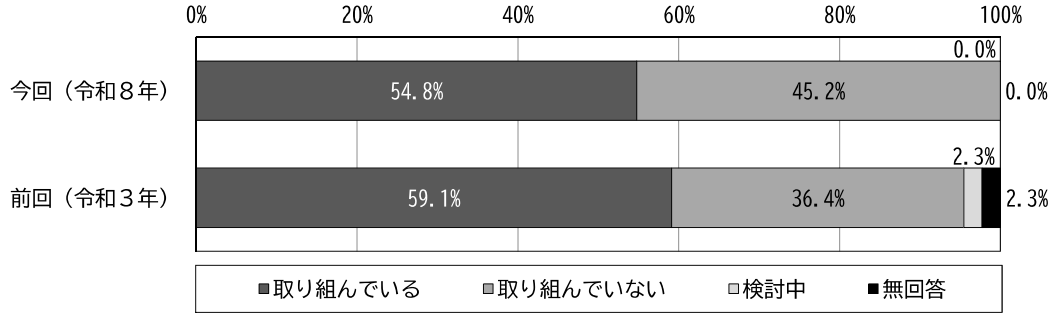
問 13　活動の具体的な内容をご記入ください。

■民俗芸能保存連絡協議会。
■民謡の発表会に、賛助出演をさせていただきました、また違った客層に出会えるかも。
■尺八の会員の身体の故障のため発表会に支障をきたすため、市外の会（別）の応援をお願いいたしました。別の楽器のグループに呼びかけ賛助出演を依頼した。
■西部地区や県の団体・他の市町村の団体と交流している。
■東松山地区の合唱祭への参加。(29 団体)文化団体協議会への参加。
■東京の有明 GYM-EX ハムフェアにて、全国の無線家と交流する。３DM などを PR する。
■埼玉県サッカー協会（公益財団法人）との連携・調査・事業開催。埼玉県西部地区での各カテゴリー（少年・中学・高校・一般・シニア）毎の調整・協議・交流事業の開催。
■相互の作品展・写真展の鑑賞及び、相補の撮影会への参加。
■美協の他の部を別の団体とすれば、絵画、書、写真などの部展には必ず行きます。その他市内ギャラリーでやる団体展示にもほとんど行って交流しています。また、工芸・彫刻部展には他の部の方々が来てお互いに研修、交流など行っています。
■団体の会報を利用、団体と行事を共催。
■比企郡 PTA 連合会（現在休会中）との合同事業として教育講演会、PTA 役員など研修会。
■東京都や神奈川県にあるクラシックギター団体と交流、楽譜の共有など。
■東松山夏祭りでの四町内共演。民俗芸能祭。
■連盟以外に、招待チームを呼んで大会を行っている。
■市内外のスポーツ少年団チームと、練習試合などを行っていた。
■吹奏楽祭開催。
■野本地区の、かかし祭に出展した。
■東松山市民俗芸能保存連絡協議会加盟団体との交流、市内太鼓団体との交流。民俗芸能祭。東松山市和太鼓団体「鼓遊連」加盟団体との交流。鼓遊連和太鼓演奏。武蔵流宗家武蔵太鼓様との交流(三芳町)合同練習。武蔵流龍神太鼓様との交流(鶴ケ島市)合同練習。和太鼓どどん様の公演観覧交流。
■複数のボーイスカウト団が合同で活動を実施。まちづくり公社主催イベントの一部コーナーを担当・実施。
■近隣の他団体とイベントを行いました。
■埼玉県内の福祉施設と、ネットワークを作り定期ミーティングや作品展の実施などをおこないました。また他市町村の福祉課等ともつながり、市町村主催の作品展の開催に協力を行いました。

問 14　貴団体は、観光、産業、子育て、まちづくり、国際交流、福祉、教育、その他の分野を越えた連携を図る取組を行っていますか。（あてはまる番号 1 つに○）例：商店会（産業）のイベントで作品展示を行っている。スリーデーマーチ（観光）で演奏を行っている。福祉施設（福祉）で訪問演奏を行っている。

団体の分野を越えた連携については、「取り組んでいる」が 54.8%、「取り組んでいない」が 45.2%となっています。

前回と比較すると、「取り組んでいない」が 8.8 ポイント増加となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
取り組んでいる	23	54.8%	26	59.1%
取り組んでいない	19	45.2%	16	36.4%
検討中	0	0.0%	1	2.3%
無回答	0	0.0%	1	2.3%
合計	42	100.0%	44	100.0%

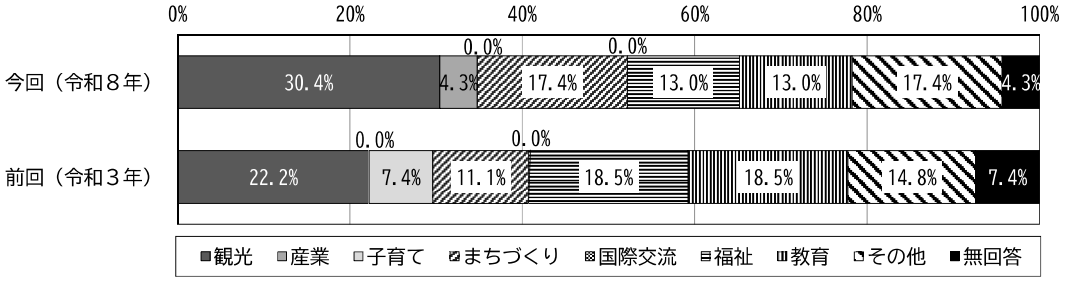
問 14 で「取り組んでいる」「検討中」を選択した方の回答

問 15　取り組んでいる分野や検討中の分野はどのような分野ですか。（あてはまる番号１つに○）また、取組の具体的な内容を教えてください。

団体の分野を越えた連携に「取り組んでいる」もしくは「検討中」の分野については、「観光」が 30.4%と最も多く、次いで、「まちづくり」が 17.4%となっています。

また、「その他」が 17.4%となっています。

前回と比較すると、「観光」が 8.2 ポイント、「まちづくり」が 6.3 ポイント増加し、「子育て」が 7.4 ポイント、「福祉」「教育」がともに 5.5 ポイント減少となっています。



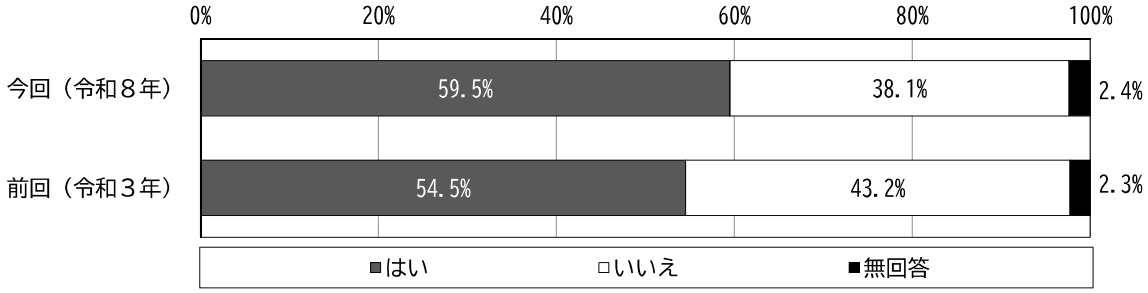
項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
観光	7	30.4%	6	22.2%
産業	1	4.3%	0	0.0%
子育て	0	0.0%	2	7.4%
まちづくり	4	17.4%	3	11.1%
国際交流	0	0.0%	0	0.0%
福祉	3	13.0%	5	18.5%
教育	3	13.0%	5	18.5%
その他	4	17.4%	4	14.8%
無回答	2	8.7%	2	7.4%
回答者数	23	100.0%	27	100.0%
非該当	19		17	
合計	42		44	

【取組の具体的な内容】
■福祉施設の依頼に対応。
■スポーツ競技。
■スリーデーマーチ（観光）で演舞を行っている。
■どこでも出演依頼があった場所。
■小学生１年生～６年生に将棋教室・将棋大会。
■８月夏休み中に電波教室。（FM ラジオ工作）小学生対象。
■青少年健全育成啓発活動への参加。
■ハートピアまちづくりへの参加。
■市内の小学校などで演奏。
■スリーデーマーチチェックポイント業務。
■総合福祉エリアの慰問、自治会のシニアクラブへの演奏会。
■小学生から高齢者まで参加、地区内の多くの方たちの協力で行っているので、地域の交流、街づくりに貢献していると考えている。
■スリーデーマーチでの歓迎演奏。
■キャンプやスキー教室。
■夏祭り、神社の祭り、民俗芸能祭、スリーデーマーチ歓迎演奏、民俗芸能大会。
■スリーデーマーチ演奏、箭弓稲荷神社祭典での奉納演奏などを行っている。
■ハートピアマルシェに出店。松山地区市民体育祭の運営奉仕。
■スリーデイマーチパレードの参加。ハートピアまつりへの出店。
■スリーデーマーチで、演奏を行っている。地区の祭りで奉納演奏を行っている。
■障害のある人たちの芸術文化活動の普及。魅力発信。アート活動を通じ地域の人たちと協働を行い、街づくりにも繋げていきたいと考えます。

問 16　貴団体は、次世代の担い手の増加・育成に向けた取組を行っていますか。（あてはまる番号１つに○）

次世代の担い手の増加・育成に向けた取組を行っているかについては、「はい」が 59.5%に対し、「いいえ」が 38.1%となっています。

前回と比較すると、「はい」が 5.0 ポイント増加し、「いいえ」が 5.1 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
はい	25	59.5%	24	54.5%
いいえ	16	38.1%	19	43.2%
無回答	1	2.4%	1	2.3%
合計	42	100.0%	44	100.0%

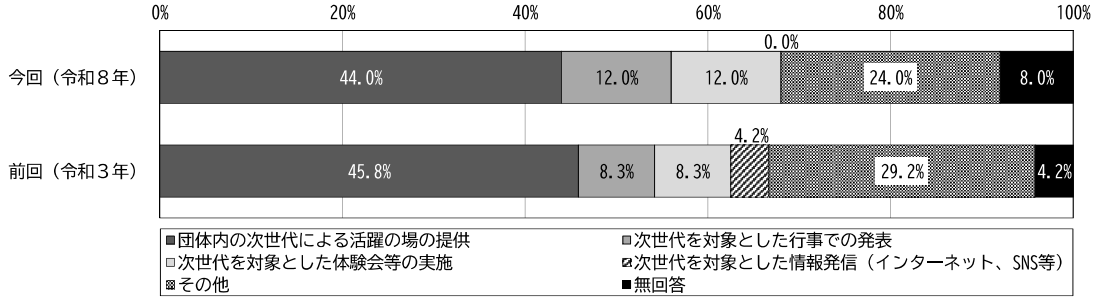
問 16 で「はい」（次世代への取組の有無）を選択した方の回答

問 17　それは、どのような取組ですか。（あてはまる番号１つに○）

次世代の担い手の増加・育成に向けた取組については、「団体内の次世代による活躍の場の提供」が 44.0%と最も多く、次いで、「次世代を対象とした行事での発表」「次世代を対象とした体験会等の実施」がともに 12.0%となっています。

また、「その他」が 24.0%となっています。

前回と比較すると、「その他」が 5.2 ポイント減少となっています。



項目	今回（令和８年）		前回（令和３年）	
	度数	構成比	度数	構成比
団体内の次世代による活躍の場の提供	11	44.0%	11	45.8%
次世代を対象とした行事での発表	3	12.0%	2	8.3%
次世代を対象とした体験会等の実施	3	12.0%	2	8.3%
次世代を対象とした情報発信（インターネット、SNS等）	0	0.0%	1	4.2%
その他	6	24.0%	7	29.2%
無回答	2	8.0%	1	4.2%
回答者数	25	100.0%	24	100.0%
非該当	17		20	
合計	42		44	

問 18　本市の生涯学習及び文化芸術の発展に向けてご意見やご要望をご自由にお書きください。

※原則として、回答の内容をそのまま掲載しています。

■イベントの開催時の販売促進の許可。展示施設での展示会等、柔軟性のある施設利用ができるようにしてほしい。文化芸術面での継承。並びに体験、体感できる事業（教室など）を特定の人や団体だけでなく、広い視野で拡げていただきたい。

■一昨年度（令和７年度）に東松山市民文化センターで開催された「民俗芸能大会」は大変盛況であり、東松山市の貴重な民俗芸能を広く市民へ周知する素晴らしい機会となりました。同大会は 1996 年以来の開催であったと記憶しておりますが、地域の伝統文化を次世代へ継承していくためにも、今後は５年に１回程度、教育委員会主催による定例開催をご検討いただければ幸いです。今後とも、どうぞよろしくお願い致します。

■何年かおきにでも結構ですが、高坂に高田博厚彫刻通りがあるので、あの場所で研修なりイベントをやって下さい。

■我がサークルも他のサークルと同様と存じますが、メンバーの高齢化・若い世代の入会が少ない状況となっています。そこで滑川町で今春開催されていた滑川町コミュニティセンターで各団体（サークル）のブースを設け、活動内容などサークル紹介・体験会を行い、参加を呼びかけていました。ぜひ東松山市でもこのような企画を毎年１回行なっていただきたいと存じます。ご検討よろしくお願い申し上げます。

■会員数は昨年より減少してはいますが、会員の活動の場や、幅は広がっています市からの補助金にとても助けられており、感謝しています。

■少子高齢化で、後継者となる人材がいない。

■障害のある人たちのアート活動をさらにおおくの方に知ってほしいと思っております。作品は国内だけでなく海外でも評価が高まっており、私達の施設に通う方の作品もフランスの国立美術館に所蔵されたりしております。東松山の姉妹都市オランダでもアウトサイダーアート、アールブリュットという形で活発に取り組まれています。スリーデーマーチなどでアートの交流も図れればいいですね。街の魅力のひとつとなりうるポテンシャルは、とても高いのではないかと感じています。障害のある人たちがアートを通じて活躍していく東松山にしていけるよう、福祉関係者だけでなく、行政はじめ地域の方々と一緒に取り組んで行ければと思っています。

■色々取り組んではいるのでしょうが。そこまでわかりません。生涯スポーツであるのは、ソフトバレーボールなのでその機会を東松山市で行って頂けたらいいなとも思います。

■人生 100 年時代に向けて、認知症にならない様に講演会を増やしてほしい。音楽（特にコーラス）は認知症の防止や改善に効果があると言われているので、色々なイベントを実施する場合全員で歌える場を設定してほしい。東松山市民歌をもっと PR して欲しい。

■鎮守様（唐子神社）と地域住民との関係が薄れているため、お祭りなどの維持にそのような活動をしているのか、他団体などの取り組み事例などの情報提供。

■東松山夏祭りでの山車の共演する場所（山車を持っている町内等の参加）を、増やす努力をしてほしい。

■東松山市内には人口芝のグラウンドが１つもない、人工芝のグラウンドは天候に左右されずに競技を実施できるばかりにとどまらず災害時の避難場所やテント村にもなり得る大変有用な施設である、長期的・多面的な視点で考察していただきたい。

■美術・芸術の分野においては、１つの時代の流れと見ています、特に写真に関しては趣味の世界において昭和 40 年代に始まり現在に至る。50 年位の流行に過ぎないと思います。令和の時代に入りスマホの進歩により、若い人達のカメラ離れに加速され今は 70 代 80 代の遊びに他ありません。若い人達に美術・芸術を面白いと感じさせる何かを発信してください。

■民俗芸能の継承のための経費が増加しているため、助成金の増加をお願いします。

■民俗芸能をもっと発表できる機会・場所があったらいいかな。

など

東松山市
生涯学習及び文化芸術に関するアンケート調査報告書

令和８年８月

東松山市教育委員会　生涯学習部　生涯学習課
〒355-8601 埼玉県東松山市松葉町 1-1-58
TEL：0493-21-1431
FAX：0493-23-2239

令和9年度比企地区連合社会教育委員研究集会開催要項

期　日(仮)　　令和9年11月25日(木) 13:00～16:10

会　場(仮)　　東松山市民文化センター 1階 大会議室
東松山市六軒町5－2

1 発表全体の趣旨として

「人生100年時代」と言われる現代においては、誰もが心豊かに生き、暮らせる社会を目指し、生活の質（QOL）を維持・向上させることが求められています。一方で、地域コミュニティの弱体化による社会的な孤立や、デジタル機器を利用できる人とできない人の間に情報格差が生じるなど、様々な問題が顕在化しています。このような状況の中で、地域において誰一人として取り残されることなく、生きがいを感じながら、健康でいきいきと暮らせる社会を実現するためにも、生涯にわたる「学び」の重要性や「社会教育」に求められる役割はより一層高まっています。

社会教育の役割には、全ての年齢層を対象にした講座等の実施を通して「学びの機会」を構築すると共に「学びの場」を提供することで、人と人・人と地域の絆を築き、地域コミュニティ形成のきっかけとなること、そして、地域の住民同士が学び合い、教え合う相互学習を通じた、教養の向上や健康増進に寄与することが挙げられます。

さらに、社会情勢の変化により、従来の役割に加え、開かれ・つながる社会の実現に向けた「DX」(デジタルトランスフォーメーション）の推進、不確実な時代を生き抜くための「ウェルビーイング」(精神的・社会的・身体的な幸福）の向上、持続可能な社会の創り手を育む「ESD」(持続可能な開発のための教育）の観点などの要素が欠かせなくなってきています。

これらを踏まえ、比企地域の社会教育に携わる人々が一堂に会する本研究集会において、東松山市の事例発表をきっかけにして、地域における「社会教育」の役割や、時代の変化に合わせて今後求められる「社会教育」のあり方について共に考え、研究を深める機会になることを期待します。

（上記のまとめ）

依然として生涯にわたって学ぶこと、「社会教育」の重要性は高い（今後も高くなる）
また、社会情勢に応じた、より広汎な役割が求められている
↓
社会教育の役割（つながりの場を創ること・学びを提供すること）に焦点を当てたい
↓
東松山市における「社会教育」の取り組みを研究集会で紹介し、
（比企）地域における、つながりづくり・学びの場づくりに関して比企の社会教育委員同士が話し合うことで、時代に応じた社会教育の役割について考え、実践できるよう研究を深める場としたい

２ 研究主題の決定について

発表全体の趣旨を踏まえ、東松山市の研究主題を「主題」と「副題」に分け、以下の案の中から決定したいと考えます。

例１）令和７年度比企地区連合社会教育委員研究集会の研究主題を参考に

研究主題：「心身ともに充実した教育の実現に向けて」←「主題」
～嵐山町の地勢から見る今後の社会教育について～←「副題」

東松山市の研究主題の案

「主題」
⑴「人と地域がつながる、学び合いの社会を目指して」
⑵「学び合い、人と地域のつながりを深めるための社会教育の役割」
⑶「地域における社会教育の充実に向けた取り組みについて」
⑷「人と地域のつながりづくりを支える今後の社会教育について」

「副題」
⑴～“学びのまち”東松山の実現に向けた取り組み～
⑵～学びを通じた自己実現を目指す東松山市の取り組み～
⑶～生涯にわたり学習・文化・スポーツに親しみ、豊かな心を育むまち東松山～

例２）上記の案から「主題」と「副題」を選んだ場合

研究主題：「人と地域がつながる、学び合いの社会を目指して」←「主題」案⑴
～“学びのまち”東松山の実現に向けた取り組み～←「副題」案⑴

３　事例発表のテーマの選定について

１１月開催の第２回臨時会において、今回決定した「副題」をもとに、東松山市の事例発表として取り上げるテーマと具体的な事例を決定したいと考えています。なお、現時点の案は以下のとおりです。

事例発表テーマの案※それぞれ１つ決める

【事例発表のテーマⅠ】➢東松山市における「学びを提供すること」
⑴『地域に根差した学びの創造』

【事例発表のテーマⅡ】➢東松山における「つながりの場を創ること」
⑴『心と身体を豊かにする活動の推進』
⑵『生涯にわたる文化・スポーツ活動への取り組み』or
⑶『芸術活動、スポーツ活動の推進』

参考

【過去3年の研究主題・事例発表のテーマ】

令和5年度

発表担当：川島町

研究主題：「５０年先の未来を見据えた社会教育の役割」（主題）

―次世代の育成・社会教育のこれから・社会教育施設の検討について―（副題）

発表１　次世代の育成グループ（青少年教育、学校教育との連携）

発表２　社会教育のこれからグループ（社会教育委員の役割等）

発表３　社会教育施設の検討グループ（社会教育施設の検討）

令和6年度

発表担当：小川町

研究主題：「社会教育における社会環境の変化への対応と地域課題への取り組み」（主題）

―放課後子供教室とおがわ学の実践を通して―（副題）

発表１　＜社会環境の変化への対応＞

地域総がかりによる次世代育成～小川町放課後子共教室の取り組みを通して～

発表２＜地域課題への取り組み＞

つながりづくりを通した地域課題への取り組み～おがわ学の実践を通して～

※発表１、２はそれぞれ 15 分程度

令和7年度

発表担当：嵐山町

研究主題：「心身ともに充実した教育の実現に向けて」（主題）

～嵐山町の地勢から見る今後の社会教育について～（副題）

発表１　＜社会環境への取り組み＞

嵐山町の放課後子共教室「スイミー」～子供たちの“できた”を育む居場所～

発表２　＜地位課題への取り組み＞

嵐山町古里の獅子舞

※発表１、２はそれぞれ 15 分程度